令和7年度(令和6年度決算) 事務事業評価結果表

					R7	'評価点集	表						
整理 番号	所管課名	事務事業名	必	要性・有効	助性	達月	・ 効り	具性	評価	項目別点 数	担当課評 価	2次 評価	3次 評価
留写			必要性	有効性	点数	達成度	効果性	点数	点数計	評価	a+ 1m	計皿	計皿
1	議会事務局	情報公開費	4	2	6	1	2	3	9	A	А	А	А
2	総務課	職員研修費	3	2	5	1	3	4	9	А	А	А	А
3	総務課	車輌管理費	2	2	4	0	2	2	6	А	А	А	А
4	総務課	交通安全対策費	3	2	5	1	2	3	8	А	А	А	А
5	総務課	町民運動対策費	3	2	5	1	2	3	8	А	А	А	А
6	総務課	インターネット事業費	4	1	5	1	3	4	9	А	А	А	А
7	総務課	ホームページ管理費	4	1	5	1	2	3	8	А	А	А	А
8	総務課	生活館等管理費	4	2	6	1	2	3	9	А	А	А	А
9	総務課	災害対策費	4	3	7	1	1	2	9	А	А	А	А
10	企画課	町内会連合会助成費	4	3	7	0	2	2	9	А	А	А	А
11	企画課	文書広報費	3	3	6	1	2	3	9	А	А	А	А
12	企画課	ふるさと応援基金運営費	4	3	7	0	2	2	9	А	А	А	А
13	企画課	産業活性化サポート事業費	2	2	4	1	2	3	7	А	А	А	А
14	企画課	バス待合所管理費	4	2	6	1	2	3	9	А	А	А	А
15	町民課	戦没者追悼式事業費	3	2	5	1	2	3	8	А	А	А	А
16	町民課	社会福祉費	3	1	4	1	3	4	8	А	А	А	А
17	町民課	高齢者行事費	2	3	5	1	2	3	8	А	А	А	А
18	町民課	在宅福祉事業費	2	3	5	1	1	2	7	А	А	А	А
19	町民課	吉岡総合センター管理運営費	3	1	4	1	3	4	8	А	А	А	А
20	町民課	学童保育費	4	2	6	1	2	3	9	А	А	А	А
21	町民課	ごみ減量化対策費	5	2	7	-1	1	0	7	В	В	В	В
22	福島保育所	保育所費	5	2	7	1	2	3	10	А	А	А	А
23	福祉課	福祉車輌等購入事業助成費	4	2	6	1	1	2	8	А	А	А	А
24	福祉課	社会福祉総務費	4	2	6	1	2	3	9	А	А	А	А
25	福祉課	重度心身障がい者等タクシー料金助成事業費	4	1	5	0	2	2	7	А	А	А	А
26	福祉課	老人福祉費	4	2	6	0	2	2	8	А	А	В	В
27	福祉課	健康づくり推進費	4	3	7	1	1	2	9	А	А	А	А
28	福祉課	医療対策費(保健衛生総務費)	4	1	5	-1	2	1	6	В	А	В	В
29	福祉課	いきいき健康ふくしま21推進事業費	5	3	8	1	1	2	10	A	А	А	А
30	福祉課	医療対策費(医療対策費)	4	3	7	1	2	3	10	А	А	А	А
31	福祉課	老人保健費	4	3	7	1	2	3	10	А	А	А	А
32	福祉課	温泉健康保養センター管理運営費	4	3	7	1	1	2	9	А	А	А	А
33	産業課農林係	多面的機能支払交付金事業費	3	2	5	1	1	2	7	Α	А	А	А
34	産業課農林係	活性化センター管理運営費	4	2	6	1	2	3	9	Α	А	А	А
35	産業課農林係	熊等による被害対策費	5	2	7	1	2	3	10	А	А	А	А
36	産業課水産係	利子補給事業費	5	3	8	1	3	4	12	А	А	А	А
37	産業課水産係	水産加工振興協議会補助費	4	2	6	1	2	3	9	А	А	А	А
38	産業課水産係	水産多面的機能発揮対策事業費	3	2	5	1	2	3	8	А	А	А	А
39	産業課水産係	漁村環境改善総合センター運営費	4	1	5	1	2	3	8	А	В	В	В
40	産業課水産係	製氷貯氷施設運営費	5	1	6	1	1	2	8	А	А	А	А
41	産業課商工観光係	労働諸費	6	3	9	1	1	2	11	A	А	А	A
42	産業課商工観光係	観光振興費	6	2	8	1	1	2	10	A	А	А	A
43	産業課商工観光係	岩部海岸わくわくクルーズ事業費	5	2	7	1	2	3	10	A	А	А	A
44	産業課商工観光係	道の駅管理費	4	2	6	1	2	3	9	А	А	А	А
45	産業課商工観光係	横綱記念館管理運営費	4	1	5	1	1	2	7	A	А	А	A
46	産業課商工観光係	青函トンネル記念館管理運営費	5	2	7	1	2	3	10	A	А	А	А
47	建設課	街灯料助成事業費	5	2	7	1	1	2	9	А	Α	А	А

令和	1	7 年	7)	月 25 日	日 作成			担当	当課			議	会事務局		
事	務事	業名	情報公	開費			•								
	基本	本方向	05	一人ひと	りが協働し、	持続可能	なまちづく	(1)		施策=	コード				
施	項	目	04	情報発信	の充実					法的	tı tı	法 令	O 条	例	その他
策の	財利			情報公開	 費					根拠等	-	基本条例	 ∥第7条		
体										+ +/	± O	直営	委	託	その他
系										実が方法	_			10	("
	平成	元年より	議会だ。	よりを発行。	平成13年度よ	り福島町は	ホームペー	ジに誰	美会コーナー	ーを創設し	た。議会	の更新期	1度やデータ	タ容量の	増加により、
業概	町担を開	当者への 始。スマ・ ハたホー	り負担か	が大きくなっ ンでの視聴		年度より議 27年に録	会独自の7 画中継、令	ナーム 和元 ⁴	ページを開 F度にライン	討。平成 が配信に対	21年度だけによる。	いらは議会 よう改良し	会インターネ た。令和5年	ット中継 達度には	₺とオンデマンド :昨年より発生
	(1) 🕏	付象 (誰	を、何	を対象とし	しているのか)				(3)手段((どのよう	うな手法、	、手順で	行っている	のか)	
事業の目的	(2) 意		象をど		犬態にしたい(· 休豆 · 经证	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	議会ホー本会議や	ムページ 常任委員	に会議開 会の会議	催予定や 義録を掲載		艾	継(ライブ・オン
нэ					もらい、両基本 きを目指す。	未例による)住氏•1] Ø	(* 祇							
	(1)田	丁関与の	根拠(町	丁が行う必要	要がある事業か	い) 計	1	点							
	0	①法令等	字で実施/	が義務付けら	れている事業。			1点	⑥ 産 美		が地域活性	化のために	重要な事業		1点
			環境の確保 うべき事		活に直結した事	業で、当然の	の責務とし	1点	※内部	₩管理•運	営等の事業	き。(点数対	象外)		-
		③社会的	的•経済的]弱者の生活	維持・安定のため	かに不可欠な	な事業。	1点	(説明) 関	与の根拠に	に関し、阝	内容を具体	的に記入し	ます。	"
		4)町の料	f性や魅	力を生かした	取り組みなど、戦	路的な事業	480	1点		条例第5条	⊱ •第7条•	第19条及	で第25条1	こよる情	報提供・情報
1					るが、サービスの			1点	共有。						
必	(O) ±	が先導・			h- 11 - 64-	=1									
要性	(2) 7			ニーズの変		計	3	点	*/ \L.	\	·	VI. 6-6- 1 V -I-s (1	àlime Merco	・如本マ	L >> 7 A
'-		①国の市 充が求め			境の変化によっ	し、サービス	く内谷の払	1点		ず寺で美施ない。(点数		伝寺까正 ₡	られて、町の	別思 上:	大か人の余
	0	②対象者	台、利用者	音が増加する	など、町民ニース	(が高まって	いる。	1点	(説明)妥	当性に関	し、内容な	を具体的に	記入します	0	
	0				けるため、種々の	改善を行い	、事業の効	1点						,	義会だよりや映
	0			できている。 シャルキュア	も、実施の緊急性	- 個生地	古い	1点	像配信は、	議会の沿	5動状況を	を確認する	5上で、大き	な役割	を持つ。
		(F) X O A C	7 C. P. T. (DR. V.	7712077 (1	り、天旭の糸心日	こ、 変力 主/は	.□ v ' ₀	't							
	(1) F	が単・協	働に対	する事業の	D有効性	計	2	点							
2	(1) 1:				- 101701				/=Hpp\ /	사사!~ 88	1 Haster -	た日はかに	·== 1 ++		
	_				事業の貢献度に			1点					:記入します - 対: 右効っ		央像配信による
有効	0				票(事業の意図)の		付できる。	1 ////	ライブ中継						大塚町16による
性		③類似し	た事業と	の統合や連	携を図る余地はた	ない。		1点	る。						
	0	④町民参	かと自治	台意識の向上	:が図られている。			1点							
	(1) i	達成度の	測定			計	1	点							
		区分			指標(算	[式)		単位	R4実	績	R5実	績	R6実績	į	R6当初計画
				指標①	議会だよりの発	行(年4回発	行)	□		4		4		4	4
		指標 体的な活	手動の	(算式)]		-		-		•	1
	内容			指標②	ホームページに	よる資料等の	の提供	回		52		47		34	36
3				(算式)										- *	
達	–			指標①	議会だより発行	ページ数(実		頁		98		110		94	110
	成果※ど	指標 れだけσ)成果	(算式)				- `							
^		れたか		指標②	資料を掲載した	本会議・常信	任委員会数	回		52		47		34	26
				(算式)											
	0	①期待し	たとおりの	の成果があっ	た。(達成度80%	6以上)		1点					容を具体的		
		②概ね其	- 月待した追	重りの成果がる	あった。(50%以.	上80%未満)	0点							基づく編集方針 づくりを目指し
		③成果か	が少なく今	後も向上する	る見込みがない。	(50%未満))	-1点	作業を行っ		ימכיניני	- ノーこが冊井	ミンセドタV	山和	ノインで 日 1日し

	(1) 3	事業費の推移	,		Ē	t	0	点									
	[2	区 分	単位	R4決算額	R5決算額		R6決算	額	R6事	業費の内	訳及び	金額		単位コスト	0	一般財派	原額
		事 業 費	千円	872	3, 81	1		929		額の上位				達成度を下げ	げずに低っ	下させた	1点
	<u>.</u>	国・道費	千円						区	分	金	額	0	変わりない・. 確かつ具体に			0点
4	財源	地方債	千円						需用費			805		上昇している		C50	-1点
ᄼ	内訳	その他	千円						使用料及	び賃借料		124		HPサーバ・	一の統合	に伴う委託	
効果)	一般財源	千円	872	3, 81	1		929					説明	皆減のため	5.		
性	(2) =	│		0,2	5, 51 1	_	2	点	(重英田)	手法の	効率化	15 関 1 .	内宓	を具体的に記	記入しまで	+ .	
	0	①業務等の見 がないほどのか②現在の手法	直しに。 k準にが は効率	的な事務執行と受	して事業費を削	減でき	る余地	1点	議会だ		刷製本	費につ	いて	は、作成単位		-	あると考
	0	の高い水準にた	なって\ 執行方	いる。 法の工夫により、タ				1点									
7.5				項目別点	数表					低		必要	性十名	与効性	高		
項目						数				0	1 2		4	5 6	7 8~		前
別		項目別点数に				_										5	
点数		よる評価結果		1 必	要性 4	6					-C-			A		4 6	述 隻
1=		Δ		2 有	効性 2									0		2 -	+
よる				3 達	成度 1		_							В		1 5	辺 果
評						3					P			В			生
価				4 効	1果性 2											-2 1	氐
																	_
	•	担当課評価			課を参考に、 次のA~Dに			して、	他施策と	の関係	等を含む	め総合的	的視点:	から評価しま	ます 。		
	A	現状にて事業	業を継	続または拡充													
	0	現状のままで事							事	業を拡充	こして継続	続					
	_			善により継続					,), C 3) C	20 1/12/	,,,,					
	_	事業の簡素化、							埶	行体制σ	り見直し	(外部委	:託筌)	による改善			
_		事業手法の見								民参加等				1-5-0-4-1			
次評		事業内容の一												対による改善			
価	С			の見直しの検討	i .i.				_	*> 12/93/	CH J ///J-	TH3 1 12	**>100 H	111-2092			
担	0	1		面的な見直しを検言					44	象新囲σ	り目直1	受	6 担 /	の見直し・導力	ん給計		
当				事業規模、計画等	*									が見ら サン 伝換を検討	CC1801		
課評				************************************						の他	双(人)	× 10/10	и П ±2	AIX 2 1X FT			
価	D	事業の抜本的			:61					V) IE							
	,	事未の版本 D 廃止	1元坦	統合		縮小			冲击	結			45-たっ	な事業への転	- ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′		
	.		北州 。	 	よる影響 ロ		廃止	可能		和 件が整え	げ皮に	·給計可	1	よ事未、Vの転 廃止に		その何	ıłı
	× -	1		「焼!!! りることに						性が整え					スピュ天世	- C 47/1	
	説	議会ホームへ 心がけて取り 集ページを盛	ページ・組んで 強り込ん	や議会だよりの多 でおり、新たに議 しで議会への関	発行等わかりを 員のなり手対 心を持ってもら	っすい 策を中 っうよう	情報発	信に た特	今後とも	より見る	やすい	議会だ	よりの	,。 発行に努め め、議会のi		•	
	明	今後も現状に	個)	することの無いは	ころに進めたい	D											
		•		A 現状にて事	業を継続また	は拡充	В	事業の	の進め方	の改善・	・検討か	が必要	С	事業規模、	内容の見	直しが必要	Ę
		庁内委員会		D 事業の抜本	的見直しの検	討 🖒	>	廃止		統合		縮小		凍結	新たな	事業への	転換
二次		評価		一次評価の	の内容により	事業推	進のこ	٤。		İ	1 1		1	1 1			
評		_	Ī	説													
価		A		明													
				A 現状にて事	業を継続また	は拡充	В	事業の	の進め方	の改善・	・検討か	「必要	С	事業規模、	内容の見	直しが必要	Ę.
最		最終評価			的見直しの検			廃止		統合		縮小		凍結	新たな	事業への	転換
終	,	タメ 小く ロエ 山	, l	一次評価、説	、二次評価の「	内容に	より事	業推進	重のこと。	-							
評価		Δ		пπ													
				明													

令	印	7 年	7	月 25 日	日 作成			担:	当課				総務認	果			
事	務事	業名	職員研	修費						•							
	基	本方向	05	一人ひと	りが協働し	/、持続可能	なまちづく	ij		施罗	東コード						
施策	項	目	05	行財政運	営の推進					法	的	O 法	令	条 例	0	その他	也
のの	財	務名称		職員研修	 費					根拠	n 4:4:	方公務員	法、福	島町職員研	修計區	<u> </u>	
体系										実	施	D 直 '	営	委 託		その他	也
N.											法				-	Į.	
事				旅費経費													
業概	(1)	 医島町村	会研修	(2) 北海道「	节町村職員	研修センター	·	任目:	立圏形	成協定職員	合同研(≶(4)国内	先進地	州修(5)目 3	三研修		
要																	
	(1) \$	対象 (誰	を、何	を対象とし	ているの	か)			(3) 月	₣段(どのよ	うな手	去、手順	で行って	(いるのか)			
					づき、職務	遂行能力及び	が資質の向.	上に		研修計画に表			や採用2年	F目職員及	び昇格	時など	``
事	回げ	た研修を	行って	' \\$.						に応じた研修 職務遂行に			歳や技能	を習得した耶	戦員を [・]	育成す	る。
業										こ、自主研修			ァレンジす	る精神と改	善•改	革する	意
の目	(2) 泵	意図 (対	象をど	のようなり	状態にした	いのか)			- 00(21	備えた職員を	目成9),					
的						町民の視点に	こ立ち、適り	刃な	1								
		対心が	ござる体育	制を構築す	'ఏ.												
	(1) ₺	订関与の	根拠(四	けが行う必	要がある事	業業か) 計	1	点									
	0	①法令等	等で実施だ	ぶ義務付けら	れている事業	¥.	-	1点		⑥産業振興及	び地域沿	性化のたる	りに重要な	事業			1点
					活に直結した	に事業で、当然の	の責務として	1点		※内部管理·i	軍党等の	工業 (占業	(対象外)				_
			べき事業														
		③社会的	的•経済的	弱者の生活	維持・安定の	ために不可欠が	3事業。	1点		明)関与の根					N4 - 2		TT.
		④町の特	特性や魅力	りを生かした」	取り組みなど	、戦略的な事業	š.	1点		公務員法第3 受ける機会を				発揮及い塔	進0073	こめに、	伽
1			いまる実 補完する		るが、サービ	スの確保が困難	なため、町	1点									
必要	(2) ‡			ーズの変		————— 計	2	点									
性	0					よって、サービス	ス内容の拡充			※法令等で実	施内容や	手法等が	官められて	、町の創意工	夫が入	る余	
			れている	-						地はない。(点							_
						ーズが高まって		1点		明)妥当性に							
	0			固定化を避り きている。	けるため、種	々の改善を行い	、事業の効	1点		各種制度の創 的な行政運営							
		④限られ	た財源の	中にあっても	、実施の緊急	急性、優先性は	高い。	1点	また、	働き方改革等について、	を踏まえ	、日常業	务など管 3	理職等による	3部下	への指	導
									万伝	寺について、	工大小	い安とはつ	(v v v v v v v v v v v v v v v v v v v				
	(1) -	+ m 1+	1511-41	上 7 吉 米 6	\ 	=1		_									
	(1);			する事業の		計 	2	点	1								
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献	度は高い。		1点		明)有効性に					mu	~/	fs TT*
有効	0	②事業の)継続によ	り、成果目標	票(事業の意[図)の向上が期	待できる。	1点	岩年 得及	層職員におい び職務遂行	ハては、ノ 能力の向	Sく研修に 上につな	.参加させ がる。また	こることにより と、中間層稲	、職員 銭員にど	い知韻 ま、これ	i 取 は ま
性		③類似し	た事業と	の統合や連打	秀を図る余地	はない。		1点	で修	得した知識の	応用が	図られるよ	うな研修	に参加させ	ることて	:、業務	
		④町民参	≽加と自治	意識の向上	が図られてい	·る。		1点		山及りが八	ュの11政	- ^^	ノ木外よ	ヘコルい ハュロ) 配	ic/40)	D	
	(1) ដ	達成度の	測定			計	1	点	•								
		区分			指標	(算式)	•	単位		R4実績	F	5実績		R6実績	R6	当初計画	画
				指標①	指名研修対	象者				0.4		0		4.77			45
		指標	エモーの	(算式)				人		24		2	3	47			45
	水 内容	体的な活 !	古馴の	指標②													
3				(算式)													
達				指標①	指名研修修	了者		ı		0.4		0		4.5		_	A 1
	成果	指標 れだけの	ᄾᆂᄪᅶ	(算式)				人		24		2)	45			41
及		れたけり たか)放果か	指標②	希望研修修	了者								0			
				(算式)				人		7			1	2			4
	0	①期待し	たとおりの	の成果があっ	た。(達成度	80%以上)		1点	(説明	明) 成果・効	果や達成	度に関し、	内容を具	体的に記入	します	0	
		②概ね其	開待した通	的の成果があ	あった。(50%	以上80%未満)	0点		修や行事等と							
		②出田 3	ミルシチュノヘ	盆た向 レナラ	ス目は カポナ	1、(500/ 丰港)	_1 <u></u>		町村アカデミ スニレができナ		かけ修る	実施とし	たことから、	多くの	研修を	′ 芝

	(1) =	事業費の推移			計		1 点							
	[2	区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R	6決算額	R6事業費のI			単位コスト	0	一般財派	原額
		事 業 費	千円	2, 658	1, 927		1, 304		位2費用他)	0	達成度を下げて	ずに低下	させた	1点
		国・道費	千円					区分	金 額		変わりない・上			0点
4	財源	地方債	千円					旅費	1, 142		確かつ具体的は 上昇している	に説明で	<u>そ</u> る	-1点
-	内							負担金・補助及	÷		受講者数及び	研修先に	より年度で	
効果	訳	その他	千円	194			771	び交付金	162	説明	の増減が生じる) _o		
性		一般財源	千円	2, 464	1, 927		533							
		手法の効率化			計		2 点		D効率化に関し、					
	0	①業務等の見ずがないほどの水			で事業費を削減	(できる	^{余地} 1点	公的機関が開 る。	催する研修を中	いいに	受講すること	こより支	出を抑制	してい
			は効率	的な事務執行と受	:益者に対するサー	-ビス満	i足度 1点	また、積極的に	こ参加できるよう			田の実施	値や助成的	制度を
	0	③外部委託や	執行方	法の工夫により、タ	対象範囲を変えず	に事業	費を 1点	利用し事業費	の負担軽減を図	引って	いる。			
		削減する余地に	ま全くな	¿										
西				項目別点	数表			低	必要	生十年	有効性	高		
項目					項目 点数	t		0	1 2 3	4	5 6	7 8~	- F	高
別点		項目別点数に よる評価結果		1 <i>ù</i>	· 要性 3	\dashv					Δ.			達 龙
数		よる計画和末	1			5					0 ^		4 J	茰
によ		ΙA		2	7 対性 2								2	+ 効
る				3 遺	1 1			/	D		В		 	果
評価				4 交	1	4							-1 T	生 ~
ш					771712					<u> </u>			-2 1	氐
		担当課評価												
		_		※上記の約	ま果を参考に、事	業担当	i課として、	他施策との関係	等を含め総合的	視点な	いら評価します	0		
		A		※評価は、	次のA~Dによ	ります	-							
			<u> </u>											
	Α	現状にて事業	きを継	続または拡充										
	0	現状のままで事	手業を糾	*************************************				事業を拡	充して継続					
	В	事業の進めた	の改	善により継続										
		事業の簡素化、	, 効率(とによる改善				執行体制	の見直し(外部委	託等)	による改善			
<u>-</u>		事業手法の見	直しに。	よる改善				住民参加	等の推進による改	善善善				
次評		事業内容の一	部見直	しによる改善				その他効	果的·効率的手法	の検討	対による改善			
価	С			の見直しの検討				- 1-221						
担		制度·事業内容	の全面	面的な見直しを検討	·····································			対象範囲	の見直し、受益者	負担の	の見直し・導入を	検討		
当課				事業規模、計画等					、類似事業への紡					
評		計画期間の延	伸、事	業費平準化等を検	<u></u> 計			その他						
価	D	事業の抜本的						- 12						
		廃止		統合	翁	宿小		凍結		新たれ	な事業への転換			
	*	1	能性を	や廃止することに			廃止可能		えば廃止検討可能		廃止は困		その作	也
			-		え方を具体的に言	己入しる	-		等を具体的に記入				1	
					ヒベ少ない状況				遇に関する意識				, - i, -	
	説		•		:極めて高く、町」 きる職員を育成				職場内研修の充 引き出すことの					
	明				管理能力のほか				竟の充実のため					
		広域的な視点 いる。	4 C.11	以 連 呂 を 担りこ。	とができる職員の	変成の	も美肔しく	評価制度の浸がある。	透を図るための	10世11多	については、)	正别的(三 美胞 9	の必要
							1			ı				
				A 現状にて事	写業を継続または	拡充	B 事業(の進め方の改善	・検討が必要	С	事業規模、内	容の見直	直しが必要	Ē
_		庁内委員会		1	的見直しの検討		廃止	統合	縮小		凍結	新たな	事業への	眃換
次	1	評 価	.		の内容により事	業推進	重のこと。							
評価		^		説										
1,44				明										
					事業を継続または		 	の進め方の改善		С	事業規模、内			
最		最終評価			的見直しの検討		廃止	統合	縮小		凍結	新たな	事業への	眃換
終評			1	説	、二次評価の内	د ارح5	、ツ尹未推進	いして。						
価		A												
		<u> </u>	נו	明										

上	 fo	7 年	7	月 25 1	日 作成			担	当課				総務課			
	-	· · · · · · · ·	車両管						- 14-11				1.0 333 pri			
7		本方向	05		ころがわ 番目	、持続可能	たまたべん	. [1]		佐笙	コード					
施	項		05	行財政運		、 1寸心(PJ RE	44521	. 9				法令	久	例	そのイ	Ш
策	-		05							法が根拠領		i z T	*	ניפו	7 0)1	E.
体	財	務名称		車輌管理	賀					TKIK		+ 224		=	7.0/	h
系										実力	JE .	直営	委	託	その作	也
	// [1 士 工 + ``	5-T1-M	TIII_L-7						/1 /	A					
事業概要	公用	車両を通	国止に官	埋する。												
	(1)	対象(誰	を、何	を対象とし	ているのか	n)			(3)手段(と	ご のよう	うな手法	手順で	行っている	5のか)		
事業の	職員	が使用で	ける公用	車両(バス・	・タイヤドーサ	デーを含む)			①車両更新 ②消耗品(タ ③車検費・公 ④自動車保 ⑤修繕費一	イヤ・5 :租公訓 険の加	7イパー・2 果(重量税 入・保険詞	ナイル)等)の一括	管理	<u>E</u>		
目					忧態にしたし											
的	. —	配置及で確保する		:維持管理(こより、効果的	的かつ効率的	りに職員の	幾動								
	また			知識を有す	る職員が車	両を管理す	ることで、安	全な								
	(1)	町関与の	根拠(四	町が行う必	要がある事	業か) 計	1	点	•							
		①法令等	学で実施だ	が義務付けら	れている事業	0	=	1点	⑥産業技	辰興及で	が地域活性	化のために	こ重要な事業			1点
			環境の確保 べき事業		活に直結した	事業で、当然の	の責務として	1点	※内部管	管理•運	営等の事業	き。(点数対	対象外)			_
		③社会的	的•経済的	弱者の生活	維持・安定のだ	ために不可欠/	な事業。	1点								
		④町の特	特性や魅力	力を生かした	取り組みなど、	戦略的な事業	440	1点	的確な修繕	対応等	を行うこと					
1	0		いまる実 補完する		ろが、サービス	の確保が困難	なため、町	1点	に使用させる	らことが	できる。		200. (7,70	,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,,,,
必要	(2)	社会情勢	や町民	ニーズの変	5化等	計	1	点	•							
性			度の見画 れている。		境の変化によ	って、サービン	ス内容の拡充	1点			恒内容や手 数対象外)	法等が定る	かられて、町の)創意工	大が入る余	-
		②対象者	音、利用者	が増加する	など、町民ニー	-ズが高まって	いる。	1点	(説明)妥当	性に関	し、内容	を具体的に	に記入します			
				固定化を避り きている。	けるため、種々	の改善を行い	、事業の効	1点	従来、各担当 応等を効率的							対
	0	④限られ	た財源の	中にあっても	っ、実施の緊急	性、優先性は	高い。	1点								
	(1)	成果・協	働に対	する事業の)有効性	計	2	点								
2	0	①施策を	達成する	らうえで、当該	事業の貢献度	ぎは高い。		1点	(説明)有効	性に関	し、内容	を具体的に	こ記入します			
有	0	②事業の)継続によ	たり、成果目標	票(事業の意図)の向上が期	待できる。	1点	一括管理とし						なり、車両修	· 繕
効性		③類似し	た事業と	の統合や連打	隽を図る余地に	はない。		1点	や更新計画の	ツ 東 连	なこ 別学	ッツょ連州	パ゚ 円 拒となっ	<i>ي</i> 0		
-		④町早参	かかり	意識の向 ト	が図られてい	 る。		1点	1							
	(1)	達成度の		175,1997 -> 1. 7.2.	,, E 340 CT	計	0	点								
	(1),	区分			指標		·	単位	R4実績		R5∌	经结	R6実	結	R6当初計	画
		<u> </u>		指標①	車両台数	(37.24)					,	C12C		124		_
	活動	指標		(算式)	117.6%			台		25		27		29		29
		体的な	舌動の	指標②												
3	内容	•		(算式)				-								
١	\vdash			指標①	利用人数(バ	(7)			1							
達成	成果	!指標		(算式)	平17717人数(7	~ ')		人	4	1, 657		4, 458		4, 316	7,	000
	×٤	れだけの)成果が													
	増れ	たか		指標②				-								
	<u> </u>	@ · · ·		(算式)	2. /	-0/D: /:			/=V-=: "							
	<u> </u>	①期待し	たとおりの	ル 成果があっ	た。(達成度8	0%以上)		1点								
	0	②概ね其	#待した通	動の成果があ	あった。(50%)	以上80%未満)	0点	運行状況及	い利用	八剱につ	いくも燃	441列牛とお	りとぼつ	' <u>`</u>	
		③成果が	5少なく今	後も向上する	5見込みがない	い。(50%未満)	-1点								

	(1) 🗐	事業費の推移					Ē	t	0	点												
	[2	区 分	単位	R4	l決算額	R5決	算額		R6決算	額	R6	事業費の	内訳	及び金	額		単位:	コスト		0	一般則	才源額
		事 業 費	千円		6, 799		7, 90	4		8, 235		金額の上					達成	度を下	げずに	低下	させた	1点
	<u>.</u>	国・道費	千円								Z	分		金	額	0				ている	理由を	0点
4	財源	地方債	千円								需用領	*		4	, 226			してい		KPJ C	30	-1点
効	内訳	その他	千円									斗及び賃付	昔	1	, 705		管理	するエ	車輌の	増台	による	支出の増
果	· ·	一般財源	千円		6, 799		7, 90	4		8, 235	料					説明	額に	よる。				
性	(2) =	 手法の効率化					ī	+	2	点	(説明	明) 手法(の効率	化に	関し、	内容	を具体	的に	記入し	ます。		
	0	①業務等の見ば	直しに。	より、経	済性を考慮	して事業	費を削	減でき	る余地	1点	燃料	費の高騰	きにつ	いて	は、出	張の	減なと	で走	行距	雛を抑	コえられ	いたため、
		がないほどの水	は効率	的な事		益者に対	するサ	ービス	満足度	1占		な増とは ヽないが、										章は発生 「きてお
	_	の高い水準に加るの高い水準に加える			こ夫により、対	 象範囲る	を変えて	げに事	業費を		り、安	定した公										
	0	削減する余地に	は全くな	ያ ነ						1点												
l _					項目別点数	物事						低			心 更	性工才	与効性	=		高		
項目						双双 頁目	点	数				0	1	2	3	4	2	6	7	8~	<u> </u>	高
別		項目別点数に						<i></i>													5	達
点数		よる評価結果	ŧ 1		1 必	要性	2	4					_					A			4	成 度
によ		ΙΔ			2 有	効性	2									0					2	+ 効
る					3 達	成度					V			0				В			0	果
評価					4 効	果性	2	2													-1	性
"				Į.	. 753	- N	_														-2	低
		担当課評価																				
			1		※上記の結	里を参え	峰に、 3	事業 担	当課と	۱.T.	他施 策	との関係	等を	含め約	公合的	視点が	いら評値	価しま	₫.			
		A			※評価は、						10,000		, _			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			. , 0			
		<u> </u>	IJ																			
	Α	現状にて事業	美を継	続まれ	たは拡充																	
	0	現状のままで事	耳業を糾	迷続								事業を拡	充して	継続								
	В	事業の進めた	の改	善に。	より継続																	
		事業の簡素化、	、効率化	とによる	る改善							執行体制	の見	直し(タ	卜部委	託等)	によるに	改善				
一次		事業手法の見ば	直しに。	よる改善	善							住民参加	等の打	推進に	よる改	:善						
評		事業内容の一部	部見直	しによ	る改善							その他効	果的•	効率的	的手法	の検討	付による	6改善				
価	С	事業規模・内	容等	の見ī	直しの検討	†																
担当		制度·事業内容	の全配	面的な	見直しを検討	ł						対象範囲	の見	直し、	受益者	負担0	つ見直1	し・導え	人を検	討		
課		必要性等を再	検証し!	事業規	模、計画等の	の見直しる	を検討					他の事業	、類似	以事業	への紡	Ē合•転	換を検	討				
評価		計画期間の延	伸、事	業費平	準化等を検	討						その他										
	D	事業の抜本的	り見直																			
		廃止	. Ale : :		統合) F1		縮小				凍結			<u></u>		な事業	,				
	*	事業廃止の可								可能	A //-	条件が整						廃止	は困難		そ(の他
		一次評価(担 公用車両の-										の改善策等 間使用し						総合	神仙	- 敷△	性を回	オンナ ンカン
	説	的活用が図ら			メソ、区 7911日	可反用し	(("	14-14J	4 白 W	, X)) 	ら、年	と次計画(こよる	車両	の更	新が急	急務と	なって	おり、	安心	安全な	運行を行
												うに、限ら 導入(リー										≣気自動 図ってい
	明										る。											
											また、を図れ	職員にす る。	可96	0女王	理転	に徐る	0 往.思	、哭匹	寺、タ	進女	至思調	或の同上
				Α	現状にて事	業を継続	売またに	は拡充	В	事業	の進め	方の改善	・検	討が必	少要	С	事業	規模、	内容	の見直	しが必)要
_		庁内委員会		D	事業の抜本	的見直し	_の検討	讨 弓	>	廃止		統合		縮	小		凍結		新	たな事	業への	の転換
二次		評 価	_		一次評価の	の内容に	こより事	事業推	進のこ	.خ.	-	1	1	1								
評価				説																		
Ш		A		明																		
					現状にて事			-			の進め	方の改善	• 検			С	1	規模、			しが必	-
最级		最終評価		D	事業の抜本 一次評価、					廃止 業推治	≜ の.⁻ .	統合し		縮	小		凍結		新	たな事	業へ	の転換
終評]	説	シノロし「一川ノ	. — УСПТ	,ш • , Р	, 610	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	~ 1EV	/-(-0										
価		<u> </u>		明																		

☆≉	0	7 年	1 7	月 25 日	日 作成			担	当課				総務課			
		業名		全対策費	- 1172				- 14-11-				110 353 451			
-		本方向	04		が安定し、安全	安心にも	きんサスコ	= t べ	7 kl	佐生	コード					
施	_		06			女心に看	* D E Ø 9	· 5 J	\ 9			:+ A	O 条	/Fol	そのも	lih.
策	項		00	生活安全						法 根拠	///-	法令		ניפר	ての1	맫
の体	財:	務名称		交通安全	对束 質				-	TELE	- と	通安全基		=	7.0/	h.
系										実力	JUL -	直営	委	託	その作	也
	4-12	. 	#\#\z \	7 学的 幸区	のお人の但せい	- 1ボッジマ曲	ı			73 7	Z					
事業概要	父迪	安全の	匪進によ	る追路父連	iの安全の保持に	- 併る経貨	ľ									
	(1) 5	対象(誰	を、何	を対象とし	ているのか)				(3)手段(8	どのよ	うな手法、	手順で行	行っている	のか)		
事業の	町民	大(町内通	過車両	を含む) に対	対して交通安全を	と呼びかり	ける。		①春・秋の町 ②交通安全 ③交通安全	大会•ネ	斤願祭(R2	.R3新型コ		染症予	坊のため中	止)
の目	(2)	意図(対	象をど	のようなり	状態にしたいの:	か)]							
的					安全推進員や指		よる啓発活	5動]							
	の夫	・他により	父进女3	王(C)刈りの)	意識向上を図る。											
	(1) 🖪	町関与の	根拠(町が行う必	要がある事業か	() 計	2	点	•							
	0	①法令等	等で実施 だ	が義務付けら	れている事業。	=		1点	⑥産業	振興及び	ブ地域活性化	とのために	重要な事業			1点
			環境の確保 べき事業		活に直結した事業	で、当然の	責務として	1点	※内部	管理·運	営等の事業	。(点数対	象外)			_
					維持・安定のために	こ不可欠な	事業。	1点	(説明)関与	の根拠	に関し、内	容を具体	的に記入しま	ます。		
		④町の特	特性や魅力	力を生かした!	取り組みなど、戦略	られて事業。	1	1点	北海道交通	安全基	本条例に	基づき実力	施する事業。			
1	0		いまる実 補完する		るが、サービスの確	保が困難な	まため、町	1点	=							
必要	(2) 1	社会情勢	や町民	ニーズの変	5化等	計	1	点								
性			リ度の見画 れている		境の変化によって	、サービス	内容の拡充	1点			施内容や手法 数対象外)	去等が定め	られて、町の	創意工夫	 デが入る余	_
					など、町民ニーズか	『高まって』	いる。	1点				具体的に	記入します。			
	0			固定化を避り	けるため、種々の改	で善を行い、	事業の効	1点	町民に関心 交通安全啓							
					、実施の緊急性、	優先性は高	高い。	1点) LI LI 294	211. ()	10/100		0,00)	90
						_			=							
	(1) ,	成果・協	働に対	する事業の)有効性	計	2	点								
2	0	①施策を	達成する	らうえで、当該	事業の貢献度は高	高い。		1点					記入します。			
有		②事業の	継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の[句上が期待	できる。	1点	啓発活動に	より交通	通安全に対	する意識	の向上が図	られる。	_	
効 性		③類似し	た事業と	の統合や連打	隽を図る余地はない	,) ₀		1点								
	0	④町民参	≽加と自治	お意識の向上	が図られている。			1点	1							
	(1) i	達成度の	測定			計	1	点	•							
		区分			指標(算:	弌)		単位	R4実績	į	R5実	績	R6実績	i	R6当初計	画
				指標①	啓発回数											
		指標	T=1 -	(算式)				- 0		7		8		7		8
	※具内容	体的な温	古動の	指標②					1							
3				(算式)												
達				指標①	1日当たり町民総ぐ	るみ街頭指	導参加人数		 							
	成果	指標		(算式)	延べ人数・			人		122.0		119. 0		117. 0	1	20. 0
度		れだけの)成果が		72 71,71	177771117										
	現れ	たか		(算式)				-								
	$\overline{}$	① 棚 生 2	たしわか		た (法卍座000/1	1 F)		1 -		1 . A P	と は 出 中 に	· 胆 』	灾た日仕か い	- === 7 1		
	0				た。(達成度80%)			1点	大学中人定				容を具体的に活動に実施			大き
					あった。(50%以上)			0点	する意識向				山口沙バー大ル	コーのソ、	へ心久工(-71
1		(3)成果が	ゞ少なく今	後も向上する	5見込みがない。(50%未満)		-1点	I							

	(1) }	事業費0)推移	;				青	†	0	点												
	[×	分	単位	R	4決算額	R5∌	央算額		R6決算	額	R6	事業費の内	勺訳及	び金	額		単位	コスト		0	一般見	 財源額
		事業	費	千円		3, 446		2, 97	0	3	3, 153		金額の上位					達成	度を下	げずり	こ低下	させた	1点
	<u></u>	国•	道費	千円								Z	分	숰	È	額	0		-			理由を	9 0点
4	財源	地方	信	千円								報酬			1.	430			してい		説明で	3 2	-1点
効	内訳	そ の		千円									補助及び交付金	è		837					と指導	員の制	引服購入
果	<u>ار</u>	一般		千円		3, 446		2, 97	0	9	3, 153						説明	等、	啓発物	勿品を	購入		とにより増
性	(2) =	 手法の交				0, 110			+	2	点	/ = ∺ F	月)手法の	か変	(+ I = E	UB I	内灾?		なって				
					より、経	圣済性を考慮	して事業				1点												及等に努
	0	がないに				いる。 事務執行と受	大老にも	++->+	ードフ	港見庫	. 711.		おり、現状									~ ш	× 111-33
		の高い	k準に	なってい	いる。						1点												
	0	③外部				工夫により、対	付象範囲	を変えて	だに事	業費を	1点												
項						項目別点	数表						低	1		必要性 。				7	高	1	÷
目別		75 C CII	上 ※ 1	_]	項目	点	数				0	1	2	3	4	5	6	,	8~		高
点		項目別.				1 业	要性	3						•					Α			5	達 成
数				7				0	5									0				3	度
によ		<i>P</i>	1			2 有	· 効性	2				\geq										2	+ 効
る				J		3 達	成度	1	•			,		D					В			0	果
評価						4 対	果性	2	3													-1	性
100							,,,,,_	_														-2	低
		+D 기/ EB	B = 17 / 3E	:																			
		担当誤	下計1四	7)																			
		 	1			※上記の結					して、	他施策	との関係	等を含	含め総	合的社	児点か	いら評値	価しま	す。			
			`	<u>]</u>		※評価は、	次の A ·	~ D IC .	よりま	す。													
	Α	現状に	て事績	業を継	続ま	たは拡充																	
	0	現状の	ままで	事業を終	迷続								事業を拡充	をして着	継続								
	В	事業の	進めた	方の改	善に	より継続																	
		事業の	簡素化	、効率	化によ	る改善							執行体制の	の見直	[し(タ	部委詞	托等)に	によるi	改善				
一次		事業手	去の見	直しに。	よる改	善善							住民参加等	等の推	進に	よる改	善						
評		事業内容	容の一	部見直	にによ	る改善							その他効果	果的・ダ	功率的	り手法の	の検診	付による	5改善				
価	С	事業規	模・Γ	内容等	の見	直しの検言	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·																
担		制度•事	業内領	タの全面	面的な	見直しを検言	寸						対象範囲の	の見直	[L, 5	を益者	負担σ	見直	し・導 <i>フ</i>	人を検	計		
当課		必要性	等を再	検証し	事業規	模、計画等	· の見直し	を検討					他の事業、	類似	事業・	への統	合•転	換を格	計				
評		計画期	間の延	伷 事	坐費 亚	Z準化等を検	計						その他										
価	_	事業の					н 1						CANIE										
	Ĕ	産业 産业	JX 个「	った旦	.02	統合			縮小				凍結				拡たす	で車条	への転	二烯			
	\• /		L	ተሞሞተ	g>ıek ∙		- トッ E/*	銀		ek d	ਜ਼-er-			シルド	. (. 4.^.	اا		ょ尹釆	Ţ		ž	ッ	T) fels
		1				上することに			⇒		可能	A //-	条件が整え						廃止(は困難	E	そ	の他
						の内容や考 、国民・道!) #1+*		D改善策等 安全と綿額						無の仕	-) [] <i>TE</i>	初たら	2 1111 6/1	に実施
	説	が率先	して耳	対組む	で重要	要な事業で	ある。					し、通	正な維持	宇管理	を図	る。							
						安全推進員 ける道路や様							警察署と 交通安全						対策(1	免許這	反納へ	の広	報周知)や
	明	る。	, -	/ - μΔ (-401)	, averil (1)	小贼守小	- V\VL1	∟ \/±.(⊂	- 27 () (* '	口作里	人心久土	:口 兀	→ _ ^	- 大ル		· .90					
						田小してす	** + 011	έ± + + •	+++	_	古业	n.# u	ナルナギ	. +A=	++8 ~	亜		市 ***	±8 +#	ь.	Λ □ ÷	1 483	и —
						現状にて事						ル進め	方の改善	快訊			Ü		况悮、			しが必	
=		庁内委 評			ט	事業の抜本					廃止		統合		縮	\J\		凍結		制	になる	・手へ	の転換
次		計	価	71	=14	一次評価	の内谷	こみり引	≠未推	進りこ	C٥												
評価		_	7		説																		
			1	<u>]</u>	明																		
					Α	現状にて事	業を継続	続またに	は拡充	В	事業(の進め	方の改善	検討	が必	要	С	事業:	規模、	内容	の見直	しが必	· 要
最		最終	評価		D	事業の抜本					廃止		統合		縮	小		凍結		新	iたな	事業へ.	の転換
終		70.12	,,	7	説	一次評価	、二次評	#価の	内容に	より事	美推 進	<u></u> のこ	- °										
評価			1																				
		<u></u>	_	1	明																		
\Box																							

令和	1 .	7 年	7)	月 25	日 作成		担	当課			i	————— 総務課			
	務事	<u>·</u> 業名	町尺運	<u>·</u> 動対策費											
-		 本方向	04		 が安定し、安全安	心に暮らせる。	E たっ	5 < 11	施策=	コード					╡
施	項	目	06	生活安全		-B1	, , ,				法令	〇条例		その他	
策の		9名称	- 00	町民運動					法 的根拠等	-		〇 本 // R議会条例		C 07 1E	
体	H/1 1	3 TO 17		可以定到	7.水貝						直営	委託		その他	
系									実が方法	E .	但 五	女礼		ての他	
-	書小	在問題 「	立議会σ	開催 松言	前地区防犯協会に対	ナナス活動助成々	会をか	·什	,, ,,	1					
事業	HV	T [H]/62 [加成五。	加压、位品	可超色例 泥 伽云 (C/	1 1 2111 3010/10/7	上亡人	1.10							
概															
要	(4) 1	1.67 /-/		61161				100					, ,		
					しているのか) は18歳未満の者、構	出 、 日の1)						行っているの: ₋ 、青少年の非:		加めな学	六
					110級木価の名、件 とび福島町の町内会		部組					ス 再少年のが 議を行っている		がで仕子に	X
事	織とし	して支部	を設置し	ている。)				②松前地区	区防犯協:	会への活	動助成(即	协成金:68千円)		
業															
の目					犬態にしたいのか)		A 00	ļ							
的		少年の7 体の連約			に関する施策の適	切な実施亚びに	.谷関								
	②警	察及び	関係機関]、地域住居	民等と連携により防る										
	犯思	識の局は	易を凶り.	、女心して	暮らすことができる社	[会の実現に努る	める。								
							1								
	(1) 田	「関与の	根拠(田	」が行う必⋮	要がある事業か)	計 2	点							ı	
					れている事業。		1点	⑥産業	美振興及び	地域活性	化のために	重要な事業		1.	点
	0		環境の確信 うべき事		活に直結した事業で、	当然の責務とし	1点	※内部	『管理·運》	営等の事業	(点数対	象外)		_	-
	0				維持・安定のために不	可欠か事業	1点	(説明) 関	与の根拠(: 的に記入します			
	\vdash											、各種イベントル		ふ防犯政器	
1					取り組みなど、戦略的		1点					成の高揚を図る			'
			景による実 補完する		るが、サービスの確保が	が困難なため、町	1点								
必要	(2) ネ	t会情勢	や町民	ニーズの3	变化等	計 1	点								
性					環境の変化によって、サ	ービス内容の拡	1点				法等が定め	られて、町の創意	(工夫)	が入る余 _	_
			られてい			1		地はな	い。(点数						
					など、町民ニーズが高		1点					記入します。		2. 12. At 3/61	مادا
				固疋化を避 きている。	けるため、種々の改善	を付い、 事業の効	1点	全国的に重長や警察署	す少年の。 暑から構成	非仃等に。 戈する青り	よる事件・ と年問題は	事故が発生しる議会を各学校	こいること	にめ、谷字(休み前に開	汶 l
	0	④限られ	た財源の	中にあって	も、実施の緊急性、優秀	た性は高い。	1点	催し、情報	共有を行	い、青少	年の健全	育成を図る。			
	(1) =	+1 == +	1511-11		5 	=1 0	-								
	(1));	以果・協	働に対	する事業の	の有効性 	計 2	点	1							
2	0	①施策を	を達成する	らうえで、当該	核事業の貢献度は高い	0	1点					記入します。			
有効		②事業の)継続に』	にり、成果目	票(事業の意図)の向上	:が期待できる。	1点					_め、町民との「 関係機関、地			
性		③類似し	た事業と	の統合や連	携を図る余地はない。		1点	が図られて	– .	主 久 8//2	.,,,,,,		-XIII 2	, IIII -> XL	0.0
	0	④町民参	*かと自治	お意識の向上	が図られている。		1点								
	(1) j	達成度の	測定			計 1	点								
		区分			指標(算式)		単位	R4実紀	責	R5実	績	R6実績		R6当初計画	
				指標①	防犯啓発実施回数										
	活動			(算式)			□		3		3		3	;	3
	※具	体的な流	古動の	指標②											
3				(算式)			1								
達				指標①	防犯啓発訪問箇所数	[\top		
成	成果			(算式)			件		36		36		36	30	6
度		れだけの れたか)成果	指標②									\top		
	70.7红	401-1J,		(算式)			1								
	0	①期待1	たとおりの		 た。 (達成度80%以上	.)	1点	(説明) 成	果・効果	や達成度に	こ関し. 内	容を具体的に記	.入し.=	 きす。	
	Ĕ				あった。 (50%以上80%		0点					程防止等に寄与			
							- 71111				,			_ 3	
	l	1(3)成果カ	4小かたく今	後も向上す	る見込みがない。(50%	o 未(満)	-1点	Ī							

	(1) 특	 事業費の推移	;		計	0	点										
	Σ	区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R6事業	業費の内	訳及び金	額	単位	ニコスト		0	一般財源客	Ą
		事 業 費	千円	113	111		115			2費用他		達成	度を下	げずに	低下さ	せた	1点
	<u></u>	国・道費	千円					区	分	金	額(・上昇し		理由を明	0点
4	財源	地方債	千円					負担金・補助			93	作し	つ具体 してい		正明 ぐき	: W	-1点
ᆻ	内訳	その他	千円					報酬			15				る会記	義等出席は	
効 果)(a)	一般財源	千円	113	111		115	TIVENI				明旅費					
性	(2) =			110	計	2	点	(景田口)	壬辻のま	効率化に	期	灾た目	休奶!	#2 7 I	キナ		
		手法の効率化 ①業務等の見		より、経済性を考慮し		_	_	± 1. /c i	• 1							前地区防3	口拉
	0	の高い水準にな	は効率に なってい 執行方	的な事務執行と受益 る。 法の工夫により、対			一一一只	会に対 ⁻ している	する活動							は同額を	
ᅲ				項目別点数	为表				低		必要性+	- 有効性	生		高		
項目					1 点数				0 1	1 2	3 4		6	7	8~	高	
別		項目別点数に				_										達 5	
点数		よる評価結果		1 必	要性 3 5	,				- C			A			4 成	
に		Α		2 有刻	効性 2	`		/				0				+	
よる		\Box]	3 達月	成度 1	┑ ゚		V								1 効果	
評					3	3				P			В			0 性	
価				4 効!	果性 2											-2 低	
一次評価(担当		事業の簡素化 事業手法の見 事業内容の一 事業規模・P	方の改 、効率信 直しによ 部見直に 内容等	善により継続 とによる改善 たる改善	-			執(住) (在)	行体制の 民参加等 の他効果	して継続 見直し(タ の推進に 的・効率的	よる改善	倹討によ	る改善		討		
T課 評				事業規模、計画等の 業費平準化等を検言					の事業、類の他	類似事業	への統合	・転換を	検討				
価	D	事業の抜本的						1	- 100								
		廃止		統合	縮	小		凍	結		新	たな事業	をへの 動	伝換			
	% I	ļ	能性を	P廃止することに。			:可能			ば廃止検				は困難		その他	•••••
	/•\=			価)の内容や考え						を具体的		ます	76.11.	. ~ III XE		C * / 103	
	説明	松前地区防御おける犯罪防	犯協会 5止運動	は、住みよい豊か動を進める中核的が必要と考えます	かな地域社会の	形成や町	内に	青少年のちづくり	の健全育を進める	育成を図	るとともに 引係機関	二、町民				ことができ 層連携 し、	
		<u> </u>		A 現状にて事	業を継続または拡	t充 B	事業	の進め方の	の改善・	検討が必	要 (事業	規模、	内容(の見直	しが必要	
_		<u></u>			的見直しの検討	-	廃止		統合	縮	小	凍結	Ī	新	たな事	業への転	奐
_ ,		評 価	_ [一次評価 の	り内容により事業	き推進のこ	_ک。										
				説													
評		Α		明													
二次評価		А		明	業を継続またけれ	☆	事業	の進め方	の改善・	検討が心	·要 () 事業	規模	内容(の見す	しが必要	
評価		A		明 A 現状にて事	業を継続または拡 的見直しの検討		事業廃止	の進め方の	の改善・ 統合	検討が必縮		事業凍結				しが必要 業への転打	<u></u> 奥
評]	最終評価		明 A 現状にて事ま D 事業の抜本的		⇒	廃止		統合								<u></u>

小	 €∏	7 年	1 7 J	月 25 i	日 作成			扫:	当課				総務課			
		, <u>──</u> ≨業名		ーネット ^国				1=-					W 177 DA			
-						++	4. + 4 - ~ /	, , ,		h- hts	18					
施		本方向	05		りが協働し、	持続可能	なまちつく	. 9	П	も策コ			1 1-		1	
策	項	目	05	行財政運	営の推進					的		5. 令	条	例	その作	也
の体	財	務名称		インター	ネット事業費				租	视等						
系									身			営	委	託	その作	也
									7.	法						
事業概	役場	景庁舎及で	び外部公	:共施設の~	インターネット環	境の維持	保全のため	らの各	種ネットワーク機	器等の	の運用及び	保守。				
要	(1)	₩45 /#	+ =	ナ い 色し1	しているのか)				(3)手段 (どの	\ L = ·	<i>+</i> ,	こいはってん	ニュナハフィ	D41)		
					一岡支所、福島	化	△合センター	- 垣	各公共施設の記			F順で1	15 (1.90	('N'		
業	島小館、	、学校、吉	岡小学	校、福島中	学校、横綱記念本育館、福島浴	念館、青函	トンネル記	念	TO 公子/地放 V / /	ш Iр 1)X	のでかる					
の目	(2)	意図(対	象をど	のようなり	状態にしたいの)か)										
					図的な行政シス		とする。		1							
	Wi-	Fi環境の	整備に。	より来館者の	の利便性向上を	と図る。										
	(1)	町関与の	根拠(田	Tが行う必	要がある事業	か) 計	2	点								
		1			れている事業。			1点	⑥産業振興	且及で対	地域活性化の	りために	重要な事業			1点
	0	②生活現	環境の確保	R等、町民生	活に直結した事	業で、当然の	の責務として	1点			等の事業。(_
	\vdash		べき事業													
		③社会的	h·経済的	弱者の生活	維持・安定のため	に不可欠な	事業。	1点							ルのマ戸総	AK.J.
_		④町の特	特性や魅力	りを生かした	取り組みなど、戦	略的な事業	È.	1点	効率的な行政 整備するもので							肥化
1	0		いまる実 補完する		るが、サービスの	確保が困難	なため、町	1点								
必要	(2)			ニーズの変	 €化等	計	2	点								
性	0		リ度の見直 れている。		境の変化によっ	て、サービス	内容の拡充	1点	※法令等で地はない。			穿が定め	られて、町の倉	削意工規	そが入る余	_
					など、町民ニース	が高まって	いる。	1点				体的に	記入します。			
				固定化を避り	けるため、種々の	改善を行い	、事業の効	1点	デジタル改革関 充を求められる				更に利活用や	基盤	の構築などの	の拡
	0	.,			、実施の緊急性	、優先性は	高い。	1点		CC13-	WEG11/2	'o				
									-							
	(1) ,	成果・協	場働に対	する事業 <i>σ</i>)有効性	計	1	点								
2		①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献度は	高い。		1点	(説明)有効性	に関し	,、内容を具	体的に	記入します。			
有		②事業の)継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の	つ向上が期行	寺できる。	1点	効率的な行政			図られ	るとともに、追	f信機i	能の整備に	より
効性	0	③類似し	た事業と	の統合や連打	男を図る余地はた	۲۷.°		1点	利便性向上が	凶りれい	ている。					
		④町民参	≩加と自治	意識の向上	が図られている。			1点								
	(1)	達成度の	測定			計	1	点								
		区分			指標(第	[式)		単位	R4実績		R5実績		R6実績		R6当初計	画
				指標①	公共施設の光ス	アイバ化										
	活動	指標		(算式)				件		13		13		13		13
	※具 内容	体的な温	舌動の	指標②												
3	F 37	r		(算式)												
凄				指標①	コンピュータウィ	ルス威込件										
達成	成果	!指標		(算式)	//1			件		0		0		0		0
度		れだけの)成果が													
	境れ	たか						1								
	_	(1) ±FH √∓ .	J. 1 3 10	(算式)	- ، حاصل على الم	'DLL'			/=¥pp\ -> m		* 		m + B // **:		++	
	0				た。(達成度80%			1点	(説明) 成果・他の官公庁には							1.7
	<u> </u>	(2)概ね其	引待した 通	りの成果があ	あった。(50%以_	上80%未満)		感染する事案が	ぶこれる	まで報じられ	れている	5が、当町で1	は、防.	止するための	のセ
l		③成果か	5少なく今	後も向上する	5見込みがない。	(50%未満))	-1点	キュリティ対策を	上講じて	ており感染	事例は	生じていない	١.		

	(1) }	事業費の	推移					青	t	1	点											
	[区 分	\	単位	R	4決算額	R5∄	央算額		R6決算	額	R6	事業費の「	力訳及:	び金額		単位	ユコスト	,	0	一般則	才源額
		事業	費	千円		6, 577		5, 13	4	4	1, 522		金額の上位			C	達 原	戊度を下	・げずり	こ低下	させた	1点
	^	国・道	費	千円								×	分	金	額			つりない				:明 0点
4	財源	地方	信	千円								委託料	1		2, 170)		ゝつ具体 れてい		説明で	ざる	-1点
솼	内訳	その		千円								役務費			1, 802			字業務		料の減	による	
効果	一	一般財		千円		6, 577		5, 13	4		1, 522	12.177.5	٠		1,002	説						
性	(2) =		-	111		0, 311		-	†	2	点	/ = ∺ □	月)手法 <i>の</i>	かずル	レ <i>1ー</i> 月日 1	rth 2	京 ナ. 目.	/ 	=== 1	++		
				直しに。	より、紹	経済性を考慮	して事業					/\ _LL	施設の高									AN設備
	0	がないほと	ビの水	く準にな	こってし						1点	の保	守業務委	託料で	であり、 <i>-</i>							
		の高い水	準にた	なってレ	る。						1点	な経	費となって	いる。								
	0	③外部委削減する				匚夫により、対	対象範囲·	を変える	だに事う	業費を	1点											
項						項目別点	数表	_					低	1			<u>有效</u>		7	高	1	÷
目別		香口叫上	*+ 1-	_]	項目	点	数				0	1	2 3	4	5	6	7	8~		高 達
点		項目別点 よる評価				1 必	要性	4						•			0	A			5 4	成
数に				1		2 有	かか	1	5			N						'			3	度 十
ょ		ΙA				2 1	効性	'				\geq									2	効
る評						3 達	成度	1	4			•		D				В			0	果 性
価						4 対	果性	3	4												-1 -2	低
																					-2	147
		担当課詞	平価																			
		15 J IN 16	ш	1		※上記の紀	ままた 会子	女1- 3	車 架 1 口	出調 レー	1 7	44 佐笙	トの即体	笙え合	ム松 本	선계 는	いんこぎ	τ/π.l =	⊧ - 			
		ΙA									<i>C C</i> .	IE JE X	この対応	460	W) NO DI	ייי שכו הו	(7) · O B	тшСа	^ 7 °			
		<u> </u>				※評価は、	次のA^	~ DIC 8	よりよ	9 。												
	_	TP.11:1	- + *	k + 4 1111	/± ±	+ (++++																
	_	現状にて				たは払允									de f—la							
	0	現状のま			-	1 1 4 4 4 4 +							事業を拡え	充して組								
	В	事業の進											±1.7→ 11.4ml		/ () den:	T. ~ > & &		. 71 240				
_		事業の簡											執行体制	-			±) (こよく	0 改善				
次評		事業手法											住民参加									
価	_	事業内容											その他効果	果的•郊	1 半 的 于	医の核	き討によ	る改善				
担	С					直しの検討																
当						見直しを検言		T 1v → .					対象範囲						人を検	討		
課評						!模、計画等		を検討					他の事業、	類似事	事業への	統合•	転換を	検討				
価						準化等を検	討						その他									
	D	事業の抜	本的	り見直	しを							,			1	1						
	 	廃止				統合		.]	縮小			ļ	凍結			新7	とな事	業への輔	伝換			
	*	事業廃止	の可	能性。	や廃」	とすることに	よる影響	樫 🗆	>	廃止	可能		条件が整	えば廃」	止検討可	『能		廃止	は困難	隹	その	の他
						の内容や考							D改善策等						,			
						うえで、イン トワーク機						適切	な運用・得	卡守管	理に努	めると	ともに	、万全	なセ	キュリラ	・イ対領	後を講じま
	귮	り効率的	な行	政シス	ステム	の確立や利	可便性向	可上がほ	図られ	ている。		/ 0										
	明	また、庁がめている		ØWi−	·Fi環:	境を整備し	、来庁者	19年の	サービ	ス向上	に努											
		-> < 1	U																			
	_									1						-						
						現状にて事					1	の進め	方の改善	・検討	1	C		Ě規模、				
=		庁内委 員			D	事業の抜本					廃止		統合		縮小		凍約	吉	亲	たな事	事業へ(の転換
次		評	価	,		一次評価	の内容に	こより事	≩推	進のこ	د.											
評価					説																	
Щ		╙			明																	
L	L																					
					Α	現状にて事	業を継続	続またに	は拡充	В	事業	の進め	方の改善	・検討	が必要	C	事業	ķ規模、	内容	の見直	しが必	要
最		最終評	価		D	事業の抜本					廃止		統合		縮小		凍糸	吉	彩	fたな 真	事業への	の転換
終評				, l	説	一次評価	、二次評	#恤のア	N容に	より事	耒推 進	いこと	-0									
価		∥ A																				
		<u> </u>			明																	
ш																						

令	. — — П	7 年	7 J	月 25 €	日 作成			扫:	 当課					総務課			
		業名	•	・ ページ管理	里書					<u> </u>				1.0 355 861.			
7		本方向 本方向	05		- C りが協働し	共結 可能	たまたづく	, rı		協	策コー	ľ					
施	項		03	情報発信		、コマルジロコド	なみり フヽ	. 7					去 令	久	: 例	その・	Ш
策の		 務名称	04		一ジ管理費						的 拠等	/-	4 TJ	*	נילו	2 0)	16
体	别	伤位你		ホームハ	一ク官垤貝							O 1	直 営		託	その・	Ш
系										実 方	施 法		1 五	女	Ta	70)	וש
#	ホー	ムペーシ	を運用	. 町民筌/	~ 行政情報等	堂を発信す れ	5										
事業		-, ,	C.Æ/11	5(112(1)	11 SAIR TA	1 6 7010 / 6	20										
概要																	
女	(1);	计争 (部	た 何	たが免し」	ているのか	<u>,)</u>			(2) ∓	段(どの	+ > t>	千辻 :	チ順でを	テってい	スのか)		
		民及び			, ((, 20))	•)										できるよう、	CM
		1000	371 -223						S(=)	ノテンツマス	ネージメ	ントシス	テム)を	導入し、扌		ホームペー	
事業									更新る	を行うことで	`最新情	報を提り	共してい	い る。			
の	(2) -	辛回 / 5	色まじ	のトンかり	犬熊にしたし	ν ω +ν)			1								
目的	, , .				ていただくとと		で暮らす方々	セク	1								
				提供する。		2012(& 51	C/G* (2) / //	,									
	(1)	叶朋もの	±8 +bn / ₽	けが行る心	要がある事	業か)計	2	点									
	(1)						2	+		@ * * * * * * * *	7 ~ 10 11 14	are u. n.	m.h.11.1=	and to should			4 -
					れている事業。		の事数ロン	1点	0	⑥産業振興	及び地域	以古性化(<i>ひ</i> ために、	里安な事業	<u> </u>		1点
	0		表現の確認 べき事業		活に直結した	争業で、自然	の頁務として	1点		※内部管理	運営等	の事業。	(点数対	象外)			_
		③社会的	的·経済的	弱者の生活	維持・安定のた	上めに不可欠7	な事業。	1点	(説明	月)関与の根	艮拠に関	し、内容	₿を具体	的に記入し)ます。		
		4)町の4	5性や魅っ	力を生かした!	取り組みなど、	戦略的な事業		1点	行政性	青報等を発	信する	手法とし	て、町で	で実施する	事業で	ある。	
1					るが、サービス			1点									
必		が先導・	補完する	事業。			1	一点									
要性	(2) 1			ニーズの変		計		点									
11			リ度の見正 れている		境の変化によ	って、サービス	ス内容の拡充	1点		※法令等で 地はない。(等が定め	られて、町の	の創意工	夫が入る余	_
	0	②対象者	針 、利用者	が増加する	など、町民ニー	-ズが高まって	いる。	1点	(説明	月)妥当性に	関し、	内容を具	体的に	記入します	۲.	l	
					けるため、種々	の改善を行い	、事業の効	1点								は型の情報が	
	_			きている。		Int. Profestication	-te-	****	として なって	、ホームペ ついろ	ージに。	よる行政	情報等	の発信は	欠くことの	りできないも	っのと
	0	(4)限られ	た財源の	甲にあっても	っ、実施の緊急	性、優先性は	(高い。	一点									
							_										
	(1)	成果・協	働に対	する事業σ)有効性	計	1	点									
2		①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献度	は高い。		1点	(説明	引)有効性に	こ関し、	内容を具	体的に	記入します	٠.		
有	0	②事業の)継続に〕	り、成果日晷	票(事業の意図)の向上が期:	待できる。	1点	日日 原仁 -	者が必要な							
効	Ĕ	0 1 //-	.,	. ,,,,.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	集を図る余地/	, , , , , , , , , , , , , , , ,		1点									
性		0 // (12)							-								
	(4))			意識の同上	が図られてい			1点									
	(1) j	達成度の		I	16.17	計	1	点	1						,_		
		区分		U- I= 0	指標(単位		R4実績		R5実績	į	R6実	積	R6当初計	曲
	注制]指標		指標①	公開ページ数	<u> </u>		頁		1, 05	8		1, 101		1, 152	1,	,000
	※具	体的な	舌動の	(算式)													
,	内容	1		指標②													
3				(算式)		10日 原与 かしか!							+				
達成	成甲	!指標		指標①	ホームページ	阅覧件数		件		810, 07	4	95	3, 607	4	137, 992	300,	, 000
	×٤	れだけの)成果が	(算式)													
	現れ	たか		指標②				-									
		(1) Her /+ 1	J. 1. 1. 1. 1.	(算式)	* (>±->	20/1211/06		4 1-	/=¥ =	n 4-	L FR 11-12+	+	B	南土尼华华	5/-=== ·	++	
	0				た。(達成度8			1点	TB += /	月)成果・交						ンます。 おり、担当調	且が
		②概ね其	併待した通	的の成果があ	あった。(50%) 	以上80%未満)	0点		クホームへ 作業を行う						10ツ、1旦 11 13	₹ //*
l	Ī	③成果か	3少なく今	後も向上する	5見込みがない	、(50%未満)	-1点	1								

	(1) =	事業費の推移			計	1	点							
	[2	区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R6事業費のP	内訳及び金額		単位コスト	0	一般財源額	Ą
		事 業 費	千円	573	3, 899		901		立2費用他)	0	達成度を下げず	に低下	させた	1点
	(国・道費	千円					区分	金 額		変わりない・上昇			0点
4	財源	地方債	千円					ロ / / 使用料及び賃借			確かつ具体的に 上昇している	説明で	きる	-1点
	内							料			昨年度はOS等	ニナポー	- ト終了に存	
効果	訳	その他	千円					委託料	531	説明	サーバ移行を			
性		一般財源	千円	573	3, 899		901				的な増額となっ	っている	, o.	
	(2) =	手法の効率化		1 ho - 600 Sept 101 h - 400 450	計	1	点				を具体的に記入			
	0	がないほどの水 ②現在の手法に の高い水準にた	く準にた は効率 なってい 執行方	さっている。 的な事務執行と受 いる。 法の工夫により、**	して事業費を削減 益者に対するサート 対象範囲を変えずに	ビス満足度	1点 1点 1点		情報発信ができび作業の効率の		ステムを構築し [・] 図られている。	ており、	リアルタイ	ムで
項目別点数による評価		項目別点数による評価結果		1 必 2 有 3 達	頁目 点数 要性 4 効性 1 成度 1	5	_	低 0 ⁰	少要1 2 3	生十7	有効性 5 6 7 A O	8~	高 達成度+効果性 1 0 -1 -2	
		担当課評価												
		A			果を参考に、事業 次のA~Dにより		て、	他施策との関係	等を含め総合的	視点力	から評価します。			
	Α	現状にて事業	美を継	続または拡充										
	0	現状のままで事	事業を糾					事業を拡え	売して継続					
	В	事業の進め方	うの改	善により継続										
		事業の簡素化、	、効率化	とによる改善				執行体制の	の見直し(外部委	託等)	による改善			
_		事業手法の見							等の推進による改					
次評		事業内容の一							果的•効率的手法		計による改善			
価	С			の見直しの検討	+			C *> (E)/91>	VII) WITTING	*> 100 H	111-22 2-27 12			
担				的な見直しを検討	-			社 4 4 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	の目古1 巫光孝	- 4 11 /	の見直し・導入を椅	>⇒4		
当					•				, , , , , , , , , , , , , , , , ,		7	린다		
課評				事業規模、計画等(、類似事業への紛	公台·軟	5.換を使討			
価				業費平準化等を検 	討			その他						
	D	事業の抜本的	り見直											
		廃止		統合	縮	小		凍結		新た	な事業への転換			
	*			や廃止することに		廃止す	可能		えば廃止検討可能		廃止は困算	锥	その他	
	説明	平成28年3月 アルタイムな 引き続き、リフ の更新を実施	から現情報携	を記述しています。	え方を具体的に記 さなったことで、担 且みとなっている。 さなるよう、担当課 らに、それぞれが	出当課におい 。 とに対しペー	-ジ	福島町デジタル 等を共有し、対 また、外部講師	対策の検討、改 「たよる操作説」	メージ 善を図 明会を	ション推進本部 (図っていく。 を定期的に開催	するな	ど、ホーム・	~~-
		•		A 現状にて事	業を継続または抗	t充 B	事業	の進め方の改善	・検討が必要	С	事業規模、内容	の見直	しが必要	
		庁内委員会		D 事業の抜本	的見直しの検討	⇒	廃止	統合	縮小		凍結	新たな	事業への転換	
二次		評 価		一次評価の	の内容により事業	美推進のこと	<u>L</u> 。		1 1	1	1			
評価		Α		朗										
				A 現状にて事	業を継続または抗	広充 B	事業	の進め方の改善	・検討が必要	С	事業規模、内容	の見直	[しが必要	
最		最終評価			的見直しの検討		廃止	統合	縮小		凍結	新たな	事業への転割	奐
終	ı	4人小くロー	,	一次評価、説	、二次評価の内容	字により事業	美推 道	のこと。					_	
評価		Δ		pπ										
				明										

令	和	7 年	7)	月 25	日 作成			担	当課			糸	総務課			
事	₮務	事業名	生活館	等管理費			•		<u> </u>							
	1	基本方向	05	一人ひと	りが協働し、持	続可能を	なまちづく	(1)		施策コー	ード					
施	Į	頁 目	01	協働のま	ちづくりの推進					法 的		法令	O 条 化	9]	その作	也
策の	Ę	財務名称		生活館等	管理 費					根拠等	福島	町内会	館管理条例			
体										+ +	+	直営	O 委 i	Ŧ.	その作	th.
系										実 施 方 法					())	_
事	町	内14町内	会館の管	7理委託を	町内会と契約し、	町内会館	館を適正に	維持領	管理する。							
業	ľ				*************			.,,	L . L , 40							
概要																
女	/1	\+\ <i>4</i> \-/=#	+ 17	+ +4 6 1 1.1	エ リスのか)				(2) エロ (15	·	\	エルティ		4.1		
		カリス (語 内13町内:			しているのか)				令和元年度				うっているの 今館の維持等		関する費用	11+
	μĵ	r119∺1r1:	云い日イリハ	1.19					町が負担する							114
事																
業の																
目					状態にしたいのだ		cel > 1// \//	1								
的				進を図ると Eに維持管	ともに、地域コミョ 理する。	ニニアイ沿	ち動を推進	する								
	1				-, -0											
	(1))町関与の	根拠(四	けが行う必	要がある事業か	計	3	点								
	C	① ① 法令等	節で実施か	ぶ義務付けら	れている事業。	,	_	1点	⑥産業振	興及び地	域活性化	のために	重要な事業			1点
	C)			活に直結した事業で	で、当然の	う責務として	1点	※内部名	· 理・運営等	なの重業	(占数分分	多外)			_
		町が行う	べき事業。					1.77	W. Jube	1年 连首 1	+ V + * *	(////XX//) %	*/[/			
		③社会的)•経済的	弱者の生活	維持・安定のために	不可欠な	事業。	1点	1,2,2,1,7, 12,4, 2				的に記入します	t		
		④町の特	性や魅力	フを生かした	取り組みなど、戦略	的な事業		1点	福島町町内会	会館管理系	条例によ	り管理運	営を行う。			
1					るが、サービスの確何	呆が困難	なため、町	1点								
必	Ě	が先導・	補完する													
要性	(2			ニーズの変		計	1	点	1,401.60	ta a de la La		Mark Land				
1 1 1]度の見正 れている。		境の変化によって、	サービス	.内容の拡充	1点		学で実施内 ・。(点数対		等が定め	うれて、町の創	き工夫	が入る余	_
		②対象者	f、利用者	が増加する	など、町民ニーズが	高まってい	いる。	1点	(説明)妥当	性に関し、	内容を	具体的に記	記入します。			
		③事業の	硬直化•	固定化を避り	するため、種々の改	善を行い	、事業の効	1点	・地域住民の	福祉の増	進を図る	3とともに.	、地域コミュニ	ティ	5動を推進	する
				きている。					うえで必要な							
	C	④限られ	た財源の	中にあっても	。、実施の緊急性、信	優先性は	高い。	1点	- 火日时の歴	天正/기 (〜1日	INEU CV	.,•70				
	(1) 成果・協	働に対	する事業の		計	2	点								
2	H							-	/# m \ + h	h+ 1 = 88 1	☆	日什份に言	21++			
	C		(達成する	りえぐ、自診	事業の貢献度は高	Λ,°		1点	オープ・ゲート					사내	よのお法の	48 ì.
有効	C	②事業の	継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の向]上が期待	寺できる。	1点	適正な維持管 して利用され		그리 시간	広昭が有:	別に位用され	、 地	メック文(加り)	<i>™</i>
性		③類似し	た事業と	の統合や連	携を図る余地はなV	٠.		1点								
		④町民参	*加と自治	意識の向上	が図られている。			1点								
	(1)達成度の	測定			計	1	点	•							
		区分			指標(算式	.)		単位	R4実績		R5実糸	責	R6実績		R6当初計	画
				指標①	管理している会館	数										
		動指標		(算式)				件		14		14		13		13
	※	具体的な活 突	5動の	指標②	利用回数(町主催)										
3	۲,	ъ.		(算式)				口		71		54		74		70
2去				指標①	利用者数(町主催)								_		
達成	成	果指標		(算式)				人		758		727	1,	095	1,	000
度		どれだけの)成果が	指標②	平均利用者数											
	巩	れたか		(算式)	,			人		5		13		14		20
	F) ① ## 往 :	たしょいかっ		た。(達成度80%以	F)		1点	(鉛田) 中田	. 사田 나는	支む座に	BI #5	なた日 けんしつ		± +	
								****					容を具体的に言			一冊
	<u> </u>	②概ね其	持した通	りの成果がる	あった。(50%以上8	0%未満))	0点	境の確保・維	持が図られ			-より、地域住 ・会場とした事			
	1	③成果か	少なく今	後も向上する	5見込みがない。(5	0%未満)		-1点	用者も増加し	ている。						

	(1) =	事業費の推移				計		0	点												
	[区 分	単位	R4決算額	į R5∌	·算額	R	6決算額	湏	R6	事業費の	内訳及	なび金額	Ą		単位:	コスト		0	一般則	才源額
		事 業 費	千円	2, (080	1, 280		2,	123		金額の上					達成月	度を下	げずに	低下	させた	1点
	(;	国・道費	千円							区	分	3	金 :	額	0				ている	理由を	明 0点
4	財源	地方債	千円							需用費	P		ç	996			している		KPJ C	G/9	-1点
効	内訳	その他	千円		16	20				備品則			(662		新築	した会	会館の	備品	購入に	よる増
果)	一般財源	千円	2, (064	1, 260		2,	123						説明	額。					
性	(2) =	 手法の効率化		-		計		2	点	(説明	月)手法(の効率	化に関		内容 7	を具体	的に記	記入し	ます。		
	0	①業務等の見	直しに。		考慮して事業	費を削減	成できる:	余地				に委	託して	いる	が、旅	施設を	維持	するた	めに	必要な	事業費と
		がないほどのオ ②現在の手法			と受益者に対	ナするサー	ービス満	足度	1点	なって	ている。										
	_	の高い水準に			り、対象範囲	を変えず	に事業	費を													
-	0	削減する余地は	は全くた	`\ \ ₀					1点												
١_				垣日日	川点数表						低		ιì	、亜州	- + ≉	剪効性			高		
項目				英日7	<u>リボ 奴 役 </u> 項目	点数	\$\forall T				0	1	2	3	4	5	6	7	8~	<u> </u>	高
別		項目別点数に		4																5	達
点数		よる評価結果	₹ 1	1	必要性	4	6						,				0			4	成 度
によ		A		2	有効性	2											O			2	+ 効
る]	3	達成度	1			ļ	<i>y</i>		D)				В			0	果
評価				4	効果性	2	3													-1	性
																				-2	低
		担当課評価																			
		•	1	※上記	の結果を参え	考に、事	業担当	i課とし	て、	他施策	との関係	等を含	含め総合	合的視	見点が	いら評値	西しま	きす。			
		A		※評価	は、次のA~	~Dによ	ります														
		<u> </u>	11																		
	Α	現状にて事業	業を継	続または拡	充																
	0	現状のままで事	事業を終	 送続							事業を拡	充して	継続								
	В	事業の進めた	ちの改	善により継	続																
		事業の簡素化	、効率の	とによる改善							執行体制	の見直	重し(外音	部委割	£等)(こよるさ	收善				
次		事業手法の見	直しに。	はる改善							住民参加	等の推	推進によ	る改善	髩						
評価		事業内容の一	部見直	しによる改善							その他効	果的•	効率的	手法0	検診	けによる	改善				
_	С	事業規模・内	内容等	の見直しの	検討																
担当		制度·事業内容									対象範囲							人を検	討		
課評		必要性等を再				を検討					他の事業	、類似	事業へ	の統分	合·転	換を検	討				
価		計画期間の延			を検討						その他										
	ט	事業の抜本的	り見直				会リ				本什			1.	佐上・	. ريام علاد د مالد	- ~+	- +/2			
	\ ^	廃止 事業廃止の可	·	統合	・レ/ァ トフ 甲/		縮小	廃止す	T 슈타		凍結 冬供が敷	うばば	₹ iL ₩△⇒			よ事業	,	を換 は困難		フー	n liki
	**	事業廃止の可 一次評価(担	.,						기 위스	今後 (条件が整)改善策等					d .	飛北(は四期	:	~0	D他
		平成26年度7	から平	成29年度に	実施した維持	寺保全詞	周査結	果に基									画に基	づき	整備及	び解	本を実施
	説	き、平成29年 る。	度に気	肯定した町内	会館の再編	計画に	より事	業を進	め	する。											
	明	現在、13の間	丁内会	館を管理して	ている。																
														-							
					て事業を継続			В		の進め	方の改善	・検討			С		規模、			しが必	
=		庁内委員会 評 価			抜本的見直! 平価の内容!			ŧΦ-1	廃止		統合		縮기	`		凍結		新	たな事	事業へ(D転換
次評		評 価	7		+個の内容に	こより争	未推進	重りして	•												
価		A		説																	
		<u> </u>]]	明																	
<u> </u>				Δ 18/+1-	て事業を継続	高士 たけ	·址本	D	事業/	の准め	方の改善	. 	ナがぶる	更		車拳:	相 描	内容	カ目店	しが必	亜
					抜本的見直!				事まり廃止	ル性(4)	が改善統合	1块部	すか 必須縮り		U	事 果 対 凍 結	元任、			・しか必	
最終		最終評価	_	一次評	平価、二次評					のこと								-,71			
評価		Δ		説																	
Ш]	明																	
<u></u>																					

上 <u></u> 令和	1 7 年] 7.	月 25 ほ	日 作成			担	当課		í	 総務課		
事	 孫事業名	災害対	 策費			ı		I					
	基本方向	04	生活基盤	が安定し、安	全安心に	暮らせるる	まちつ	がくり 施策	ミ コード				
施	項目	02		防体制の充実				法	60	法令	条例	0	その他
策の	財務名称		災害対策	 費				根拠	<u>**</u>	町地域防	 :災計画 外		
体系	******							実		直営	委託		その他
系									ne				
事業概要	自然災害にを整備する。	対応する	らため、防災	行政無線を中	心とした防	5災機器の	整備、	防災資材確保、防	災訓練等の	の充実を図	りながら住民の	安全な	生活環境
	(1)対象(計	差を、何	「を対象とし	しているのか)	ı			(3)手段(どのよ	うな手法、	・手順で行	行っているのか	١)	
事業の	地域の居住	者及び落	帯在者等					防災行政無線(屋 の伝達。 防災資材の確保。	外拡声器及	及び戸別受	を信機)による災	害及び	防災情報
目	(2)意図(対	象をど	のようなキ	犬態にしたいの	のか)								
的				をやかに地域住 ともに、必要な									
	(1)町関与の	根拠(8	町が行う必要	要がある事業だ	い) 計	2	点						
	〇 ①法令等	等で実施:	が義務付けら	れている事業。			1点	⑥産業振興及	び地域活性化	化のために	重要な事業		1点
		環境の確何 べき事業		活に直結した事	業で、当然の	の責務として	1点	※内部管理·道	運営等の事業	。(点数対象	象外)		_
				維持・安定のため	に不可欠な	: 事業。	1点	(説明)関与の根拠	心に関し、内	容を具体的	りに記入します。		
	Ø#Tø\4	· #由纪·州去	カた仕か』を	取り組みなど、戦	敗めか車業		1点	災害対策基本法	、地域防災	計画。			
1				取り組みなる、戦 るが、サービスの			****	1・住民の生命、財産	産を守るたる	めに防災基	甚盤整備は町の	施策と	して重要で
必		補完する		20. () C > ()	世 1/1/1 - 1/1 大正	·&/C00(P)	1点	ある。					
要	(2)社会情勢	や町民	ニーズの図	变化等	計	2	点						
性		制度の見ī っれている		境の変化によっ゛	て、サービス	内容の拡充	1点	※法令等で実 地はない。(点		去等が定め	られて、町の創意	L夫が刀	(る余 _
	②対象	皆、利用 者	<u>-</u>	など、町民ニーズ	が高まって	いる。	1点			具体的に訂	 己入します。		
				けるため、種々の	改善を行い	、事業の効	1点	災害発生時の被害	手を最小限	にするため	の防災対策は	最優先	である。
			こきている。	、実施の緊急性	- 原生州バ	声い	1点						
	U 4 10004	U/二只/(//////////////////////////////////	ア中にめつても)、天旭切茶心性	、変元性は	i	一点	1					
	(1)成果・抗	協働に対	する事業の	の有効性	計	3	点						
2	〇 ①施策	を達成する	ろうえで、当該	事業の貢献度は	高い。		1点	(説明)有効性に関	目し、内容を	具体的に訂	己入します。		
有	〇 ②事業の	り継続に。	より、成果目標	栗(事業の意図)の	つ向上が期待	寺できる。	1点	災害発生時の情報 地域住民の避難等				すること	こができ、
効 性	O ③類似1	た事業と	の統合や連打	携を図る余地はな	ない。		1点		11-1179	MIN/又(4)	⊶1 4 O		
	④町民	参加と自治	台意識の向上	が図られている。			1点]					
	(1)達成度0)測定			計	1	点	1					
	区分			指標(算	式)		単位	R4実績	R5実	績	R6実績	R6	当初計画
			指標①	屋外拡声器数			/>	99		00	0.6		22
	活動指標 ※具体的な	千動の	(算式)				台	32		32	32	'	32
	内容	D 3/107	指標②	戸別受信機			台	2, 497		2, 497	2, 497	,	2, 497
3			(算式)				H	2, 131		_, _, ,	2, 101		2, 101
達	-1: B 1: '-		指標①	情報提供可能世	世帯数		世帯	1, 918		1, 892	1, 888	3	1, 888
成度	成果指標 ※どれだけの	D成果	(算式)					, "				1	· ·
	が現れたか		指標②				-						
		_	(算式)										
	O①期待l	たとおり	の成果があっ	た。(達成度80%	5以上)		1点	アナベケ (年を中) よべく (本)					
	②概ねす	期待した追	動りの成果が お	あった。(50%以」	上80%未満))	0点	防災無線は災害 度に個別無線機を					
	③成果7	ぶ少なく 今	後も向上する	5見込みがない。	(50%未満)		-1点	手段の向上が図ら					

	(1) ≣	事業費の推移	,			計	0	点											
ŀ		区 分	単位	R4決算額	R5決	算額	R6決算		D6≢	業費の	vch =□ T	B 7 (◆)	ൊ	単位	ロス	-	0	一般則	才源額
ŀ			千円	6, 574		7, 261		8, 003		報の上				達成	度を下	・げず	こ低下	させた	
	_	国・道費	千円	,		*			区	分		金	額	へ 変わ	りない	・上昇	している	る理由を	
4	財源									/1			-	能 力			説明で	きる	
_	内	地方债	千円						委託料			•	892		してい		耐無線	の母字	 点検内額
効 果	訳	その他	千円						需用費			1,	306	だ明 によ				.v> Nr 1	W/X1 14
性		一般財源	千円	6, 574		7, 261		8, 003											
ŀ	(2) =	手法の効率化		より、経済性を考慮	して中米	計	1	点						容を具体					1.5
	0	がないほどの水 ②現在の手法に の高い水準に	(準にない)は効率になっていい執行方	さっている。 的な事務執行と受いる。 法の工夫により、対	益者に対	するサーロ	ごス満足度	1点	り、現 関 模修綿	寺点で	は機器	器の大	規模な	よる保守 :改修は					
項				項目別点	数表					低		ı	必要性	+有効(生		高		
目				Ij	頁目	点数				0	1	2	3	4 5	6	7	8 ~	<u> </u>	高
別点		項目別点数に よる評価結果		1 必	亜州	4									Α.			5	達成
数数		よる評価結束	ŧ 1	1 20	要性	4 7	,								A			4	成 度
に		Δ		2 有	効性	3	1 6		\rightarrow							0		2	+
よる		<i>,</i> ,		3 達	成度	1			V						В			1	効 果
評						1 2	2					"	-		В			0	性
価				4	果性	1												-2	低
一次評価(担当課評価)	O B C	現状のままで事 事業の進めプ 事業の簡素化、 事業手法の見 事業内容の一 事業規模・P 制度・事業内容 必要性等を再れ 計画期間の延 事業の抜本的	事業を総 方の改 、効率们 直しによ 内容等 の全面 の金面 の金面 の金面 ののる ののる ののる ののる ののる ののる ののる のの	善により継続 とによる改善 しによる改善 の見直しの検記 面的な見直しを検診 事業規模、計画等の 業費平準化等を検 しを検討	r 対 の見直しる				幸を	に民参加 対象範囲 地の事業 この他	別の見正 口等の対 助果的・	直し(外推進に、効率的直し、受	はる改善	検討によ 担の見直 ・転換を	る改善 Iし・導 検討	入を検	討		
		廃止		統合		縮	小		涉	東結			弟	rたな事業	単への	妘换			
	※ I	事業廃止の可	能性や	や廃止することに	よる影響	\$ □	廃止	可能	身	4件が整	をえば厚	廃止検	討可能		廃止	は困難	惟	その	り他
	説明	防災行政無約 の生命を守る	泉によっための 言機設	価)の内容や考える地震・大雨等の る地震・大雨等の の方法として一定 置に加え、事業 いる。	の災害情 どの成果	「報の提介を上げて	供は、地域	世帯	図ると なお、	t線シス ともに、 親局(j	マテムで 情報を 通信室	保守委 伝達の を)機器	を託料の 日本 対 日本 対 日本 経		子める。 こより、	今後	修理の		
\dashv		<u>I</u>		A 現状にて事	業を継続	または拡	充 B	事業	の進め方	の改善	・検言	対が必	要	C 事業	規模、	内容	の見直	しが必	要
_		庁内委員会		D 事業の抜本	的見直し	の検討	⇒	廃止		統合		縮	1	凍結	1	亲	fたな	事業への	D転換
二次評価		評 A		一次評価の説 明	の内容に	こより事業	美推進のご	. ځ		'	l	1	-		ı	1			
				A 現状にて事	業を継続	または拡	充 B	事業	の進めた	の改善	・検討	対が必.	要	C 事業	規模、	内容	の見直	しが必	要
晨		□ <i>4h</i> == 1=	ŀ	D 事業の抜本		-		廃止		統合		縮		凍結				事業への	
最終評価		最終評価		一次評価、 説 明	. 二次評	価の内容	客により事	業推	生のこと	.0		1 -							

令和		7 年	7)	月 25 日	日 作成			担	当課				企画課				
事	務事	業名	町内会	連合会助原	 支												
	基	本方向	05	一人ひと	りが協働し、持	続可能なる	まちづく	(1)		施策	コード						
施策	項	目	01	協働のま	ちづくりの推進					法	的	法 令	条	例	7	その他	<u>h</u>
のの	財	 络名称		町内会連	合会助成費					根拠							
体系										実	施	直営	委	託	0 4	その他	<u>h</u>
गर											法						
事	福島	町町内会	会連合会	の活動を対	友援するため助成	金を交付	する。										
業																	
概要																	
	(1) 🌣	対象(誰	を、何	を対象とし	ているのか)				(3)手段(どのよ	うな手法、	手順で	行っている	のか)			
	福島	町町内会	会連合会	₹					福島町町内	内会連合	会(28町内	会)の各	種事業(コ	ユニテ	ィ運動	事業等	})
事									に係る活動	資金を	助成してい	る。					
業																	
の目	(2) 意	意図 (対	象をど	のようなり	状態にしたいのか	N)			1								
					盤を確立し、町内				1								
					くりの推進を図ると 主民運動を推進す		域の連携	隽を									
	.				- 1,c2,, c1,m.c /	20											
	(1)田	丁関与の	根拠(四	けが行う必	要がある事業かど) 計	2	点									
		①法令等	等で実施か	ぶ義務付けら	れている事業。	-		1点	⑥産業	美振興及7	び地域活性化	上のために	重要な事業				1点
		②生活環	環境の確保	R等、町民生	活に直結した事業で	で、当然の責	務として	1点	v en t	17 AZC 1000 YO	置営等の事業	/ L: */	在 4 \				
	0	町が行う	べき事業	0				I II.	X/17	1)官"理"理	呂寺の争来	。(总数刈	家クト)				_
	0	③社会的	的·経済的	弱者の生活	維持・安定のために	不可欠な事	業。	1点					的に記入し				
		④町の特	特性や魅力	りを生かした	取り組みなど、戦略	的な事業。		1点	住民自治治立する。	舌動の中	心となる町	内会の通	ē合会組織·	へ助成し	」財政基	甚盤を	:確
1			いまる実 補完する		るが、サービスの確信	呆が困難なだ	とめ、町	1点									
必要	(2) ネ	ı		_{ザボ。} ニーズの変		計	2	点	<u> </u>								
性	(=/				境の変化によって、				※法令	う等で実施	施内容や手法	よ等が定め	られて、町の	創意工	夫が入る	余	
		が求めら	れている。	0				1点	地はな		数対象外)						_
					など、町民ニーズが			1点					記入します				
	0			固定化を避り きている。	するため、種々の改善	善を行い、事	事業の効	1点					、一人暮らる「共助」か				
	0	④限られ	た財源の	中にあっても	、実施の緊急性、値	優先性は高い	/ ¹ 0	1点	住民 声世 //	り場であ	る各町内会	の組織体	本制の充実				
									云理口云/	ノ1又 台川 4	、盆べ 里安の	こなってい	'る。				
	(1) =	+ m 1+	1511	上 7 吉米 6		=1	•	-									
		火果・協	側に対	する事業の)有郊性 ————————————————————————————————————	計	3	点	1								
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献度は高	ر ب [°]		1点					記入します		, -		,
有効	0	②事業の)継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の向]上が期待で	ごきる。	1点	町内会連合役割を担う				つくり」を目す ゾかけや情:				
性		③類似し	た事業と	の統合や連打	隽を図る余地はない	٠,		1点	において行	う政との 材	喬渡し役を	担ってい	ます。				
	0	④町民参	≩加と自治	意識の向上	が図られている。			1点									
	(1) 道	達成度の	測定			計	0	点	•								
		区分			指標(算式			単位	R4実	漬	R5実	績	R6実績	ŧ	R6当	初計回	画
				指標①	総会開催数			□		1		1		1			1
	活動	指標		(算式)				- Ш		1		1		1			1
	※具作	本的な活	動の内容	指標②	花いっぱい運動実	施団体数		□		2		2		1			2
3				(算式)				凹		4		4		1			2
達				指標①	町内会加入率			%		83. 1		81.8		80. 5		0.	1.0
成度	成果	指標 ぃだけのฅ	む里 が耳	(算式)	(連合会費納入世春	- 特数∕1月1日	日世帯数)	/0		00.1		01.0		50.0		· · ·	
12	れたが		~~'\'\'\	指標②	研修会参加者			人		10		5		12			2
		ı		(算式)						10		Ü		12			
		①期待し	たとおりの	の成果があっ	た。(達成度80%以	.上)		1点	(説明)成	果・効果	や達成度に	関し、内	容を具体的	に記入し	 ,ます。		
	0	②概ね其	期待した通	的の成果があ	あった。(50%以上8	0%未満)		0点	研修会がウ	7ェブ開イ	崔であった	ため参加	者が増加し	た。			
		③成果が	ジ少なく今	後も向上する	 5見込みがない。(5)	0%未満)		-1点	1								

	(1) }	事	業費	のŧ	隹移						計		0	点												
	[포		分		単位	R	4決算	額	R5涉	等額	F	76決算	額	R6	事業費の	内訳	及7戊余	額		単位	コスト		0	一般則	才源額
			事	業	費	千円			360		360			360		金額の上					達成	度を下	げずに	低下さ	させた	1点
	_		国•	道:	書	千円									×	分		金	額	0					理由を	(明 0点
4	財源	-	地方													· 補助及7			360			つ具体 してい		説明でき	きる	-1点
	内	-		_		千円									交付金	:			360					바다	☆ 質1/十	同額と
効果	訳		そ (千円														説明		フラマ ている		<i>、P</i> (1)(1)	(有別)	円假こ
性			一般	財	源	千円			360		360			360												
	(2)	-	法の						. In M		計		2	点		月)手法(
	0	7.	リ栗務 がない	等に	か見i ごの水	直しに く準にフ	より、社 なってい	೬済性 いる。	を考慮	して事業	費を削減	灰できる	余地	1点		プラン以 千円)を!				円かり	510%	減額	した3	15千円	り、コミ	ユニティ
		(2)現在	<u>の</u> =	手法に		的な事		行と受	益者に対	ナするサー	ービス清	肯足度	1点), 10	111/6	71110		.avo							
	0	(3)外部	委	託や	執行力	法の	工夫に	より、対	 象範囲	を変えず	に事業	費を	1点												
	Ŭ	É	削減す	る分	☆地 (は全くだ	\$1./°							- 711.												
75								項目	別点	数表						低			必要怕	生十者		Ė		高		
月日										頁目	点数	汝				0	1	2	3	4	5	6	7	8~		高
別			目別					<u> </u>				_													5	達
点数		7	る評	価	治 果	ŧ 1		1	业	要性	4	7										A			4	成 度
に			1	Δ				2	有	効性	3												0		3	+
よる		L		•				3	達	成度			_	- 1											1	効 果
評								_				2					- 1					В			0	性
一価								4	幼	果性	2														-2	低
		=	担当詞	果語	平価																					
		I		٨				※上	記の結	果を参え	考に、事	業担当	は課とし	て、	他施策	との関係	等を	含め約	総合的:	視点が	ら評	価しま	す。			
		L		_				※評	価は、	次のA^	-Dによ	ります	۲.													
	Α	玛	現状に	て	事業	美を継	続ま	たは	拡充																	
	0	Ę	見状の	まま	まで事	事業を終	継続									事業を拡	充して	て継続								
	В	事	業の	進	めた	ちのさ	善に	より	継続																	
		E	事業の	簡	素化、	、効率	化によ	る改善								執行体制	の見	直し(タ	小部委	託等)(によるi	改善				
一次		1	事業手	法	の見i	直しに	よる改	善善善								住民参加	等の	推進に	よる改	善善善						
評		1	事業内	容	の一番	部見直	にによ	る改善								その他効	果的	効率的	的手法	の検診	けによる	5改善				
価	С	耳	事業規	模	. p	内容等	の見	直し	の検討																	
担		H	訓度・1	1	* 内容	s の全i	面的な	見直し	~を検診	†						対象範囲	の見	直し、	受益者	負担の)見直	し・導え	人を検	計		
当課		+								· ひ見直し	を検討					他の事業										
評		+							等を検		C IXH1					その他	7940	7.7.	-> ///-	, п	11/1/20	×41				
価	_	T.		_		9見直				11						C 4> E										
	Ë	Ť	発止	·IX	·40	1 元 垣	- C- Z	使 統合			6	宿小				凍結				空かし	で車条	への軋	- ′			
		Ι.		ıL.	æ = r	'산다.사나	\$₩.			トプ見公			j∜ d. 1	可色		保石 条件が整	ニュルギ	対にか	카루쓰	L	ょ尹禾	Ţ			7. /	D. liki
	**	÷								よる影響			廃止	-1 HF	Δ ¹ /4 ·			- 0			<u></u>	疣工	は困難		~(の他
										え方を具 す当町				を担		の改善策等 化等によ						生が言	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゠゙゙゙゙゙ヾ゙	ていス	ナトカン	町民と行
	説	2	組織	で	あり、	活動									政の	喬渡し役	を担	う重要	Eな組	織でも	あるた	め、今	後も	舌動を	支援	していく。
		5	と考え	て	いる。	0										で役員の ている。		化が	進むロ	中で、	役員の	のなり	手不足	己が各	町内:	会で課題
	明														C'& -	· / A .@70										
-		1					٨	担仆	にです	業を継ん	毒士 +- 1→	・サム	P	車 类 /	カギャ	方の改善	- 44	計がで	ル声		車 樂	担坩	内穴/	カ目本	しが必	一
															· / (E (X)		1天			U	1					
=			庁内 評	委員	会価		٦			的見直し の内容に				廃止		統合		稲	小		凍結		新	にな事	₹^(の転換
次評		F	яT		Щ	ī	= ⊬	- 0	νа⊤ ΙШ Ч	ンドコ仕し	- みり手	木准儿	<u>=</u>	-0												
価				Δ			説																			
		L		1			明																			
																				ı						
		_								業を継続					の進め	方の改善	・検			С					しが必	
最			最終	評	価		D			的見直				廃止 * 堆 淮	m-1	統合		縮	小		凍結		新	たな事	業への	の転換
終評		F		_	-	ī	説	一办	、市十1四、	炎計	-	合l-d	トツ手き	卡推進	ے رہ	-0										
価			A	7																						
		L				IJ	明																			
								1																		

令和	1	7 年	7	月 25	日 作成			担	当課			1	と画課 と画課			
事	務	事業名	文書広	報費			•		I							
	基	本方向	05	一人ひと	りが協働し、持	続可能	なまちづく	. IJ	Ж	・ 策コート	:					
施	IJ		04	情報発信	 の充実				:=	的	ž	去 令	条	例	O その	他
策の	B:	*************************************		文書広報						Thu 44		集発行	1 1			-
体	7.	יניף בו-נגניו.		Λ E Δ TK	<u> </u>				_	<u>_</u>	- 1 1 2 1 1 1		委	缸	その	4th
系												2 🛎	女	пь	(0)	iii.
_	118	広報誌を発	を行する							<i>-</i>						
事業	μј /.	ム邦を心です	F11 9 (2)	D												
概																
要									1							
			を、何	を対象とし	しているのか)				(3) 手段 (どの				_			
	町	モ							町民に向けて、	仏報ふくし	まを食	母月Ⅰ回犭	を行している	5.		
事																
業の																
目	(2)	意図(対	象をど	のようなキ	犬態にしたいのカ	(ינ										
的					事や各種行事な 「報誌づくりに努る		设提供・発信	きを行								
	۷٠,	2174-0-6	9 入形し	or 1 9 V 1/12	スキK型の、コイカ(こう5)	() (J ₀)										
	(1)	町関与の	根拠(四	けが行う必	要がある事業か) 計	2	点								
	0	①法令等	節で実施だ	ぶ義務付けら	れている事業。		2	1点	⑥産業振興	及び地域	舌性化の	のために重	重要な事業			1点
		②生活環	環境の確保	呆等、町民生	活に直結した事業	で、当然の	の責務として	1.1	V da → 70 / 42 / 13	T TENSON	中 ***	(上米····································	is (#1.)			
	0	町が行う	べき事業	0				1点	※内部管理	*連呂寺の	争来。	(尽数对等	₹ <i>%</i> ト)			_
		③社会的	的•経済的	弱者の生活	維持・安定のために	不可欠な	3事業。	1点	(説明)関与の	根拠に関し	、内容	『を具体的	りに記入しま	きす。		
		④町の特	f性や魅っ	りを生かした	取り組みなど、戦略	的な事業	0	1点	広報編集発行規	見程により	毎月1	回発行が	ぶ規定されて	こいる。		
1		⑤民間等	まによる実	施が望まれ	るが、サービスの確	呆が困難	なため、町	1点								
必			補完する				ì									
要性	(2)			ニーズの茤		計	1	点								
11			度の見正 れている		境の変化によって、	サービス	内容の拡充	1点	※法令等で 地はない。			等が定めら	られて、町の倉	削意工力	たが入る余	_
					 など、町民ニーズが	高まって	いる。	1点				体的に記	 己入します。			
		③事業の)硬直化・	固定化を避り	けるため、種々の改	善を行い	、事業の効	1.1	町民への情報提					5用がる	あるが、全で	ての
		果が顕著	手になって	きている。				1点	町民が閲覧でき							
	0	④限られ	た財源の	中にあっても	、実施の緊急性、	憂先性は	高い。	1点	である。							
	(1)	成里。拉	働に対	 する事業 <i>0</i>)有効性	計	3	点								
2		1				-			/=×nn > + ++++	-881 -		3 / + ^ <i>b</i> ! - =	771++			
	0	①触束を	(達成する	りえで、自診	事業の貢献度は高	۰٬ ۱۷		1点	(説明)有効性 町より行政の情					<u>∸ 1.28</u>	Mc by	
有効		②事業の	継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の向	可上が期行	寺できる。	1点	m] より1] 収 V /) 目	和证决寺	を11ン		に氏息畝の	nj///-	凶り412。	
性	0	③類似し	た事業と	の統合や連	携を図る余地はない	, ,		1点								
	0	④町民参	≩加と自治	意識の向上	が図られている。			1点								
	(1)	達成度の	測定			計	1	点	I .							
		区分			指標(算式	t)		単位	R4実績		R5実績		R6実績		R6当初計	画
				指標①	町広報誌の発行回	可数										
	汗記	動指標		(算式)				□		12		12		12		12
		あった。 【体的な活』	動の内容	指標②	町広報発行部数											
3				(算式)				部	2, 25	50		2, 200	2	2, 150	2,	, 150
\ +				指標①	発行ページ数			0								
達成	成旦	果指標		(算式)				ページ	28	38		310		316		288
度	×٤	れだけの月	成果が現	指標②	広報配布世帯数											
	れ <i>†</i> :	יוו		(算式)	/ATKELTI 巴市 刻			世帯	1, 96	66	:	1,922	1	, 892	1,	, 892
	<u> </u>	① ### /± ·	4-1bs10		た (注土中2007)	1.1.\		4 -	/54 m \ -k m -	ᇪᄪᆹᆂᆣ	ф:-P	B1 4-	7	- 27 7 .	++	
	0				た。(達成度80%じ			1点								
		②概ね其	月待した 通	りの成果がる	あった。(50%以上8	0%未満)	0点	月1回広報誌を	元11 9 るく	_C1/Ld	、ソ、川戸報	いつびにけたかれ	14ンなし	(v . の。	
		③成果か	ぶ少なく今	後も向上する	5見込みがない。(5	0%未満))	-1点	1							

	(1) 🗐	事業費の推移				計	0	点												
	[区 分	単位	R4決算額	R5決算	額	R6決算	額	R6	事業費の	内訳及	び金	額		単位=	コスト		0	一般則	計源額
		事 業 費	千円	2, 238	2	2, 424		2,664		金額の上						を下げ				1点
	。 財	国・道費	千円						区	分	3	金	額	0		ない・上 り具体的				明 0点
4	源	地方債	千円						需用す	B.		2,	624			ている	у (— цо ц)	,,		-1点
効	内訳	その他	千円	60	1	350		390						= 4 00		高騰に	伴いに	印刷	単価カ	が増加して
果性)	一般財源	千円	2, 178	2	2, 074		2, 274						說明	いる。					
'-	(2) =	手法の効率化				計	2	点		月)手法(
	0	がないほどの水 ②現在の手法に の高い水準に	k準にた は効率 なってい 執行方	的な事務執行と いる。 法の工夫により、	受益者に対す	るサービ	ス満足度		してい 伝える	削減のた いる。また ることに多	_、町月	見に影	きみや	チラジ	シを極か	力控え め文字	、広報を大き	设誌/	〜 の掲 、分か	載を優先 りやすく
				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- *L ±					/ 庄			Дат. (с.	# ı -	╘┼┼			÷		
項目				項目別点	項目	点数	7			低 0	1	2	<u>少安1</u> 3	王十年 4	<u> 5</u>	6		高 ~		高
別		項目別点数に					4												5	達
点数		よる評価結果	1	1 4	必要性	3 6					0					A			4	成 度
によ		Δ		2	有効性	3	1 1									0			2	(十 効
る				3	達成度	1			ν		D	1				В			1 0	果
評価				4	効果性	2 3													-1	性
"					333K1I	_													-2	低
				※評価は 続または拡充	結果を参考に 、次のA~D			して、	他施策				合的有	現点か	いら評価	近します	r.			
	0	現状のままで事		-						事業を拡	充して	継続								
	В	事業の進めた	ちの改	善により継続					1											
_		事業の簡素化	、効率化	とによる改善						執行体制					による改	養				
次		事業手法の見								住民参加				_						
評価		事業内容の一								その他効	果的,	効率的	り手法	の検託	付による	改善				
担	С	1		の見直しの検						対象範囲	10 H #	e1 st	7 14 1 4.	Δ. Iπ α	0.8 = 1	296 T 4	1 = V4 4			
当				面的な見直しを検 事業規模、計画等		5- 3-1				対象配歴		, ,			/		ど使訂			
課評				業費平準化等を		Kel				その他	:、炽火	尹禾"	~V 7 NYL	口、松	41央で1央	ъJ				
価	D	事業の抜本的			英 自1					CONE										
	_	廃止	リノレロ	統合		縮月	`			凍結				新たた	な事業~	への転換	奂			
	*	.1	能性な	や廃止すること	による影響	⇒		可能		条件が整	えば廃	上検	討可能		.,	廃止は			その)他
		1	.,	価)の内容や表		-	します。		今後0)改善策										
	説明	ページにおい	って広	つとして重要な報を閲覧できる報誌による情報	が、全ての	町民が同	閲覧でき				言の手!	段とし	て、道	束やカ	いて、ケ	うかりぐ	らすく、	見~	やすい	広報の発
		•		A 現状にて	事業を継続ま	たは拡	充 B	事業	の進め	方の改善	・検討	が必	要	С	事業規	模、内	容の	見直	しが必	要
_		庁内委員会		D 事業の抜	本的見直しの)検討	⇒	廃止		統合		縮	小		凍結		新た	な事	業へ0	D転換
次		評 価		一次評価	5の内容によ	り事業	推進のこ	.خ.							•					
評価		Α		明																
				A 現状にて	事業を継続ま	たは拡	充 B	事業	の進め	方の改善	検討	が必	要	С	事業規	模、内	容の	見直	しが必	要
最		最終評価		D 事業の抜				廃止		統合		縮	小		凍結		新た	:な事	業へ0	D転換
終評			7	一次評価 説	5、二次評価	の内容	により事	莱推 追	೬のこと	-0										
価		A		明																
Ь																				

令和	fo :	7 年	7	月 25 1	日 作成			担:	当課				企画課			
	- 事務事			と応援基金			<u> </u>									
_		本 本方向	05		りが協働し、	持続 可能	たまちづく	, rl		施等	<u></u>					
施	項	目	05	行財政運		שא ניי שעוי ניינ	.66.77	. ,				法令	,	条例	0 7	の他
策の		四四 務名称	00		らの推進 応援基金運営	费				法 根拠		/A		* M	0 10	07 IE
体	7711	ואר בר מו		3.9000	心波坐业连占	<u> </u>					悔(直営		 委 託	2	の他
系											施法	/ <u>E</u> E		女儿	C	07 IE
事	町夕	外からの	ふるさと	┃ 応援基金(.	ふるさと納税) き	・募集し、	寄附に対す	るおネ	しとして	返礼品を贈	呈する。					
業																
概要																
X	(1) ±	:+ 4 9: (3 44	た 何	た 対会 レー	しているのか)				(2) ∓	段(どのよ	ふか手 に	: 千順7	そってし	1.るのか)		
		るさと納利			Z C U ** 3 U Z Z Z Z					さと納税専用					集している	5。
١.		2	213113						応募の	の際に希望さ						
事業									る。							
の	(2) 존	돌國 (청	会えじ	のトンかり	大熊にしたいの	141)										
目的	. ,				と返礼品となっ		産品を町外	~PR								
					の確保を目指す		ZHH C 171									
	(1) FR	T関与の	根拠 (1	〒が行う必	要がある事業	か) 計	2	点								
	(1)				れている事業。	У ДТ		1点	0	⑥産業振興及	7 K HIN HER VIT.	ナルのため	ァ舌面かす	r ***		1点
					活に直結した事	生で 当鉄	の害怒り て							*未		1 ///
		町が行う			伯に思加したず	未し、日然の	の貝切として	1点		※内部管理・道	重営等の事	業。(点数)	付象外)			_
		③社会的	的•経済的	弱者の生活	維持・安定のため	に不可欠力	な事業。	1点	(説明	用) 関与の根拠	処に関し、	内容を具	本的に記え	しします。		
	0	④町の料	対性や魅力	力を生かした	取り組みなど、戦	略的な事業	€.	1点	町への	の寄附に対す	る対価と	して実施	する事業。			
1		⑤民間等	まによる実	施が望まれる	るが、サービスの ³	確保が困難	なため、町	1点								
必			補完する													
要性	(2) 社			ニーズの変		計	2	点								. 1
'-	0	①国の制 が求めら			境の変化によっ	て、サービス	ス内容の拡充	1点		※法令等で実 地はない。(点		+法等が定	められて、ほ	町の創意工	夫が入る名	È _
		②対象者	f、利用者	が増加する	など、町民ニース	が高まって	いる。	1点	(説明	月)妥当性に関	員し、内容	を具体的	こ記入しま	きす 。		
					けるため、種々の	改善を行い	、事業の効	1点	町民口	句けの制度で	ごはないも	のの、町を	卜 からの注	注目度が高	い事業で	である。
	0			きている。	、実施の緊急性	原生州14	- 声1.)	1点								
		(F) (F) (F)	7CH10KV	7 ((((((((((((((((((()、天爬り糸心は	、一変ノレコエドよ	·回v .º	- I M								
	(1) 原	は果・協	働に対	する事業の)有効性	計	3	点								
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献度に	高い。	_	1点	(説明	用)有効性に関	目し、内容	を具体的	こ記入しま	きす 。		
有	0	②事業の	継続によ	にり、成果目標	票(事業の意図)の	向上が期待	待できる。	1点		金を募集する		いて、町	や特産品	のPRが図	うれるとと	もに、
効性	0	③類似し	た事業と	の統合や連	秀を図る余地はた	2V %		1点	,	の確保が図ら	れる。					
'-		④町民参	かと自治	意識の向上	が図られている。			1点								
	(1) ដ	産成度の				計	0	点								
		区分			指標(算			単位		R4実績	RS	実績	R6	実績	R6当社	刃計画
				指標①	掲載ポータルサ			<u> </u>								
	江新	指標		(算式)				件		3		7		9		7
		拍标 体的な活動	動の内容	指標②												
3				(算式)												
達				指標①	寄附件数(件)											
成	成果	指標		(算式)				件		4, 146		3, 835		3, 168		4,000
度	※どれ れたか	れだけの原 か	戊果が現	指標②	寄附金額											
				(算式)				千円		56, 392		49, 916		44, 528		70,000
		①期待し	たとおりの	」 の成果があっ	た。(達成度80%	以上)		1点	(説明	月)成果・効り		に関し、	内容を具体	*的に記入	┸ します。	
	0				あった。(50%以_		·)	0点		した予算額(7						った。
	Ť				5月込みがない。			-1点	-							

	(1) 🖣	事業費の推移			計	0	点									
	[2	⊠ 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R6	事業費の内	対訳及び	金額	0	単位コスト		一般財	計源額
		事 業 費	千円	24, 345	25, 112	19	, 722	(金額の上位	2 費用	1他)		達成度を下げて	ずに低下	させた	1点
	<u> </u>	国・道費	千円					Z	分	金	額	0	変わりない・上確かつ具体的			明 0点
4	財 源	地方債	千円					委託	 탁		15, 141		上昇している	(-100-91 C	<u> </u>	-1点
効	内訳	その他	千円	24, 345	25, 112	1	8, 677	使用制	斗及び賃借	•	3, 497		寄付額が昨年	度より減っ	たため	事業費も減
果	<u> </u>	一般財源	千円				1,045	科				説明	少している。			
性	(2) =	手法の効率化			計	2	点	(説明	明)手法の	効率化	に関し、	内容	<u> </u> を具体的に記 <i>]</i>	します。	,	
	0				して事業費を削減	できる余地	1点						経費割合の川	レールが	あるたと	め、経費
	0		は効率的	的な事務執行と受	益者に対するサー	ビス満足度	1点		減等は常り	に検討	している	00				
		の高い水準にな			†象範囲を変えずに	事業費を										
		削減する余地に	全くな	<i>۱</i> ′۰			1点									
				话口则占领	₩≢				低		心面	⊮⊥≉	可効性	눔		
項目				項目別点数	数数 頁目 点数				0	1 2		4		高 7 8~	1	高
別		項目別点数に				_									5	達
点数		よる評価結果		1 必	要性 4	7				C			A .		4	成 度
に		ΙΔΙ		2 有	効性 3			$\overline{}$						0	2	+
よる				3 達	成度			V					В		1	効 果
評				4 効		2				D			В		0	性
価				4 🔀	果性 2										-2	低
		±0 v ==== /=														
		担当課評価	1	W 1 = 7 co 6+		k+n 1/ === 1	_	//L 44- A4		** *		10 F /				
		A			果を参考に、事業		٠ (, ا	他他束	[との関係=	寺を召び)総合的	倪県刀	`ら評価します	0		
		※評価は、次のA~Dによります。														
	Α	見状にて事業を継続または拡充														
			こて事業を継続または拡充 ままで事業を継続 事業を拡充して継続													
		事業の進め方		-					尹未で1仏刀	じして附近	P)C					
		事業の簡素化、							執行体制0	の目直1	(从如禾	む笙)	アトス改善			
l –		事業手法の見画							住民参加等				による以告			
次評		事業内容の一部											けによる改善			
価	С			<u></u>	+				CVIEWA	KH1.301-	+477-42	.マン1火巾	ルーキの改品			
担				的な見直しを検討	-				対免統国(の目直1	巫 大 老	· 白扣a)見直し・導入を	· 給 計		
当				事業規模、計画等の					他の事業、					15(1)		
課評				************************************					その他	ARIO T	A 42/101	u ц.	10001001			
価	D	事業の抜本的			11				CANIE							
		廃止	, , o i e	統合	縮	·····································			凍結			新たれ	よ事業への転換			
	*		能性や	P廃止することに		廃止	可能	·	条件が整え	とば廃止	検討可能		廃止は図		その)他
					え方を具体的に記	-		今後(の改善策等							
					効果的であり、関								遵守するため			
	説			「いる。また、財源 実施していく必	原の確保策として 要がある。	も有効であ	っるた						ろめる。また、行 食討を行う。	寄付額埠	加のた	とめに事
	明	7 (1)	,,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	200			714 11	a.c.,,,,,,	11-2			XF121170			
				A 現状にて事	業を継続または扱	t 充 B	事業	の進め	方の改善・			С	事業規模、内	容の見直	[しが必	要
=		庁内委員会 ****			的見直しの検討		廃止		統合		縮小		凍結	新たな	事業への	D転換
次評		評価	,		の内容により事業	€推進のこ	ے،									
一一一一		Δ		説												
				明												
					alle a second of the second			- ***		14 - :	A 5. ==					_
					業を継続または扱 的見直しの検討		事業		方の改善・ 統合		が要 縮小	С	事業規模、内凍結	容の見直新たな		
最終		最終評価			的見直しの検討 二次評価の内容						44日、11、		水 和	刺には	尹未へ ().	/#41突
評		Λ]	説												
価		A		明												
			-													

令和	1	7 年	7)	月 25 日	日 作成			担	当課				企画課			
事	務	事業名	産業活	性化サポー	ート事業費		ı		ı							
	砉	本方向	01	産業を活	性化し、地域:	資源を生た	かすまちつ	うくり		施策	コード					
施	IJ	[目	05	就労・創	業支援の充実						id I	法 令	条	例	0 70	の他
策の	貝	務名称		産業活性を	化サポート事	業費				根拠等	·/-	 活性化も	ーーーー ナポート事業	業補助3	金交付要	綱
体系										実が	<u>4</u> 0	直営	委	託	そ (の他
ボ										方:						
事	褔	島町に住	:所を有゛	L する個人や	団体に対し、打	支術取得研	F修や地場	産品る	を活用した新	「商品の	開発などに	こ対し助用	戊する。			
業																
概要																
	(1)	対象(誰	を、何	 を対象とし	ているのか)				(3)手段(どのよう	うな手法、	手順で	行っている	のか)		
	Ħ	「内に住剤	を有する	る個人、団	体、事業者、法	人、NPO	法人 など					察、地場層	産品を活用し	_た商品	品開発など	ごに対
事									して助成金	を父付っ	デ る。					
業																
の目	(2)	意図(対	象をどの	のような状	状態にしたいσ)か)			1							
的	文	象者が産	業の振	興につなが	ぶる活動を積極!	的に行う状	態を目指す	す。	1							
	(1)	町関与の	根拠(田	けが行う必	要がある事業を	か) 計	1	点								
		①法令等	穿で実施だ	ぶ義務付けら	っれている事業。	-		1点	〇 ⑥産業	美振興及て	が地域活性	化のために	工重要な事業			1点
					活に直結した事	業で、当然の	の責務とし	1点	※内音	『管理・運	営等の事業	生。(点数文	計象外)			_
			からべき事		維持・安定のため	ちに 不可欠す	っ 主 来	1点					的に記入し	± /		
									产类坛邸 /				事業に対して		音欲の	向上
1					取り組みなど、戦			1点	を図ることだ			P4-77-117-	FRICA, U	C 193711X.C	ン、 心 (I)(v)	11-17-
			学による実 補完する		るが、サービスの	催保か困難	がなため、町	1点								
必要	(2)	社会情勢	や町民	ニーズの変	定化等	計	1	点								
性					環境の変化によっ	て、サービス	ス内容の拡	1点				法等が定め	かられて、町の	創意工	夫が入る分	÷ _
			られてい		など、町民ニース	でが言せって	1.17	1点	1	い。(点数		こ目はめに	記入します。			
					けるため、種々の				曲出える						出待できる	<u>`</u>
				きている。	T) Wices (191	9406111	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1点	93/4/X E 13 /		土木瓜六	C 3,4%		T10% >	A11.1 C.C.	00
	С	④限られ	た財源の	中にあって	も、実施の緊急性	:、優先性は	高い。	1点								
	(1)	成果・協	働に対	する事業σ)有効性	計	2	点								
2	С	①施策を	を成する	らうさで 当該	変事業の貢献度に	t高い		1点	(説明) 有	効性に関	. 内容を	・具体的に	記入します。			
有	С				票(事業の意図)の		注 できる	1点	産業振興に						よ特産品(の開発
効					携を図る余地は		14 (6.2%		や販路の拡	太大につ	ながると期	付される	'o			
性		0 // 112 / 1						1点								
	(4)			お思識の同上	上が図られている。	-	-	1点								
	(1)	達成度の		<u> </u>	15.1± /45	計	1	点	I 544	+	DE-	*	D 0 6-1	_	Dout to	-1
		区分		指標①	指標(算周知実施回数	.工)		単位	R4実紀	頁	R5実	·頼	R6実績	Į	R6当初	計画
	汗	動指標		(算式)	同却夫肔凹叙			回		1		1		1		1
	ΧĮ	は体的な活	動の内	指標②												
3	容			(算式)												
	\vdash			指標①	補助件数											
達成	成.	果指標		(算式)	1111-74 1 2/A			件		1		3		2		1
度		れだけの	成果が現	指標②	補助金額											
	., 57	_,,		(算式)	,			千円		500		796		600		500
	С	①期待1	たとおりの		 た。 (達成度80%	6以上)		1点	(説明) 成	果・効果	や達成度に	関し、内	容を具体的に	こ記入し	,ます。	
	Ĕ				あった。(50%以.)	0点	昨年度より							助制度
					る見込みがない。			-1点	が活用され	た。						

	(1) 📱	事業費の推移			計	0	点					
	[区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R6事業費σ	内訳及び金額	0	単位コスト	一般財源額
		事業費	千円	500	796		600		-位2費用他)		達成度を下げずり	こ低下させた 1点
		国・道費	千円					区分	金 額	0	変わりない・上昇し	ている理由を明 0点
4	財							負担金補助及	71	↓	確かつ具体的に記	兄明できる
4	源内	地方债	千円					交付金	600)	上昇している	-1点
効 果	訳	その他	千円	500	79	6	600			章党 86	申請件数、補助	対象事業の内容に
果 性)	一般財源	千円							נפיטעו	より間域が主じ	⊅ 0
1	(2) =	手法の効率化			計	2	点	(説明)手法	の効率化に関し、	内容	を具体的に記入し	ます。
				より、経済性を考慮	意して事業費を削	域できる余地	1点	補助対象者の	の実績に基づき	補助金	金額が決定される) ₀
	0	がないほどのオ ②現在の手法	は効率	ょっしゃ。 的な事務執行と受	益者に対するサ	ービス満足勇	5 1点					
	_	の高い水準に		いる。 法の工夫により、	対免鉱田な亦うす	『に重業费な		1				
	0	削減する余地に			47	にず未貝で	1点					
項				項目別点	数表	ī		<u>低</u>	<u>必要</u>	性 + 7	<u>有効性</u> │ 5 │ 6 │ 7	高 8~ 高
目		ᅚᄀᄆᇚᆂᄴᄱ	_	J	項目 点数	攵		0	1 2 3	4	5 6 7	, ,
別点		項目別点数に よる評価結果		1 <u>1</u>	要性 2				C		A	達 成
数		0. Oli miliani	ìl			4		. –		0		度 2
によ		ΙA		2 有	「効性 2			\Rightarrow		Ľ		2 交h
る				3 達	成度 1			<u> </u>	D		В	- 果
評価				4 対	1果性 2	3						-1 1生
ТШ				7 %	J末日 2							
		担当課評価	a									
				※上記の結	果を参考に、事	業担当課と	して、	他施策との関係	系等を含め総合的	視点な	から評価します。	
				※評価は、	次のA~Dによ	ります。						
	Α	現状にて事業	美を継	続または拡充								
	0	現状のままで事	事業を終	迷続				事業を拡	太充して継続			
	В	事業の進め方	うの改	善により継続								
		事業の簡素化	、効率位	 化による改善				執行体制	制の見直し(外部委	託等))による改善	
_		事業手法の見	直しに	よる改善				住民参加	加等の推進による3	女善		
次評		事業内容の一	-						助果的•効率的手法		計による改善	
価	С		-	の見直しの検言	1			C 1 10//	3,1,1,0,0,0,0	-, -	,,, o. a y ()	
担	_			面的な見直しを検	•			対免約 B	田の目直1 巫犬夫	全 台 扣	の見直し・導入を検	±±+
当				事業規模、計画等	• •				単、類似事業へのA			:43
課評									R、規以爭未、V/7	ус. — ° ¥	四揆 位 快 门	
価				業費平準化等を検	(計)			その他				
	D	事業の抜本的	9見 直									
	ļ	廃止		統合		宿小		凍結			な事業への転換	
	*			や廃止することに		-	可能	条件が動	整えば廃止検討可	能	廃止は困難	その他
				価)の内容や考え					等を具体的に記え			T/D/4) - 49.0
	=14			「商品の開発、販 」に難しいことが				補助金の積	極的活用が進む	よう、	事業の周知と活力	† 促進に努める。
	説			要な事業である。			-					
	明											
						1						
				A 現状にて事	業を継続または	拡充 B	事業	の進め方の改善	・検討が必要	С	事業規模、内容(の見直しが必要
_		庁内委員会			的見直しの検討		廃止	統合	縮小		凍結 新	たな事業への転換
次		評 価	_ [一次評価	の内容により事	業推進のこ	۔ ع					
評		^		説								
価		A		明								
			<u> </u>									
				A 現状にて事	業を継続または	拡充 B	事業	の進め方の改善	・検討が必要	С	事業規模、内容の	の見直しが必要
是		□ 45 = 7 1 =	ľ		的見直しの検討		廃止	統合				たな事業への転換
最終		最終評価	_		、二次評価の内	容により事	業推議	進のこと。	1 1	.1		
評		Λ		説								
価				明								
			•									

令和	· <u> </u>	- 7	月 17	日 作成			担当	当課			企画課			
	<u>- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·</u>	1	合所管理			<u> </u>		H/N			THE			
H	基本方向	04		<u>₹</u> が安定し、安全	安心に草	らせるコ	きたづ	() I	施策コ	ı — Ķ				
施	項目	05	生活基盤		X-U-IC-G	- J E 0 0	.,,,,)+ <i>2</i>	÷	 条 例	その	佃
策の	財務名称	- 00	バス待合						法 的 根拠等			* 173	()	
体	R1 13 14 14		7 7 19 1	川日社員					- 4-	直道	f O	 委 託	その	曲
系									実 施 方 法			X II.	(0)	165
事	町管理の各	バス待合	」 所(福島、	吉岡、白符、高校	前、千軒)	の維持領	理。							
業	※白符、千					. //								
概要														
女	(1) 計争 (=	# 去. 点	たが色し」	しているのか)				(2) 壬卯 (じ	のとさ	な手法、手順 ⁻	5年って!	スのか)		
	唯一の公共									はテム、テ順 月耗品購入、光熱				
		X ~ 1% 1X	, COS OPENS	1 1/11 11						保のための清掃			住民への委	き託)
事業														
の	(2) 辛國 (+	+色 た じ	のトンかり	犬熊にしたいの!	55.)									
目的	· / ··• · · ·			大窓にしたいのが 大適な利用環境を		<u>, </u>		-						
	WE #X 12 /4	04/12/17/17	·±(=0()()	, (AE 0. 1/11 × (AE)	2 1 1 1 1 1	,0								
	(1) 肝思与の	7相和 (6	中が行う心	要がある事業か) 計	2	点							
					/ 1			@**#F	GB T7 ~ 10 1	11-1-27 HL /1-02-12	に手悪いま	ᅫᄼ		1.1-
				れている事業。 活に直結した事業	マ ルサルコ	主労し1 イ	1点	り圧業仮	興及い	地域活性化のため	に里安な事	·美 		1点
		^{泉境の確1} うべき事業		伯に国和した事未	で、自然の身	貝伤として	1点	※内部管	理・運営	等の事業。(点数	対象外)			-
	③社会	的•経済的	弱者の生活	維持・安定のために	不可欠な事	事業。	1点	(説明) 関与の)根拠に	関し、内容を具	体的に記入	.します。		
	④町の	特性や魅力	力を生かした	取り組みなど、戦略	的な事業。		1点	路線バス利用	者の利	便性向上のたぬ	に町が整	備した施記	殳である。	
1	〇 ⑤民間	等による実	施が望まれ	るが、サービスの確	保が困難な	ため、町	1点							
必	か先導	・補完する												
要性	(2)社会情勢				計	2	点	I was a sta						
		制度の見ī られている		境の変化によって、	サービス内	羽容の拡充	1点	※法令等 地はない。		内容や手法等が定 対象外)	'められて、"	丁の創意工:	夫が入る余	-
	O ②対象	者、利用者	が増加する	など、町民ニーズが	高まってい	る。	1点	(説明)妥当性	生に関し	/、内容を具体的	に記入しま	す。	•	•
				けるため、種々の改	善を行い、	事業の効	1点			影響により、路線				
		著になって 1 た 財酒 σ		、実施の緊急性、	裏生州 け草	LA	1点	としま 本ふさか		、自家用車から いら、路線バス利				
		U/二州(MKV.	7 T (Ca) 7 C t)、天旭の糸心は、	変儿 江(よ同	v .	1 ///	持する必要が						
	(1)成果・‡	協働に対	する事業の)有効性	計	2	点							
2	①施策	を達成する	らえで、当該	事業の貢献度は高	آلا /،		1点	(説明)有効性	生に関し	/、内容を具体的	に記入しま	す。		
有	O ②事業	の継続に。	り、成果目標	票(事業の意図)の向	可上が期待~	できる。	1点			「除雪業務を委託				
効性	O ③類似	した事業と	の統合や連	男を図る余地はなV	١,		1点		哈禄バ.	ス利用者が快適	に利用で	さる塚境が	1年にれてい	る。
'-				が図られている。			1点							
	(1)達成度(心心峽小门工	W. PO ONC IN 100	計	1	点	<u> </u>						
	区分			指標(算式		ı	単位	R4実績		 R5実績	D6	実績	R6当初計	
	<u></u>	1	指標①	清掃業務委託施訂			丰位	四天順		10天根	NO:	大小人	וווערבטוו	
			(算式)	(日) 市米/历女 [[] []	X 39X		施設		3	3		3		3
	活動指標 ※具体的な活	動の内容	指標②	除雪業務委託施訂	D.米ケ									
2			(算式)	外 日末4万女 11.100	× 9/4		施設		2	5		5		5
3			指標①	苦情処理件数				 						
達成	成果指標		(算式)	I III ~ TII M			件		0	0		0		0
	※どれだけの	成果が現	指標②					-						
	れたか		(算式)				-							
	O ①期待	たしかか		た。(達成度80%じ	1 F)		1点	(部明) 出田	が用い	連成度に関し、	内突た日件	- 60111年2月1	<u> </u> まさ	
								近隣住民に清		で で で は は は は は は は は は は は は は は は は は				が済
	②概ね	期待した追	動の成果がる	あった。(50%以上8	80%未満)		0点	切に行われて	おり、禾	川用者からの苦り	青は寄せら	れていない	、町内会長	長や
	③成果	が少なく今	後も向上する	る見込みがない。(5	0%未満)		-1点	清掃委託者ら	の依頼	で数件対応があ	っった。(ドフ	アの建付に	ト、トイレのイ	つまり

	(1) }	事業費の	推移					吉	t	0	点												
	[z :	分	単位	R	4決算額	R5岁	中算額		R6決算	.額	R6	事業費の	内訳及	及び金	額		単位:	コスト		0	一般則	才源額
		事業	費	千円		3, 366		2, 26	1	4	2, 417		金額の上					達成月	度を下げ	ずず に	低下	させた	1点
	<u></u>	国・消	直費	千円								区	分	1	金	額)ない・. o具体			理由を	:明 0点
4	財源	地方	債	千円								委託料	¥			2, 080			っている		E97 C	30	-1点
効	内訳	その	他	千円								需用費	<u> </u>			334		人件	貴高騰	により	増額し	ている。	,
果	<u> </u>	一般則		千円		3, 366		2, 2	61		2, 417		<u> </u>				説明						
性	(2) =	手法の対	-					<u> </u>	_	2	点		月)手法の	D効率	化に	関し、	内容を	を具体	的に証	込し	ます。		
	0	①業務等	等の見	直しに		経済性を考慮	して事業				1点	+ <i>k</i> >n										考慮	して事業
	Ĕ	がないほ ②現在の				いる。 事務執行と受	益者に対	ナナるサ	ービス	満足度		費を											主民に委 『委託とし
	_	の高いオ	(準に	なってい	いる。 i法の ⁻	工夫により、タ	十象新用:	を変える	ドに事業	業費を			合は諸経										
	0	削減する					1 504-0100	2,000	(A, A, C	1点												
						-=	Net. —						Irr			~ == 1	u . +	_ +1 .44			_		
項						項目別点		—	*+				低 0	1	2	<u>必要性</u>	王十年 4	9 次別性 5	6	7	高 8~	I	高
目別		項目別点	点数に	=		-	項目	点	鉯													5	達
点数		よる評値				1 业	要性	4	6					<u> </u>	-				A			4	成 度
に						2 有	効性	2	U										0			3	+
よる			\			3 達	成度	1		_		V										1	効 果
評									3)				В			0	性
価						4 対	果性	2														-2	低
		担当課	評価	=																			
						※上記の網	ま果を参え	考に、事	事業担	当課と	して、	他施策	との関係	等を	含め終	合的	児点か	ら評値	面しま	す。			
			\			※評価は、	次のA^	~DIC	よりま	す。													
	Α	現状に	て事業	業を継	続ま	たは拡充																	
	0	現状のま	ミまで	事業を終	継続								事業を拡	充して	継続								
	В	事業の	進めて	ちの改	善に	より継続																	
		事業の能	請素化	、効率	化によ	る改善							執行体制	の見画	直し(タ	卜部委詢	托等)(こよる。	女善				
一次		事業手法	よの見	直しに	よる改	善善善善							住民参加	等の推	隹進に	よる改	善善						
評		事業内容	字の一	部見直	にによ	る改善							その他効	果的・	効率的	的手法	の検討	けによる	改善				
価	С	事業規	塻・万	内容等	の見	直しの検討	寸																
担当		制度·事	業内容	タの全直	面的な	見直しを検討	寸						対象範囲	の見直	直し、う	受益者:	負担の	見直し	・ 導入	を検討	討		
当課		必要性等	等を再	検証し	事業規	模、計画等	の見直し	を検討					他の事業	、類似	事業	への統	合•転	換を検	討				
評		計画期間	引の延	伸、事	業費平	革化等を検	討						その他										
価	D	事業の	抜本的	勺見直	しを	 検討																	
		廃止				統合			縮小				凍結				新たな	î事業·	への転	換			
	*	事業廃」	上の可	能性	や廃」	し 上することに	よる影響	學 弓	>	廃止	可能		条件が整	えば屠	を止検	討可能	â		廃止に	は困難		その	り他
		一次評価	15 (担	当課評	呼価)	の内容や考	え方を具	体的に	記入し			今後()改善策等	手を具	体的	に記入	します	す 。					
						(維持管理)	こ努め、	利用者	が快	適に利	用で		除雪委										-
	説	きる環境	見を維	持して	にいく。								町内会に っている。	.限ら	す全	町的な	:募集	のうえ	.、業者	宇 委計	比も含む	めた検	討が必要
	明											C 64 /											
					Α	現状にて事	業を継続	続またに	は拡充	В	事業	の進め	方の改善	• 検言	対が必	要	С	事業規	規模、	内容の	の見直	しが必	要
_		庁内委	員会		D	事業の抜本	的見直	しの検討	∀ =	>	廃止		統合		縮	小		凍結		新	たな事	業への	の転換
二次		評	価	_		一次評価	の内容に	こより事	業推	進のこ	Ŀ.	·			,				,				
評価				1	説																		
価		╙	\		明																		
				1																			
					Α	現状にて事	業を継続	続またに	は拡充	В	事業	の進め	方の改善	· 検i	対が必	要	С	事業規	規模、	内容の	の見直	しが必	要
最		最終記	平価		D	事業の抜本					廃止		統合		縮	小		凍結		新	たな事	業への	の転換
終			. , ,	1	説	一次評価	、二次評	#価のけ	容に	より事	業推進	Eのこ と	-0										
評価		∥ ∆	\																				
		<u> </u>	•	1	明																		
\Box						I.																	

令:	和	7 年	, 7)	月 23	日 作成			担	当課			F	町民課			
Į.	事務	事業名	戦没者	追悼式事業	業費		I									
		基本方向	03	福祉・医	療が充実し、	互いを認	め合えるま	きちづ	くり	施策	コード					
施		項 目	02	障がい者	福祉と社会保	障の充実					ki l	法令	条	例	その	他
策の		財務名称		戦没者追						根拠等						
体										+ +	<u> </u>	直営	委	託	その	他
系										実が方法	E .	ш п		по	()	Ū
事	戦	没者を追悼	もする式.	上 典												
業																
概要																
女	/1	\+\ <i>4</i> \-/=#	+ 17	<i>+</i> 44 6 1. 1	ナ いてのか)				(2) I ER (iio Li	これエン	エルティ		Φ 4ν)		
) 対象(語 没者(297			ンているのか) _左								うっている こし、菊花の		(式)を吉岡	総会
	450	1文省(231	4/20	+以1人口 医儿	~				センターで	実施。						
事業									令和2・3年 止とした。	度につい	いては、新	型コロナウ	イルス感染	症拡大	防止のため	り中
の	L								11.070							
目的	Ŀ	, . .			状態にしたい <i>の</i>		77 (LISH 4-24	±.								
μу		島町に関う			、、町民こぞって	垣1年77部	(を搾り、半	·\\\								
								_								
	(1)町関与の	根拠(四	けが行う必	要がある事業	か) 計	2	点								
		①法令等	等で実施か	ぶ義務付けら	れている事業。		_	1点	6産業	美振興及び	ド地域活性(とのために	重要な事業			1点
)			活に直結した事	業で、当然	の責務として	1点	※内音	『管理·運·	営等の事業	。(点数対象	象外)			_
	_`	町か行り	べき事業		/// Life - Life Life - 3 . 3		2							- -		
		(3)社会的	可•経済的	弱者の生活	維持・安定のため	に个り欠7	3事業。 	1点					的に記入しる		5 b. 1. w 12	v. A
		④町の特	特性や魅力	りを生かした	取り組みなど、戦	略的な事業	É.	1点	戦没者に対の確保のた		ク 誠を捧り	「るとともに	.、恒人平和]への誓	といをする機	送会
1			いまる実 補完する		るが、サービスの	権保が困難	なため、町	1点								
必	(2)社会情勢			トル生		1	点	<u>l</u>							
要性	- (2				えに す 境の変化によっ~				☆ 注△	- 学で宝坊	:内宏の手)	上竿が守め	られて、町の	創会工:	ヒボスス会	
			れている。		・児の友儿によう	C, 9 · C /	NY I AVOID JU	1点		い。(点数		ム寺が促め	540 C (110)		ていりへの示	_
		②対象者	音、利用者	が増加する	など、町民ニーズ	が高まって	いる。	1点	(説明)妥	当性に関	し、内容を	具体的に	記入します。			
		U - 7.11			けるため、種々の	改善を行い	、事業の効	1点	町では、「ゴ						こ対し追悼の	の誠
				きている。	安佐の取らい	(電件)は	- 声) 、	1 1		ともに、恒	1久半和へ	の誓いを	行う必要が	ある。		
		① ④限られ	/に財(駅(グ	中にめつ(も	、実施の緊急性	、愛先性は	、尚い。	1点								
							_									
	(1)成果・協	働に対	する事業の	O有効性	計	2	点								
2) ①施策を	·達成する	うえで 当該	事業の貢献度は	高い。		1点	(説明) 有	効性に関	し. 内容を	・具体的に	記入します。			
有	F				票(事業の意図)の		生できて	1点	VI 40 . 0.#							
効	L						付いるの。									
性		3)類似し	た事業と	の統合や連	携を図る余地はな 	:\ \ \ .		1点								
		④町民参	≩加と自治	意識の向上	が図られている。			1点								
	(1)達成度の	測定			計	1	点								
		区分			指標(算	(式)	_	単位	R4実約	漬	R5実	績	R6実績	į	R6当初計	画
				指標①	戦没者追悼式			п		1		1		1		1
		動指標 具体的な流	T.≢L.Ø	(算式)				I I I		1		1		1		1
		具体的なが 容	う到り	指標②												
3				(算式)												
達				指標①	戦没者追悼式出	席者										
成		果指標		(算式)				人		38		36		36		40
度		どれだけの れたか)成果が	指標②												
	ارد			(算式)				1								
	-	① 期待し	たとおりの		 た。(達成度80%	DJ F)		1点	(説明) 成	果・効果・	や達成度に	関し. 内	容を具体的に	こ記入し		
	F				た。(近次/00 / bった。(50%以」		:)	0点	事をひさ							数に
							-		達した。		, H		<u> </u>	= ,		'
1	1	③成果か	5少なく今	後も向上する	5見込みがない。	(50%未満)	-1点								

	(1) 🖣	事業費の推移			計	0	点								
	[2	⊠ 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額		の内訳及び			単位コスト	0	一般財源	原額
		事 業 費	千円	296	297		307	(金額の	上位 2 費用作	也)		達成度を下	げずに低下	させた	1点
	(R±	国・道費	千円					区分	金	額	0	変わりない・ 確かつ具体			0点
4	財 源	地方債	千円					委託料		275		上昇している		C 2/	-1点
効	内訳	その他	千円					需用費		27		物価高騰は	こよる花代	等の増に	こよる。
果)	一般財源	千円	296	297		307				説明				
性	(2) =	 手法の効率化			計	2	点	(説明)手法	 去の効率化に	関し、	内容	┗ を具体的に訂	己入します。	0	
	0	がないほどの水 ②現在の手法に の高い水準にた	準にた は効率 なってい 執行方	的な事務執行と受え る。 法の工夫により、対	益者に対するサート	ごス満足度	1点 1点 1点	追悼式にか	かる祭壇や	花等、	可能	な限りコスト	を抑えてま	돋施してい	る。
		INVA / WARE	34 <u>1</u> , (#+ =			15		ு கூ	b4-ı ⊐	= ☆	<u>-</u>		
項日				項目別点数		7		(低		<u> 少安'</u>	<u>年十</u> 4	<u>∮効性</u> 5 6	高 7 8~	7 7	高
目別		項目別点数に	:	1	頁目 点数	4								6 j	達
点数		よる評価結果		1 必	要性 3	,			•			A		4 F	或 隻
10		Δ		2 有	効性 2	ĺ		>				0		2 -	+
よる				3 達	成度 1	7 -								<u> </u>	効 果
評価				4 効	果性 2	3			D			В		1 1	生
ТШ				4 🗡	木 ഥ									-2 1	氐
一次評価(担当課評価)	O B C C D	現状のままで事 事業の進めた 事業の簡素化、 事業手法の見 事業月容の一 事業規模・ の要性等を再 計画期間の延 事業の抜本的 廃止 事業廃止の可 一次評価に対 戦総続すべき事	事業を組織しています。 事業を利力を表する。 事業を利力を表する。 事業を利力を表する。 事業を利力を表する。 事業を利力を表する。 事業を利力を表する。 の本に、主義を表する。 の本に、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	※評価は、 続または拡充 * * * * * * * * * * * * * * * * * *	り見直しを検討 対	小 廃止 入します。 養会として ² 参加者がが	可能	事業を 執行体 住民参 その他 対象範 他の事 その他 凍結 条件が 今後の改善 第	拡充して継続制の見直し(加等の推進に効果的・効率 効果的・効率 囲の見直し、業、類似事業 整えば廃止相 を等を具体的である。 から、もらえ	外部委改 さい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱ	託等) 善 動機 動性 して 近の がある。 まい に がい まい に がい の に の に の に がい の に に に の に に に る に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に に 。 に に に に に に に に に に に に に	による改善 付による改善 り見直し・導入 換を検討 な事業への転 廃止に す。	を検討 換 は困難 し、追悼 こし、追悼 こ	だに町民	祈る行 が一人
				A 現状にて事	業を継続または拡	t充 B	事業	<u>L</u> の進め方の改	善・検討が	必要	С	事業規模、	内容の見直	直しが必要	Ę
		庁内委員会		D 事業の抜本	的見直しの検討	⇒	廃止	統合	s A	宿小		凍結	新たな	事業への	転換
二次		評 価		一次評価の	の内容により事業	推進のこ	٤.								
()評価		Α		明											
				A 現状にて事	業を継続または拡	t 充 B	事業	の進め方の改			С	事業規模、	内容の見直	直しが必要	Ę
最		最終評価			的見直しの検討		廃止	統合	\$	宿小		凍結	新たな	事業への	転換
終評		1	1	一次評価、 説	二次評価の内容	がにより事?	未推進	E のこと。							
価		Α		明											

上	1 7		7)	月 23 I	_ <i>\</i>	t;			+D >	当課				町足調				
				•	日 作原	X.			担目	目球				町民課				
手	務事業		社会福															
恢	基本	方向	03	福祉・医	療が充実	€し、互!	ハを認め	う合えるま	きちづ	()	施策	コード						
施策	項	目	01	高齢者福	祉の充実	€					法	H.J	5. 令	条	例		その作	也
の	財務	名称		社会福祉	費						根拠	等						
体系											実	施	1 営	委	託	0	その作	也
											方	法						
事	社会福	祉団体	(負担	金2団体、信	壬意団体	1団体、社	上会福祉	:協議会)				•						
業																		
概要																		
	(1) 対領	象(誰?	を、何	を対象とし	ている	のか)				(3) 手段 (と	うのよ	うな手法、	手順で:	行っている	るのか)			
				金2団体、社								補助金交付				社会福	畐祉協	議
_										会補助金								
事業																		
の	(0) 辛5	v (++4	キナ じ	のような∜	<u> </u>	+.1.0.4.	`											
目的	社会福				人態にし	たいのか	')			-								
,	江云田	加凹件	· ソイロ 男、	1久1反。														
									-									
	(1) 町	員与の村	艮拠 (田	けが行う必	要がある	事業か)	計	2	点									
	1	法令等	で実施が	ぶ義務付けら	れている	事業。			1点	⑥産業技	辰興及7	び地域活性化の	りために	重要な事業				1点
				R等、町民生	活に直結	した事業で	、当然の	責務として	1点	※内部	管理•運	営等の事業。	(点数対	象外)				_
		が行うへ			6164t Art	202 H1=	7 - 7 - 1 - 2 -	-t	1.5	/=¥00\ 88 F	· • +0 +h		1 + B +	. Ab. 1 - = 7 3 1	++			
	0 3	在云的'	* 胜)	弱者の生活	維付•女儿	=V)/=W)(=/	下り久な	争耒。	1点			上に関し、内容	で具体	・別に記入し	· まり。			
١.	4	町の特付	性や魅力	りを生かした	取り組みな	cど、戦略的	りな事業。		1点	社会福祉団	1年07活	「リン」で、						
1)民間等(先導・補		施が望まれる	るが、サー	ビスの確保	い困難な	よため、町	1点									
必	<u>_</u> _			_{手来。} ニーズの変	トル生		計	1	点	<u> </u>								
要性				へのを近しや社会環		1-For ·		-	-		空で宝1	施内容や手法等	なが守せ	たわて 町	の創会工	土がて	ス会	
		求められ			が少久に	1000	y L/I	144071476	1点			版対象外) 数対象外)	+1/- XE (V.)	7540 C . MI	フ启リ心・エ	<i></i>	ンホ	_
	2	対象者、	、利用者	が増加する	など、町民	ニーズが高	高まってレ	る。	1点	(説明) 妥当	性に関	し、内容を具	体的に	記入します	•			
				固定化を避り	けるため、	種々の改善	身を行い、	事業の効	1点	社会福祉団	体の活	動支援を図る	るための	の補助金を	交付。			
				きている。	t tttte o	B▽ た. Lu. /回	r #+ k#+). 1- =	len .	1.1									
	O 4	が限られる	こ財源の	中にあっても	ら、美胞の	緊急性、懷	光性は高	引い。	1点									
	(1)成身	果・協信	動に対	する事業の	D有効性		計	1	点									
2	0 1	施策を	幸成する	うえで、当該	事業の音	一献度け高い	()		1点	(説明) 有効	性に関	し、内容を具	体的に	記入します				
有										社会福祉団						- が図:	られた	
効				り、成果目標				F できる。	一川	1		, ACO PCALLY		УДССШ			J, 01C	0
性	3)類似した	と事業と	の統合や連打	携を図る弁	や地はない。)		1点									
	4	町民参	加と自治	意識の向上	:が図られ~	ている。	_		1点									
	(1)達原	戊度の湯	則定				計	1	点									
		区分			指	標(算式)		単位	R4実績		R5実績		R6実	績	R6	当初計	画
				指標①	補助金等	\$交付団体												
	活動指		= 1 ~	(算式)					団体		3		3		3			3
	※具体 内容	的な沽	動の	指標②														
3				(算式)					1									
達				指標①	補助金を	:交付した[日体数											
成	成果指	標		(算式)					団体		3		3		3			3
度	※どれ 現れた		成果が	指標②						1								
	-5元16/こ	<i>1</i> 3 .		(算式)														
	0 0		シレナンかっ		た (本中	· ri /000	F)		1 上	(部明) 中田	1. * F	お送出来に明	11 -	家た日体や	11-====================================	±+		
				の成果があっ					1点	社会福祉団		・動の充実に関			ルニス	します。	0	
	2	概ね期	待した通	的の成果があ	あった。(5	0%以上80	%未満)		0点	正云油111111111111111111111111111111111111	かり仕	****・********************************	pj ナレ/	<u>_</u> 0				
	3	成果が	少なく今	後も向上する	る見込みか	ない。(50	%未満)		-1点									

	(1) 📱	事業費の推移			計	1	点									
	[2	⊠ 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R6事業費	の内訳及び	金額		単位コスト	0	一般財	源額	
		事 業 費	千円	9, 302	9, 304	7	, 407	(金額の	上位 2 費用作	也)	0	達成度を下げす			1点	
	(1	国・道費	千円					区分	金	額		変わりない・上昇確かつ具体的に			明 0点	
4	財 源	地方債	千円					負担金・補助 <i>]</i> 交付金	支び	7, 148		上昇している	-100-91 C	<u> </u>	-1点	
効	内訳	その他	千円					需用費		233		社会福祉協議				
果)	一般財源	千円	9, 302	9, 304	7	, 407				説明	務局長派遣太	応によ	る減額)	
性	(2) =	手法の効率化		<u> </u>	<u> </u>	2	点	(説明) 手法	たの効率化に	- 関し、	内容	│ を具体的に記入	します。			
	0	①業務等の見画	直しによ	り、経済性を考慮	して事業費を削減	できる余地	1点	事業費を削								
)	がないほどの水 ②現在の手法に			益者に対するサー	ビス満足度										
		の高い水準にな			†象範囲を変えずに	・事業費を	1点									
	0	削減する余地に				一千禾貝と	1点									
										N						
項				項目別点		\Box		<u>低</u>	1 2	<u>必要</u>	生十年 4	す効性 │ 5 │ 6 │ 7	8~	7	高	
目別		項目別点数に	:	1	項目 点数									6 5	達	
点数		よる評価結果	ļ	1 必	要性 3	4			6		0	A		4	成	
1=		lacksquare		2 有	効性 1	" _								3 2	度 十	
よる				3 達	成度 1	→ -								1	効 果	
評						4			D			В		0	性	
価				4 効	果性 3									-2	低	
		担当課評価	,													
		Λ		※上記の結	果を参考に、事	業担当課とし	して、	他施策との関	係等を含め	総合的	視点か	いら評価します。				
				※評価は、	次のA~Dによ	ります。										
	Į.	現状にて事業を継続または拡充														
	Α	現状にて事業	を継	続または拡充												
	0	現状のままで事	大のままで事業を継続 事業を拡充して継続													
	В	事業の進め方	の改	善により継続												
		事業の簡素化、	効率(とによる改善				執行体	制の見直し(外部委	託等)(による改善				
次		事業手法の見直	直しによ	る改善				住民参	加等の推進	による改	善					
評		事業内容の一部	部見直	しによる改善				その他	効果的・効率	的手法	の検診	付による改善				
価(С	事業規模・内	容等	の見直しの検討	†											
担当		制度·事業内容	の全面	i的な見直しを検討	†			対象範	囲の見直し、	受益者	負担の)見直し・導入を	負討			
課		必要性等を再格	負証し!	事業規模、計画等の	の見直しを検討			他の事	業、類似事業	きへの紡	合∙転	換を検討				
評価		計画期間の延伸	申、事業	美費平準化等を検	討			その他								
<u>(E</u>	D	事業の抜本的	見直	しを検討				'								
		廃止		統合	縮	小		凍結			新たた	な事業への転換				
	*	事業廃止の可	能性や	や廃止することに	よる影響 →	廃止	可能	条件が	整えば廃止	倹討可能	Ę	廃止は困	難	その)他	
		一次評価(担	当課評	価)の内容や考え	え方を具体的に記	入します。		今後の改善気	6等を具体的	りに記入	、しま	す。				
					や低所得者の生	三活安定と 権	畐祉					織体を維持して 定した組織運営				
	説	14] 11.07/1207和	上がピルー	必要な事業であ	చ _ం			を行っていく		06550	二、女	たした組織理:	₫ 0.27.00	りに必多	そ4.又1友	
	明											事業における の自助努力を				
								<.	- NOLC NEE EN V	E-110,	· > 1 C 0 >	/ • / D 60 50 70 E	214024	人級と「	1 > < 4	
			-	A 現状にて事	業を継続または	広充 B	事業	の進め方の改			С	事業規模、内容	予の見 値	重しが必	要	
=		庁内委員会 ※************************************	_		的見直しの検討		廃止	統合	î	宿小		凍結	新たな	事業への	転換	
次		評 価	,		の内容により事業	業推進のこ	۲.									
評価		Δ		説												
				明												
						r					1					
		_	Ī		業を継続または			の進め方の改			С	事業規模、内容			- '	
最级		最終評価	ŀ		的見直しの検討 二次評価の内?		廃止 業堆油	統合	î	宿小		凍結	新たな	事業への	転換	
終評			1	説	. 一么計画の内	古にみり尹さ	木推進	= √/∟C₀								
価		A		明												
		<u>, </u>	_	רב												
		_					_			_	_			_		

令	和	7 年	7)	月 23	日 作成			担	当課			F	町民課			
事	事務	事業名	高齢者	 行事費			<u> </u>		<u>. </u>							
	T	基本方向	03	福祉・医	<u></u> 療が充実し、	互いを認	め合えるま	まちづ	くり :	施策コー	- ド					
施	H	<u> </u>	01	高齢者福						+ 6/2		法 令	条	例	その	他
策の	-	財務名称		高齢者行						去 的 银拠等				17.1	()	
体	F	41 10. □ 10.			<i>+</i> 4					- 1-	0	直営	禾	託	その	4th
系	-									実 施 方 法			女	pь	(0)	
-	卢	齢者の方々	っを中心	に 永年に	わたり地域社会	全の発展!	- 貢献された	> 功績	・ を讃えるとともに		表を結	福するた	め勘老会え	と盟保っ	トス	
事業	III.	国内・日 マンノノ・・	, E . I . C	(C,)(+(C	-427にソルロペス 1上。	5、7元成(- Q (IIX C4 07	こうか貝	で買べるここの	-, C 0 X	SAT C D	лш) "О/с	-WW-E-T	上河(庄)	, ₂ 0°	
概																
要	/1	_L_&/=#	+ 17	+ + 1 4 1 1	-1.70h				(0) TED (15)	n 1. ~ 4.	ナル	ナルニー	1,7	@ /·· \		
	Ľ				っているのか) 象としている。				(3) 手段(どの米寿祝い記念						ションな主	Lì
	l _m 1	Y1(C/古压)	1 0 1 O 10x	WTG VIS	*CU (V "Jo				た構成としてい		1 ^ 2 LD 1 D I	1 <i>5</i> 77 / V / NE	王丕1147	7 1.77	ンコンで工の	
事業																
ま の	L															
目的	Ľ	,			犬態にしたいの	,	111177	1 : 								
נים	1.1	年にわたり 福する。	地	云の発展に	.貢献された功治	頃を韻える	とともに反	牙ど								
	(1)町関与の	根拠(四	けが行う必	要がある事業	か) 計	1	点								
		①法令等	穿で実施か	ぶ義務付けら	れている事業。			1点	⑥産業振	興及び地域	或活性化	のために	重要な事業			1点
)			活に直結した事	業で、当然の	の責務として	1点	※内部管理	理•運営等	の事業。	(点数対	象外)			_
			べき事業		## カウのとり	ar ar be	小市米	1点	/≣X==> 88 E <i>(</i> *	+8 +hn / - 88	li de	売 ナ 目 仕 :	%h/-≘7 3 1 -	+-+		
	-	9)TZ1	7. 班王/社口7	羽有り生荷	維持・安定のため	バニ(木 町)人/	よ尹未。	一一二	(説明) 関与の 永年にわたり均						てため字坊	51 T
		④町の架	f性や魅力	りを生かした	取り組みなど、戦	略的な事業	450	1点	が中にわたりがいる事業。	B-映社云 (に貝削の	±40/C™].	氏の女寿を	1万亿个田 9	るため夫地	BU C
1			ドによる実 補完する		るが、サービスの	確保が困難	なため、町	1点								
必要	(2	2)社会情勢			·····································	計	1	点	<u> </u>							
性	Ë				境の変化によっ				※法令等	で実施内容	字や手法	等が定め	られて、町の	創意工芸	- が入る余	
			れている。					1点	地はない。							_
		②対象者	f、利用者	が増加する	など、町民ニース	が高まって	いる。	1点	(説明)妥当性	に関し、	内容を	具体的に	記入します。			
				固定化を避り	けるため、種々の	改善を行い	、事業の効	1点	高齢者が一堂	に会し懇	談と催	しを楽しむ	び場として重	重要な事	業。	
					も、実施の緊急性	優先性は	高い。	1点	1							
	F	9 (2) (2)			J()	. (Q) E1210		. 711								
							1									
	(1)成果・協	働に対	する事業の	D有効性	計	3	点								
2		①施策を	:達成する	うえで、当該	事業の貢献度に	は高い。	_	1点	(説明)有効性	に関し、	内容を	具体的に	記入します。	,		
有		②事業の	継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の	つ向上が期	待できる。	1点	引きこもりがちゃ	な高齢者	に、参	加意欲を	啓発する有	効な事	業。	
効性	-	3類似し	た事業と	の統合や連	携を図る余地はた	2L1		1点	1							
'-					が図られている。			1点	4							
	H	- 0		1.思・戦・クロエ	.か凶り41 (いる。		1									
)達成度の			±1-1-∓ / (A)	計	1	点	D4:00/d=		DE cts 4	+	Dom.	. 1	D0 1/ +==1	·
	L	区分		45 III (S	指標(第			単位	R4実績		R5実紀	頁	R6実績	Į	R6当初計	画
	i=	動指標		指標①	敬老会開催回数	X ————————————————————————————————————		□		1		1		1		1
		動指標 具体的な流	舌動の	(算式)												
	内	容		指標②												
3	_			(算式)												
達	<u>ب</u>	H +15.1=		指標①	敬老会参加者数			人	2	205		222		240		200
		.果指標 どれだけの)成果が	(算式)												
		れたか		指標②												
	L	ı		(算式)												
	(①期待し	たとおりの	の成果があっ	た。(達成度80%	6以上)		1点						こ記入し	ます。	
		②概ね其	月待した 通	的の成果があ	あった。(50%以.	上80%未満)	0点	計画以上の参 (催事内容 津崎				できた。			
	Ī	③成果が	ジ少なく今	後も向上する	る見込みがない。	(50%未満)	-1点		r±ハーツノ	9不形	大 (世)				

	(1) }	事業費の	推移	;				計	+	0	点												
	[z	分	単位	R	4決算額	R5決	除算額		R6決算	額	R63	事業費の国	内訳及	び金額	Ą		単位:	コスト		0	一般	 才源額
		事業	費	千円		2, 416		2, 66	5	2	2, 725		金額の上位					達成原	度を下	げずに	こ低下	させた	1点
	<u> </u>	国・道	直費	千円								区	分	金	È	額					っている 説明で	理由を	0点
4	財源	地方	債	千円								報償費	,		2, (076			ノストン		元明(5 W	-1点
効	内訳	その	他	千円								需用費	·			147		贈呈	者数に	こより	、事業	養に:	増減が生
果)	一般貝	才源	千円		2, 416		2, 66	5	2	2, 725						説明	じるた	きめ 。				
性	(2) =	手法の対	率化			-		計	-	2	点	(説印]) 手法 <i>の</i>)効率(とに関	ال،ا	内容を	を具体	的に言	記入し	ます。		
	0	①業務等	等の見	直しに。	より、経	経済性を考慮	して事業	費を削え	咸できる	る余地	1点	事業領	費の主な	内訳に	は、参	加者	及び	米寿	対象者				受賞費と
)手法	は効率	的な事	いる。 事務執行と受	益者に対	けするサ	ービス消	満足度	1点	なって	おり、事	業費の	の削海	成の余	地が	ない。	D				
	_	の高い水の高い水の高外部を	(準に	なってい執行方	ハる。 i法の⁻	L夫により、タ	计象範囲	を変えす	『に事業	* 書を													
	0	削減する									1点												
						吞口叫上	*- =						115		.e.	/ TT 1/4	- ı -	- ***	_		÷		
項目						項目別点	<u>剱表</u> 項目	点	*h				低 0	1	2	<u>多要性</u> 3	4	5 5	6	7	高 8~		高
別		項目別点					快口		奴													6 5	達
点数		よる評価	西結界	Į.		1 业	要性	2	5					C					A			4	成 度
に		Δ				2 有	· 効性	3	Ĭ	-								0				3	+
よる			1			3	成度	1		_				-					_			1	効 果
評						4 交	h III //	2	3					P					В			0	性
価						4 8	果性	2														-2	低
																							_
		担当課	評価	7																			
		∥∆				※上記の約	ま果を参え	考に、事	業担	当課と	して、	他施策	との関係:	等を含	め総1	合的視	点か	ら評値	価しま	す。			
		※評価は、次のA~Dによります。 現状にて事業を継続または拡充																					
	Α					たは拡充																	
	0	現状のま											事業を拡え	たして糸	迷続								
	В					より継続																	
l _		事業の簡	簡素化	、効率位	化によ	る改善							執行体制の	の見直	し(外)	部委託	任等)(こよるさ	收善				
次		事業手法	よの見	直しに。	よる改	善							住民参加	等の推	進によ	る改善							
評価		事業内容											その他効果	果的·努	物率的	手法の)検討	けによる	改善				
_	С					直しの検討	-																
担当		制度·事	業内容	学の全国	面的な	見直しを検討	寸						対象範囲の						-	を検	討		
課評				-		模、計画等		を検討					他の事業、	類似事	事業へ	の統合	合•転	換を検	討				
一個					.,,,,,	革化等を検	討						その他										
	D	事業の	抜本的	内見直	しを							,			1	- 1							
	 	廃止			<u> </u>	統合			縮小			·	凍結					事業	への転	換			
	*	1				上することに				廃止	可能		条件が整						廃止り	は困難	É	そ	の他
						の内容や考					Δ1.		改善策等						د خد ، د	ĿŸ)J. →	1 to 1	++·	
	説					こ貢献された な事業でも		ノ女寿を	(忧備)	9 0機	云と	開催る きたい		-U'(v 'る参	≫川茗	1 (こ 唇	かじ	v 1/27	こける	いより、	元夫を	図ってい
	明																						
					Δ	現状にて事	業を継	売またに	. t 拡 夲	R	事業	L の進か [・]	 方の改善	給計	が必3	更	С	事業:	規模	内容	の見直	しが必	タラ ファイン ファイン ファイン ファイン ファイン ファイン ファイン アイン ファイン アイン アイン アイン アイン アイン アイン アイン アイン アイン ア
			= ^			事業の抜本					廃止		統合	1207	縮小			凍結	7.17.				ァ 女 の転換
<u>-</u>		庁内委 評	貞会 価		Ĕ	一次評価							יוטר וב		4.1H 1.1			小巾		おり	11-10-	· 木 、	- TUIX
次評				1	説	, , , , , ,					,												
価		∥ ⊅	\																				
		<u> </u>]	明																		
	_				Δ	現状にて事	業を継	赤す たに	† 拉 夲	P	車業.	り准か	方の改善	• 焓計	が必っ	更	C	車業:	目描	内突.	の目店	しが必	4.要
						事業の抜本					廃止	,,,),),((C),	統合	1火司)	縮小			連結	がける。				ッ 女 の転換
最終		最終記	平価	_		一次評価						のこと		-1	1					-17			
評				1	説																		
価			\]	明																		

令和	1	7 年	, 7)	月 23 1	日 作成			担	当課		F	町民課		
事	務	事業名	在宅福	祉事業費					<u> </u>					
	基	本方向	03	福祉・医	療が充実し.	互いを認め	か合えるま	まちづ	くり 施:	策コード				
施	項	i B	01	高齢者福	祉の充実				注	的	法令	条例	0	その他
策の	財	務名称		在宅福祉	事業費				1-7	hn Arts		動推進事業		
体				12 0 12 12					-		直営	委託	. 0	その他
系										施 法				
事業概要									■ 参加、地域の担い ことを目的として補			等を推進する	を 人クラ	ブ活動に助
	(1)	対象(誰	を、何	を対象とし	ているのか	')			(3)手段(どの。	ような手法。	、手順で行	すっているのか	(יע	
事業の日				ブ連合会) のような出	∜態にしたい	(M tv.)			老人クラブの活動	かを促進する	ため、運営	に要する経費	を助成	する。
目的		本の活動を			() () () ()	-07/3-7			1					
				-	要がある事	業か) 計	1	点						
	(1)				れている事業。			1点	@ 产类长期 3	ひ地域活性	ルのために	ま 西 わ 車 坐		1点
				******		事業で、当然の	音数い イ							「只
		町が行う	-		佰(に国,稲し/こ	尹未 じ、日然の	り貝扮として	1点	※内部管理・	運営等の事業	É。 (点数対象	象外)		_
	0	③社会的]•経済的	弱者の生活	維持・安定のた	めに不可欠な	事業。	1点						ジノいに実ち
		④町の特	性や魅力	りを生かした	取り組みなど、	戦略的な事業	0	1点	老人クラブ活動に するため。	助风し、 向	脚有の力 ^	マの生店や女利	于仁云"	入りに分子
1		⑤民間等 が先導・			るが、サービス	の確保が困難な	なため、町	1点						
必要	(2)	社会情勢	や町民	ニーズの変	を化等	計	1	点	•					
性		①国の制が求めら			境の変化によ	って、サービス	内容の拡充	1点	※法令等で写 地はない。(点		法等が定め	られて、町の創意	て大が、	入る余
		②対象者	f、利用者	が増加する	など、町民ニー	・ズが高まってい	いる。	1点	(説明)妥当性に	関し、内容	を具体的に	記入します。		
				固定化を避り きている。	けるため、種々	の改善を行い	、事業の効	1点	高齢者の方々の	生活や長寿	社会づくり	に寄与するため	か 。	
	0	④限られ	た財源の	中にあっても	、実施の緊急	性、優先性は	高い。	1点	-					
	(1)	成果・協	働に対	する事業 <i>の</i>)有効性	計	3	点	•					
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献度	は高い。		1点	(説明)有効性に	関し、内容を	を具体的に	<u></u> 記入します。		
有	0		継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の向上が期待	寺できる。	1点	カーナオルトルコ)に寄与	した。
効性	Ē	0 1 7/1			隽を図る余地は			1点	1					
'-	0	0 // // /			が図られている			1点	4					
	<u> </u>	達成度の		1ⓒ峨V기리고	77 M M M M M M M M M M M M M M M M M M	計	1	点	l					
	-	区分	,,,, <u>,,</u>		 指標('	単位	R4実績	R5事	2.6	 R6実績	R	6当初計画
		<u></u> /J		指標①	老人クラブ加			- 1-2		1105				- 241 E
	活動	助指標		(算式)				人	258	:	247	2	40	247
		具体的な活	動の	指標②									-	
3	内容	1		(算式)										
				指標①	老人クラブ加	入家							-	
達成	成月	 上		(算式)		八半 入人数÷65	第D/ F/	%	14	:	14		14	14
	 ∦Ł	ごれだけの	成果が	指標②	(モハンノノル	µノヘノへが、〒 U O /i	13人とヘエノ			-				
	現 <i>‡</i> 	<i>たか</i>												
	Ļ	7 thu v.r.	J. 1) i	(算式)	* (\4_\-\	00/101-1-0			/===nc//	用压生产士	- BB !		<u> </u>	+
	0				た。(達成度80			1点	土 トカニゴの江重			谷を具体的に記	人します	9 .
		②概ね期	待した通	的の成果があ	かった。(50% <u>↓</u>	以上80%未満)		0点	七八ンノノリハ佰男	かノル天にも	ナレル。			
l	1	③成果が	小かく今	後も向上する	5見込みがない	、(50%未満)		-1点						

	(1) 📱	事業費の推移			計	. (0	点										
	[区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R	6決算額	額	R6-	事業費の内	内訳及び	金額		単位コス	٢	0	一般財	源額
		事 業 費	千円	840	840	1		840		金額の上位				達成度を丁	Fげずに	低下さ	せた	1点
	<u>.</u>	国・道費	千円	460	460	1		459	区	分	金	額	0	変わりない確かつ具体				明 0点
4	財源	地方債	千円							補助及び	:	840		上昇してい		1971 C C	. W	-1点
効	内訳	その他	千円						交付金									
果	<u> </u>	一般財源	千円	380	380	,		381					説明					
性	(2) =	□ 手法の効率化			計		1	点	(説り		 効率化	に関し、	内容	┃ を具体的に	記入しる	ます。		
	0	がないほどの水 ②現在の手法に の高い水準にた	、準にた は効率 よってい 執行方	さっている。 的な事務執行と受 いる。 法の工夫により、	はして事業費を削減 を益者に対するサー 対象範囲を変えず	ービス満	足度	1点 1点 1点	補助生	金は、道の	の補助差	基準額 (二基づ	き積算して	こいる。			
1_				項目別点	粉 丰					低		心更	性工才	与効性		高		
項目					項目 点数	\$tr				0	1 2		4	5 6	7 8	P] 3 ~		高
別		項目別点数に				^					\perp						5	達
点数		よる評価結果	<u>.</u>	1 <u>4</u>	N要性 2	5					-6			A			4	成 度
によ		A		2 4	有効性 3									0			2	+ 効
る				3	達成度 1				V		D			В			0	果
評価				4 🕏	助果性 1	2											-1	性
																	-2	低
		担当課評価			結果を参考に、事 次のA~Dによ			、て、 ・	他施策	との関係	等を含め	総合的	視点か	いら評価しま	ます。			
	Α	現状にて事業	きを継	続または拡充														
	0	現状のままで事	「業を約	 送続						事業を拡充	たして継続	続						
	В	事業の進めた	の改	善により継続														
_		事業の簡素化、	, 効率(とによる改善						執行体制の	の見直し	(外部委	託等)	による改善				
次		事業手法の見								住民参加等	等の推進	による改	善善					
評価		事業内容の一								その他効果	果的•効≥	率的手法	の検討	付による改善	-			
担	С	1		の見直しの検												_		
当				面的な見直しを検						******	/			り見直し・導	入を検討	f		
課評				事業規模、計画等						他の事業、	類似事	業への約 	公台·転	、換を検討				
価	_			業費平準化等を検 ■ # #◆ = 1	(計)					その他								
	U	事業の抜本的 _{廃止}	ププリ	統合	1	縮小				凍結			新たり	な事業への	転換			
	**		能性が	や廃止すること!			廃止す	可能	 	^{保和} 条件が整え	きば盛止	給計可能			は困難		その	쉠 .
	/ * \				え方を具体的に			י יורי	今後0	改善策等	_			~ -	XE		()	,
	説明			対は、年々減少 寄与している。	傾向にあるが、雨	高齢者(の方々	0	支援をまた、	を行う。	ブ活動の	の活性化		図りながら、				
		<u> </u>		A 現状にて	事業を継続または	拡充	В	事業(の進め	方の改善	検討が	が要	С	事業規模、	内容の	見直	しが必	要
_		庁内委員会		D 事業の抜る	本的見直しの検討	; ⇒		廃止		統合		縮小		凍結	新力	こな事	業への	転換
次		評価	_	一次評価	の内容により事	業推進	を のこと			1	1				<u> </u>			
評価		^		説														
Щ				明														
					事業を継続または * 的見恵しの検討			事業(廃止	の進め	方の改善 統合		が要 縮小	С	事業規模、				
最終		最終評価			▶的見直しの検討 、二次評価の内				直のこと			州日八八		保 福	新7	こは手	業への	¥ 五 1癸
評		Λ		説														
一価		A		明														

令	和	7 年	7)	月 23 1	日 作成			担	当課			Æ	丁民課	
昌	務	 事業名	吉岡総	<u></u> 合センタ-	 -管理運営費		<u> </u>		<u> </u>					
	身	本方向	04	牛活基盤	が安定し、安全	安心に着	まらせるま	きちづ	(l)	施策コ-	ード			
施	I		01		ペスをひいスエ 整備の推進	X-010-E					_	法令	〇 条 例	その他
策の	_		01		ェージルで センター管理運	当 弗				法 的 根拠等	I			
体	界	務名称		口叫称口	ゼンダー官珪連	占 貝					_		合センター条例	T T
系										実 施 方 法		直営	○ 委 託	その他
_	ナハ	/ ターを曲	(高)アチ川	日 できストふ	に適正に維持管	畑十ス				73 /Д				
事業	۷	クーを区	[通 (二个] /	けいさのよう	(に適正(に粧竹音)	生りる。								
概														
要														
					しているのか)						ょ手法、	手順で行	fっているのか)	
	全	叮民及び	 司辺住氏	į.					①委託による ②建物の維					
事									0,2,0					
業の														
目	(2)	意図(対	象をど	のような∜	犬態にしたいのた	N)								
的	町	听有建物	を適正に	維持管理で	する。									
	(1)	町関与の	根拠(四	けが行う必	要がある事業か	計	2	点						
	С	①法令等	幹で実施 が	ぶ義務付けら	れている事業。	=		1点	⑥産業	振興及び地	域活性化	このために重	重要な事業	1点
	С				活に直結した事業~	で、当然の	責務として	1点	※内部	管理•運営等	空の事業	(占数分象	自外()	
	L	回か行り	べき事業	-										
		③社会的	勺•経済的	弱者の生活	維持・安定のために	不可欠な	事業。	1点					りに記入します。	
		④町の特	特性や魅力	りを生かした	取り組みなど、戦略	的な事業。		1点	福島町吉岡	総合センタ	ター条例	に基づき	運営管理を行う。	
1					るが、サービスの確信	呆が困難な	まため、町	1点						
必	(2)		補完する	_{尹未。} ニーズの変	ケル笙	計	1	点	<u>l</u>					
要性	(2)				境の変化によって、				※ 注合	室で宝協内	欠め 手は	- 笙が定め	られて、町の創意工	キが λ る 仝
			れている			, ,,	140-07077	1点		小。(点数対		470 VE021	240 C、11 42 石1 応 工	_
		②対象者	首、利用者	が増加する	など、町民ニーズが	高まってレ	る。	1点	(説明)妥当	性に関し、	、内容を	具体的に言	己入します。	
				固定化を避り	けるため、種々の改	善を行い、	事業の効	1点	町民の生活	環境や生活	活文化の	つ向上のた	上め必要な施設で	ある。
	С				し、実施の緊急性、	原生性 けば	まい	1点						
	Ľ	TPROMI	77 CM 1015 V	, 1-10000 CE	5、天旭少亲心压、	受力し工であり	a1 ∧ .º	- m						
	(1)	成果・協	働に対	する事業の	D有効性	計	1	点						
2		①施策を	を達成する	うえで、当該	事業の貢献度は高	い。		1点	(説明) 有效	性に関し、	、内容を	具体的に言	己入します。	
有		②事業の)継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の向]上が期待	できる。	1点					、吉岡地区の活動	動拠点として情
効性	С	③類似1	た事業と	の統合や連	携を図る余地はない	N_		1点	報発信する	など、地域	の活性化	化に繋がる	5.	
11	F	0 // (1)			が図られている。			1点	4					
	(1)			1.忠戦ツ川ユ	.MAD641.CV.20.	計	1							
	(1)	達成度の			指標(算式	1	点 単位	DA安结		DC et 4	生	DC中结	DC W And Lon	
		区分		比柵①			中世	R4実績		R5実	限	R6実績 	R6当初計画	
	任	動指標		指標①	利用者数	= /F		人		5, 304		4, 932	4, 806	4, 932
	×.	具体的な流	舌動の	(算式)	吉岡地区人口×6	四/ 平								
3	内:	容		指標②										
٥				(算式)	CITTLE LABOR	_ Anto-sere -the								
達成	뺘	果指標		指標①	利用者一人当たり	の官埋費		円	1	1, 340		1, 404	1, 476	1, 404
		キュロュऱ どれだけ₫)成果が	(算式)										
	現	れたか		指標②				-						
				(算式)										
	С	①期待L	たとおりの	の成果があっ	た。(達成度80%以	.上)		1点					字を具体的に記入	
		②概ね其	胡待した通	りの成果があ	あった。(50%以上8	0%未満)		0点	舌岡地区の	圧民に対し	し、行政	サービスの	り提供することが、	できた。
		③成果か	ぶ少なく今	後も向上する	る見込みがない。(5	·	-1点							

	(1) 🖣	事業費の推移			計	0	点							
	[2	区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R6事業費の内	内訳及び金額		単位コスト	0	一般財源額	Ą
		事 業 費	千円	7, 108	6, 924		7, 095	(金額の上位	2 費用他)		達成度を下げ	ずに低下	させた	1点
	対	国・道費	千円					区分	金 額	0	変わりない・上確かつ具体的			0点
4	源	地方债	千円					委託料	4, 795		上昇している	7(=100-91 C	C 20	-1点
効	内訳	その他	千円					需用費	2, 016		物価高騰・貸		等により委託	托料
果	~	一般財源	千円	7, 108	6, 924		7, 095			説明	が増額したが	ため。		
性	(2) =	⊥ 手法の効率化			計	3	点	(説明)手法の	 効率化に関し、	内容	」 を具体的に記	入します。		
	0 0	がないほどの水 ②現在の手法に の高い水準にた	準にが は効率 なってい 執行方	さっている。 的な事務執行と受っる。 法の工夫により、対	して事業費を削減 益者に対するサービ け象範囲を変えずに	ごス満足度	1点 1点 1点	現在の事業費(率的に行われ ^っ		·分な	コスト削減を彳	うっており)、事業運営	営も効
項目別点数による評価		項目別点数による評価結果		1 必 2 有 3 達	数表 頁目 点数 要性 3 効性 1 成度 1 果性 3			低 0	必要 ¹	生十7	f 効性 5 6 A B	高7 8~	高 章成度+効果性 0 -1 -2	
		担当課評価			果を参考に、事業 次のA~Dにより		して、	他施策との関係領	等を含め総合的	視点が	いら評価します	۲.		
	Α	現状にて事業	美を継	続または拡充										
		現状のままで事						事業を拡充	でして継続					
	В	1		善により継続										
_		事業の簡素化、	、効率の	とによる改善				執行体制の	の見直し(外部委	託等)	による改善			
次		事業手法の見	直しに。	よる改善				住民参加等	等の推進による改	善善				
評価		事業内容の一	部見直	しによる改善				その他効果	R的·効率的手法	の検討	対による改善			
_	С	事業規模・内	容等	の見直しの検討	 									
担当		制度·事業内容	の全面	面的な見直しを検討	t				の見直し、受益者			を検討		
課評				事業規模、計画等の					類似事業への統	Ē合•転	に換を検討			
価				業費平準化等を検	討			その他						
	D	事業の抜本的	り見直							dent 3	1 -t- 10 t- 1			
	\•/-	廃止	Ak UL	統合	縮			凍結	4~1.cA.1.ca.4.		な事業への転換		7 0 11	
	***	1		や廃止することに	よる影響 ウ え方を具体的に記		:可能	条件が整名	とば廃止検討可能 ないに記る		廃止は	四天任	その他	
	説明		也区住		ビスの提供や憩			引き続き、適正区住民の憩いの	な維持管理に	努める	るとともに、利	用率向上	並びに吉雨	岡地
		<u> </u>	1	м таль:	业 ナ 砂 仕 十 エ ハ !	-	+ *	の准め士のごぎ	<u> </u>	_	市 ** +0 +** -*	1 m n = 1	· 1 48 22 ==	
					業を継続または抗 一 的見直しの検討		事 来 廃止	の進め方の改善・	・検討が必要縮小	C	事業規模、内		しか必要 『業への転換	品
=		庁内委員会 評 価			的見直しの検討 の内容により事業			机石	利日 小		米 和	利には言	ア木・い気打	*
次評			Ī	説										
価		Α		明										
				A 現状にて事	業を継続または拡	t充 B	事業	の進め方の改善・	・検討が必要	С	事業規模、内	容の見直	しが必要	
最		最終評価			的見直しの検討		廃止	統合	縮小		凍結	新たな事	事業への転換	奐
終評]	一次評価、 説	二次評価の内容	かにより事	未推進	とびこと。						
価		LA		明										
			4											

令	和	7 年	7)	月 23	日 作成			担:	当課			F	订民課			
事	事務	事業名	学童保	育費			I									
	-	基本方向	02	次世代を	育成し、つな	がり、学	び合うまち	っづく	IJ	施策コ	ード					
施	,	項 目	01	子育て支	援の充実					法的		法令	O 条	例	その	他
策の	-	財務名称		学童保育	 費					根拠等		町学童保	 育条例	ļ		
体									-	中佐	0	直営	委	託	その	他
系										実 施 方 法				10	()	Ū
事	学	童保育に別	見童を預	 けることに。	より、保護者がき	安心して便	かくことができ	きる環	境づくりを推	進する。(*	定員30名	玄)				
事業 概				,, &	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		,,==,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,) () () () () () ()	_ , 40 (,	,_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	7				
要																
	(1)対象 (誰	を、何	を対象とし	しているのか)				(3)手段(どのよう	な手法、	手順で行	_{うっている}	のか)		
					年生以下の児童 呆育に欠ける学				小学校の空 (R6年度登録							S.A.
事		める学童。	(18 W W.	カザにより	木月に入りつす	・重、(())	医門 灰がを	女に	5年生0名				E 3/H 3-	十工 0	1 17IC	741
業	(‡	対象を小学	校6年生	まで拡充。)											
の目	(2)意図(対	象をど	のようなり	犬態にしたいの)か)										
的	保	護者に代え	つり保育	することによ	くり、学童の健全	とな育成を	図る。									
	(1)町関与の	根拠(田	けが行う必	要がある事業	か) 計	3	点	1							
) ①法令等	い 実施が	ぶ義務付けら	れている事業。		<u>-</u>	1点	⑥産業	振興及び地	也域活性化	上のためにi	重要な事業			1点
		②生活環	環境の確保	R等、町民生	活に直結した事	業で、当然の	の責務として	1点	× 151 707	答理. 海岸	一位の事業	(占米/->	a h)			
		町が行う	べき事業)				ı A	X 110	管理·運営	守り尹未	。(尽致刈◎	K2F)			
		3 社会的	的•経済的	弱者の生活	維持・安定のため	に不可欠が	な事業。	1点	1,222, 124							
		④町の架	f性や魅力	りを生かした	取り組みなど、戦	略的な事業	É.	1点	保護者の就る。	労等により	り、字重の	の健全な育	育成を図る7	こめ にょ	必要な事業	であ
1	(による実 補完する		るが、サービスの	権保が困難	なため、町	1点								
必	(2			_{手来。} ニーズの変	トル生		1	点								
要性					境の変化によっ			-	※ 注令	等で宝施け	内容や手法	+ 笔が定め	られて、町の	創音丁=	が入ろ全	
			れている。		.56.5 % [6161.5		1 3-11 -> 321 > 1	1点		い。(点数対		- 1, W /C->	J, C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	une>	(20) ((())	-
		②対象者	f、利用者	が増加する	など、町民ニーズ	が高まって	いる。	1点	(説明) 妥当	当性に関し	、内容を	具体的に記	記入します。			
				固定化を避り	けるため、種々の	改善を行い	、事業の効	1点	保護者に対庭の就労促					共できる	ら。(ひとり親	氱
					、実施の緊急性	、優先性は	高い。	1点	1	() () () () ()	光圏でか	.灰エマフェ日/川	<i>(</i> 40)			
	_						1	-								
	(1)成果・協	働に対	する事業の)有効性	計	2	点								
2	(①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献度は	高い。		1点	(説明)有效	効性に関し	、内容を	具体的に記	記入します。			
有		②事業の	継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の	向上が期	待できる。	1点	保護者が安図るうえで貢		. –	きる環境	づくりととも	に、学重	重の健全育.	成を
効性		③類似し	た事業と	の統合や連	携を図る余地はた	:\ \ _\		1点		ス川八文『ム旧	±1 ∧ .°					
		④町民参	加と自治	意識の向上	が図られている。			1点								
	(1)達成度の	測定			計	1	点	1							
	H	区分			 指標(第		単位	R4実績	Ē	R5実	結	R6実績	1	R6当初計	·画	
		E//		指標①	開所日数	-247						120			1011	I .
	活	動指標		(算式)	70171 F 3A			日		255		253		257		257
		具体的な温	5動の	指標②												
3		容		(算式)												
				指標①	登録人数											
達成	成	果指標		(算式)	立邓八郊			人		38		33		33		33
	×	どれだけの)成果が		平均利用者数											
	垷	れたか		指標②	广约们用自数			人		11		7		8		7
	H	(算式) ○ ①期待したとおりの成果があった。(達成度80%以上)							/=V=0: " =		. h = . h - h - h - h - h - h - h - h - h - h		548	- 57 - 1	-44-	
	L							1点	/ロ=#: #.ユ» <i>-</i> ナ							会の
		②概ね其	月待した 通	的の成果があ	あった。(50%以_	i)	0点	保護者が女健全育成を			. さる界児`	フヘリど夫別	匹り つと	こもに、子旦	払い	
		③成果か	ぶ少なく今	後も向上する	5見込みがない。)	-1点	i								

	(1) }	事業費0	り推移	;				青	†	1	点												
	[포	分	単位	R	4決算額	R5岁	央算額		R6決算	額	R6	事業費の「	为訳及	び金額			単位〓	スト		0	一般則	才源額
		事業	美費	千円		1, 241		1, 44	1	:	1, 284		金額の上位				0	達成度	を下げ	ずず に	低下	させた	1点
	<u>.</u>	国•:	道費	千円		860						区	分	金	額	į		変わり					0点
4	財源	地方	ī 債	千円								報償費	B		89	97		確かつ 上昇し			KUT C	5 D	-1点
効	内訳	₹ 0.)他	千円								需用費	t e		29	96							
果)	一般	財源	千円		381		1, 44	1		1, 284					部	朔						
性	(2) =	手法の対	小率化	:					+	1	点	(説印	月)手法 <i>σ</i>)効率(とに関し	ノ、内	容を	·具体的	的に記	込し	ます。		
		①業務	等の見	直しに。	より、組	経済性を考慮	して事業	- 関を削	減でき	る余地	1点		丰度任用										するサー
	0	の高い	の手法 水準に 委託や	は効率 なってい 執行方	的な事 いる。 法の	ハる。 事務執行と受 エ夫により、対					1点	ビスの	安定を図	図った。									
項						項目別点			Met.				低 0	1	2		十有 4	<u> </u>	6	7	高 8~	1	高
目別		項目別	点数に	_		,	項目	点	数													6	達
点		よる評				1 必	要性	4	^					-¢					A			5 4	成
数に			\			2 有	効性	2	6	_									0			3	度 十
ょ		<i> </i> -	4			3 達		1								+						1	効
る評						3 理	成度	1	3					D					В			0 -1	果 性
価						4 対	果性	2														-2	低
		担当該	<u> </u>			※上記の結 ※評価は、					して、	他施策	との関係	等を含	か総合	·的視	点か	ら評価	iしま [®]	す。			
	Α	現状に	て事績	業を継	続ま	たは拡充																	
	0	現状の	ままで	事業を終	迷続								事業を拡き	充して糺	迷続								
	В	事業の	進めた	方の改	善に	より継続																	
		事業の何	簡素化	、効率の	化によ	る改善							執行体制	の見直	し(外部	委託	等)に	こよる改	善				
次		事業手	法の見	直しに。	よる改	善善善							住民参加	等の推	進による	5改善							
評		事業内容	容の一	部見直	にによ	る改善							その他効果	果的·贫	协率的手	法の	検討	による	改善				
価(С	事業規	模・Γ	内容等	の見	直しの検討	र्ग																
担当		制度·事	業内領	容の全面	面的な	見直しを検討	寸						対象範囲	の見直	し、受益	全者負	担の	見直し	・導入	を検討	討		
課		必要性	等を再	検証し	事業規	提 模、計画等	の見直し	を検討					他の事業	、類似事	事業への	り統合	·転	換を検	討				
評価		計画期	間の延	伸、事	業費平	準化等を検	討						その他										
(Ē	D	事業の	抜本的	的見直	しを	検討																	
		廃止				統合			縮小				凍結			新	fたな	事業~	への転	換			
	*	事業廃」	止の可	「能性	や廃」	とすることに	よる影響	響 □	>	廃止	可能		条件が整	えば廃	止検討	可能			廃止に	は困難		そ(の他
		一次評	価(担	当課評	呼価) (の内容や考	え方を具	体的に	記入し	します 。		今後0)改善策等	を具体	本的に言	記入し	ます	١.			-	•	
	캢	保育体 保護者	制を研究が安め	確保し 心して	ている 働くこ	面の配慮か る。 とができる。 こっている。						名と作		員で支	障が生	とじな	いけ	う運営					、現状は2 度任用職
		1			Α	現状にて事	業を継続	続またに	は拡充	В	事業	の進め	方の改善	・検討	が必要		С	事業規	模、	内容の	の見直	しが必	必要
		庁内委	会員会		D	事業の抜本	的見直	しの検討	ii	>	廃止		統合		縮小			凍結		新	たな事	業への	の転換
二次		評	価			一次評価	の内容に	こより事	業推	進のこ	ځ.			-1	-								
評				1	説																		
価		_ <i>F</i>	١		明																		
					۸	1141-デオ	* 士 411	終ませず	+++-*	-	声樂	D# 4-	ナルチギ	. 	がぶず		<u></u>	車垛+	描	中空	ν la :≠	1 482	(西
_						現状にて事事業の抜本					争 未 廃止	ル進(の)	方の改善 統合	*快討	か必要縮小			事業規凍結	代代、				> 要 の転換
最終		最終	評価		Ť	一次評価						のこと			alb.1.			-25 TH		ועה	· & · =	~ ·	- TMIA
評			\	1	説																		
価		<u></u>	1]	明																		

└	- <u>-</u> -	7 年	1 7 J	月 23 €	日 作成			扫音	当課			町民課			
		事業名					<u> </u>		- H-11						
		本方向	04		<u>・</u> が安定し、安全	- 中心にす	きたみるせ	: t づ	/ I.I = #4	策コー	Ľ				
施	-					- 女心にも	₹ り E の a	500			<u> </u>	AZ /Eil		7.0	/th
策	IJ		04	環境衛生(的 拠等	法令	条例	C		
体	具	才務名称		ごみ減量を	化对束質				112)A: 47		性肥化容器等購入	. 賀 補 耳		
系									美	施法	〇 直 営	委託		その	他
	/1	_\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	-1.1/r	**************************************	7 11 A ~ W. N.	T ~ 10 / p ~ m	/vz === 64- _\	~ ×III			1 10		111 77 21	×=====================================	
事業概要					れる社会の形成 算の範囲内にお				として生ごみを自 する。	目家処理	:する。 コンボス	ト、EMボカシ容	器及び	電動生	ごみ
	(1)	対象(誰	を、何	を対象とし	ているのか)				(3)手段(どの	ような	手法、手順で	行っているのか	١)		
事業の目的	(2)				犬態にしたいの として利用の拡力				EMハ [*] ケツ、コンス	ポスト、 電	動処理機の購	孝入に対する助成	念。		
	(1)	- 叶間 - の	+8 +hn / m	r 北江 二 次	亜ギセス事業と	\\ = ⊥	4	<u> </u>							
	H				要がある事業か	\) 計	4	点							
	С				れている事業。			1点	⑥産業振興	及び地域	活性化のために	工重要な事業			1点
	С	②生活環 町が行う			活に直結した事業	で、当然の)責務として	1点	※内部管理	運営等	の事業。(点数対	象外)			_
		③社会的]•経済的	弱者の生活	維持・安定のために	こ不可欠な	事業。	1点	(説明)関与の村	艮拠に関	し、内容を具体	的に記入します。	,		
	С	(4)町の特	性や魅力	りを生かした」	取り組みなど、戦略	外のな事業。		1点	EMバケツ、コンス	ポスト、電	動処理機の購	 うして助成	金をな	を付して	۱ ۷
1	C	⑤ 民間質			るが、サービスの確			1点	る。						
必	H	か													
要性	(2)			ニーズの変		計	1	点							
111	С	①国の制 が求めら			境の変化によって	、サービス	内容の拡充	1点	※法令等で地はない。(らいて、町の創意	工夫が	入る余	_
		②対象者	六利用者	が増加する	など、町民ニーズカ	ぶ高まってい	いる。	1点	(説明) 妥当性(こ関し、「	内容を具体的に	記入します。			
				固定化を避け	けるため、種々の改	女善を行い、	事業の効	1点	生ごみの堆肥化		みの資源化を	図り、家庭から掛	出さ	1るごみ(の量
					、実施の緊急性、	優先性は高	高い。	1点	を減らす必要が	める。					
	(1)	成里。拉	価ルーが	 する事業の	大 為性	計	2	点							
2	H								/=×nn > + ++++	- 88 1 .	中央				
	C				事業の貢献度は高	-		1点	(説明) 有効性I 生ごみの堆肥化				/減 応っ	上事がで	<i>:</i>
有効	С	0 1 //1		. ,,,,,	票(事業の意図)の		fできる。 	1点	生にみり堆配化る。	ハームク、	ッシュションカト山(これいひに《たVノ里で	. 19XD S	ずがし	C
性		③類似し	た事業と	の統合や連打	隽を図る余地はない	√ ₁ °		1点							
	L	④町民参	加と自治	意識の向上	が図られている。			1点							
	(1)	達成度の	測定			計	-1	点							
		区分			指標(算:	式)		単位	R4実績		R5実績	R6実績		R6当初計	画
				指標①	助成件数			件		1	2		1		10
		動指標 具体的な活	E動の	(算式)				11		1	ı		1		10
	内		到切	指標②	助成金額			千円		4	76		56		500
3	L			(算式)				1 17		1			50		500
達				指標①	1世帯当り可燃ご	み排出量		1	57	9	527	51	,		527
		果指標 どれだけの	は田が	(算式)				kg	57	4	327	91	.4		921
反		これだりの れたか	ルスポル	指標②											
				(算式)											
		①期待し	たとおりの	の成果があっ	た。(達成度80%)	以上)		1点	(説明)成果・気	り果や達り	成度に関し、内	容を具体的に記	入しま	す。	
					かった。(50%以上			0点	EMバケツ、コンス	ポストにつ	ついては、地域	性による影響を	受ける	(キツネ・	
	С				る見込みがない。(- 7111	被害)ため普及だ 大に努める。	が見込め	ないが、引き	続き電動生ごみ	処理機	の普及の	の拡

	(1) 🛚	事業費の推移			計	0	点											
	[区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6:	決算額	Ré	6事業費の内	1訳及7歳余	: 哲		単位コ	スト	0	一般財	源額	
		事業費	千円	29	76		296		金額の上位				達成度	を下げず	に低下る	させた		1点
	_	国・道費	千円					F	巫 分	金	額	0		い・上昇			明	0点
4	財源									217				具体的に	説明で	きる		
-	源内	地方债	千円						購入費 金・補助及		240		上昇して	ている :ごみ処:	田松の	# TL 0		-1点
効果	訳	その他	千円						付金		56	説明		:こみ処: :入した。	生機の	音及の	ارهی:	′茂
性		一般財源	千円	29	76		296											
	(2) =	手法の効率化			計	1	点		明)手法の									
	0	がないほどのか ②現在の手法に の高い水準に	く準になっ は効率的 なっている 執行方法	oている。 な事務執行と受え る。 の工夫により、対	して事業費を削減 益者に対するサート な範囲を変えずに	ごス満足	2度 1点		みを堆肥化 費用の節減			出され	いるごみ	の量を減	載らす こ	: 	り、ご	み
				ᅲᄆᆔᅩᇸ	₩. =				Æ		心面心	v4- ı ≠	- 24.44		占			
項				項目別点数		7			(6)	1 2	<u>少安1</u> 3	生十年 4	<u> </u>	6 7	高 8~	1	高	
目別		項目別点数に	.	1	頁目 点数	_										6	達	
点		よる評価結果		1 必	要性 5	.				- ¢				A		5 4	成	
数に			1	2 有	効性 2	7										3	度 十	
ょ		B		H		-		\checkmark							+	2	効	
る 評			•	3 達	成度 -1 ————————————————————————————————————					D				ВО		0	果 性	
価				4 効	果性 1											-1 -2	低	
														U.			150	
	A	担当課評価	美を継続	※評価は、	果を参考に、事業次のA~Dにより			他施領	後との関係等	いっぱい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	総合的:	視点か	ら評価	します。				
		現状のままで事	事業を継続	売					事業を拡充	して継続								
	В	事業の進め方							7 7/4 6 3/4/5	17 17 17 17 1								
	F	事業の簡素化							執行体制の)目 直] (な	人如丞	託笙) /	ことろみ					
_	0	事業手法の見						0	住民参加等				-2.20					
次評	\vdash	事業内容の一						0	その他効果				+1 = 1 = Z ⊒	4. 羊				
価	_				1				ての他効木	:113-304-1	り十仏	V / 1円 p	ルーチのさ	X				
担	С			り見直しの検討	-				±1.65.85 TEL 0	、日 本 1 :	σ +- + -	4 +⊓ a	\ B = 1	>** ¬ → 1\	. .			
当				りな見直しを検討	,				対象範囲の						[計]			
課評				業規模、計画等の	7				他の事業、	類似事業	への新	台·転	換を検	寸				
価		計画期間の延	伸、事業領	費平準化等を検討	村				その他									
	D	事業の抜本的	り見直し	.を検討				ı				ı						
	 	廃止		統合	縮	小			凍結		<u></u>	新たれ	よ事業へ	の転換				
	*			廃止することに			廃止可能		条件が整え	ば廃止検	討可能	Ė	層	を止は困難	推	その	他	
	説明	引き続き生ご	み処理		え 方を具体的に記 F出ごみの減少や 選していく。			渡島量化また	の改善策等 西部四町に対策の検記 対策の検量 、ごみ減量 、議で方策を	こよる広り 対を進め 化の有象	或的な る。 b性をl	:取り糸	且みにつ					
				A 現状にて事	業を継続または拡	太充	B 事業	の進め	方の改善・	検討が必	少要	С	事業規	模、内容	の見直	しが必	要	
_		庁内委員会		D 事業の抜本	的見直しの検討	⇒	廃止		統合	縮	小		凍結	亲	fたな 事	事業へ <i>σ</i>	転換	
次評価		評 B		一次評価の説	の内容により事業	美推進(のこと。											
			-		業を継続または扱			の進め	方の改善・	1		С		模、内容				
最終評価		最終評価			的見直しの検討 出し方などに対し		廃止 廃止	けして	統合 ていくような		か検討	してに	凍結 まど う か		所たな 事	事業への	転換	

令和	和	7 年	7)	月 23 1	日 作成			担	当課		Ī	忍定こど:	も園福島保	育所		
事	務	事業名	保育所	 費			I		I							
	基	基本方向	02	次世代を	育成し、つ	つながり、学	び合うまち	っづく	IJ	施策コ	ード					
施	IJ	頁 目	01	子育て支	援の充実					法的	0	法令	条	例	その	他
策の	Į.	才務名称		保育所費						根拠等	児童	福祉法				
体	F			PICTORIA						実施	_	直営	委	託	その	他
系										方法						
事									上の就学前児							
業概		保育所に伊 ている。	特設して	いる子育て	支援センタ	ーにおいて、	保育所や約	力椎園	を利用してい	ない親子	の交流の	り場を確り	ドするととも	に、育り	記相談等(こ)	対応
要																
	(1)	対象(誰	を、何	を対象とし	ているの	か)			(3)手段(と	のような	な手法、	手順で行	うっている	のか)		
						R育が困難な	就学前児童	及び	①保護者の第							見の
事				ナない就学 利用してい		前の親子。			保育及び3歳 (0歳児1名、)名、
業									計 40名 R6: ②子育て支担			1	方法の担	さずね/兄・	ナスししもノァ	
の目	(2)	意図(対	象をど	のようなり	状態にした	いのか)			談、電話によ) X (III. v) 6/3/3	乙堰区	9 200010	., ш
的	_					歳以上の保育	「に欠けない	幼児								
				その健全が利用してい		i達を図る。 D交流促進、 ⁱ	育児に関す	る不								
	安	や悩みの角	解消を図	る。												
	(1)	町関与の	根拠(四	けが行う必	要がある乳	事業か) 計	3	点								
	С	①法令等	ぎで実施か	ぶ義務付けら	れている事業	業 。	_	1点	⑥産業技	辰興及び地	地域活性化	とのために	重要な事業			1点
		②生活環 町が行う			活に直結しる	た事業で、当然	の責務として	1点	※内部管	管理・運営	等の事業	。(点数対象	象外)			_
	С				維持・安定 <i>の</i>	ために不可欠	な事業。	1点	↓ (説明)関与	の根拠に	関し、内	容を具体に	的に記入し	ます。		
		④町の特	i性や魅力	りを生かした!	取り組みなど	、戦略的な事業	¥.	1点	児童福祉の地	増進を図る	る上で、	重要(中心	い的)な役害	りを担っ	ている。	
1	С				るが、サービ	スの確保が困難	なため、町	1点	<u> </u>							
必	(2)	が先導・		_{事業。} ニーズの変	トル生	計	2	点								
要性		①国の制				よって、サービン			※ 法令等	筆で宝施大	容や手法	+等が定め	うれて、町の	創音丁=	-が入ろ金	
	С	が求めら	れている。					1点	地はない	`。(点数效	(象外)				(10) (10)	_
						ーズが高まって		1点								
				固定化を避り きている。	けるため、種	々の改善を行い	い、事業の効	1点	前児童の健全	全育成が	図られる	00				-
	С	④限られ	た財源の	中にあっても	、実施の緊	急性、優先性は	は高い。	1点	②保育所やに関いて、育児に関					り場を確	怪中 るとと	ŧ
													· · · · · · · ·			
	(1)	成果・協	働に対	する事業の)有効性	計	2	点	1.							
2	С	①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献	度は高い。		1点	(説明)有効	性に関し	、内容を	具体的に	記入します。	,		
有	С	②事業の	継続によ	り、成果目標	票(事業の意	図)の向上が期	待できる。	1点	児童福祉の地実施による貢			重要(中心	い的)な役害	を担っ	ており、事業	業の
効 性		③類似し	た事業と	の統合や連打	隽を図る余地	也はない。		1点		、111ハ/又 (-n 4 ,0					
		④町民参	≩加と自治	意識の向上	が図られてい	いる。		1点								
	(1)	達成度の	測定			計	1	点								
		区分			指標	(算式)		単位	R4実績		R5実	績	R6実績	Ę	R6当初計	·画
				指標①	開所日数			п		000		000		004		00.4
		動指標 具体的な活	に計へ	(算式)				日		290		293		294		294
	内:		りません	指標②									-			
3				(算式)				L								
達				指標①	入所者数			ı		47		20		40		26
		果指標	は田ギ	(算式)				人		47		36		40		36
及		どれだけの れたか	ルスポン	指標②												
				(算式)												
	С	①期待し	たとおりの	の成果があっ	た。(達成度	(80%以上)		1点	(説明)成果	効果や	達成度に	関し、内	容を具体的に	こ記入し	ます。	
		②概ね期	待した通	りの成果があ	あった。(50%	· 《以上80%未満	j)	0点								
		③成果カ	いかなく今	後も向 トする	5見込みがた	とい。(50%未満	;)	-1占	対応するため など、利便性				の出産等の)利用、	広域入所対	寸応

	(1) 3	事業費の)推移	;				Ī	: †	0	点											
	[×	分	単位	R	4決算額	R5∌	央算額		R6決算	額	R63	事業費の厚	均訳及7	『 金額		単位	コスト		0	一般則	才源額
		事業	費	千円		10, 657		9, 26	52	10), 573		金額の上位				達成	度を下	げずり	こ低下	させた	1点
	^	国•	首費	千円				2, 04	17		2, 108	区	分	金	額	0					2理由を	- 明 0点
4	財源	地方	信	千円								需用	事		6, 932	+		つ具体		兄明で	ぎる	-1点
솼	内訳	その		千円		852		80)9		838	報償			2, 504					り物価	i高騰	・ が 及び代替
効果	<u>ارة</u>	一般		千円		9, 805		6, 40			7,627	TK IQ.	٦.		2,001		月 保育	士の	報償	費の増	額のた	こめ 。
性	(2) =	│ //ºº? 手法の交				9,000		-	; †	2	点	/ ≣∺ BI]) 手法の	か変化	- 1 - 111	内京	えた目が	k 651-1	<u> </u>	ま す		
					より、組	経済性を考慮	似て事業				1点		品祉の増									施設であ
	0	の高い	の手法 k準に 委託や	は効率 なってい 執行方	的な事 いる。 法のI	ハる。 事務執行と受 エ夫により、2					1点 1点		用者の安									72.00
						項目別点	粉丰						低		心亜	ᆥ	有効性	+		高		
項目							<u> </u>	占	数	,			0	1	2 3	4	有 刈口 5	6	7	₽		高
別		項目別					供口		奴	i											6 5	達
点数		よる評価	価結男	!		1 业	必要性	5	7					•				A			4	成 度
1=		_	\			2 1	勃性	2	,										0		3	+
よる			٦			3 ≟	を 成度	1		_		/									1	効 果
評									3					D				В			0	性
価						4 交	力果性	2													-2	低
一次評価(担当課評価)	O B C	現状の 事業の 事業の 事業 井 事業 規 ・ 事業 規 ・ 事業 規 ・ 事業 単 ・ 計 事業 上 り の に り り の に り り り り り り り り り り り り り	ままで『進ぬれの 事業 を は ない 事業 を の で は 地	事業を紹介を が、 直に 部 内 容 の 証 事 ま 直 に 当 設 で 検 値 中 内 見 値 性 課 で あ で か ま で か 見 値 性 ご ま で か 見 値 性 ご か で か ま で ま で	継続 善に によるによ ののの業 乗せ を にののので のので ののので ので	善る改善 直しの検記 見直しを検記 見では、計画等 準化等を検	次のA へかの A かいました 大方を見る 表表 有が必要	を検討 を検討 となる	よりま 縮か 小 小 こ と と と と と ろ く ろ く ろ く ろ く ろ く ろ く ろ く ろ	す。	可能	今後の後のできなが、	事業を拡刃 執行体制の 住民参加。 その他効身 が象範囲の その他 東結 条件が整、 等様们 そのとも支え者と 保護者と	をして総の見直をはいる。 の見の作が対の直には、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 を	(統 生によるで 本 受 益	を記等 検 の)による 計によ の見を を が見及、 が見及、 が見及、 が見及、 が見及、 が見及、 が見るが見る。	改善る改善・導入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	人を検 大を検 大を検 大を検 大を検 大を 大を 大を 大を	利便性なの育を積極流及	生の向 成に多 返的に び教員	か他 上を図り、 所能進する。 はとの情報
					Α	現状にて事	事業を継続	続また	は拡充	В	事業の	の進め	方の改善	• 検討:	が必要	С	事業	規模、	内容	の見直	しが必	〉 要
_		庁内委	員会		D	事業の抜る	的見直	しの検	討□	>	廃止		統合		縮小		凍結		新	たな事	事業への	の転換
二次		評	価			一次評価	の内容に	こより	事業推	進のこ	٤.	1	1	1		•	1	1	1			
評価		A	1		説明																	
					Α	現状にて	事業を継続	続また	は拡充	В	事業の	の進め	方の改善	検討	が必要	С	事業	規模、	内容	の見直	しが必	〉要
最		= 45	≣ਗ <i>।</i> ਡਾ			事業の抜る	的見直	しの検	討□	>	廃止		統合		縮小	+	凍結					の転換
終		最終	計価			一次評価	、二次評	呼価の「	内容に	より事	業推進	のこと		-1		-1	-1					
評価		7	\		説明																	

小	<u></u>	7 年	. 7 .	月 17 E	日 作成			担当	当課			福祉課			
		業名		, 輌等購入事			<u> </u>		- HP11			Little Male			
-		本方向	03		- 「ポッパス」 	こいた訒が	5 合ってま	= たづ	/ 川 梅	ニーニー 策コード	1				
施	項	日	01	高齢者福		LU·Z mou	7 1 1 2 3 3	. 5 7		· ·	法令	〇 条 例		その何	4h
策の		 務名称	01		世の元英 等購入事業助反	井				的 処等 計会		○ 木 ヴ 人の助成に関す	2 久川		IE
体	别	伤血机		伸仙 早 啊 :	守牌八争未切凡	(貝				0	直営	委 託	る米例	その	Ш
系										施	但 呂	安瓦		ての	ILE
#	福阜	町に住員	祈を有す	ス社会福祉	法人に対し。高	齢者福祉	の増進を	図ろた	め、福祉車輌等の		を助成すれ	,			
事業	ІШ РЦ	/, (CIL),	71 2 17 7	の比対田田	LIM/CICATO(III.		.v2-f1/E-C1	⊡.ಎ/⊂	。2、四四十十十	/州/八貝/川	- 1937AA) 'a	,			
概															
要	(1) =	LL #5. /=#	+ 1-	+ + 1 4 1 1	エ い スの (4)				(0) T = (15 o	しこかては	ナルエー				
					ているのか)	可加重而每	さ(デノサ)	ーレフ	(3) 手段(どの。 福祉車両等の購					≒ 级弗σ	D.7
				一活動車輌		田川中 四 〒	Ŧ() 1 y	LA	5%以内とする。		開め玉で	又口 テる。11197日	- (よ人) 羽	K/庄貝 V	21
事業									令和5年度						
まの の	(2)								デイサービス送	迎用バス	1台(福島	;幸愛会)			
目的	, , .		=		大態にしたいの	,	b) (本)よファ	- 1,28	・令和6年度 ヘルパー活動〕	車輌 3台 (富鳥町社4	合福祉協議会)			
μу	価位でき		州川伯	に刈し、女人	定した福祉サー	ころど佐田	トレ統りる、	_2//3	10 393-	PH1 0 L (шш, 1 11.	以 III III III III III II I			
	4.11					[
	(1)	打関与の	根拠(日	打が行う必:	要がある事業か	\) 計	3	点	I						
	0	①法令 ^等	穿で実施だ	ぶ義務付けら	れている事業。			1点	⑥産業振興	及び地域活性	化のために	二重要な事業			1点
	0		環境の確保 べき事業		活に直結した事業	で、当然の	責務として	1点	※内部管理·	運営等の事	業。(点数対	(象外)			_
	0				維持・安定のために	こ不可欠な	事業。	1点	(説明)関与の根	拠に関し、	内容を具体	めに記入します。			
		OFF OR	E-M+ 0>m+-	h+.#-3.1 ±-1	時かり フェナットミー 単仏地	カカナン車・米		1 上	社会福祉法第58	条の規定に	おいて、	社会福祉法人に	対し補足	助金をす	支出
1					取り組みなど、戦闘			1点	できる旨規定され						-, ,
. su			新による夫 補完する		るが、サービスの確	11木が四無7。	まため、町	1点							
必要	(2) 1	社会情勢	や町民	ニーズの変	5化等	計	1	点							
性					境の変化によって	、サービスに	内容の拡充	1点			法等が定め	られて、町の創意	工夫がえ	人る余	_
			れている。		など、町民ニーズカ	ジョナュアリ	\Z	1点	地はない。(が現代の) 地はない。(が現代の) 現代の (説明) 妥当性に		た目はめに	·== 1 ± +			
					するため、種々の改				社会福祉法人が				ム粉を	維持士	-Z >
				きている。	アンバニック、1里ペ マンら	KB-2114.	,事未り別	1点	とにより、安定した						S)
	0	④限られ	た財源の	中にあっても	、実施の緊急性、	優先性は高	高い。	1点							
	(1)	む里・성	通に対	 する事業の)有効性	計	2	点							
2								-	/=×==> + +1 +4 /-		+ = \L.\.				
	0				事業の貢献度は			1点	(説明) 有効性に 補助金を適正に				7 た坦 #	F1 結斗	トスト
有効		②事業0)継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の	向上が期待	できる。	1点	伸助金を適止に とができる。	スロッのこの	- 、女化	した田畑リービ	、こ1年1	マレ形だり	(a) (
性	0	③類似し	た事業と	の統合や連打	隽を図る余地はな!	√,°		1点							
		④町民参	参加と自治	意識の向上	が図られている。			1点							
	(1) j	達成度の	測定			計	1	点							
		区分			指標(算:	<u>.</u> 式)		単位	R4実績	R5	実績	R6実績	R	6当初計	·画
				指標①	補助金等交付団	体		団体			1		1		1
	活動	指標		(算式)				四种			1		1		1
	※具	体的な活	動の内容	指標②											
3				(算式)											
達				指標①	補助件数			件			1		3		3
成度	成果	指標 れだけのF	む里 が邛	(算式)				17					3		J
IX.	れた		以木川 坑	指標②											
				(算式)											
	0	①期待し	たとおりの	の成果があっ	た。(達成度80%)	以上)		1点				容を具体的に記			
		②概ね期	期待した通	的の成果があ	あった。(50%以上	80%未満)		0点	社会福祉法人の	所有する車	輌の台数	を維持することか	ぶできた	0	
		③成果が	ぶ少なく今	後も向上する		50%未満)		-1点							

	(1) 🗐	事業費の推移			Ē-	+	0	点											
	[2	区 分	単位	R4決算額	R5決算額	ı	R6決算	額	R6∄	事業費の	内訳及	び金額		単位	コスト		0	一般財源	原額
		事 業 費	千円		11, 98	7	2	, 730		会額の上				達成	度を下	げずに	低下さ	せた	1点
	<u></u>	国・道費	千円		3, 46	5			区	分	金	額	0			上昇し 的に説		理由を明る	0点
4	財源	地方債	千円		6, 10	0			負担金 交付金	 補助及び 	J.	2, 730			している		191 (6	-w	-1点
効	内訳	その他	千円		1,60	0	2	, 700	入门业										
果)	一般財源	千円		82:	2		30					説明						
性	(2) =	- 手法の効率化			Ē-	F T	1	点	(説明)手法の	の効率化	上に関し、	内容	を具体	的に言	己入し	ます。		
	0	がないほどの水 ②現在の手法に の高い水準に	く準になっ は効率的 なっている 執行方法	な事務執行と受 る。 の工夫により、対	益者に対するサ	ービス清		1点 1点 1点	社会福	届祉法 人	の運営	営を維持	するた	めに	必要な	事業	費とな	っている	5.
				ᅲᇊᄆᅃᆂᇸ	¥4- ≠					低		心 亜	h /- 1 2	느사씨	-		늄		
項目				項目別点	双衣 頁目 点	*h				0	1	<u>必安</u> 2 3	1生十1	<u>∮ 効性</u> 5	6	7	高 8~	7	高
別		項目別点数に				3 X												6 5	
点数		よる評価結果		1 必	要性 4	6					•				A			4	戊 隻
に		Δ		2 有	効性 2										0			2 -	⊢
よる]	3 達	成度 1						D				В				効 果
評価				4 効	果性 1	2												-1	生
Ш.				7 //	*IT													-2	氐
一次評価(担当課評価)	O B C	制度・事業内容	事業を継続 の改善 の改善 の改善 の改善 の改善 の改善 の の の の の の の の	※評価は、 を表 たまり継続 による改善 たる改善 の見直しの検言 かな見直しを検言 業規模、計画等の 費平準化等を検	力見直しを検討					事業を拡 執行体制 主民参加 その他効 対象範囲	充して の見直 等の推 果的・タ		託等) x善 をの検言 を含・車	によるi 対による り見直	改善 3改善 し・導力	~を検言	1		
	*	事業廃止の可	能性や	廃止することに	よる影響 弓	>	廃止	可能	ś	条件が整	えば廃	止検討可能	能	0	廃止に	は困難		その作	也
	説明	社会福祉法	人の経済	前)の内容や考え 客的負担を軽減 利用者に対する	することで、施	設運営	営の健					本的に記え 担軽減を			あるた	め、今	後も糸	迷続して	実施す
				A 現状にて事	業を継続または	は拡充	В	事業(の進めフ	ちの改善	・検討	が必要	С	事業:	規模、	内容の	見直	しが必要	į
_		庁内委員会 		D 事業の抜本				廃止		統合		縮小		凍結		新	たな事	業への	运 換
次評価		評 価 人		一次評価の 説 明	の内容により事	事業推通	生のこ 。	L •											
			-	A 現状にて事					の進めフ	ちの改善	•検討		С	1	規模、			しが必要	
最終評価		最終評価		D 事業の抜本 一次評価、 説 明	的見直しの検討 二次評価のP			廃止 業推進	 :のこと	。		縮小		凍結		新	たな事	業への	坛換

小	fo .	7 年	1 7 J	月 17 E	日 作成			担当	当課				福祉課			
		業名		· 祉総務費	- 1177								1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
-		本方向	03		療が充実し、5	これを認め	ト会える士	: よべ	7 ll .	施策コ	1_ K T					
施	項		03	高齢者福		といる 前のひ	70~0+	. 5)				法令	条	/Fil	O 70	Ш
策			UI							去 的 根拠等	<u> </u>					
体	財	務名称		社会福祉	総務質				,	K IX T	шш		り老人等介			
系										実 施		直営	委	託	その	他
	ht et	-134546 VI.		1 7 10 15	auth a method for	h / D (c)		. /m .>. 1	·	方 法		A Me Stil Ade	6-6 6-4- 1-4- 1-3-6	V4	5.3. A. A. M.) - H
事業概要					64歳の町民の例 祉の増進を図る		や医療の確	[保を]	図るため、疾病の	の予防	5、治療、機	能訓練	等の健康増	進事業	を総合的	に実
	(1)	対象(誰	を、何	を対象とし	ているのか)				(3)手段(どの	のよう	な手法、	手順で彳	テっているの	のか)		
事業の	(2)	社会福祉 65歳以」 寝たきり ⁵	この高齢	者及び障か介護者	い者				(1)社会福祉 金(2団体) (2)高齢者及び 使用) (3)寝たきり老	び障が	い者に対っ	する温泉	優待券配布	可(回数	無制限、方	
目					忧能にしたいの	か)										
的	(2)	高齢者及	び障が	活動支援 い者への福 の介護者に対	祉の増進 対し、介護の労を	:ねぎらう										
	(1)	町関与の	根拠(四	けが行う必	要がある事業が	\) 計	3	点								
	0	①法令等	穿で実施か	ぶ義務付けら	れている事業。			1点	⑥産業振	興及び対	地域活性化	のために	重要な事業			1点
	0		環境の確保 べき事業		活に直結した事業	で、当然の	責務として	1点	※内部管理	理•運営	常の事業。	(点数対	象外)			1-
	0	③社会的	的•経済的	弱者の生活	維持・安定のために	こ不可欠な	事業。	1点	(説明) 関与 <i>の</i>	根拠に	-関し、内容	容を具体	的に記入しま	きす 。		
		④町の特	f性や魅力	りを生かした」	取り組みなど、戦略	各的な事業。		1点	(1)社会福祉団(2)高齢者や障						答える.	
1			いまる実 補完する		るが、サービスの確	保が困難な	ため、町	1点	(3)寝たきり老人と考える。							きもの
必要	(2):			ニーズの変	化等	計	1	点								
性	\	①国の制		直しや社会環	境の変化によって		内容の拡充	1点	※法令等* 地はない。			等が定め	られて、町の倉	割意工え	 夫が入る余	T -
					など、町民ニーズカ	ぶ高まってい	いる。	1点				具体的に	 記入します。			
				固定化を避り	けるため、種々の改	対善を行い、	事業の効	1点	(1)社会福祉[(2)京粉表77							/
	0				、実施の緊急性、	優先性は高	高い。	1点	(2)高齢者及び(3)寝たきり老							
									必要。							
	(1)	成果・協	働に対	する事業の)有効性	計	2	点	l.							
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献度は高	高い。		1点	(説明)有効性	に関し	/、内容を	具体的に	記入します。			
有		②事業の	継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の	向上が期待	できる。	1点	(1)社会福祉 (2)高齢者及(
効 性	0	③類似し	た事業と	の統合や連打	携を図る余地はない	<i>(</i>		1点	いる							
		④町民参	かと自治	意識の向上	が図られている。			1点	(3)在宅での羽 ぎらうため事業				官延及び介言	き イヘ	川護の労	とれ
	(1)	_ 達成度の	測定			計	1	点	1							
		区分			指標(算:	式)		単位	R4実績		R5実績	Ę	R6実績		R6当初記	計画
				指標①	寝たきり老人等介	`護手当対釒	象者									
	汗雨	指標		(算式)				人		9		8		12		7
		が日1条 .体的な活	動の内容	指標②												
3				(算式)				1								
李	\vdash			指標①	寝たきり老人等介	- 護手当給付	寸件数									
達成	成具	!指標		(算式)	2007 070	~~ 1 → mHT	-1120	件		84		57		77		84
	×٤	れだけのタ	成果が現	指標②												
	れた	ימ						1								
	L-	o		(算式)	. /de F /								± , =			
	0	①期待し	たとおりの	の成果があっ	た。(達成度80%)	以上)		1点						記入し	<i>、</i> ます。	
		②概ね其	月待した 通	的の成果があ	かった。(50%以上	80%未満)		0点	寝たきり老人等	がる	性の増進(-奇与し	(いる。			
		③成果が	<u></u> ぶ少なく今	後も向上する	5見込みがない。(50%未満)		-1点								

田田		(1) =	事業費の推移			計	0	点							
# 第 3		[2	区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	.額	R6事業費の内	内訳及び金額		単位コスト	0	一般財源客	Ą
## 2			事 業 費	千円	428	468		345	(金額の上位	立2費用他)		達成度を下け	ずに低下	させた	1点
### 地方 複 中門 400			国・道費	千円					区 分	金 額	0				0点
### 1	4	源	地方债	千円					扶助費	231			3(-100-7)	C 0	-1点
一般期間 平内 420 450 334 2 450 450 2 450 450 2 450 45	効		その他	千円					,	84					1
2 2 1 2 2 3 3 4 3 5 5 1 1 1 1 1 1 1 1	果)	一般財源	千円	428	468		345	文刊並		説明				
一次の 一次	恒	(2) =	 手法の効率化			計	2	点	(説明)手法の	 対率化に関し、	内容	── を具体的に記	入します。	,	
項目 別点数			がないほどの水 ②現在の手法 の高い水準に ③外部委託や	k準にた は効率 なってい 執行方	さっている。 的な事務執行と受え いる。 法の工夫により、対	益者に対するサー	ビス満足度	1点		平成27年度よ	り永夕	(使用とし、印	刷代及び	が配布に係る	る事
A 現状にて事業を継続または拡充	目別点数による評		よる評価結果		1 必 2 有 3 達	頁目 点数 要性 4 効性 2 成度 1	5 - C	_		1 2 3		5 6 A		6 5 4 3 2 1 0 -1	
○ 現地のまで事業を継続 事業の進め方の改善により継続 事業の適め方の改善により継続 事業の商素化、効率化による改善 執行体制の見直し(外部委託等)による改善 事業の商素化、効率化による改善 社民参加等の推進による改善 事業内容の一部見直しによる改善 その他効果的・効率的手法の検討による改善 本業規模、内容等の見直しの検討 対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討 動態・事業の基本的見直しを検討 他の事業、類似事業への統合・転換を検討 予業の技本的見直しを検討 企业性等を持続証し事業模成、計画等の見直しを検討 原止 本の他の事業、類似事業への統合・転換を検討 本の他の事業、類似事業への統例を検討 その他の事業、類似事業への統例を検討 本業廃止の可能性や廃止することによる影響 企り 廃止 本件が整えに廃止検討可能 廃止は関連 その他の事業、類似事業への統例を検討 その他の事業、類似事業への統例を検討 本業廃止の可能性や廃止することによる影響 企り 本件が整えに廃止検討の能 機合の事業・検討が必要 企りを必要をある。 で有効である。 のみを考え方を具体的に記入します。 事業の進め方の改善・検討が必要 C 事業規模、内容の見直しが必要 の表別 の大評価の内容により事業推進のこと。 報合 報小 連結 新たな事業への転換 のよれの見直しの検討 中業の基本的見直しの検討 中業の基本の基本的見直しの検討 中業の基本の基本的見直しの検討 中華の基本の基本の基本の基			Α		※評価は、			して、	他施策との関係	等を含め総合的	視点が	いら評価します	- † 。		
日 事業の進め方の改善により継続		Α	現状にて事業	業を継	続または拡充										
李楽の簡素化、効率化による改善		_							事業を拡充	たして継続					
事業手法の見直しによる改善 住民参加等の推進による改善 をの他効果的・効率的手法の検討による改善 をの他効果的・効率的手法の検討による改善 その他効果的・効率的手法の検討による改善 その他効果が、効率的手法の検討による改善 その他効果を一般では、実施を検討 対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討 必要性等を手解施し事業規模、計画等の見直しを検討 他の事業、類似事業への総合・転機を検討 計画期間の延伸、事業費単単化等を検討 その他 本の核本的見直しを検討 を変し		В	1												
事業内容の一部見直による改善 その他効果的・効率的手法の検討による改善 で 事業規模・内容等の見直しの検討 対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討 必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討 他の事業、類似事業への統合・転換を検討 計画期間の延伸、事業費平準化等を検討 その他 本の他 本のの見直しが必要 本業の抜本的見直しの検討 本業の抜本的見直しの検討 本表の体的見直しの検討 本表の体的見直しの検討 本表の体の内容により事業推進のこと。 本表の技本的見直しの検討 本表の技本的見直しの検討 本表の技本的見直しの検討 本表の技本的見直しの検討 本表の技本的見直しの検討 本表の技本的見直しの検討 本表の技本的見直しの検討 本表の技术の見直しが必要 本来の技术の見面しが必要 本表の技术の見面しが必要 本表の技术の見直しの検討 本表の技术の見面しが必要 本表の技术の見直しの検討 本表の技术の見直しが必要 本表の技术の見直しが必要 本表の技术の見直しが必要 本表の技术の見直しが必要 本表の技术の見直しが必要 本表の技术の見直しが必要 本表の技术の見直しが必要 本表の技术の見直しが必要 本表の技术の見直しが必要 本表述表示の表述表示の表述表示の表述表示。 本表の技术の見直しが必要 本表の技术の見直しが必要 本表の技术の見直しが必要 本表の技术の見直しが必要 本表の技术の見直しが必要 本表の技术の見直しが必要 本表の技术の見直しが必要 本表述表示の表述表示を経験または拡充 本表の進化・技術の表述表示を経験または拡充 本表の進化・技術の表述表述表示を経験または拡充 本表の進化を表述表示を表述表示を表述表示を表述表示を表述表示を表述表示を表述表示を表述表	_		事業の簡素化	、効率化	とによる改善				執行体制の	の見直し(外部委	託等)	による改善			
(日本業規模・内容等の見直しの検討			事業手法の見	直しに。	よる改善				住民参加等	等の推進による改	大善				
C 事業規模・内容等の見直しの検討 対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討 制度・事業内容の全面的な見直しを検討 対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討 と要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討 他の事業、類似事業への統合・転換を検討 事業の技本的見直しを検討 その他 D 事業の技本的見直しを検討 ※企业 廃止 総合 ※事業廃止の可能性や廃止することによる影響 今と 一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 今後の改善養業を長体的に記入します。 寝たきり老人等介護手当は、在宅介護における家族支援の施策とします。 可民の福祉増進のため、今後も継続して実施する。 で有効である。 の事業の技本的見直しの検討 中原止 財会 縮小 凍結 新たな事業への転換の設置しの検討・次評価の内容により事業推進のこと。 最終評価 A 現状にて事業を継続または拡充 B 事業の進め方の改善・検討が必要 C 事業規模、内容の見直しが必要 アン評価の内容により事業推進のこと。 最終評価 A 現状にて事業を継続または拡充 B 事業の進め方の改善・検討が必要 C 事業規模、内容の見直しが必要 D 事業の技本的見直しの検討 中原止 財会 縮小 凍結 新たな事業への転換			事業内容の一	部見直	しによる改善				その他効果	果的・効率的手法	の検討	対による改善			
世界	_	С				*									
計画期間の延伸、事業費平準化等を検討 その他 本の他 本ののもままままままままままままままままままままままままままままままままままま			制度·事業内容	マの全面	面的な見直しを検討	tt							を検討		
	課証									類似事業への総	充合•軋	:換を検討			
廃止 総合 総小 凍結 新たな事薬への転換 ※事業廃止の可能性や廃止することによる影響						討			その他						
※事業廃止の可能性や廃止することによる影響 → 廃止可能 条件が整えば廃止検討可能 廃止は困難 その他 - 次評価 (担当課評価) の内容や考え方を具体的に記入します。		D	1	勺見直		(vdz	J.		本件		がよ	ハす光 - のむも	<i>t</i> .		
- 次評価 (担当課評価) の内容や考え方を具体的に記入します。		. V .		^&\c.l,\4s			_[티션		こが 皮 山 4分針 可				Z. 11/11	
寝たきり老人等介護手当は、在宅介護における家族支援の施策とし町民の福祉増進のため、今後も継続して実施する。 A 現状にて事業を継続または拡充 B 事業の進め方の改善・検討が必要 C 事業規模、内容の見直しが必要 D 事業の抜本的見直しの検討 ウ 廃止 統合 縮小 凍結 新たな事業への転接 明 A 現状にて事業を継続または拡充 B 事業の進め方の改善・検討が必要 C 事業規模、内容の見直しが必要 かかっています。 最終評価 最終評価 「		***					-	기타			-		四类性	-C V/1LL	
二次評価 A 現状にて事業を継続または拡充 B 事業の進め方の改善・検討が必要 C 事業規模、内容の見直しが必要 最終評価 A 現状にて事業を継続または拡充 B 事業の進め方の改善・検討が必要 C 事業規模、内容の見直しが必要 D 事業の抜本的見直しの検討 中 中 廃止 統合 縮小 凍結 新たな事業への転換 一次評価、二次評価の内容により事業推進のこと。 説 一次評価、二次評価の内容により事業推進のこと。 本結 新たな事業への転換			寝たきり老人	等介記				策とし					- ~ 3。		
- 次評価の内容により事業推進のこと。			1		A 現状にて事	業を継続または扱	t充 B	事業	<u>■</u> の進め方の改善	・検討が必要	С	事業規模、内	内容の見直	[しが必要	
□			庁内委員会		D 事業の抜本	的見直しの検討	⇒	廃止	統合	縮小		凍結	新たな	事業への転打	
説 明 説 明					一次評価の	の内容により事業	集推進のこ	٤.	<u> </u>	п 1	1	1 1	1		
最終評価 最終評価	評		Α												
最終評価 一次評価、二次評価の内容により事業推進のこと。 評価											С		1		
			最終評価							縮小		凍結	新たな	事業への転打	9
	評		Α		説	一次計1111の内名	さにより事	未推進	とりこと。						

令	和	7 年	7)	月 17	日 作成			担	当課			i	福祉課			
哥	下	事業名	重度心	身障がいね	音等タクシー料	金助成署	事業費		L							
		基本方向	03	福祉・医	療が充実し、互	いを認	め合えるま	きちづ	くり	施策=	コード					
施		項 目	02	障がい者	福祉と社会保障	の充実					,	法令	O 条	例	その	他
第の		財務名称		重度心身	障がい者等タク	シー料	金助成事業	書		根拠等	<u> </u>		がい者等タクシ	/一料金	助成に関する	5条例
体		W1 322 El 13		± 0 0 7	+***	- 11			-			直営	委		その	
系										実 施 方 法	3		*	10	(0)	
#	重	度心身障力	ぶい者の	うち、病院領	等へ通院するた	めの移動	手段をタク	シーに		い者に対	して、タク	シー料金	の一部を助用	戊する		
事業概			, , ,))(// Jibe	(1 20191) 010	· / · / · / · / · / · / · / ·	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	,	-1X D D N - 2 .	. 11001		71132	*> PL C *>1)*	,)	
要																
	(1)対象(誰	を、何	を対象とし	ているのか)				(3)手段(どのよう	な手法、	手順で行	_{すっているの})か)		
	身	体障害者 =	手帳保持		肢·体幹障害1~		名)						60円 (R5.8.1			ち、
事					視覚障害1~2級 内部障害1級(46				障害者手帳 (R5.8.10~)				頁(町内580円	一、凼魚	€500円	
業	療	育手帳A係	Ŗ持者(6		1 1161- 11 1/1/(1	- н/							チケットを36	枚交付	けする。	
の目	(2) 意図 (対	象をど	のようなお	状態にしたいの:	<i>إ</i> رك			1							
的					ことにより、通院な		安易にし、	引きこ								
	₽	りを防ぐ等に	こより、傾	は康の維持は	増進を図る。											
	/1	\ m=88 = @	+D +bn / m	H 184- 7 N	亜 む ナフ 古 豊 ム	\ =1	0	-								
	(1)町関与の	依拠(リか行う必	要がある事業が) 計	3	点								
	(① 法令等	学で実施が	ぶ義務付けら	れている事業。			1点	⑥産業	振興及び	地域活性化	とのために	重要な事業			1点
	(環境の確保 べき事業		活に直結した事業	で、当然の	の責務として	1点	※内部	管理・運営	営等の事業	。(点数対象	象外)			1
	(維持・安定のために	こ不可欠が	2事業。	1点	(説明)関与	ラの根拠に	に関し、内	容を具体的	的に記入しま	す。		
		④町の特	特性や魅力	りを生かした	取り組みなど、戦略	的な事業	È _o	1点		≦がい者の)健康の約	推持増進を	と図るため町	が実施	すべき事	業で
1		⑤民間等	等による実	施が望まれる	るが、サービスの確	保が困難	なため、町	1.1-	ある。							
必		が先導・	補完する	事業。				1点								
要	(2	2)社会情勢	や町民	ニーズの図	5化等	計	1	点								
性			度の見直 れている。		境の変化によって	、サービス	内容の拡充	1点		等で実施 い。(点数:		告等が定め	られて、町の創	意工夫	が入る余	_
		②対象者	音、利用者	が増加する	など、町民ニーズカ	「高まって	いる。	1点	(説明) 妥当	当性に関し	,、内容を	具体的に	記入します。			
				固定化を避け	けるため、種々の改	(善を行い	、事業の効	1点					通手段をタクションの表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表			い者
					、実施の緊急性、	優先性は	高い.	1点	に刈りる栓	併的貝在	2を軽減9	る息味で	も重要な事業	長 じめ	⊃ ₀	
		3 (3) (3) (3)	77 - 71 71 - 7	1 (20) > 0	八八旭小东心江、	及几日上16	IH1 * 0	1 711								
	(1)成果・協	働に対	する事業 <i>0</i>)有効性	計	1	点								
2	(①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献度は高	高い。		1点	(説明)有效	効性に関し	ノ、内容を	具体的に	記入します。			
有		②事業の	継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の[句上が期	寺できる。	1点		£がい者の)通院やタ	卜出を容易	易にすることで	で、福祉	上の増進が	図ら
効性		③類似し	た事業と	の統合や連	悪を図る余地はない	·)		1点	れる。							
11					が図られている。			1点								
	/1			1.尼・戦ックドリエ	W-MN040 CV -20°	÷1	0									
	(1)達成度の			+K.1== / AX=	計	U	点	D.A.	±	D.C. cto.	6±	Dom/#	П	Dout the I	-
		区分		TF IN (I)	指標(算:			単位	R4実績	1	R5実	限	R6実績		R6当初計	凹
	:=	動指標		指標①	タクシー助成対象	者		人		119		106		103		110
		動1115 具体的な活	舌動の	(算式)												
	内	容		指標②	タクシー助成利用	者		人		42		45		35		44
3				(算式)												
達		. B 14 17		指標①	タクシー助成利用	回数		回		297		371		213		400
		:果指標 :どれだけの)成里が	(算式)												
		れたか	7705/070	指標②	一人当たり利用回	数		□		7		8		6		10
				(算式)						'		3		Ü		10
		①期待し	たとおりの	の成果があっ	た。(達成度80%)	以上)		1点	(説明)成身	果・効果な	達成度に	関し、内容	容を具体的に	記入し	ます。	
	() ②概ね其	期待した通	りの成果があ	あった。(50%以上	80%未満)	0点	・利用回数に	は前年に	比べて減	少している	5.			
	H	③成果カ	ふかなく今	後も向 トすれ	5見込みがない。(50%未満)	-1点	1							
I	1	@ 14X /K //	2.417	ひついユナナ	レノロバニッ/ 10 10 € 0 ()	/ - / - 1 門 ,	,	1 711	I							

	(1) =	事業費の推移					큵	H	0	点												
	[区 分	単位	R4	1決算額	R5決	算額		R6決算	額	R6	事業費の	内訳	及び金	額		単位	コスト	`	0	一般財	源額
		事 業 費	千円		294		338	3		254		金額の上					達成	度を下	げずに	低下	させた	1点
	<u>.</u>	国・道費	千円								Þ	分		金	額	0			・上昇し な的に認		理由を	9 0点
4	財源	地方債	千円								需用				131			してい		E97 C	30	-1点
効	内訳	その他	千円								負担金	· 補助及で),		123							
果	<u> </u>	一般財源	千円		294		338	3		254	交付金	<u> </u>				説明	l					
性	(2) =	 手法の効率化					큵	-	2	点	(説印	明) 手法(の効率	区化に	関し、	内容	を具体	は的に	記入し	ます。		
		①業務等の見	直しに。			して事業	費を削え	咸できる	る余地	1点	需用	費はタク	シーラ	チケッ	卜印刷	代で	あり、	毎年	作成す	る必	要がある	5ため、
	0	がないほどのオ ②現在の手法				益者に対	するサ	ービス派	満足度	1点	事業	費の削溽	はは困	難でる	ある。							
		の高い水準にか	なってい 執行方	いる。 法のT	「夫により、**	 象範囲	を変えす	"に事業	を 書を													
	0	削減する余地に								1点												
					項目別点数	粉畫						低			必要性	# 7	左杰州	+		高		
項目						<u>奴衣</u> 頁目	点	±tτ				0	1	2	必安 13	4	5 5	6	7	₽ 8 ~		高
別		項目別点数に						**													5	達
点数		よる評価結果			1 必	要性	4	5					_					A			4	成 度
10		Δ			2 有	効性	1										0				2	+
よる					3 達	成度			_		V							В			1	効 果
評価					4 効	果性	2	2													-1	性
Ш					4 🗡	木口	2														-2	低
		+D 1/ ==== /==																				
		担当課評価	1		₩ L=7.004+	· 田 ナ か さ	k =	= 41/ +0 ·	.uz =m. 1u	-	114 11. M	. L 0 88 17	· * +	A 4 60	\	ю F т	. > =π	/ = 1 →				
		Α			※上記の結					L (, ·	他他束	ことの関係	きっと	百00総	合的作	けい スプログログ かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	いり評	1回 し a	59 。			
			<u>]</u>]		※評価は、	次のA~	~ DIC a	こり まり	9 。													
	Α	現状にて事業	* 大 糾	维士-	たけ世女																	
	0	現状のままで事			には加兀							事業を拡	±1 7	て《水ぐ丰								
		事業の進め方			上门继结							尹未で1仏	元して	、和生形汇								
		事業の簡素化										執行体制	lの目i	古1 <i>(</i> 从	山水禾	红笙)	<i>l</i> ァトス	改美				
-		事業手法の見										住民参加					ハーナク	以告				
次評		事業内容の一										その他効					H17 F2	るみま				
価	С	事業規模・グ				+						C 47 E 3/3	Wh)	<i>y</i> ,17+1	J J 121	°21∕51	31/	2000				
担		制度·事業内容				•						対象範囲	の見i	直1. 卷	·	負担 ∂	の見直] • 道]	入を給き	Nt .		
当課		必要性等を再				-	を給計					他の事業	. , _ ,						/\ 21\\ F	13		
評		計画期間の延					C-100 F 1					その他		^ T / A	*>//yu	тъ	410001	X11				
価	D	事業の抜本的				- 1						C-71E										
		廃止			統合			縮小				凍結				新たれ	な事業	への車	伝換			
	*	 事業廃止の可	能性	اا		よる影響			廃止	可能		条件が整	えば	廃止検	اا		1		は困難		その	他
		一次評価(担			-		_		 ,ます。		今後(の改善策等					<u>ー</u> す。	1				
		対象者には	事前に	申請	書等を送付	している	5が、利	J用者z		され	町広	報による	周知の	のほか	, 朱 に	申請す		が申請	済み、	で一度	も利用	が無い
	説	ている状況で	<i>`</i> ある。	そのた	こめ利用率	も低いは	大態で	ある。			方に	対し文書	等で	利用を	化化す	0						
	明																					
<u></u>			0	ı											1	ı						
					現状にて事					1	の進め	方の改善	• 検			С	1				しが必要	
=		庁内委員会 —		D	事業の抜本					廃止		統合		縮	小		凍結		新	たな事	業への	転換
次		評 価	7	÷π	一次評価の	ル内谷に	-より手	未推入	進りこ	C 。												
評価		Δ		説																		
]	明																		
<u> </u>					田本二一十	₩ + Anh ^-	±++.	+ ++ - -		古业	↑ # □	+^-	. 14	51.18 ×		_	+ *	+8 +#	+ -	V E +	1 48 54 =	TT.
					現状にて事事業の抜本					事業(の進め	方の改善 統合	* 検	討が必縮。		С	事業				しが必	
最終		最終評価			一次評価、						しのこの			नाम '	•	1	· 本中口		الم			
評		Λ	1	説																		
価]	明																		

令和	Π.	7 年	7 5	17	日 作成			担	当課			礼	冨祉課			
事	務事	業名	老人福	祉費			•		I							
	基	本方向	04	生活基盤:	が安定し、安全	安心に	暮らせるま	きちづ	くり	施策コー	ード					
施	項	目	07	地域生活	を支える取組の	推進			;	去 的		法令	条	例	O その)他
策の	財	务名称		老人福祉	 費					根拠等	福島	町介護予	 防及び生活	支援	事業実施	要綱
体系									,	実 施	0	直営	委	託	その)他
不										方法						
事	住み	慣れた均	地域及び	家庭等にお	おいて自立した生	活を営る	むことができ	きるよう	、高齢者等に生	上活支援	きサービ	スを提供し	、緊急時の	連絡体	本制の整備	帯を図
業	る。															
概要																
	(1) 🌣	対象(誰	を、何	を対象とし	ているのか)				(3)手段(ど(のような	ょ手法、	手順で行	っているの	りか)		
	65歳	以上の一	一人暮ら	し及び高齢	者のみの世帯				希望者に対し	、緊急通	報シス	テム機器を	設置する。			
事																
業																
の目	(2) 意	意図 (対	象をどの	のようなり	態にしたいのか	١)										
的	一人	暮らし等	の家庭に	内事故の未	然防止及び安否	確認や	不安解消を	/図								
	る。															
	(1)田	丁関与の	根拠(田	Tが行う必	要がある事業か)	計	3	点								
	0	①法令等	い 実施か	ぶ義務付けら	れている事業。			1点	⑥産業振	興及び地	域活性化	上のために重	重要な事業			1点
	_	②生活環	環境の確保	以等、町民生	活に直結した事業で	ご、当然の	の責務として	1点	V +1 →17 AA	am varales	*の事業	(上粉-44.6	is (Al.)			
	0	町が行う	べき事業。	,				一点	※17部16	哇•連呂≒	寺の事業	。(点数対象	275)			
	0	③社会的	的•経済的	弱者の生活	維持・安定のために	不可欠な	3事業。	1点								
		④町の料	f性や魅力]を生かした]	取り組みなど、戦略的	的な事業	i.	1点	高齢者の見守	り事業の)ーつと	して必要な	と事業である	00		
1					らが、サービスの確保	よが困難	なため、町	1点								
必	(2) 2		補完する	_{尹耒。} ニーズの変	・ル笙		1	点								
要性	(Z) T.				境の変化によって、				※社会室	で宝施内	突め手)	上竿が定めた	っれて、町の倉		こがする全	1
			れている。		グレング 口によって、		· 14-07/476	1点	地はない。			7 44 10 - VE no 2-	J4 0 C (1 1 V) /1	105-1->		
		②対象者	f、利用者	が増加する	など、町民ニーズが	高まって	いる。	1点	(説明)妥当性	に関し、	、内容を	具体的に証	己入します。			
)硬直化・ 音になって		けるため、種々の改善	善を行い	、事業の効	1点	一人暮らし等の 業である。	り家庭内	事故の	未然防止	や安否確認	を図る	上で重要	な事
	0				、実施の緊急性、優		高い。	1点	未てめる。							
									:							
							1									
	(1) 万	丈果・協	働に対	する事業σ)有効性	計	2	点								
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献度は高	い。		1点								
有	0	②事業の	継続によ	り、成果目標	栗(事業の意図)の向	上が期行	寺できる。	1点	高齢者の見守	り事業の)ーつと	しても有効	な事業であ	る。		
効 性		③類似し	た事業と	の統合や連打	隽を図る余地はない	0		1点								
		④町民参	≽加と自治	意識の向上	が図られている。			1点								
	(1) 道	産成度の	測定			計	0	点	l							
		区分			指標(算式	;)		単位	R4実績		R5実	績	R6実績		R6当初i	計画
				指標①	緊急通報電話設置	者										
		指標		(算式)				人		2		0		0		3
	※具	体的な活	ち動の	指標②												
3				(算式)												
達				指標①	緊急通報電話新規	設置者				_						
成	成果			(算式)				人		0		0		0		1
度	※と 現れ	れだけの たか)灰果が	指標②												
				(算式)												
		①期待し	たとおりの	の成果があっ	た。(達成度80%以	上)		1点	(説明) 成果 ·	効果やi	達成度に	関し、内容	字を具体的に	記入し	ます。	
	0	②概ね其	月待した通	りの成果があ	かった。(50%以上80	0%未満))	0点	緊急通報シス							
		③成果か	ぶ少なく今	後も向上する	5見込みがない。(50)%未満))	-1点	.援者へ連絡を ている。	取ること	かり能。	こなってい	ることから、 3	中々設	で直者は減	少し

	(1) 🛚	事業費の推移			計	(0 点											
	[区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R	6決算額	RA	3事業費の内	訳及バ会	額		単位コ	スト	0	一般則	源額	
		事業費	千円	0	0		(- /	金額の上位				達成度	を下げず	に低下	させた		1点
	_	国・道費	千円					[2	区 分	金	額	0		い・上昇			明	0点
4	財源	地方債	千円									•	確かつ: 上昇し	具体的に にいる	説明で	さる		-1点
-L	内	その他	千円										<u></u>	C4 .0				· AK
効果	訳	一般財源	千円	0	0		(1	说明						
性	(2) =			0			2 点		四〉チ汁の	ᆎᇴᄮᄓ	81 +	- eta -	- B /+ W	./- =7 7	. ++			
	(2)-	手法の効率化 ①業務等の見		、経済性を考慮し	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		Δ.+Ih	нπ +:	明) 手法の 機器を利用									
	0	がないほどのオ ②現在の手法 の高い水準に	k準になっ は効率的z なっている 執行方法。	ている。 な事務執行と受益 。 の工夫により、対	益者に対するサー 象範囲を変えずに	ビス満	足度 1点		1)及日正 (2 年3) 1	10 (1.2	7000)X-TI	TRIP/ V.S.	(/1110)	700	v /6.v	0	
		1 2 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	文王ハダム	0														
項				項目別点数		_			低 0	1 2	<u>>要性</u> 3	<u>十有</u> 4	<u> </u>	6 7	高8~	1	高	
目別		項目別点数に	-	項	[目 点数							·				6	達	
点		よる評価結果		1 必	要性 4					-6				A		5 4	成	
数に		$\overline{}$	1	2 有	効性 2	6		7								3	度 十	
ょ		A				-		\checkmark						0		2	効	
る 評		<u> </u>	•	3 達	成度 0	2				D				В		0	果 性	
価				4 効:	果性 2											-1 -2	低	
一次評価(担当課評価)	B	制度・事業内名 必要性等を再相 計画期間の延 事業の抜本的 廃止 事業廃止の可 一次評価(担 緊急通報シン	業を継続機 養にる いっこう で 険 伸 り 見 に 性 評 ムの で が し し を り で か に し に か り で に 世 評 と し と で の に ま ま し と で の に ま ま し と で の に ま ま し と で の に ま ま し と で の に ま こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	※評価は、注 または拡充 により継続 による改善 による改善 見直しの検討 対な見直しを検討 業規模、計画等の を検討 統合 を検討 統合 を検討 が、あることに、 の内容で考え が、ののので考え が、ののので表え が、ことに、 ののので表え が、ことに、 のののである。 ののでも。 の。 ののでも。 の。 ののでも。 の。 ののでも。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。	D見直しを検討 対	ります	廃止可能 ます。 らが、対象	今後祭然的和	事業を拡充 執行体制の 住民をの他 対象の事 他の他 東結 条件が整まっている。 通止い年ひとりり暮	して継続 D見直し(外 の推進に。 の・効率的 の見直し、受 類似事業 とは廃止検 を具体的に な認を図を使 はこのでは には変した にはなる にはな	部委託善益者統合 第一能 るのが 一年記者 たい 一年記者 たい 一年記者 たい 一年記者 たい 一年記 をい 一年記 をい 一年記 をい 一年記 をい 一年記 をい しゅうしゅう	等)に検えています。	によるむ によるむ 見直し 換を検 す す。 ず。 の も が の も が の も が の も が の も の に に の に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に の に の に の に の に に の に に の に に に に に に に に に に に に に	善 導入を植 の転換 の一で裏守	難 して、刻 iする。 りサート		事故の	
			A	A 現状にて事	業を継続または打	広充	B 事業	の進め	方の改善・	検討が必	要	С	事業規	模、内容	の見直	しが必	要	
_		庁内委員会		D 事業の抜本I	的見直しの検討	\Rightarrow	廃止		統合	縮ノ	J\		凍結	3	新たな事	事業への	転換	
二 次 評 価		評 B		党)見直しによる改	文善を	図ること。											
					業を継続または打		<u> </u>		方の改善・			_		模、内容				
最終評価		最終評価	i i	一次評価、	的見直しの検討 二次評価の内 ?		廃止 ・り事業推覧		統合	縮り	lv		凍結		断たな哥	事業 <i>へ0</i>	シ転換	

小	. — — П	7 年	. 7	月 17 日	日 作成			扫音	当課				福祉課			
		<u>'</u> [業名		くり推進費				,					田正郎			
-						+ =n u	٠ ٨ ٦ ٧ ٠	- 4 - ~	20 .	+- hh-						
施		本方向	03		療が充実し、互		り合えるま	きちつ	()	施策=	コード			1		
策	項	目	03	健康増進	と保健・医療の	充実				法 的	יי	法令	条	例	〇 その	他
の	財	務名称		健康づく	り推進費				1	根拠等	福島町	健康づく	り推進計画(し	いきい	き健康福島 2	1)
体系									3	実 施	ē O	直営	委	託	その	他
"									7	方 法	ŧ					
事	町民	の健康に	こ関する	知識の普及	及び健康づくり	を推進す	る。		ı							
業概																
要																
	(1)	対象(誰	を、何	を対象とし	ているのか)				(3)手段(どの	のよう	な手法、	手順で	行っている <i>σ</i>)か)		
	全町	民							・広報やチラシ			する知識	め普及			
事									・健康フェステ・健康づくり推っ							
業									VC/11 (3.7)							
၈ ျ	(2) ÷	音図(☆	タをど	のようなお	状態にしたいの?	hv)										
目的		このは東			(恩) (0 / 2 0 / 0 / /	J -7										
		房の早期		-1 D												
						-										
	(1)	町関与の	根拠(日	町が行う必	要がある事業か)計	3	点								
	0	①法令等	穿で実施/	が義務付けら	れている事業。			1点	⑥産業振	興及び	地域活性化	このために	重要な事業			1点
	0				活に直結した事業	で、当然の	責務として	1点	※内部管理	理•運賃	営等の事業。	(点数対	象外)			_
			べき事業													
		③社会的	勺•経済的]弱者の生活	維持・安定のために	不可欠な	事業。	1点	(説明) 関与の)根拠(こ関し、内	容を具体	的に記入しま	す。		
	0	④町の特	持性や魅:	力を生かした	取り組みなど、戦略	的な事業。	,	1点	町民の健康意	識の向	句上と福祉	の推進を	と図る上で必要	要不可	「欠である。	
1		⑤民間等	等による実	施が望まれる	るが、サービスの確	保が困難な	まため、町	1点								
必		が先導・	補完する	事業。				1 JA								
要	(2)	社会情勢	や町民	ニーズの変	を化等	計	1	点								
性			制度の見述 れている		境の変化によって、	サービス	内容の拡充	1点	※法令等 [*] 地はない。			等が定め	られて、町の創	意工え	ミが入る余	ı
	0				など、町民ニーズが	高まってレ	いる。	1点				具体的に				
					するため、種々の改	善を行い、	事業の効	1点	健康に関する	意識が	「深まる。					
				きている。)中にあってŧ	、実施の緊急性、	優先性は高	気い.	1点	-							
					, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			- 7	-							
						-										
	(1) J	成果・協	働に対	する事業 <i>σ</i> .)有効性	計	3	点								
2	0	①施策を	達成する	ろうえで、当該	事業の貢献度は高	いい。		1点								
有	0	②事業の)継続に。	より、成果目標	票(事業の意図)の向	可上が期待	- ドできる。	1点	推進員は各種 フェスティバル	検診の	の声掛け及	び健康	づくりの普及れる機会レーケ	舌動を	している。 「あス	健康
効性		③類似し	た事業と	の統合や連打	秀を図る余地はない) ₀		1点	1/ 1/1/ 1/1/	は、関	=13KV/X(*)	さ と サん	ごが女子として	H X/J	、 <i>い</i> /つ。	
_	0	4)町早券	金加レ白※	台音譜の向 L	が図られている。			1点	1							
		達成度の		1 10 m/4 × 1 1 1 1 -	,, MONOCO 00	計	1	点								
	(1),				+比+亜 / 竺 =		'	単位	DA安结		DC == 4	±	DC中结		DC N/ 4m=1	Lie
		区分		#F.138 @	指標(算式	-	,.	単位	R4実績		R5実紀	貝	R6実績		R6当初計	回
	江新	,+ヒ+西		指標①	健康フェスティバル	レ美胞凹笏		回		1		1		1		1
]指標 体的なラ	舌動の	(算式)												
	内容			指標②												
3				(算式)												
達				指標①	健康フェスティバノ	レ参加人数	<u>——</u>	1		70		70		100		100
成		指標	· ·	(算式)				人		70		79		120		100
度		れだけの たか)灰果が	指標②												
	-5641			(算式)				1								
	0	① 베 体 1	たしむい		た。(達成度80%)	1 F)		1点	(説明) 成果・	か用り	り達成度に	盟1 中	突た目はめに	記えり	ま す	
	\vdash								伸出っ っこ、							
					あった。(50%以上8			0点		,. 0	~ ≫ WH.□ (c	~, i~i~l	A, a, C a 2 (· · · ص/ c	1	
1	I	(3)成果だ	5少なく今	後も向上する	5見込みがない。(5	0%未満)		-1点	1							

	(1) 🖣	事業費の推移			計	0	点								
	[2	区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R6事業費	の内部	マ及び金額		単位コスト	0	一般財源額	Ą
		事 業 費	千円	564	679		709	(金額σ	上位 2	2費用他)		達成度を下げす	に低下	させた	1点
	^	国・道費	千円					区	4	金 額	0	変わりない・上昇			0点
4	財源	地方債	千円					報酬	-	428		確かつ具体的に 上昇している	-祝明で	さる	-1点
l	内			100	200		000					ポスター、パンフ	7レットの	作成に係る	
効果	訳	その他	千円	166	200		200	需用費		149	説明	の増。	. , , , ,	11 //41-111-01	1117117
性		一般財源	千円	398	479		509				<u> </u>				
	(2) =	手法の効率化		トロ ダンケルナ. 北南	十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	1 5 2 2 2 1 1 1	点					を具体的に記入			tool &
	0	がないほどの水 ②現在の手法に の高い水準にた	<準にた は効率 なってい 執行方	さっている。 的な事務執行と受 いる。 法の工夫により、対	して事業費を削減 益者に対するサー 対象範囲を変えずに	ごス満足度	1点 1点 1点			ルは美仃安原会は協賛		:町の共催により 募っている。	グ 町 負む	四の軽減か	凶 り
項目別点数による評価		項目別点数による評価結果		1 必 2 有 3 達	頁目 点数 要性 4 効性 3 成度 1	7				必要	生十4	与効性 5 6 7 A	高 8~	高 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章	
		担当課評価		※評価は、	『果を参考に、事事 次のA~Dにより		て、	他施策との間	関係等 る	を含め総合的	視点か	いら評価します。			
	Α	現状にて事業	美を継	続または拡充											
	0	現状のままで事	事業を糾	迷続				事業を	拡充し	て継続					
	В	事業の進めた	うの改	善により継続											
		事業の簡素化、	、効率化	比による改善				執行体	体制の見	見直し(外部委	託等)	による改善			
少		事業手法の見	直しに。	よる改善				住民参	≽加等の	り推進による改	善				
評		事業内容の一部	部見直	しによる改善				その他	1効果的	的·効率的手法	の検討	付による改善			
価	С	事業規模・内	內容等	の見直しの検討	寸										
担当		制度•事業内容	アの全面	面的な見直しを検討	†			対象筆	色囲の見	見直し、受益者	負担の	り見直し・導入を	負討		
課		必要性等を再构	険証し!	事業規模、計画等の	の見直しを検討			他の事	事業、類	i似事業への統	合·転	換を検討			
評価		計画期間の延伸	伸、事	業費平準化等を検	討			その他	1						
1 1111	D	事業の抜本的	り見直	しを検討				l l							
		廃止		統合	縮	小		凍結			新たれ	な事業への転換			
	*	- 事業廃止の可	能性。	や廃止することに	よる影響 🗘	廃止	可能	条件力	3整えは	『廃止検討可能	É	廃止は困	難	その他	
		一次評価(担	当課評	価)の内容や考え	え方を具体的に記	 入します。		今後の改善	策等を	具体的に記入	しま	す。			
	説明	町民の健康意はある。	意識の	向上及び各種係	保健事業のため、	必要不可ク	てで	づき、健康 啓発を図る	フェス	ティバルやあ に、健康づく	らゆる り推進	がんなんかに負 5機会を利用し 賃員による各種が た受診率の向_	て、がA 食 診へ	ル予防に関 の受診促進	する
		<u> </u>		A 現状にて事	業を継続または拡	å充 B	事業	∫ の進め方の♂	女善・#	食討が必要	С	事業規模、内容	学の見直	しが必要	
		ᆸᅲᆍᄆᄼ			・		廃止	統		縮小				事業への転換	與
二次		庁内委員会 評 価			の内容により事業			196	-		l			TAI	,
?評価		Α		明											
				A 現状にて事	業を継続または抜	t充 B	事業	の進め方の改	女善・枝	食討が必要	С	事業規模、内容	字の見直	しが必要	
最		最終評価			的見直しの検討		廃止	統	合	縮小		凍結	新たな	事業への転換	奂
終		4メヤミロ丁 叫	a	一次評価、	、二次評価の内容	字により事業	集推 進	のこと。							
評価		Δ		πiπ											
				明											
Щ_															

令和	□ 7	年	7 F] 17 E	日 作成			担	当課				福祉課			
事	務事業	名 医	療対	策費 (保健	建衛生総務費)		<u> </u>									
	基本方	向	03	福祉・医	療が充実し、2	こいを認	め合えるま	きちづ	くり	施策	コード					
施	項	目	03	健康増進	と保健・医療の	カカラ				法 6	kı l	法 令	O 条	例	その	他
策の	財務名	称		医療対策	 費					根拠等	#	町看護職	 :員修学資3	金条例		
体	******									+ +		直営		託	その	他
系											を <u> 〇</u> 去					
事	初期救急	急医療(在宅	当番医制運	営事業)の負担	事業及び	が保健師助	産師和	 賃護師法の規	見定によ	る大学等に	二入学、卒	業後福島町	丁内にお	いて保健	師等
事業 概要					資金を貸し付け											
	(1)対象	、(誰を	、何る	を対象とし	ているのか)				(3)手段(どのよう	うな手法、	手順で行	うっている	のか)		
	福島町戸	勺におい	て保	健師等の業	美務に従事する	者			修学資金の							
事業									保健師·則 看護師 准看護師		月5万円 月2万円 月1万円					
0	(2) 音図	1(分多	た ど(カトうため	態にしたいの	<i>₹</i> \\)			卒業後1年	以内に町	丁内に従事	『し、3年紀	経過で返還 ²	免除		
目的			_	りよ フタヤ 斗等の負担		73.)										
	, , ,	, 0	2,0,101	1 3 - 2 13 -	121/21											
	/1\D+88	E O HI	+hn / 00+	r おにこ 心	要がある事業が	ヽ) 計	2	点								
						') <u>ā</u> l	2	1	(S) arter VIII	/ I → (Th →	and the second	2 . 2				
					れている事業。	5 - 16 feb		1点	(6) 座弟	を振興及し	地 或 活 性 1	上のために	重要な事業			1点
		王沽埬現 が行うべき			活に直結した事業	で、当然の	り寅務として	1点	※内部	『管理・運	営等の事業	。(点数対	象外)			_
	O 31	生会的・経	圣済的!	弱者の生活	維持・安定のため	に不可欠な	€事業。	1点	1,000				的に記入し		· ベキ. しゃごうり	₩ ^
_	4	町の特性	や魅力	を生かした」	取り組みなど、戦闘	各的な事業		1点	地域の保険を貸付する		促争す るノ	【材の目用	火のため、牙	ミ州に 差	つさ修子員	₹金
1		民間等に た導・補昇			らが、サービスの確	[保が困難	なため、町	1点								
必要				_{ァル。} ニーズの変	化等	計	2	点]							
性	- 101				境の変化によって				※法令	う等で実施	近内容や手法	去等が定め	られて、町の	創意工え	こが入る余	
	O di	求められて	ている。					I II.	地はな	い。(点数	(対象外)					_
	25	対象者、利	利用者	が増加する	など、町民ニーズス	が高まって	いる。	1点	(説明)妥	当性に関	し、内容を	具体的に	記入します。	,		
	_			固定化を避り きている。	けるため、種々の改	女善を行い	、事業の効	1点	地域の保険	建医療に	有用な人材	オの確保の	のため必要	な事業で	である。	
					、実施の緊急性、	優先性は	高い。	1点								
							1									
	(1)成果	∶⁺協働	に対す	する事業σ)有効性	計	1	点								
2	① <i>t</i>	施策を達	成する	うえで、当該	事業の貢献度は	高い。		1点					記入します。			
有	O 23	事業の継	続によ	り、成果目標	栗(事業の意図)の	向上が期行	寺できる。	1点	在学中にお	が免疫を	業料等の負	担軽減る	と図るとともい 材の確保に	こ、町内	で従事する	5こと
効性	3	類似した?	事業と	の統合や連打	携を図る余地はな	ν _°		1点	により区域	が兄妹と	はのにめ、	有用な八	何の惟木に	-朔付ル	(650°	
-	(4)E	町民参加	と自治	意識の向上	 が図られている。			1点								
	(1)達成	度の測	定			計	-1	点								
		区分	~		指標(算			単位	R4実紀		R5実	績	R6実績	Ė	R6当初計	.画
				指標①	看護職員修学資		知同数			*		150				
	活動指標	票		(算式)	- FIXIMAL TA	正明(人)马		П		0		0		0		1
	※具体的	内な活動	jの	指標②												
3	内容			(算式)												
				指標①	看護職員修学資	全体付供	K/r									
達成	成果指植	票		(算式)	日収100円以下貝	<u> </u>	••	件		0		0		0		1
	※どれた	さけの成	果が													
	現れたな) '	ŀ	指標②				1								
	1	an/+· · ·	1 1-1:	(算式)	2 //+ N=+	D1. L. \			/=V ==: "	m +	L +		<u></u>	- 57 - 1		
					た。(達成度80%.			1点					容を具体的に		ます。	
	2	既ね期待	した通	りの成果があ	5った。(50%以上	.80%未満)	0点	近年は、看	受帐貝制	> 十貝 亚リ	まい 並りり	マ順か無い。			
	O 3/	成果が少	なく今	後も向上する	5見込みがない。(50%未満))	-1点								

	(1) 🗐	事業費の推移			計	C	点										
	[☑ 分	単位	R4決算額	R5決算額	Re	3決算額	R6	事業費の内	1記及がる	► 安百		単位コ	スト	0	一般財	源額
		事業費	千円	233	285		301		金額の上位				達成度	を下げる	ドに低下	させた	1,5
		国・道費	千円	200	200			Σ	区 分	金	額	0	変わりれ	ない・上昇	早している	る理由を	
4	財								ゝ カ ≳・補助及び					具体的に	こ説明で	きる	
+	源内	地方债	千円					交付金			230		上昇し		. /□ /s±.4□	* ^ 🖂 ±	-1 <u>-</u> 1 <u>-</u> 1 <u>-</u> 1
効	訳	その他	千円					旅費			71	説明		単土催り 診加した			に職説明 の増。
果性		一般財源	千円	233	285		301					150 73		7			- 40
-	(2) =	手法の効率化			計	2	****	(説)	明)手法の	効率化に	関し、	内容	を具体的	りに記入	します。	•	
	0	がないほどのオ ②現在の手法! の高い水準に	く準になっ は効率的なっている 執行方法	ている。 な事務執行と受 。 の工夫により、**	して事業費を削減 益者に対するサービ は象範囲を変えずに	ごス満り	足度 1点	近年	は、看護職	機員修学	資金賃	資付金	:の実績	_賃 が無い	0		
				┲미미노	新主				低		心面	#	ᆕᄽ		농		
項目				項目別点数	<u>数衣</u> 頁目 点数	1			0	1 2	3	<u> </u>	<u> </u>	6 7	高 8~	1	高
別		項目別点数に	_	1	見日 尽致	_										6 5	達
点		よる評価結果	1	1 必	要性 4	-				- ¢				A		4	成
数に				2 有	効性 1	'		/								3	度 十
よっ		B		2 **	rt: 中 1	\dashv		/					0			1	効
る 評				3 達	成度 -1	1				D				В		0	果 性
価				4 効	果性 2											-1 -2	低
				<u> </u>					<u> </u>					,	ų.		-
		担当課評価 現状にて事う 現状のままです 事業の進めが 事業の簡素化	事業を継続	※評価は、	果を参考に、事事次のA~Dにより			他施第	事業を拡充	ごして継続							
_		事業手法の見							住民参加等				-0.09				
次		事業内容の一							その他効果			_	41 - FZ	ル 主			
価	_	. ,,			1				ての他効木	四, 沙井	功于仏	V/1円p	11にかのに	以 告			
担	С			見直しの検討	-							A 10 -		\\\\ → . >.	10 7 1		
当				りな見直しを検討	•				対象範囲の								
課評				業規模、計画等 <i>0</i>					他の事業、	類似事業	への新	台・転	換を検え	討			
一価		計画期間の延	伸、事業費	書平準化等を検	討				その他								
	D	事業の抜本的	り見直し	を検討													
		廃止		統合	縮	小			凍結			新たれ	な事業へ	の転換			
	*	事業廃止の可	能性や原	廃止することに	よる影響 🗅		廃止可能		条件が整え	ば廃止権	討可能	Ė	J.	廃止は困	難	その)他
					え方を具体的に記	入しま	きす。		の改善策等								
	説明	近年、看護職	找貝修字:	資金貸付金の	美績はない。				の保健医療 業を拡充し								子賞 金貨
-	-	<u> </u>	1.	A 現状にて事	業を継続または拡	左 充	B 事業	<u> </u> の進 <i>は</i>	方の改善・	検討が心	必要	С	事業規	模、内容	容の見直	しが必	要
		ᆣᅭᆍᄆᄼ			的見直しの検討		廃止		統合		小		凍結		新たな		
二次評価		庁内委員会 評 価 B	Ī		の見直しによる改				195 LI	1918	111		✓ □ □		₩I7~' ~	F# 10.	7+41,5
			,	A 現状にて事	業を継続または拡	左充	B 事業	の進め	方の改善・	検討がぬ	必要	С	事業規	模、内	容の見直	しが必	要
最終評価		最終評価 B] [的見直しの検討 二次評価の内容		廃止 り事業推進	<u></u> のこ。	統合	新	小		凍結		新たな輩	事業への)転換

令和	印	7 年	7)	月 17	日 作成			担	当課			:	福祉課			
事	務	事業名	いきい	き健康ふく	くしま21推進事	業費	•									
	基	本方向	03	福祉・医	療が充実し、互	いを認る	め合えるま	きちづ	くり	施策	コード					
施	IJ	· 目	03	健康増進	と保健・医療の	充実					и О	法令	条例		その	他
策の	貝	務名称		いきいき	 健康ふくしま21	推進事	 業費			根拠	\/-	増進法				
体					,				-	+ +	. 0	直営	委託		そのイ	他
系									0	実力	JE		× 110		(),	Ū
事	町	民の健康に	┃ 呆持増進	及び疾病の	の早期発見・予防	に努め、	医療費の	抑制を	ď							
業概		- V- VE/AV	143 J · H · C	200 00011	× 1 /91/2010 1 1/2	,	, LMX	1.1111	2 11 00							
要																
	(1)	対象(誰	を、何	を対象とし	しているのか)				(3)手段(どのよう	うな手法、	手順で彳	うっているのか	(۱ر		
	全	丁民											漂語、健康レシ	ピを	掲載した、1	健康
事									・運動教室			○四日/扣 9 名	5。(2,100部)			
業																
の目	(2)	意図(対	象をど	のようなり	状態にしたいの:	<u>か)</u>			1							
	町	民全員が依	建康でい	きいきと生	涯を暮らすことが	できる。			1							
	(1)	町関与の	根拠(四	町が行う必	要がある事業か) 計	3	点	<u> </u>							
	0	①法令领	等で実施/	ぶ義務付けら	れている事業。		<u> </u>	1点	⑥産業	生振興及で	ド地域活性の	化のために	重要な事業			1点
	Ĕ	②生迁4			活に直結した事業	で 当然(の青務として									. 711
	0		べき事業		101-12/40704-70	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	- 743,000	1点	※内部	『管理・連	営等の事業	。(点数対	象外)			-
		③社会的	的·経済的	弱者の生活	維持・安定のために	二不可欠な	2事業。	1点	(説明)関-	与の根拠	に関し、内	容を具体	的に記入します	0		
	0	④町の特	5性や魅っ	力を生かした	取り組みなど、戦略	的な事業		1点			、周知を図	ることは聞	叮としての義務 [*]	であり	、健診等	受診
1					るが、サービスの確	保が困難	なため、町	1点	の啓発にな	్వం						
必			補完する													
要性	(2)			ニーズの変		計	2	点	I DAZZE A	foto as also to	ta Luda di	1. fefe 18 -L-1	>) m &_ &_	1.	13720	
1			リ度の見画 れている		境の変化によって	、サービス	内容の拡充	1点			西内容や手/ 女対象外)	去等が定め	られて、町の創意	【上天	が人る余	-
	0	②対象者	首、利用者	が増加する	など、町民ニーズカ	高まって	いる。	1点	(説明) 妥	当性に関	し、内容を	具体的に	記入します。			
		0 1 //1			するため、種々の改	善を行い	、事業の効	1点	全世帯に配	2布する	健康カレン	ダーによ	り、健康意識の	向上	を図ること	がで
				きている。	力性の取る地	/er #- kil.). 1:	幸)、	1.1	きるため、必	必要な事	業である。					
	0	(4)限られ	/こ月 源り	甲にめつ(も	、実施の緊急性、	愛尤性は	尚い。	1点								
							_									
	(1)	成果・協	働に対	する事業の)有効性	計	3	点								
2	0	①施策を	達成する	らえで、当該	事業の貢献度は高	引い。		1点	(説明) 有	効性に関	し、内容を	具体的に	<u></u> 記入します。			
有	0	②事業0)継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の[ー 与上が期後	寺できる。	1点	健康カレン	ダーは年	F間の予定	を掲載し	ており、印刷代	等も	安価である	。健
効	Ĕ	0 1 //1			携を図る余地はない		, , , ,	1点	康情報を提	供する	手段として	有効である	5.			
性						0										
	0			お思識の同上	が図られている。	=1		1点	<u> </u>							
	(1)	達成度の			15 IT / 75 -	計	1	点	D	+	25-	4+	D.0		D0.44.t==1	_
		区分		the INT (S)	指標(算式			単位	R4実約	頁	R5実	稹	R6実績 		R6当初計	Ш
				指標①	健康カレンダーの	作成数		回		2, 200		2, 200	2, 1	50	2,	150
		動指標 【体的な活	動の内容	(算式)	安秋松ウの間/世	44.										
3	///	(11.43.07)		1日1本公	運動教室の開催	以		回		3		3		3		3
				(算式)	 	#1- /- - #/-										
達成		果指標		指標① (算式)	健康カレンダーの	配巾釵		件		2, 200		2, 200	2, 1	50	2,	150
	×٤	れだけの	成果が現		安社 松立の名和:	tv. **C										
	<i>1</i> 1.	こか		指標②	運動教室の参加	日奴		人		20		15		17		20
	Ę	O Pra va -	. 1 1 1 - 1	(算式)					/=¥ pp \ - " "			- 88 1	<u> </u>			
	0				た。(達成度80%)			1点	<u>Дшта</u>) 2 ж.				容を具体的に記 り、健康意識の			÷
		②概ね其	併待した通	動の成果があ	あった。(50%以上8	80%未満))	0点	土世市に間	7111 9 3 1	(年) アンノ	シ·ーによ ¹	ソ、)、)は水は減り	川上	// ⁴ 凶り(11/3	-0
	Ì	③成果が	は期待した通りの成果があった。(50%以上80%未満) 果が少なく今後も向上する見込みがない。(50%未満)													

	(1) 🗐	事業費の推移			計	(点										
	[2	⊠ 分	単位	R4決算額	R5決算額	Re	6決算額	R6	事業費の内	ち訳 乃 7 以今	≥変百		単位コ	スト	0	一般財活	原額
		事業費	千円	1, 277	1,300		1, 297		金額の上位				達成度	を下げず	に低下さ	なせた	1点
		国・道費	千円	1, 2	2,000		1, 20.	Þ	分	金	額	0		<u> らい・</u> よい・上昇			
4	財											0		具体的に	説明で	きる	
4	源内	地方债	千円					需用	*	1	, 297		上昇して	ている			-1点
効	訳	その他	千円									説明					
果性		一般財源	千円	1, 277	1, 300		1, 297					150 77					
	(2) =	手法の効率化			計	1	7111		明)手法の								
	0	がないほどのオ ②現在の手法 の高い水準に	k準にな は効率的 なってい 執行方?	っている。 内な事務執行と受 る。 生の工夫により、タ	して事業費を削減 益者に対するサー け象範囲を変えずり	ビス満	足度 1点	見積	もり合わせ	たにより業	者選定	でを行	っており	0、印刷	等経費	も安価で	である。
				- T D D L L	ku. 				Irr		~ == 1.	uL ı →	_ +1. 44.		_		
項				項目別点		\neg			低 0	1 2	必要¶	<u> </u>	<u> </u>	6 7	高8~	7	高
目別		項目別点数に	_	I	頁目 点数	!										6	達
点		よる評価結果		1 必	要性 5					- ¢				A		- J	戓
数に		_	1	2 有	効性 3	8		_								3	芰 十
ょ		A				_		\geq							0	1 3	効
る 評		<u></u>	1	3 達	成度 1	2				D				В		0	果 生
価				4 効	果性 1	-										-1 .	氐
																	25
	A	担当課評価	[]		果を参考に、事次のA~Dによ			他施策	その関係等	等を含め絹	総合的社	現点か	いら評価	します。			
	-	現状のままで事							事業を拡充	い て継続							
				************************************					ず木で加力	LU CHENL							
	F								執行体制の	7月古1 (4	りかえき	r. 65 \)	アトマコケ	羊			
_		事業の簡素化											による欧	当			
次		事業手法の見	-						住民参加等								
評価		事業内容の一							その他効果	果的・効率	的手法	の検託	付によるは	大善			
<u>-</u>	С			の見直しの検討	-			ı									
担当		制度·事業内容	マクタ 全面	i的な見直しを検診	†				対象範囲の	の見直し、	受益者	負担の)見直し・	導入を検	討		
課		必要性等を再	検証し事	F業規模、計画等(の見直しを検討				他の事業、	類似事業	への統	合·転	換を検討	寸			
評価		計画期間の延	伸、事業	と費平準化等を検	討				その他								
()	D	事業の抜本的	勺見直!	しを検討													
	<u> </u>	廃止		統合	新	小			凍結			新たれ	な事業へ	の転換			
	*	事業廃止の可	能性や	P廃止することに	よる影響 🕏		廃止可能		条件が整え	えば廃止検	討可能	â	O	を止は困難	推	そのイ	也
	説明	ホームペーシ	ジや広幸 生じる懸	最誌のみでは年	え 方を具体的に記 間の計画を立て 間の計画を立て ら、町民が主体に である。	にくく、	、受診機	今後	D改善策等 についても がある。					成を検言	対のうえ	之、作成1	していく
				A 現状にて車	*************************************	tt 女	D 事業/	の進め	方の改善・	. + > =+ + % i	у. क		市業坦	描 内态	の日古	しが必用	E
					業を継続または ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		廃止	,,)E(X)	統合		小		事未况 凍結	模、内容		こか必多 「業への!	
=		庁内委員会 評 価	_		的見画しの検討 の内容により事				机百	种	1,1,		冰 和		川に仏寺	未への	和突
次評価		Α		説明	77F1B1C674	* IE /E											
			T		業を継続または			の進め	方の改善			С		模、内容			
最終評価		最終評価			的見直しの検討 . 二次評価の内		廃止り事業推進	 	統合 <u>と</u> 。	縮	小		凍結	*	折たな 事	事業への!	転換

令和	1	7 年	7)	月 17 E	日 作成			担	当課			福祉課		
事	務	事業名	医療対	策費(医療	· 京対策費)		•		I					
	基	本方向	03	福祉・医療	療が充実し、	互いを認	め合えるま	きちづ	くり カ	施策コー	- F			
施	項	i 目	03	健康増進。	と保健・医療	原の充実			:	 去 的	法	令	₹ 例	その他
策の	財	務名称		医療対策	費					艮拠等		-		
体									-	■ 施	〇直	営 き	 委 託	その他
系										法法				3
事業概要									 医療に係る受終 よる町民の健康				費の請求	漏れ防止など、
	(1)	対象(誰	を、何	を対象とし	ているのか)			(3)手段(どの)ような	手法、手順	で行ってい	るのか)	
事業の	全町	丁民			-	•			・福祉医療シス ・毎月1回日曜 ※平成28年12 月より福島町国 医を実施してい	当番医の 2月をもつ 民健康()実施(町内)て、深浦内	2医療機関に 科医院は取り	りやめたか	
の目	(2)	意図(対	象をど	のような状	態にしたい	のか)			区で大地して	.,⊘°				
的		祉医療シ 期救急医			め日曜当番目	医を実施								
	(1)	町関与の	根拠(田	けが行う必!	要がある事業	きか) 計	3	点	•					ľ
		①法令等	で実施が	ぶ義務付けら	れている事業。			1点	⑥産業振り	具及び地域	或活性化のた&	りに重要な事	業	1点
	0	②生活環 町が行う			活に直結した事	事業で、当然の	り責務として	1点	※内部管理	里•運営等	の事業。(点数	女対象外)		_
	0	③社会的	•経済的	弱者の生活	維持・安定のた	めに不可欠な	2事業。	1点						k 7
		④町の特	性や魅力	りを生かしたI	取り組みなど、	戦略的な事業	0	1点	初期救急医療	本制の 確	[保のため町	か実施すべ	さ事業で	める。
ו 1	0	⑤民間等 が先導・			るが、サービスの	り確保が困難	なため、町	1点						
必要	(2)	社会情勢	や町民	ニーズの変	き化等	計	1	点						
性		①国の制 が求めら			境の変化によっ	って、サービス	内容の拡充	1点	※法令等~ 地はない。		字や手法等が? 象外)	定められて、町	の創意工芸	夫が入る余 _
	0	②対象者	f、利用者	が増加する	など、町民ニー	ズが高まって	いる。	1点	(説明)妥当性	に関し、	内容を具体的	りに記入しま	す 。	
				固定化を避け きている。	けるため、種々	の改善を行い	、事業の効	1点	初期救急医療	体制の確	[保のため必	要な事業で	ある。	
		④限られ	た財源の	中にあっても	、実施の緊急	性、優先性は	高い。	1点	-					
	(1)	成果・協	働に対	する事業の)有効性	計	3	点						
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献度	は高い。		1点	(説明)有効性	に関し、	内容を具体的	りに記入しま	<u>す</u> 。	
有	0	②事業σ	継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)	の向上が期紀	寺できる。	1点	ロ明小でにする					れている。
効性	0				隽を図る余地は			1点	-					
		④町民参	かと自治	意識の向上	が図られている			1点	1					
	(1)	達成度の	測定			計	1	点	<u> </u>					
		区分			指標(単位	R4実績		R5実績	R63	と 積	R6当初計画
				指標①	日曜当番医実				2					
	活動	 指標		(算式)				日		24	2	4	24	24
	※ 内容	は体的な活	5動の	指標②										
3	1732	r		(算式)				1						
				指標①	日曜当番医受	診者数								
達成	成月	具指標		(算式)	□"医⊐雷匹叉	. H2 ⁻ □ 3X		人	3	40	38	1	399	380
	×٤	これだけの)成果が	指標②										
	垷オ 	にたか						1						
	Ļ	G 150		(算式)	. A. F	0/101.1.3			/=×==>	±1.00 · · · ·		<u></u>	461	
	0				た。(達成度80			1点		効果や達	成度に関し、	内容を具体	的に記人し	、ます。
		②概ね期	#待した通	りの成果があ	あった。(50% <u>に</u>	人上80%未満))	0点]					
		③成果か	ぶかなく今	後も向上する	5見込みがない	(50%未満)		-1点						

	(1) 🖣	事業費の推移			計	0	点							
	[2	⊠ 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	車額	R6事業費の内	内訳及び金額		単位コスト	0	一般財源額	į
		事 業 費	千円	1, 765	1,827		1,827	(金額の上位	2 費用他)		達成度を下げ	ずに低下	させた	1点
	(;	国・道費	千円	98	98		98	区分	金 額	0	変わりない・上確かつ具体的			0点
4	財源	地方債	千円					使用料及び賃借料	1,026		上昇している	((二成円)	<u>ರೂ</u>	-1点
効	内訳	その他	千円					委託料	462					
果	<u>.</u>	一般財源	千円	1, 667	1,729		1,729	24011		説明				
性	(2) =	パスパッパット 手法の効率化		1,001	計	2	点	(説明) 毛法の	<u> </u> 効率化に関し、	内灾	を目体的に記	λ l ≠ a '		
	0	①業務等の見ばがないほどの水 ②現在の手法はの高い水準にな	準にたるは効率なってい執行方	的な事務執行と受え いる。 法の工夫により、対	して事業費を削減 益者に対するサート	- できる余地 ごス満足度	1点	事業費の大半						
項目別点数による評価		項目別点数に よる評価結果		1 必 2 有 3 達	数表 頁目 点数 要性 4 効性 3 成度 1 果性 2	_ [低 0	少要(1 2 3	生十7	有効性 5 6 A B	高 7 8~	高 6 5 4 3 2 1 0 -1 -2	
		担当課評価			果を参考に、事業 次のA~Dにより		して、	他施策との関係	等を含め総合的	視点が	いら評価します	•		
	Α	現状にて事業	美を継	続または拡充										
	0	現状のままで事	4業を約					事業を拡充	たして継続					
	В	事業の進めた	の改	善により継続										
		事業の簡素化、	、効率化	とによる改善				執行体制の	の見直し(外部委	託等)	による改善			
次		事業手法の見	直しに。	よる改善				住民参加等	等の推進による改	善				
評		事業内容の一	部見直	しによる改善				その他効果	果的·効率的手法	の検討	対による改善			
価	С	事業規模・内	容等	の見直しの検討	t									
担当		制度·事業内容	の全面	面的な見直しを検討	t			対象範囲の	の見直し、受益者	負担0	の見直し・導入を	檢討		
課		必要性等を再	剣証し!	事業規模、計画等の	り見直しを検討			他の事業、	類似事業への統	· 6	:換を検討			
評価		計画期間の延伸	伸、事	業費平準化等を検討	討			その他						
į)		事業の抜本的廃止		しを検討 統合 や廃止することに	おる影響 ➡	,	:可能	凍結	えば廃止検討可能		な事業への転換		その他	
	×.			で廃止することに 価) の内容や考え				今後の改善策等			V =	1 大臣	してノ田	
	説明	福祉医療シス 担っている。	マテムに	は、子ども医療等 内2医療機関で9	の受給者管理で			初期救急医療る。				今後も継	続して実施	T
		<u>l</u>		A 現状にて事	業を継続または拡	t充 B	事業	┃ の進め方の改善・	・検討が必要	С	事業規模、内	容の見直	[しが必要	
		庁内委員会			的見直しの検討		廃止		縮小		凍結	1	事業への転換	——
二次		厅内安良会 評 価			の内容により事業					1		1		
グ評価		Α		朗										
				A 現状にて事	業を継続または拡	t充 B	事業	の進め方の改善		С	事業規模、内	容の見直	しが必要	
最		最終評価			的見直しの検討		廃止	統合	縮小		凍結	新たな	事業への転換	al la
終評			1	一次評価、 説	二次評価の内容	うにより事	未推進	≝ഗ∟と。						
価		A		明										

令	和	7 年	, 7)	月 17	日 作成			担	当課			福祉課		
事	事務	事業名	老人保	健費					L					
	1	基本方向	03	福祉・医	療が充実し、互し	ハを認る	め合えるま	きちづ	くり 旅	策コード				
施		項 目	01	高齢者福	业の充実				:±	的 C	法令	条(列	その他
策の		財務名称		老人保健	· 書					+hn 4/4	東増進法			
体	F	*132 = 13		D) (()					-		直営	委言	Ŧ	その他
系										716		× 1	16	C 07 12
	健	康増准法(り規定に	 よろ40歳~	-64歳の町民の健/	事保持·	や医療の確	保を	図ろため 疾病の	予防 治療	機能訓練	等の健康増進	生事業	を総合的に実
事業概要					祉の増進を図る。	W IVI	(<u>(2.)</u> ,,,,,,,,,,,,	EVNCI	ZI-3/ C*/ //(//)*/) b), 10/x		(中少)(在)(7日)	= + 1	
	(1)対象(誰	を、何	を対象とし	ているのか)				(3)手段(どの	ような手法	、手順で	行っているの	か)	
	脳	障害などの	病後の	町民等					リハビリ教室、健	康教育等の	開催			
事業の目的	脳	障害等の	産患者の	退院後の日	状態にしたいのか 日常生活の資質の	向上を	図るため傾	速康教						
	育	等やリハビ	リ教室を	実施し、町	民の健康増進を図	刈る。		_						
	(1)町関与の	根拠(四	けが行う必	要がある事業か)	計	2	点						
		①法令等	等で実施か	ぶ義務付けら	れている事業。			1点	⑥産業振興	及び地域活性	生化のため に	重要な事業		1点
	(環境の確保 べき事業		活に直結した事業で	、当然の	り責務として	1点	※内部管理	運営等の事	業。(点数対	象外)		_
		③社会的	的•経済的	弱者の生活	維持・安定のために	不可欠な	等業。	1点						·
		④町の特	④町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。						町民の健康教育 ある。	「及び生活 ^は	文善のため	、自治体の最低	氏限0)施策の一つで
1			⑤民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、Bが先導・補完する事業。						w 200					
必要	(2			ニーズの変	变化等	計	2	点	I .					
性			リ度の見直 れている。		境の変化によって、	サービス	内容の拡充	1点		実施内容や3 点数対象外)	法等が定め	られて、町の創	意工夫	だが入る余 _
					など、町民ニーズがる	高まって「	いる。	1点			を具体的に	 :記入します。		
		③事業の)硬直化•		するため、種々の改善			1点	健康で長生きす				〔重要	である。
					、実施の緊急性、優	先性は	高い。	1点	-					
									-					
	(1)成果・協	働に対	する事業 σ)有効性	計	3	点						
2		① ①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献度は高い	, \ ₀		1点	(説明) 有効性(こ関し、内容	を具体的に	:記入します。		
有		2 事業の)継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の向	上が期待	寺できる。	1点	生活習慣病の予	防等のため	正しい知言	戦の普及を図る	ることに	こより、認識と自
効性					隽を図る余地はない				覚を高め健康の 立を助け介護子	保持増進、	リハビリは	閉じこもりを防」	Ŀl,	日常生活の自
		④町民参	かから	音識の向上	 が図られている。			1点	-					
	(1)達成度の		115(194 -> 1-12-	,, <u>a</u>	計	1	点						
	-	区分			指標(算式			単位	R4実績	P.5	実績	 R6実績		R6当初計画
	H	色力		指標①	リハビリ教室回数	,		+12	八大順	110	人 相关	110天順		10日初日国
	活	動指標		(算式)	27 10 秋至四級			回	2	3	22		22	23
		具体的な	舌動の	指標②	集団健康教育回数									
3		容		(算式)	来回促尿机自四奶			□	1	2	13		13	13
				指標①	リハビリ教室参加者									
達成	成	果指標		(算式)	グバビグ教室参加有			人	12	7	89		120	100
	×	どれだけの れたか)成果が	指標②	集団健康教育参加	者								
	50	101_/J'		(算式)				人	15	3	169		232	200
	() ①期待し	たとおりの		た。(達成度80%以	上)		1点	(説明)成果・刻	カ果や達成度	に関し、内	容を具体的に調	 記入し	 ます。
	F				ちった。(50%以上80)	0点	リハビリ教室の参					
									亡等により対象	者が減少して	<i>てきている。</i>			
1		し 放米ガ	*ツばく今	1をも同上する	5見込みがない。(50	70木個)		-1点	I					

	(1) 🗐	事業費の推移			計	0	点								
	[2	⊠ 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決	算額	R6事業	費の内	訳及び金額		単位コスト	0	一般財源額	頁
		事 業 費	千円	532	546		605	(金額	の上位	2費用他)		達成度を下	げずに低下	させた	1点
	対	国・道費	千円	282	245		272	区	分	金 額	0	変わりない・ 確かつ具体			0点
4	源	地方債	千円					報償費		48)	上昇している		C 2	-1点
効	内訳	その他	千円					需用費		7			ペンフレット	購入による	5増。
果	$\overline{}$	一般財源	千円	250	301		333				説明	1			
性	(2) =	 手法の効率化			計	2	点	(説明)	手法の	 効率化に関し	、内容	 『を具体的に記	己入します。	>	
	0	がないほどの水 ②現在の手法に の高い水準にた	準にたま効率よってい執行方	的な事務執行と受え いる。 法の工夫により、対	益者に対するサーロ	ビス満足度	一二只	事業費のいる。	大半	はリハビリ教賞	をに係る	る機能回復記	川練医師等	辞報償費とた	なって
項目別点数による評価		項目別点数による評価結果		1 必 2 有 3 達	頁目 点数 要性 4 効性 3 成度 1	7			低 0	1 2 3	8性十二	有効性 5 6	高 7 8~	高	
		担当課評価			果を参考に、事業次のA~Dにより		:して、	他施策との)関係等	穿を含め総合	的視点	から評価しま	す 。		
	Α	現状にて事業	美を継	続または拡充											
	0	現状のままで事	「業を約	迷続				事業	を拡充	して継続					
	В	事業の進めた	の改	善により継続				T T							
_		事業の簡素化、	, 効率(とによる改善				執行	体制の	見直し(外部	委託等)	による改善			
次		事業手法の見								きの推進による					
評価		事業内容の一						その	他効果	·的·効率的手	法の検	討による改善			
担	С			の見直しの検討	*			+1 #	. Arte Direct on	D + 1	-t/ /z .Ln	o B + 21	* tV = 1		
当				面的な見直しを検討								の見直し・導入	を検討		
課評				事業規模、計画等の						類似事業への	統合・単	ム換を使 打			
価	_			業費平準化等を検討	i T			その	他						
	D	事業の抜本的 _{廃止}	1兄但	統合	縮	ds		凍結	:		女によっ	な事業への転	+45		
	*	L	能性が	 			上可能	ļ		.ば廃止検討。			は困難	その他	
	<i>^</i> •.			価)の内容や考え						を具体的に記				C+기III	
	説明			ため、正しい知言 ためリハビリ教室				リハビリ都	室の第	新規参加者()増加:	を図る。			
		<u>l</u>		A 現状にて事	業を継続または扱	広充 □ B	事業	L の進め方の	改善・	検討が必要	С	事業規模、	内容の見直	 直しが必要	
		庁内委員会			的見直しの検討		廃止		充合	縮小		凍結		事業への転担	———— 奐
二次		万 内安县云 評 価			の内容により事業					1 1					
公評 価		Α		朗											
					業を継続または扱					検討が必要	С	事業規模、			
最		最終評価			的見直しの検討 二次評価の内容		廃止		充合	縮小		凍結	新たなる	事業への転打	奂
終評		_]	説	一久計画の内名	ゴルみツ手	****	=v/_C。							
価		A		明											

令和	1	7 年	7 ,	月 17 日	日 作成			担	当課			福祉課	
事	務事	業名	温泉健	康保養セン	ノター管理運	営費			<u> </u>				
	基	本方向	03	福祉・医	療が充実し、	互いを認	め合えるま	きちづ	くり	施策コー	- F		
施	項	目	03	健康増進	と保健・医療	の充実				法 的	法令	〇 条 例	その他
策の	財	務名称		温泉健康	 保養センター	管理運営	 費			根拠等	福島町温泉優	 ≢康保養センタ-	
体	-									+ +	直営	委託	○その他
系										実 施 方 法	指定管理	2 10	0 (0)
事	町巨	その心身の)保養及	び健康増進	生を図ることを	目的とした	施設であり	指定	管理者(一般	社団法人)工房)が管理運	営を行っている。
事業 概要			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	o vent po				,,,,,			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, = 5,7,11 [1:31]	
	(1)	対象(誰	を、何	を対象とし	ているのか)				(3)手段(ど	のような	:手法、手順で:	行っているのか)
	全町	「民及び	司辺住民						・平成29年度	から指定	管理者制度を採	用し、施設の健全	全経営を図ってい
事業の									る。 ・65歳以上の ・送迎バスの		への優待券の配	己布	
の目	(2)	意図(対	象をど	のようなり	状態にしたい(のか)							
的	安全	きかつ円泡	骨に管理	運営し、町	民の心身の保	養及び健	康増進を図	る。					
	(1)	町関与の	根拠(四	けが行う必	要がある事業	か) 計	3	点					
	0	①法令等	節で実施 だ	ぶ義務付けら	れている事業。			1点	⑥産業振	長興及び地域	域活性化のために	重要な事業	1点
		②生活現	環境の確保	R等、町民生	活に直結した事	業で、当然の	の責務として	1 上	V + → 1/2		なの事業 (上粉型	. А .Ы.\	
		町が行う	べき事業)				1点	※ 内部 信	「哇」連召司	等の事業。(点数対 	家クト)	_
	0	③社会的	的·経済的	弱者の生活	維持・安定のため	りに不可欠力	な事業。	1点				的に記入します。	
		④町の特	f性や魅力	りを生かした	取り組みなど、戦	略的な事業	\$ 0	1点	温泉健康保養町内で唯一の			管理・運営を行っ	っている。
1	0		まによる実 補完する		るが、サービスの	確保が困難	なため、町	1点		7 117 7 2 15			
必	(2)			_{ザボ。} ニーズの変	5化生	———— 計	1	点					
要性	(2)				境の変化によっ				※ 注令等	で宝施内		られて、町の創意	「去が入ろ全
			れている		20.7 20 10.1-00 7		1 7 11 -> 121/0	1点		。(点数対		- 24 o c (- 1 -> 7110c-	_
		②対象者	f、利用者	が増加する	など、町民ニース	(が高まって	いる。	1点	(説明) 妥当	性に関し、	内容を具体的に	記入します。	
				固定化を避り きている。	するため、種々の	改善を行い	、事業の効	1点				めオープン後は 施設を維持する必	
	0				、実施の緊急性	. 優先性は	高い。	1点		正 リンノへ	在地区 (の)り、』	医試 石 州田 リ カ の 北	女がる。
							ī .	١.					
	(1)	成果・協	働に対	する事業 <i>σ</i> .)有効性	計	3	点					
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献度に	は高い。		1点			内容を具体的に		
有	0	②事業の	継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の	の向上が期待	待できる。	1点	町民の心身の	つ保養と健	は康増進が図られ	いる。	
効性	0	③類似し	た事業と	の統合や連打	隽を図る余地はた	ない。		1点					
		④町民参	≩加と自治	意識の向上	が図られている。			1点					
	(1):	 達成度の	測定			計	1	点	<u> </u>				
		区分			指標(算	[式]		単位	R4実績		R5実績	R6実績	R6当初計画
				指標①	営業日								
	汗雨	活動指標		(算式)				目		310	308	293	3 290
	活動指標 ※具体的な活動の	動の内容	指標②										
3			(算式)										
達		成果指標		指標①	入館者数								
成	成果			(算式)				人	56,	, 938	56, 791	68, 431	65,000
度	※ど れた	れだけの! か	戊果が現	指標②									
	, ,,,			(算式)				1					
	0	①期待1	たとおりの		L た。(達成度80%	6C1 F)		1点	(説明) 成里	・効果やほ	を成度に関し、内	容を具体的に記入	<u>ー</u> . l . ます。
	\vdash				た。(重成及60 / あった。(50%以)	0点	式(1日 支)ユシ+,				じょす。 どのオープン後は
								- 7111	入館者が増加				20.5
	l	③成果が	少なく今	後も向上する	5見込みがない。	(50%未満)	-1点	·1				

	(1) 📱	事業費の推移			計	0	点											
	[2	区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R6事	業費の	内訳及び金	額		単位=	コスト		0	一般財活	原額
		事 業 費	千円	64, 134	61, 101	6	0, 132			付えて受用他			達成度	を下げ	ずずに	低下さ	せた	1点
	<u>.</u>	国・道費	千円					区	分	金	額	0			上昇し		理由を明る	0点
4	財源	地方債	千円					委託料		59	, 809		上昇し			197 CG	<u>م</u>	-1点
効	内訳	その他	千円					備品購力	人費		138							
果		一般財源	千円	64, 134	61, 101	6	0, 132					説明						
性	(2) =	- 手法の効率化			計	1	点	(説明)	手法0	の効率化に	関し、	内容	を具体に	的に記	E入しa	ます。		
	0	がないほどのか ②現在の手法に の高い水準に	<準にな は効率に なってい 執行方	的な事務執行と受え る。 法の工夫により、対	益者に対するサー	ビス満足度	1点 1点 1点	るが、人		:、安心安 置について								
				죠ㅁ미노*	% ±				115		Д. т. (s.	4 ı 1	= ***			<u> </u>		
項目				項目別点数	双表 頁目 点数				低 0	1 2	少安13 3	± + 1 4	<u> </u>	6	7 8	高8~	7	高
別		項目別点数に				_											6 5	
点数		よる評価結果		1 必	要性 4	7				•				A			4	述 隻
10		Δ		2 有	効性 3	1 1		\							0		2	+
よる				3 達	成度 1			V		D				В			<u> </u>	効 果
評価				4 効		2											-1	生
Щ					-,-												-2	氐
一次評価(担当課評価)	O B C C	現状のままで事 事業の進めが 事業の簡素化 事業手法の見 事業内容の一 事業規模・P 制度・事業内容 必要性等を再材 計画期間の延 事業の抜本的 廃止 事業廃止の可 一次評価(担	事業を総称である。 京の改革に、 京の改革に、 京のでの。 京のでは、 京のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	※評価は、 続または拡充 終続 善により継続 とによる改善 とによる改善 しによる改善 の見直しの検討 前的な見直しを検討 事業規模、計画等の 美費平準化等を検討	D見直しを検討 対 およる影響 よる影響 よろを具体的に記	ります。 i小 廃止 3入します。	可能	事 執住 そ 対他 そ 凍条 今 新後も継	業を拡 行民の他 象ののの結 件が 第 温に を を を を を も も も も も も も も も も も も も も	奈を含め着 充して継続 の見直し(ダ 等の推進に の見直し、 類似事業 えば廃止検的営造。 えば廃止を関連と 対象の見が、 ないでは、	小部委該 小部委該 か手法 か手法 の統 が 記 開 に を と と と と	任等)(質力・転 新たた がある。 しい利用	によるdd dd	文善 改善 ・	を検診り	は増加		るが、今
	明																	
			ļ		業を継続または拡			の進め方	1	・検討が必		С		模、			しが必要	
二次評価		庁内委員会 評 価			的見直しの検討 D内容により事業		廃止		統合	縮	小		凍結		新 <i>†</i>	さな事	業への	転換
				A 現状にて事	業を継続または抗	拡充 B	事業	の進め方	の改善	・検討が必	必要	С	事業規	模、	内容の	見直し	しが必要	Ē
最		最終評価			的見直しの検討		廃止		統合	縮	小		凍結		新力	こな事	業への	眃換
終評価		Α		一次評価、 説 明	二次評価の内容	ざにより事	耒 推進	ら のこと。										

上	. — Эп	 7 年	J 7 J	月 25 E	日 作成			坦士	当課			产業	課(農林係)			
								15.				庄木	体 (液体体)			
#		業名			₹付金事業費 							T				
施		本方向	01		性化し、地域資	源を生た	いすまちつ	5 ()		施策	コード		T			
策	項	目	02	農林業の	振興					法		法 令	条例	0	その作	也
の体	財	務名称		多面的機能	能支払交付金事	業				根拠	等 多面	的機能多	支払交付金交付	更綱		
系											施	直営	委託	0	その作	也
										方	法					
事	多面	i的機能	交付金事	業に実施し	ている団体(福	島町地域	活動組織)への	活動網	圣費の交付	•					
業概																
要																
	(1);	対象(誰	を、何	 を対象とし	ているのか)				(3) =	 手段(どのよ	うな手法、	手順で	行っているのか)		
	福島	町地域	舌動組織	は(農業者に	よる任意団体)				福島	町多面的機能	交付金要	綱に基づ	き事業を行った約	且織に交	で付金を	を交
									付す (1)							
事業										農地維持活動 資源向上活動						
の	(O) =	<u> </u>	ムチ じ	σ L = +>μ	と出しました。	4. \										
目的	. , .				きじたいのは 道等の地域資源		上理座の伊	Δ¥;								
нэ					旦寺の地域貢源 命化を図る。	及い展刊	塚堤の木	±. ЛГ.								
	(1)	丁関与の	根拠(四	けが行う必	要がある事業か) 計	2	点								
	0	①法令等	穿で実施だ	ぶ義務付けら	れている事業。	_		1点	0	⑥産業振興及	び地域活性	化のために	二重要な事業			1点
					活に直結した事業	で、当然の	責務として	1点		※内部管理・通	音学生の主義	生 (占数分	· 免外)			_
		町が行う	べき事業	0												
		③社会 的	勺•経済的	弱者の生活	維持・安定のために	こ不可欠な	事業。	1点	(説)	明)関与の根拠	ルに関し、ア	内容を具体	めに記入します。			
		④町の特	①町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。									事業の一	つで、地域活動に	に係る交	付金を	が団
1		⑤民間等	等による実	るが、サービスの確	保が困難が	なため、町	1点	1	対して交付し、	(v '0°						
必		が先導・	⑤民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なたと が先導・補完する事業。													
要	(2)	社会情勢	t会情勢や町民ニーズの変化等 計													
性			制度の見正 れている		境の変化によって	、サービス	内容の拡充	1点		※法令等で実施している。(点		法等が定め	りられて、町の創意	E夫が入	る余	1
					など、町民ニーズカ	「高すってい	<u></u>	1点	(≣ ⇔́I	明)妥当性に関		を具体的に	記入します。			
					するため、種々の改								ー 品へのよう。 引や緩衝帯の設置	笙 抽	心	:D
				きている。) D/C=>) (H (+> G)		, T. A 2 /93	1点		に寄与してい		\1\mu\1\mu\1\mu\1\mu\1\mu\1\mu\1\mu\1\m	八阪国用少队巨	. T (>E)	WIE A	• • •
	0	④限られ	た財源の	中にあっても	、実施の緊急性、	優先性は高	高い。	1点								
	(4)	. m 1+	. Jel 1 — ± 1	+ 7 = *			_	_								
	(1))	灭果・ 協	働に対	する事業 <i>の</i>)有郊性	計	2	点								
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献度は高	弱い。		1点	(説)	明)有効性に関	し、内容を	を具体的に	記入します。			
有	0	②事業の)継続によ	り、成果目標	栗(事業の意図)の[ー 句上が期待	手できる。	1点					Fの保全管理を図 に関する農家の網			
効性		③類似し	た事業と	の統合や連持	携を図る余地はない	١,		1点	/F 4/ 1 4	施設の官理や ることができた		水土など	に戻りる辰多り前	E/FIU)多	ミ ガユVノ特	任例
'-		0 // (1/2 /)			が図られている。			1点	1							
	(1)			1.思戦の円工	=1	4										
	(1);	達成度 <i>σ.</i>		I	le le che	計	1	点	ı							
		区分			指標(算記	て)		単位		R4実績	R5実	積	R6実績	R6:	当初計	曲
	·	16.1-		指標①	交付団体数			団体		1		1				1
		指標 体的な	舌動の	(算式)												
		※具体的な活動の 内容		指標②												
3				(算式)												
達				指標①	実施面積(田・畑)			1		00		29	-			29
		果指標 どれだけの成果が		(算式)				ha		29		29	29	' 		29
及		れたけり たか)放果か	指標②												
				(算式)				1								
	0	①期待1	たとおりの	の成果があっ	L た。(達成度80%)	以上)		1点	(詩)	明)成果・効 埋	した達成度に	こ関し. 戊		します	0	
	Ĕ							0点				124 O C P		0- /	-	
					かった。(50%以上8											
Ī	I	(3)成果/	バ少なく今	後も向上する	5見込みがない。(5	50%未満)		-1点	Ī							

	(1) 🛚	事業費の推移			計	0	点							
	[区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R6事業費の内	内訳及び金額		単位コスト	0	一般財源額	Ą
		事 業 費	千円	1, 061	1, 061	1	, 061	(金額の上位	2 費用他)		達成度を下げ	ずに低下	させた	1点
	<u></u>	国・道費	千円	796	796		796	区分	金 額	0	変わりない・上確かつ具体的			0点
4	財源	地方債	千円					負担金補助及び交付金	1,061		上昇している	(二成門)	G-20	-1点
効	内訳	その他	千円						,					
果	<u>ы</u> ,	一般財源	千円	265	265		265			説明				
性	(2) =	│		200	計	1	点	(説明) 毛法の	<u> </u> 効率化に関し、	内灾	 	λ ı ≠ a ⊤		
	0	①業務等の見 がないほどのか ②現在の手法 の高い水準に	直しに。 く準にが は効率 なってい 執行方	的な事務執行と受え いる。 法の工夫により、対	して事業費を削減 益者に対するサート	できる余地ビス満足度	1点 1点 1点	団体が活動するまた、対象面積	るために必要な	経費	である。			
項目別点数による評価		項目別点数による評価結果		1 必 2 有 3 達	頁目 点数 要性 3 効性 2 成度 1	5		低 0	少要1 2 3	生十7	与効性 5 6 A	高7 8~	高 達成度+効果性 1 0 -1 -2	
		担当課評価			果を参考に、事業次のA~Dにより		ンて、	他施策との関係	等を含め総合的	視点か	ぃら評価します			
	Α	現状にて事業	美を継	続または拡充										
	0	現状のままで事	事業を終	坐続				事業を拡充	だして継続					
	В	事業の進めた	うの改	善により継続										
		事業の簡素化	、効率の	とによる改善				執行体制の	の見直し(外部委	託等)	による改善			
次		事業手法の見	直しに。	よる改善				住民参加等	等の推進による改	善				
評		事業内容の一	部見直	しによる改善				その他効果	果的·効率的手法	の検討	付による改善			
価(С	事業規模・内	內容等	の見直しの検討	t									
担当		制度·事業内容	『の全記	面的な見直しを検討	t			対象範囲の	の見直し、受益者	負担0	り見直し・導入を	検討		
課		必要性等を再	険証し	事業規模、計画等の	り見直しを検討			他の事業、	類似事業への統	合∙転	換を検討			
評価		計画期間の延	伸、事	業費平準化等を検討	討			その他						
)	D	事業の抜本的	勺見直	しを検討										
		廃止		統合	縮	小		凍結		新たれ	な事業への転換	į		
	*	事業廃止の可	能性	や廃止することに	よる影響 🕏	廃止	可能	条件が整え	えば廃止検討可能	É	廃止は	困難	その他	
		一次評価(担	当課評	価)の内容や考え	え方を具体的に記	入します。		今後の改善策等	を具体的に記入	しま	す。		-	
	説明			づく事業であり、 行い、農業経営に				今後、農家戸場る可能性もあり 要である。						
		<u> </u>		A 現状にて事	業を継続または扱	広充 B	事業	の進め方の改善・	・検討が必要	С	事業規模、内	容の見直	しが必要	
		ch 조무스			の見直しの検討	_	廃止	統合	縮小	_	凍結	1	事業への転換	 奂
二次		庁内委員会 評 価			の内容により事業			176 🖂	204.4		SITTE	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
評		_	ī l	説										
価		A		明										
				A 現状にて事	業を継続または拡	t充 B	事業	の進め方の改善	・検討が必要	С	事業規模、内	容の見直	[しが必要	
最		最終評価			的見直しの検討		廃止	統合	縮小		凍結	新たな	事業への転換	A
終評			ī .	一次評価、 説	二次評価の内容	らにより事!	耒推 進	≝のこと。						
価		A												
			נ	明										

令:	和	7 年	7 .	月 25	日 作成			担	当課			産業課	(農林係)		
Ę	事務事	業名	活性化	センター	管理運営費	ŧ	•									
	基	本方向	01	産業を活	性化し、	地域資源	を生かすまち [、]	づくり		施策	コード					
施策	項	目	02	農林業の	振興					法	的	法令	〇条	例	その	他
の	財	務名称		活性化セ	ンター管	理運営費				根拠	tete:	, 町活性化	センター	条例	I	
体系										実	施	直営	〇委	託	その	他
N.										方						
事	快谚	画に利用-	できるよう	が、施設の紹	維持管理を	:行う。(千月	軒地区:あづま	(~る)								
業概																
要																
	(1) 5	対象(誰	を、何	を対象と	しているの)か)			(3)手段	: (どのよ	 うな手法、	手順で行	テっている	のか)		
	全町	「民及びり	司辺住国	3						育理(施設	管理を千	軒町内会・	へ委託)			
事									(2)小碗	逐修繕						
業																
の目	(2) j	意図(対	象をど	のような	伏態にした	-いのか)										
的	農業	έ振興の排	佳進や地	地域の交流	と福祉の均	曽進を図る。)									
	(1) 8	町関与の	根拠(町が行う必	必要がある	事業か)	計 3	点								
	0	①法令等	学で実施/	が義務付け	られている事	業。	-	1点	O 6	産業振興及	び地域活性	化のために	重要な事業			1点
	0				生活に直結し	た事業で、	当然の責務とし	7 1点	*:	内部管理・運	受笔の事業	生 (占数対:	象外)			_
	Ĕ		べき事業													
		③社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。 ④町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。						1点					的に記入しる		Mann - All	l-la
		④町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。 ⑤民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難かため						1点		葉で整備し F軒町内会			の後、町に	譲渡され	1施設の維	持
1		⑤民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なためが先導・補完する事業。						1点								
必要	(2) 1							点								
性	(=)	社会情勢や町民ニーズの変化等 計 ①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容						_	*	法令等で実力	布内容や手	法等が定め	られて、町の	創意工	夫が入る余	
			られてい					1点		はない。(点						_
					るなど、町民			1点					記入します。			
				・固定化を避 こきている。	をけるため、利	重々の改善を	を行い、事業の努	1点		設は千軒地 ても広く利			よっており、	地域農	業振興の沿	5動
	0	④限られ	た財源の	中にあって	も、実施の勢	紧急性、優先	性は高い。	1点	また、地	区唯一の1	集会施設及	ひ避難所	fとなってい	る。		
	(1)	+ B +	1511-11		~ + +		=1 0	_	ļ							
	(1))	成果・協	働に対	する事業の	の有効性		計 2	点	1							
2	0	①施策を	達成する	ろうえで、当ま	該事業の貢	献度は高い。	1	1点					記入します。			#1 \a
有効	0	②事業0)継続に。	より、成果目	標(事業の意	意図)の向上	が期待できる。	1点					おり、干軒 の活性化に		よる地域活! ている。	動が
性		③類似し	た事業と	の統合や連	重携を図る余	地はない。		1点								
		④町民参	診加と自治	台意識の向_	上が図られて	いる。		1点								
	(1))達成度の測定 計 1					計 1	点								
		区分			指標	(算式)	-	単位	R4	実績	R5実	績	R6実績	ŧ	R6当初計	画
				指標①	利用人数			人		826		578		757		600
		指標 体的な	チ動の	(算式)						020		576		191		000
	内容		ロ刧の	指標②												
				(算式)												
3				指標①	利用者一	人あたりの管	デ理費	一円		1, 221		1, 505		1, 965	9	126
達成	成果※ど	₹指標 ∶れだけ0)成果	(算式)						-,		-, 000		.,	2,	
		れたか		指標②												
				(算式)												
	0	①期待し	たとおり	の成果があ	った。(達成)	度80%以上)	1点					容を具体的に			
		②概わ#	用待した道	重りの成果が	あった。(50	ー %以上80%		0点							が研修や地	
		C 1924 47	.,, 0,00	////////		,, 1_00 /0	10 47	2,100							なっている。	
		③成果が	シ少なく今	後も向上す	る見込みが	ない。(50%	未満)	-1点								
I	1		③成果が少なく今後も向上する見込みがない。(50%未満)						1							

	(1) =	事業費の推移			計	0	点							
	[2	区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R6事業費の内	内訳及び金額		単位コスト	0	一般財源	額
		事 業 費	千円	1,009	870		1,488	(金額の上位			達成度を下げずり	こ低下	させた	1点
	<u>.</u>	国・道費	千円					区分	金 額	0	変わりない・上昇し			0点
4	財源	地方債	千円					需用費	793		確かつ具体的に記 上昇している	光明で	<u>ප</u> න	-1点
効	内訳	その他	千円	3				委託料	587		雪害による勝手	日の	修繕等に	
果	<u> </u>	一般財源	千円	1,006	870		1, 488	24911		説明	用費が増額とな	った。		
性	(2) =	│	117	1,000		2	点	(説明) 毛注の	効率化に関	内突:	<u>│</u> を具体的に記入し	≠		
	0	①業務等の見ばがないほどのか ②現在の手法はの高い水準にか	<準にた は効率 なってい 執行方	的な事務執行と受え いる。 法の工夫により、対	して事業費を削減 益者に対するサー	- できる余地 -ビス満足度	1点	施設の維持管: 管理を町内会にいる。	理に必要最小	限の約	経費となっている 等を含めて適切	0	受管理に 参	努めて
項目別点数による評価		項目別点数による評価結果		1 必 2 有 3 達	頁目 点数 要性 4 効性 2 成度 1	6 3		低 0	少要1 2 3	性十7	方 6 7 A O B B	高 8 ~	高達成度 4 3 2 1 0 -1 -2	
	A	現状にて事業	美を継		果を参考に、事i 次のA~Dにより		して、イ	也施策との関係等	等を含め総合的	視点か	ら評価します。			
	0	現状のままで事	手業を終	迷続				事業を拡充	たして継続					
	В	事業の進めた	の改	善により継続										
		事業の簡素化、	、効率の	化による改善				執行体制の	の見直し(外部委	託等)	による改善			
一 次		事業手法の見	直しに。	よる改善				住民参加等	等の推進による改	養				
評		事業内容の一	部見直	しによる改善				その他効果	果的·効率的手法	の検討	計による改善			
価	С	事業規模・内	容等	の見直しの検討	-									
担		制度·事業内容	の全面	面的な見直しを検討	t			対象範囲0	の見直し、受益者	負担の	の見直し・導入を検	討		
当課		必要性等を再札	剣証し!	事業規模、計画等の	り見直しを検討			他の事業、	類似事業への総	充合・軋	云換を検討			
評価		計画期間の延	伸、事	業費平準化等を検	討			その他						
価	D	事業の抜本的	見直	しを検討				l l						
		廃止		統合	維	小		凍結		新た	な事業への転換			
	※ I	事業廃止の可	能性な	や廃止することに	よる影響 ⇨	廃止	可能	条件が整え	えば廃止検討可	能	廃止は困難	É	その他	l.
		一次評価(担	当課評	価)の内容や考え	方を具体的に記	入します。		今後の改善策等	を具体的に記入	しま	す。	'	'	
	説明	会の活動拠点	点であ	交流や研修の場り、農業振興推設 り、農業振興推設 こ利用できるよう管	生に係る情報発	信の拠点で		施設の適切な終調的な修繕等を			っに、公共施設維	持保	全計画を	基に計
				A 現状にて事	業を継続または技	広充 B	事業の	 の進め方の改善・	・検討が必要	С	事業規模、内容の	の見直	しが必要	
二次評価	ļ	庁内委員会 評 価			的見直しの検討 D内容により事		廃止と。	統合	縮小		東結 新	iたな¶	事業への転	換
				A 現状にて事	業を継続または抗	広充 B	事業	の進め方の改善・	・検討が必要	С	事業規模、内容の	の見直	しが必要	
最		最終評価			的見直しの検討		廃止	統合	縮小		凍結 新	たな事	事業への転	換
終評価		A A		一次評価、 説 明	二次評価の内	容により事	業推通	重のこと。						

一	<u> </u>	7 年	7.	月 25 1	日作成			扫 è	当課			産業課	(農林係)		
	路務事	-		,, <u>-</u> と よる被害対	. ,,,,,,				<u> </u>			王 木脉	(1)2(1)1/1/7		
-						·····		ž / 11		+- A/-					
施		本方向	01		性化し、地域資 	源を生か	いすまちつ) ()		施策	コード		T	T = T=	
策	項	目	02	農林業の	振興					法	10	5. 令	条例	0 70)他
の	財	務名称		熊等によ	る被害対策費					根拠等	帯 福島町	有害鳥	獣駆除対策要 綱	j	
体系										実力	施 道	営	委 託	O 70	D他
										方;	法				
事業概要	有害	鳥獣から	の被害	を防止する	こと及び安全なり	他域住民の	の生活環境	竟の確	保を図る	ため危険簡	箇所の巡回や	捕獲を領	実施する。		
	(1) 1	対象 (誰	を 何	を対象レー	しているのか)				(3) 手段	(どのよ	うか手注 ヨ	E順で行	っているのか)		
		民を対象			2 (0 (0 0) 3 ()								箇所への出没利		を行
事業の		212/17	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						い、地域 ター委嘱 (2)熊等	住民への2 を行い対ル の出没情幸	主意喚起を集 芯している。	施すると	ともに、有害駆	除に係るハ	ン
目	(2) 種	意図(対	象をど	のような∜	状態にしたいの?	<u>ነ</u> ነ)			762011	-0.71111327	176.0 (1 00				
的					及び、近年増加し	しているエ	ゾシカ等の	の食	1						
	害等	被害を拡	7止する	0											
 	/1\=	け問との	+⊟+hn / □	叶杉仁ニル	要がある事業か) 計	3	Ŀ							
) aT	ა	点		- 1111 1 - 1 - 1 - 1					
	0				れている事業。	- V/44-0	主吹して	1点	O ⑥ 6 6	を業振興及で	ア地域活性化の	りために重	要な事業		1点
	0	②生活場町が行う			活に直結した事業	で、当然の	貢務として	1点	※ /	可部管理・運	営等の事業。	点数対象	(外)		_
		③社会的	的·経済的	弱者の生活	維持・安定のために	不可欠な	事業。	1点	(説明)	関与の根拠	に関し、内容	を具体的	に記入します。		•
		④町の特	④町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。										こしている状況に		業者
1								1点		然確保及	び生産所得	の確保の	観点から実施し	ている。	
必		が先導・	り民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、 が先導・補完する事業。												
要	(2)ネ	社会情勢	や町民	ニーズの変	5化等	計	2	点							
性			l度の見正 れている		境の変化によって	ナービスト	内容の拡充	1点		よ令等で実施 はない。(点数		穿が定めら	れて、町の創意エ	上夫が入る余	_
	0	②対象者	首、利用者	が増加する	など、町民ニーズが	高まってい	る。	1点	(説明)	妥当性に関	し、内容を具	体的に記	己入します。		,
				固定化を避り	けるため、種々の改	善を行い、	事業の効	1点	農林業被	と きの抑制	や住民の民	生安定を	図るために必要	な事業であ	5る。
	0				、実施の緊急性、	優先性は高	新い 。	1点	3						
	(1) F	世 • 拉	は動しが	 する事業 <i>0</i>		計	2	点							
2	0	1			事業の貢献度は高			1点	(電路用用)	右効性に即	し、内容を具	休的に言			
有	0	0.127,1.2			(事業の意図)の[i	-	できる	1点					皮害の抑制と民生	生安定へと	つな
効	\vdash				票(事業の息図)の 携を図る余地はない		< cる。	1点	がる。						
性						0									
<u> </u>	/45.1	④町民参加と自治意識の向上が図られている。						1点							
	(1) j	達成度の				計	1	点	ı			ı		1	
		区分			指標(算記	t)		単位	R49	実績	R5実績		R6実績	R6当初	計画
				指標①	巡視時間			h		1, 388	1	, 492	897		1, 200
		指標 体的な活	手動の	(算式)						,					
	内容		33107	指標②											
3	L			(算式)				L							
				指標①	捕獲数			==				00			128
達						0頭		頭		114		99	124	1	
成	成果			(算式)	ヒグマ:8頭、エゾシカ:10 タヌキ:10頭、キツネ:10g										120
成	<u>%</u> خ	れだけの)成果が		ヒグマ:8頭、エゾシカ:10 タヌキ:10頭、キツネ:10 5										120
成		れだけの)成果が												120
成	※ど 現れ	れだけの たか		指標②	タヌキ:10頭、キツネ:10頭	Į.		1点	(説明)	成果・効果	や達成度に壁	し、内容	序を具体的に記入	します。	120
成	<u>%</u> خ	れだけの たか ①期待し	たとおりの	指標② (算式)		人上)		1点	(説明) 捕獲数の		や達成度に関	し、内容	『を具体的に記入	します。	120

	(1) 🖣	事業費の推移			計	0	点							
	[2	区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R6事業費の内	内訳及び金額		単位コスト	0	一般財源額	Ą
		事 業 費	千円	7, 159	6, 987		9, 989	(金額の上位	立2費用他)		達成度を下げ	ずに低下	させた	1点
		国・道費	千円					区 分	金 額	0	変わりない・上確かつ具体的			0点
4	財 源	地方债	千円					報償費	4, 008		上昇している	7(-100-7)	- 2	-1点
効	内訳	その他	千円					給料	2, 831		令和6年度』			
果)	一般財源	千円	7, 159	6, 987		9, 989	負担金補助及び交付金	£ 1,043	説明	て有害鳥獣用したことに)を雇
性	(2) =	 手法の効率化			計	2	点	(説明)手法の)効率化に関し、	内容	1		1, · > · H0	
	0	がないほどの水 ②現在の手法に の高い水準にた	準にたいますは効率なっていいます執行方	さっている。 的な事務執行と受 いる。 法の工夫により、対	して事業費を削減 益者に対するサービ は象範囲を変えずに	ごス満足度	1点 1点 1点	場所周辺の巡 みを行っている	視を強化するな					
項				項目別点数	数表	_		低	<u>必要</u> 1	生十7 【 4	与効性	高 7 8~	高	
目別		項目別点数に		Į	頁目 点数			0	1 2 3	4	5 0	7 0~	達	
点		よる評価結果		1 必	要性 5				-		A			
数に			1	2 有	効性 2	/						0	3	
ょ		A				┪┖		ightarrow					効	
る 評				3	成度 1 3	3			D		В		- 0 -1	
価				4 効	果性 2								-2 低	
												-		
		担当課評価	1	※上記の結	果を参考に、事業	を 担当課と	۱. <i>۲</i> .	他施策との関係	等を含め総合的	視点力	いら評価します	t.		
		Α			次のA~Dにより			12,001 2 10 124 111	,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
		1		続または拡充				1 1						
		現状のままで事		-				事業を拡え	だして継続					
	В	1		善により継続				1 1						
_		事業の簡素化、							の見直し(外部委		による改善			
次		事業手法の見							等の推進による改					
評価	_	事業内容の一			<u> </u>			その他効果	果的·効率的手法	の検討	付による改善			
担	С			の見直しの検討	*			LIE METT	n = +1	7 In a		1 = 1.1		
当				前的な見直しを検討					の見直し、受益者		-	ど検討		
課評				事業規模、計画等の 業費平準化等を検討				他の事業、	類似事業への統	. 日. 転	(換を使引			
価	D	事業の抜本的			i)			ての他						
	0	廃止	7元但	統合	縮	ıls.		凍結		新たっ	な事業への転換	Tá		
	*		能性な	 や廃止することに		,	可能		えば廃止検討可能		まず来・V)転扱		その他	
			-		たった 日本的に記				を具体的に記入	_		- T / valle	C.>1E	
		近年、ヒグマの	の出没	が増加傾向にあ	ることに加え、エ	ゾシカのイ	固体	今後も鳥獣被領	害の増加が見込			害鳥獣駒	区除対策を	より
	説				ɪ制や住民の生命 継続した取り組み			強化する必要を 町ハンタ	がある。 一(会計年度任	-田職)員)と 各ハン	ノターの道	重増を変に]	1. 凍
	明	322 00,727	•	2 3	pa/2011-017/jp		-, -,		を講ずることに。	_,	-> 1/ - 1			—
		<u> </u>	1	Λ 頂北にマキ	業去郷佐士エル	÷	古 **	の准めナのユギ	. 뉴타샤의표	_	市業担告 -	一家の日本	1 4829 ==	
		-			業を継続または拡 的見直しの検討		事 来 廃止	の進め方の改善統合	・検討か必要縮小	Ü	事業規模、内凍結		しか必要 事業への転担	备
=		庁内委員会 評 価			的見直しの検討 D内容により事業			机石	州11		/本和	利には言	▼★・、○○ 転打	*
次評			ī	説	211 <u>11</u> 1-0174-2	V,μ.~ V =								
価		A		明										
			ij	뱅										
				A 現状にて事	業を継続または拡	t充 B	事業	の進め方の改善	・検討が必要	С	事業規模、内	容の見直	しが必要	
最		最終評価			的見直しの検討		廃止	統合	縮小		凍結	新たな事	事業への転 担	奐
終		4人小くロエ 川山	i .	一次評価、説	二次評価の内容	字により事	業推選	重のこと。					_	
評価		A												
				明										

上	. — Эп	7 年	7	月 25 E	日 作成			扫:	当課			产業	果(水産係)			
				-	- 1F/9%			7E:	コ			庄 木。	木 (水连床)			
		業名		給事業費						1		1				
施	基	本方向	01	産業を活	性化し、地域資	資源を生た	いすまちつ	5 ()		施策	<u> </u>					
策	項	目	01	水産業の	振興					法		法 令	〇 条 例		その何	他
の	財	務名称		利子補給	事業費					根拠	語 福島	町漁業リ	1代化資金利子	補給条	例 外	
体系										実	施〇	直 営	委託		その作	他
										方	法					
事	融資	そ 機関への	り利子補	i給を行うこ。	とで、漁業者の流	魚業施設の	の高度化、	近代化	匕と経	営の安定化を	:図る。					
業																
概要																
	(1)	対象(誰	ま 何		ているのか)				(3) =	手段 (どのよ	うな手法	手順で	行っているのか	.)		
					(合)、漁業者								受し付けた融資機		島吉岡	漁業
	11400	C DAD G (III.		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	- H / V ///// H					組合)に対し、				129 (12		,,,,,,,
事業									平式	28年4月からに	ナ 北海道	の利子補	給額を差し引い	と後の	貸付利-	子 全
の	(=)		-							補給している。		·>-/-0-1 IIII	Market ZEO JIV	C (X *)	A 11/13	, 1
目					(態にしたいの)	-	5 1 1. w \/r	Mr - 1 4	海娄	な労働をかり	2.准容分に	ついては	、借入者の償還	ママル	トロタ石	旧弦
的					って漁業経営 より経営安定と流			(美石	止。						-57AD	1/76
	.,.	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	7 1111/14	2117 = 21	317/EE	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			災害	復旧資金は、	令和2年度	の補給を	もって、制度終了			
						_		_								
	(1)	町関与の	根拠(四	けが行う必	要がある事業か	() 計	3	点								
	0	①法令等	浄で実施 が	ぶ義務付けら	れている事業。	•		1点	0	⑥産業振興及	び地域活性	化のために	重要な事業			1点
		②生活現	環境の確保	R等、町民生	活に直結した事業	で、当然の	う 責務として	1 上		У н	2分がの古光	· (上米-山	A H			
		町が行う	べき事業	0				1点		※内部管理·道	世呂寺の事身	き。(尽数刈	家外)			
		③社会的	的·経済的	弱者の生活	維持・安定のため!	こ不可欠な	事業。	1点	(説)	明)関与の根拠	心に関し、ア	内容を具体	的に記入します。			
	0	④町の特	④町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。						漁	家経営の維持	のため、必	要な事業	である。			
1	_	(4回)の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。 ⑤民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なたと						1点								
必			が先導・補完する事業。													
要	(2)	社会情勢	や町民	ニーズの変	き化等	計	2	点								
性					境の変化によって	、サービス	内容の拡充	1点				法等が定め	られて、町の創意	工夫が	入る余	_
			れている。		K10 mm m = = = = = = = = = = = = = = = = =	シュナ 〜	. 7	1.5	/=WI	地はない。(点						
	0				など、町民ニーズが			1点		明)妥当性に関						
				固定化を避り きている。	けるため、種々の改	て善を行い、	、事業の効	1点	华门	間で数名の貸	付かあり、	一定の要	望かある。			
	0	④限られ	た財源の	中にあっても	、実施の緊急性、	優先性は高	高い。	1点								
	(1)	成果・協	働に対	する事業の)有効性	計	3	点								
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献度は高	事い。		1点	(説)	明)有効性に関	引し、内容を	上具体的に	:記入します。			
有	0	② 事業の)継続に1	り、成果日標	票(事業の意図)の[カトが期待	すできる.	1点	利-	子補給を実施	することで、	設備投資	資に係る負担が轉	E減され	1、漁家	経
効									営の	安定化が図ら	れた。					
性	0				隽を図る余地はない	′ '0		1点	-							
		④町民参加と自治意識の向上が図られている。						1点								
	(1)	達成度の	測定			計	1	点								
		区分			指標(算	式)		単位		R4実績	R5実	績	R6実績	F	86当初計	画
				指標①	利子補給件数			/tla		00		0.1				0.1
		指標	r=1 ~	(算式)				件		23		21	2	3		21
	※具	具体的な淵 ₹	ち動の	指標②												
3		•		(算式)												
ν				指標①	一人当たりの補糸	書										
達成	成集	見指標		(算式)	(件数/決算額)			円		8, 893		7, 804	11, 55	5	13,	048
	×٤	れだけの)成果が		(下效/ 八异银)											
	現れ	たか		指標②												
				(算式)							<u> </u>					
	0	①期待し	たとおりの	の成果があっ	た。(達成度80%)	以上)		1点					容を具体的に記え			
		②概ね其	- 月待した通	的の成果があ	かった。(50%以上	80%未満)		0点	部	と備投資に係る	る負担が軽	減され、	魚家経営の安定	匕が図	られた。	
		③成果が	概ね期待した通りの成果があった。(50%以上80%未満) 													

株別		(1) 특	事業費の推移			計	0	点							
# 第		[2	区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R6事業費の内	内訳及び金額	0	単位コスト		一般財源額	湏
1			事 業 費	千円	205	164		266	(金額の上位	立2費用他)		達成度を下げ	ずに低下さ	せた	1点
## 地方 後 中円			国・道費	千円					区分	金 額	0				0点
### 19	4	源	地方債	千円						266			31-100/1	. w	-1点
29	効		その他	千円					入门业				による。		
20 1	果	$\overline{}$	一般財源	千円	205	164		266			一説明				
10 日本の対象を示している。	性	(2) =	 手法の効率化			計	3	点	(説明)手法の)効率化に関し、	内容	 を具体的に記	入します。		
項目別点数		0	がないほどの水 ②現在の手法に の高い水準にな ③外部委託や	k準にた は効率 なってい 執行方	なっている。 的な事務執行と受いる。 法の工夫により、対	益者に対するサート	ごス満足度	1点	制度に基づき	実施している。					
A 現状にて事業を継続または拡充	目別点数による評		よる評価結果		1 必 2 有 3 達	頁目 点数 要性 5 効性 3	-			1 2 3		5 6	7 8~	5 4 3 2 1 0 -1	
日本業の進め方の改善により継続			担当課評価					して、	他施策との関係	等を含め総合的]視点が	いら評価します			
日 事業の進め方の改善により継続		Α	現状にて事業	業を継	続または拡充										
事業の簡素化、効率化による改善 執行体制の見直し(外部変形等)による改善 事業手法の見直しによる改善 生民参加等の推進による改善 生民参加等の推進による改善 生民参加等の推進による改善 生民参加等の推進による改善 生民参加等の推進による改善 生の他効果的・効率的手法の検討による改善 七の他効果的・効率的手法の検討による改善 七の他効果的・効率の手法の検討による改善 七の他効果の見直し・導入を検討 必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討 対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討 必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討 本の他 本業の推本の見直しを検討 本の地 本学の抜本の見直しを検討 本の地 本の地 本学業産业の可能性や廃止することによる影響 中の地 本学表の施設整備や近代化経営のための設備投資を支援するた 物価高騰等の影響により、漁家経営は厳しい状況であり、総続して利益をすると要がある。 小価高騰等の影響により、漁家経営は厳しい状況であり、総続して利益をすると必要がある。 本業の進め方の改善・検討が必要 C 事業規模、内容の見直しが必要 中次評価の内容により事業推進のこと。 ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		0	現状のままで事	事業を終	坐続				事業を拡充	充して継続					
事業手法の見直しによる改善		В	事業の進めた	ちの改	善により継続										
# 東京内容の一部見直しによる改善 その他効果的・効率的手法の検討による改善 その他効果的・効率的手法の検討による改善 その他効果的・効率的手法の検討による改善 その他効果的・効率的手法の検討による改善 を要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討			事業の簡素化	、効率の	比による改善				執行体制の	の見直し(外部委	託等)	による改善			
 ① C 事業規模・内容等の見直しの検討 制度・事業内容の全面的な見直しを検討 対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討 必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討 他の事業、類似事業への統合・転換を検討 計画期間の延伸、事業費平準化等を検討 フ 事業の抜本的見直しを検討 廃止 一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 漁業者の施設整備や近代化経営のための設備投資を支援するた。 説 お事業であり、利子補給は継続して行う必要がある。 原止 財産・事業を継続または拡充 財産・事業を継続または拡充 日本業の技术的見直しの検討 中次評価の内容により事業推進のこと。 最終評価 日本業の技术的見直しの検討 日本業の技术的見直しの検討 日本業の技术的見直しの検討 日本業の技术的見直しの検討 日本の内容により事業推進のこと。 日本まの技术の内容により事業推進のこと。 日本まの技术の見直しの検討 日本業の技术的見直しの検討 日本業の技术的見直しの検討 日本業の技术的見直しの検討 日本業の技术的見直しの検討 日本業の技术の見直しの検討 日本業の技术的見直しの検討 日本業の技术の見直しの検討 日本まの技术の見直しの検討 日本業の技术の見直しの検討 日本まの技术の見直しの検討 日本まの技术の見直しの検討 日本まの技术の見直しの検討 日本まの技术の見直しの検討 日本まの技术の見直しの検討 日本まの技术の見直しの検討 日本まの技术を経続または拡充 日本の技术の見直しの検討 日本まの技术の見直しの検討 日本まの技术の見直しの検討 日本に対しままに対しままままままままままままままままままままままままままままままま			事業手法の見	直しに。	よる改善				住民参加等	等の推進による。	女善				
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日			事業内容の一	部見直	しによる改善				その他効果	果的·効率的手法	よの検討	付による改善			
世界		С				-									
計画期間の延伸、事業費平準化等を検討			制度·事業内容	ダの全 🖟	面的な見直しを検討	t							を検討		
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	課証									類似事業への終	売合・車	に換を検討			
廃止 統合 縮小 連結 新たな事業への転換 ※事業廃止の可能性や廃止することによる影響						討			その他						
※事業廃止の可能性や廃止することによる影響 → 廃止可能 条件が整えば廃止検討可能 廃止は困難 その他 一次評価 (担当課評価) の内容や考え方を具体的に記入します。		D	1	9見 直		総定	ıls.		唐 杜		至った-	か事業への転換	佰		
一次評価 (担当課評価) の内容や考え方を具体的に記入します。		*		能性。				可能		えげ廃止給計可				その他	
漁業者の施設整備や近代化経営のための設備投資を支援するため事業であり、利子補給は継続して行う必要がある。 物価高騰等の影響により、漁家経営は厳しい状況であり、継続して利益を支援するため事業であり、利子補給は継続して行う必要がある。 物価高騰等の影響により、漁家経営は厳しい状況であり、継続して利益を支援するため事業を継続または拡充 B 事業の進め方の改善・検討が必要 C 事業規模、内容の見直しが必要 本部 本部 本部 本部 本部 本部 本部 本		<i>^</i> •.					~ -	, 111				~		C-71E	
一次評価 ○ 事業の抜本的見直しの検討 ○ 廃止 統合 縮小 凍結 新たな事業への転換 一次評価の内容により事業推進のこと。 最終評価 日期 日期 ○ 事業の抜本的見直しの検討 ○ 廃止 統合 縮小 凍結 新たな事業への転換 所が必要 ○ 事業の抜本的見直しが必要 ○ 事業の抜本的見直しの検討 ○ 廃止 統合 縮小 凍結 新たな事業への転換 一次評価、二次評価の内容により事業推進のこと。							資を支援す	トるた			漁家紹	を営は厳しい	伏況であり	、継続して	利子
一次評価 日 事業の抜本的見直しの検討 中 廃止 統合 縮小 凍結 新たな事業への転換 一次評価の内容により事業推進のこと。 説 明 日			<u> </u>		Δ 現狀にで車	業を継続すたけお	t 杂 P	事業,	の進め方の改善	・ 検討が必要	С	事業担構 7	内容の目古	しが必要	
- 次評価の内容により事業推進のこと。			亡むチョク					1							
説 朗 説 明	-								ייש איני ויי	ad.1.		-77TH	4717~6年	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	^
最終評価	評		Α												
最終評価 終 評 価								T .			С				
			最終評価							縮小		凍結	新たな事	業への転	奥
	評		Α		説	ᅳᄼᇭᆒᄱᄭ	コにのソザ	☆1 性地	- - /						

令	和	7 年	, 7)	月 25 1	日 作成			担	当課			産業	果(水産係)			
事	₮務	事業名	水産加	工振興協調												
	1	基本方向	01	産業を活	<u></u> 性化し、地域資	源を生:	かすまちつ	うくり		施領	きコード					
施		夏 目	01	水産業の		<i>""</i>	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					法令	条	個	O 70	D.Hh
策の			01			弗				法 根拠	1 /*/*		工振興対策事			-
の体	-	材務名称		小座加工:	振興協議会補助	貝					THE	1 .				
系										実 方	施 法	直営	委	託	O 70	ノ他
	7/2	安加工类 :	とで様式	される団体	に対し、補助金を	たな仕江	今昌 相五	の油	次 15.7			【依笠な活】	* 水产加工/	カセの	た図る	
事業	八	生加工来1	白で特別	1941の 1141 1141 1141 1141 1141 1141 1141	に刈し、	ビ父刊し	、云貝和丑	.//) 理 /	俗及し	が情報の父換	、姠宜、切	「修寺を囲り	ン、 小 生 加 工 い	ク 仮 興	で図る。	
概要																
女	/1	_L_&/=#	+ 17	+ + 1 4 1 1	-1.70L				(0) =	r =	- 4. 7.	- T III -				
	Ľ	リ 刈 豕 (語 島町水産力			ノているのか) 								行っているの			
	ТШ	西門小吃	加工]灰兴	加成云					四件	v / 建 ద v / / c ທ	/、 「 并 / /	単区区コドコ く 作	加工で入口。	0		
事																
業の																
目					状態にしたいのだ			-2 1.00								
的		体の連営を る。	と図るたる	め補助金を	交付しているが、	将来は	目主運営を	:希望								
		.00														
	(1)町関与の	根拠(田	けが行う必	要がある事業か	計	3	点								
	C	① 法令等	等で実施か	ぶ義務付けら	れている事業。		-	1点	0	⑥産業振興及	び地域活	生化のために	重要な事業			1点
		②生活環	環境の確保	R等、町民生	活に直結した事業~	で、当然の	の責務として	1点		※内部管理·i	正学学の 重	类 (占粉岩	- 毎 別)			+_
		町が行う	べき事業)				一川		次1199日在1	里呂 守り手	未。(尽数》)	※7 ト)			
		③社会b	h·経済的	弱者の生活	維持・安定のために	不可欠な	2事業。	1点	.,,,,				的に記入しま			
		④町の特	5性や魅力	りを生かした	取り組みなど、戦略	的な事業		1点	町が	事務局となっ	ており、買	内の水産	加工業者が加	1入して	いる。	
1	6				るが、サービスの確何	呆が困難	なため、町	1点								
必	F	が先導・	補完する				ì									
要性	(2			ニーズの変		計	1	点								
11			り度の見ば れている。		境の変化によって、	サービス	内容の拡充	1点		※法令等で実 地はない。(点		手法等が定め	られて、町の倉	意工す	そが入る余	-
					など、町民ニーズが	高まって	いる。	1点	(説明	明)妥当性に		を具体的に	 :記入します。			
					けるため、種々の改			1.1	水産	加工業の振り	単に必要7	事業であ	5.			
		果が顕著	皆になって	きている。				1点					- 0			
	C	④限られ	た財源の	中にあっても	、実施の緊急性、	憂先性は	高い。	1点								
	(1)成里•섭	働に対	 する事業 <i>0</i>		計	2	点								
2	È	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,						-	/=¥.F	10\ + + ++ 1- F	BI AG	+ = + 4.	-7.7.1.+-+			
١.	C		(達成する	りえで、当該	事業の貢献度は高	۰, ۱۲		1点	사건	明)有効性に関			. 記入します 。 あったが、現在	->	て光本間	のは
有効	C	②事業の)継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の向	1上が期待	寺できる。	1点		はイカカス倍い 換の場として				ヒィスカル	上未日间	Vノ1月
性		③類似し	た事業と	の統合や連	隽を図る余地はない	٥,		1点								
		④町民参	≩加と自治	意識の向上	が図られている。			1点								
	(1)達成度の	測定			計	1	点								
		区分			指標(算式	t)		単位		R4実績	R5	実績	R6実績		R6当初	計画
				指標①	水産加工振興協議	美会会議										
	活	動指標		(算式)				□		1		1		1		1
	※	具体的な活 _突	舌動の	指標②												
3	l 3	┲		(算式)												
ኍ	H			指標①	構成員出席率											
達成	成.	果指標		(算式)				%		83		67		86		100
度		どれだけの)成果が	指標②												
	垷	れたか		(算式)				1								
	F	○ #br /± :	J. 1 3 10		* (************			4 6	/==-	10 A B 4	# 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14	:/- BP : .	m + = 2 **:	·	+	
	C	リリ期待し	たとおりの	り成果があっ	た。(達成度80%以	(上)		1点					容を具体的に			
		②概ね其	引待した 通	的の成果があ	あった。(50%以上8	0%未満))	0点	育報	父揆の場とし	(は、愽)	X貝王貝の	出席が理想で	ごめる。		
	1	③成果か	シンなく今	後も向上する	5見込みがない。(5	0%未満))	-1点								

	(1) 🖣	事業費の推移			計	0	点					
	[2	区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R6事業費の内	内訳及び金額	0	単位コスト	一般財源額
		事 業 費	千円	360	360		360	(金額の上位	立2費用他)		達成度を下げて	
	対	国・道費	千円					区分	金 額	0	変わりない・上昇確かつ具体的に	昇している理由を明 0点 ご説明できる
4	源	地方债	千円					負担金・補助及び 交付金	360		上昇している	-1点
効	内訳	その他	千円					入门业				l l
果	$\overline{}$	一般財源	千円	360	360		360			説明		
性	(2) =	 手法の効率化			計	2	点	(説明)手法の	 効率化に関し、	内容	 を具体的に記入	 、します。
	0	がないほどの水 ②現在の手法に の高い水準に	<準にた は効率 なってい 執行方	的な事務執行と受え いる。 法の工夫により、対	益者に対するサート	ごス満足度	1点 1点 1点	補助金の交付	により、運営に	大きく	寄与している。	
項目別点数による評価		項目別点数に よる評価結果		1 必 2 有 3 達	数表 頁目 点数 要性 4 効性 2 成度 1 果性 2	-		低 0	必要1 2 3	性 + 7	有効性 5 6 3 0	高 7 8 ~ 5 4 3 2 1 0 0 1 0 4 0 1 0 4 0 1 1 0
		担当課評価			果を参考に、事業次のA~Dにより		ンて、	他施策との関係	等を含め総合的	視点が	から評価します。	0
		現状にて事業現状のままで事		続または拡充				事業を拡充	でして継続			
	_			善により継続				7 /10 2 = 7	3 - V/(ED/)			
		事業の簡素化	、効率化	とによる改善				執行体制の	の見直し(外部委	託等)	による改善	
<u>-</u>		事業手法の見	直しに。	よる改善				住民参加等	等の推進によるご	女善		
次評		事業内容の一	部見直	しによる改善				その他効果	果的·効率的手法	の検討	対による改善	
価	С	事業規模・内	內容等	の見直しの検討	t							
担		制度·事業内容	ずの全面	面的な見直しを検討	t			対象範囲の	の見直し、受益者	負担(の見直し・導入を	 検討
当課		必要性等を再	検証し!	事業規模、計画等の	り見直しを検討			他の事業、	類似事業への総	充合•电	伝換を検討	
評		計画期間の延	伸、事	業費平準化等を検討	討			その他				
価	D	事業の抜本的	り見直	しを検討								
		廃止		統合	縮	小		凍結		新た	な事業への転換	
	*	- 事業廃止の可	能性	や廃止することに	よる影響 →	廃止	可能	条件が整え	えば廃止検討可		廃止は困	羽難 その他
		一次評価(担	当課評	価)の内容や考え	え方を具体的に記	入します。		今後の改善策等	を具体的に記え	入しま	す。	1 1
	説明			半う加工原料不足 の維持を図るため			な	原料のイカ確保 体制の強化とと				員での情報交換・協力 る。
				A 現状にて事	業を継続または拡	t充 B	事業	の進め方の改善・	・検討が必要	С	事業規模、内容	容の見直しが必要
		庁内委員会		D 事業の抜本	的見直しの検討	⇒	廃止	統合	縮小		凍結	新たな事業への転換
二次		評価	_	一次評価の	の内容により事業	集推進のこ 。	Ŀ。		, l	1	, l	•
評価		Α		明								
				A 現状にて事	業を継続または拡	t充 B	事業	の進め方の改善	検討が必要	С	事業規模、内	容の見直しが必要
最終評		最終評価	ו ו		的見直しの検討 二次評価の内容		廃止 業推進	統合	縮小		凍結	新たな事業への転換
価		A		明								

小		 7 年	. 7)	月 25 E	日 作成			扣	 当課			产業 1	果(水産係)			
								15.]		庄木	本 (水)注 (水)			
		業名			Ě揮対策事業費							1				
施		本方向	01		性化し、地域資	[源を生か	いすまちつ) ()		施策	コード					
策	項	目	01	水産業の	振興					法		法 令	条(列	0 70	の他
の体	財	務名称		水産多面	的機能発揮対策	事業費				根拠	等 水産	多面的機	幾能発揮対策 3	交付金	交付要	綱
系											施	直営	委	Æ	0 70	の他
										方	法					
事	水産	賃業がもつ	多面的	機能を発揮	させるため活動	している糸	且織への支	え援								
業概																
要																
	(1);	対象(誰	を、何	 を対象とし	ているのか)				(3)手段	(どのよ	うな手法、	手順で:	行っているの	か)		
				対策事業活									会へ国・道・町			
-		島町吉岡 島町豊か							合により負	担金が	吶入され、 ‡	協議会から	う活動組織に ^対	付して	交付され	いる。
事業	11111	피비 효ル	いよけいしく	(100 1)					※平成28年	年度から	町の負担な	が生じてい	いる(平成27年	度まで	ごは国10	0%)。
の	(2) -	辛回 / か	色まじ	のトンナン出	大態にしたいの	4,)			1							
目的					の保全に努める				-							
	111 25/	加工貝~	nne 🔨	1000	シルエにどのの	0										
						-										
	(1)	町関与の	根拠(四	打が行う必	要がある事業か	() 計	2	点								
	0	①法令等	等で実施か	ぶ義務付けら	れている事業。			1点	〇 ⑥産	業振興及	び地域活性の	化のために	重要な事業			1点
					活に直結した事業	で、当然の	責務として	1点	※内	部管理•追	運営等の事業	。(点数対	象外)			_
			べき事業	-	## ## ## ##		±₩	1.5	/=¥00\ BE	3 - 0 + 1	n (- 88) +	n		<u> </u>		
		③任芸印	小* 栓)的	物有の生活	維持・安定のために	こ不可欠な	争業。	1点					的に記入します		-14-1- /H /	N 17 FL
		④町の特	特性や魅力	りを生かした!	取り組みなど、戦略	らいな事業。	,	1点					おり、これまで₹ ≵28年度から봐			
1					るが、サービスの確	保が困難な	まため、町	1点		Ф. Д.	×11194	(-0() //	N20 XN 311		.,_,,	
必	(0)		補完する		- 11. Arts	=-			<u> </u>							
要性	(2)			ニーズの変		計	1	点	l	A 111	U. I. d. a 3	. Ide varie				
II	0		リ度の見正 れている。		境の変化によって	、サービス	内容の拡充	1点			晒内容や手∤ 数対象外)	去等が定め	られて、町の創	意工夫	だめる余	-
		②対象者	首、利用者	が増加する	など、町民ニーズカ	ぶ高まってレ	る。	1点	(説明)妥	当性に関	し、内容を	具体的に	記入します。			
					するため、種々の改	で善を行い、	事業の効	1点	全国的に	磯焼け等	による藻場	減少は誤	果題となってお	り、藻	場の維持	寺保全
				きている。		America Indiana	ta.		のためにも	必要であ	る。					
		(4)限られ	た財源の	中にあっても	っ、実施の緊急性、	優先性は高	事い。	1点								
	(1)	成果・協	場働に対	 する事業σ)有効性	計	2	点								
2		①施策を	・達成する	うえで、当該	事業の貢献度は高	部い。		1点	(説明)有	効性に関	し、内容を	・具体的に	記入します。			
有	0				票(事業の意図)の		マキス	1点					いるため、維持	子保全	のために	二必要
効							1 (0%)		である。			=- *				
性	0	③類似し	た事業と	の統合や連打	隽を図る余地はない	, , _o		1点	1							
		④町民参	診加と自治	意識の向上	が図られている。	_		1点								
	(1)	達成度の	測定			計	1	点								
		区分			指標(算:	式)		単位	R4実	績	R5実	績	R6実績		R6当初	計画
				指標①	活動組織数											
		指標		(算式)				団体		2		2		2		2
	※具 内容	体的な温	舌動の	指標②												
3	1,10	r		(算式)												
, ‡				指標①	実施面積				 					\dashv		
達成	成果	!指標		(算式)	大旭山東			ha		20		20		20		20
	×٤	れだけの)成果が													
	現れ	たか		指標②				-								
				(算式)												
	0	①期待し	たとおりの	の成果があっ	た。(達成度80%)	以上)		1点					容を具体的に	記入し	ます。	
		②概ね其	閉待した通	的の成果があ	あった。(50%以上	80%未満)		0点	両組織とも	、計画と	だおりの面積	責を実施で	できた。			
		③成果が	シンなく今	後も向上する	 5見込みがない。(50%未満)		-1点	1							

	(1) 🖣	事業費の推移			計	1	点							
	[2	区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	.額	R6事業費の内	内訳及び金額	0	単位コスト		一般財源	額
		事 業 費	千円	578	556		470	(金額の上位	立2費用他)	0	達成度を下	げずに低っ	Fさせた	1点
	対	国・道費	千円					区 分	金 割	Į.	変わりない・確かつ具体			0点
4	源	地方债	千円					負担金・補助及び 交付金	4	70	上昇している			-1点
効	内訳	その他	千円					入门业						-
果)	一般財源	千円	578	556		470			説明				
性	(2) =	- 手法の効率化			計	1	点	(説明)手法の	効率化に関	し、内容	を具体的に記	己入します	•	
	0	がないほどの水 ②現在の手法に の高い水準に	準にた は効率 なってい 執行方	的な事務執行と受え いる。 法の工夫により、対	益者に対するサート	ビス満足度	1点 1点 1点	制度の上限内	の事業費で	ある。				
				话口叫上来	<i>th</i> ≠			/ 耳	.Ys.	亜州 1:	ᅔ ᄿᄽ	古		
項目				項目別点数	双表 頁目 点数	\neg		(6)		要性+2 3 4	<u>有 幼1生</u> 5 6	7 8~		5
別		項目別点数に				_								
点数		よる評価結果	1	1 必	要性 3	5			•		A		4 成	
に		Δ		2 有	効性 2						0		+	
よる				3 達	成度 1				D		В		対 対 果	
評価				4 効	果性 2	3							-1 1生	
"				7 20	*11 2								-2 低	į
	A	担当課評価	き を継		果を参考に、事業 次のA~Dにより		して、	他施策との関係領	等を含め総合	↑的視点ス	から評価しま	· す 。		
	0	現状のままで事						車業を好る	たして継続					
				************************ 善により継続				尹未で払う	でして利佐物に					
	Ь	事業の簡素化						劫行休割	の見直し(外部	(禾彰笙)	による改善			
-		事業手法の見							等の推進によ		による改品			
次評		事業内容の一						,	果的•効率的=		計による改善			
価	С			の見直しの検討	†			5 12//	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
担		制度·事業内容	の全面	前的な見直しを検討	t			対象範囲の	の見直し、受益	全 者負担	の見直し・導入	を検討		
当課		必要性等を再	検証し!	事業規模、計画等の	り見直しを検討			他の事業、	類似事業への	の統合・輔	伝換を検討			
評価		計画期間の延	伸、事	業費平準化等を検 討	計			その他						
11111	D	事業の抜本的	り見直	しを検討										
		廃止		統合	縮	小		凍結		新た	な事業への転	換		
	*	事業廃止の可	能性な	や廃止することに	よる影響 ➡	廃止	可能	条件が整え	えば廃止検討	可能	廃止	は困難	その他	Ţ
				価)の内容や考え				今後の改善策等						
	説明			おいて、藻場の 焼け対策等に必			管理な	海洋環境の変	化などを踏る	きえ、最	良の保全活	動を進め	る必要があ	వ .
					alle de concentration de la concentration de l		alle		14=1700-			++	±. /*×=	
					業を継続または扱		_	の進め方の改善			事業規模、			
=		庁内委員会 評 価			的見直しの検討 D内容により事業		廃止 と。	統合	縮小		凍結	利にる	事業への転	公 次
次評			1	説		.,_~_,_	_,							
価		Α		明										
				A 現状にて事	業を継続または扱	広充 B	事業	の進め方の改善	・検討が必要	С	事業規模、	内容の見	直しが必要	
最		最終評価			的見直しの検討		廃止	統合	縮小		凍結	新たな	事業への転	換
終評		1	7	一次評価、 説	二次評価の内容	らにより事:	業推進	≝のこと。						
価		LA		明										
			-											

小	<u></u>	7 年	7 .	月 25 i	3 作成			扫音	当課		産業!	果(水産係)		
		業名	· · · ·			<u> </u>			- PP 1			11. (13.1/27.16)47		
-		本方向	01		性化し、地域資		オキナク	3 / LI	140	策コー	Ľ			
施	項	日	01			ぶてエ2	. 9 & 5 -	, , ,			法令	〇 条 例	その	Ш
策			UI	水産業の		*** #				的 拠等				ᄪ
体	- 財	務名称		温 村 塓 項	改善総合センタ	一理呂質	[112	1/2-47	1	環境改善総合セン	1 1	hi.
系										施法	〇 直 営	委託	その	他
	YE. 715	. 44.4×34.4	* 67 24 A	7th 1. Ma	要求の担て無格	ロ ~ k/丰 世	はの本件	+4-4			から 【チ団フ	-1.5.041.1 ~	. 7	
事業概要	近代	的な漁	食経宮の	(催立と、洪	業者の相互研修	及び連帯	感の育成	、亚(ドに地域住民の4	E活文化(の同上を図る	ことを目的としてい	い 。	
	(1)	対象(誰	を、何	を対象とし	ているのか)				(3)手段(どの	ような手	-法、手順で	行っているのか)	
	漁業	者及び	その他町	:民					使用者から使用	料を徴収	<i>ている。</i>			
+									(但し、水産業扱	興等必要	要と認める場合	合には減免措置を	こしている。)	
事業									吉岡は、老朽化	により平月	成28年4月から	っ使用休止してい	る。	
の	(2) i	李図 (法	会たじ	のトラかり	*************************************	,)			1					
目的				る活動の場		•)			ł					
					こ関する場の提供	-								
	(1)	打関与の	根拠(四	打が行う必	要がある事業か)	計	3	点	T					
	0	①法令等	等で実施だ	ぶ義務付けら	れている事業。			1点	⑥産業振興	及び地域	活性化のために	重要な事業		1点
	0				活に直結した事業で	で、当然の	責務として	1点	※内部管理	運営等の	事業。(点数対	象 外)		_
			べき事業		with the state of	~~ ~ . h.	eler Allé	4 -	(5×00) 88 F 6+	D 160 (BB (***** = #			
		(3) 社会日	· 经净的	弱者の生活	維持・安定のために	个 引 欠 な 🖁	事業。	1点	(説明)関与の科	民拠に関し	ノ、 内谷 を具体	的に記入します。		
		④町の特	特性や魅力	りを生かした	取り組みなど、戦略の	的な事業。		1点						
1	0				らが、サービスの確保	呆が困難な	ため、町	1点						
必			補完する		- 11 . Arts			1						
要性	(2) 1			ニーズの変		計	1	点						
II			リ度の見正 れている		境の変化によって、	サービスク	内容の拡充	1点	※法令等で 地はない。(られて、町の創意]	E夫が入る余	_
		②対象者	音、利用者	が増加する	など、町民ニーズが	高まってレ゙	る。	1点	(説明) 妥当性(こ関し、内	内容を具体的に	記入します。	'	
					けるため、種々の改	善を行い、	事業の効	1点	社会情勢の変化	こにより、注	漁民集会の場	としての利用はな	いが、地域住	主民
	_	.,		きている。	ala lila — West Ar Lil — A	er al . lat s a mile			や町内会の集会	施設とし	ての需要はあ	る。		
	0	(4)限られ	た財源の	中にあっても	」、実施の緊急性、億	と 先性は 高	50 %	1点						
	(1)	ず果・協	働に対	する事業の)有効性	計	1	点						
2		①旋筆ź	、法ポナス	ふうで 坐動	事業の貢献度は高	1.5		1点	(説明) 有効性(- EB I d		記 1 l 士士		
<u>+</u>									福島地区(字福				利田者かられ	左続
有効		0 1 //1	.,	. ,,,,.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	票(事業の意図)の向		ぐさる。	1点	の意向がある。		-1/10 \ XI 1/4 C	->K->/K->/ NEWX N - & / \	. 1970 E W 91	13 1196
性	0	③類似し	た事業と	の統合や連打	隽を図る余地はない	6		1点						
		④町民参	診加と自治	意識の向上	が図られている。			1点						
	(1);	達成度の	測定			計	1	点						
		区分			指標(算式	:)		単位	R4実績		R5実績	R6実績	R6当初計	画
				指標①	利用者数									
		指標		(算式)				人	17	0	780	554	ł I	400
	※具 内容	.体的な消 !	舌動の	指標②										
3	1,10			(算式)										
, #				指標①	利用者一人当たり	の管理費								
達成	成果	指標		(算式)	(利用者数/決算			円	2, 50	0	650	1,012	2 1,	, 770
	×٤	れだけの)成果が		(利用有数/10年1	iR)								
	現れ	たか		指標②				-						
	_			(算式)								–	1	
	0	①期待し	たとおりの	の成果があっ	た。(達成度80%以	上)		1点				容を具体的に記入		el - 0
		②概ね其	期待した通	的の成果があ	かった。(50%以上8	0%未満)		0点	漁民による利用	は1件の <i>。</i> シナスレシリ	みであったが、 田者け増加1	町内会や各種団 ている。一方で新	体による利用 新利用/ナギ	月が まり
		③成果か	ジ少なく今	後も向上する	 5見込みがない。(50	0%未満)		-1点	見込まれないこ					ムソ

	(1) 🗐	事業費の推	移			=	+	0	点											
	[☑ 分		単位	R4決算額	R5決算額	ı	R6決算	額	R6	事業費の「	カ訳及び:	金額	0	単位:	コスト			一般則	源額
		事業	費	千円	425	50)7		561		金額の上位				達成月	度を下げ	げずに	低下さ	らせた	1点
	<u></u>	国・道費	ŧ	千円						区	分	金	額	0			_,,,		理由を	明 0点
4	財源	地方侵	Ē	千円						委託米	业		318			⊃具体! こている		LIFT CT	3 O	-1点
**	内訳	その他		千円						需用費			217					費の記	高騰に	
効果	一	一般財源		千円	425	50	17		561	m /11 5	4		211	説明	7 411 .		27110-3		174119	0.00
性	/n\ =			T 17	420		_	0	点	/=¥ n	n\	>++ == //. /.	- 88 1	.	<i>+</i> 8 #	Ab 1 = =	771	++		
		手法の効率 ①業務等の		重しによ	り、経済性を考慮	■	† 減できる	2		`#-T.	月) 手法の な維持の									
	0	がないほど	の水	準にな	っている。	を 益者に対するサ			1点		マル下1.1.4~	/C0/(C)E	· 女· & た	en (mı	-11 >		ەرىد		
		の高い水準	にな	こってい	る。				1点											
	0	③外部委託 削減する余				対象範囲を変え、	ずに事業	費を	1点											
項					項目別点	数表					低 0	1 2	必要'	生十7 4	与 <u>効性</u> 5	6	7	高 8~		눔
目別		項目別点数	¢ н г−			項目点	数				0	1 2	3	4	5	U	1	∘~		高 達
点		頃日別点象 よる評価約			1 4	必要性 4						-0				Α			5 4	成
数に		_			2 7	可効性 1	5	_							0				3	度 十
ょ		A								\checkmark									2	効
る 評					3 ì	達成度 1	3					D				В			0	果 性
価					4 3	効果性 2													-1 -2	低
					<u> </u>								II.			ı				1.3
		担当課評	価																	
					※上記の網	詰果を参考に、	事業担当	当課とし	して、・	他施策	との関係	等を含め	総合的	視点が	いら評価	逝しま	す。			
		В			※評価は、	次のA~Dに	よります	t.												
	Α	現状にて	事業	を継	続または拡充															
		現状のまま									事業を拡	充して継続	Ħ.							
	В	事業の進む	め方	の改	善により継続															
		事業の簡素	*化、	効率化	とによる改善						執行体制	の見直し(外部委	託等)	によるご	女善				
<u> </u>		事業手法の		_							住民参加	等の推進	による改	善善善						
次評		事業内容の)一:	8見直	しによる改善					0	その他効果	果的·効率	的手法	の検討	寸による	改善				
価	С	事業規模	• 内	容等	の見直しの検	 計														
担		制度·事業	内容	の全面	i的な見直しを検	···· 討					対象範囲	の見直し、	受益者	負担0	り見直し	- 導入	を検言	寸 ————		
当課		必要性等を	:再杉	食証し事	事業規模、計画等	の見直しを検討					他の事業	、類似事業	きへの紡	ご合・転	換を検	討				
評		計画期間の)延伸	申、事業	美費平準化等を 権	·····································					その他									
価	D	事業の抜わ																		
		廃止			統合		縮小				凍結			新たれ	な事業・	への転	換			
	*	I)可1	能性や	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	こよる影響 ロ	⇒	廃止	可能	·····	条件が整	えば廃止れ) 検討可能		. 215	廃止に			その)他
	-					え方を具体的に	-			今後0	D改善策等				す。		, .,			
		福島は町	内会	等に	よる利用が主て	あり、令和3年	度に実	施した		吉岡	はコンブイ	呆管の役				であり)、解作	本の核	食討をは	進めること
	説				会場としての存 る必要がある。	続意向はあるか	、、築年	数から	も老		要である。 は町内会		日音向:	があス	~ L&	海業:	去にト	- スモロ	田むあ	ステレか
	明	吉岡は耐	震診	沙断に	おいて、基準を	下回る耐震度				ら、老	朽化対策					.,				
		漏りなどが る。	·発/	生して	いることから、「	早期の解体を検	討する	必要な	ぶあ	がある	5.									
		δ.																		
					A 現状にて	事業を継続また	は拡充	В	事業の	の進め	方の改善	・検討が	必要	С	事業規	見模、	内容の	D見直	しが必	要
1_		庁内委員	会	Ī	D 事業の抜っ	*的見直しの検	討 ⇨		廃止		統合	ñ	宿小		凍結		新	たな事	業へ0)転換
次			価		施設の在	り方について枯	食討する	ること。		,		<u> </u>		•	*	-	1			
評					説															
価		В			明															
		1 B																		
					A 現状にて	事業を継続また	は拡充	В	事業の	の進め	方の改善	・検討が	必要	С	事業規	見模、	内容の	D見直	しが必	要
最		最終評価	TT.	ľ		▶的見直しの検			廃止		統合	ă.	宿小		凍結	C) 新	たな事	業へ0)転換
終		4メ小ミロエル	ш	, [一次評価説	、二次評価の「	内容に。	より事	業推進	色のこと	- °							-		
評価		B			Ju															
					明															
1																				

令	和	7 年	7)	∃ 25 I	日 作成			担計	当課			産業課	(水産係))		
릨	事務	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	製氷貯	氷施設運営	 営費											
	T ;	基本方向	01	産業を活	性化し. 地	地域資源を生	かすまちつ	うくり		施策コ	1 — K					
施	F.	項目	01	水産業の								法令	O 条	셰	7	の他
策の		☆ □ □ 財務名称	01		巡兵 施設運営費					法的根拠等	. 		」 ○ ← 氷施設管理			07 15
体	Γ,	别伤口你		表小!] 小.							1田 四 円			1	0 7	љ.
系										実 施 方 法		直営	安	託	0 7	の他
<u>.</u>	泌	*************************************	· 카 :	:在ふへ白	fft・ナンシンナ・ゲン	定して供給す	-マァレルトル) <i>4</i> 3.41	エの生 字 わら		田化自	3世				
事業	供	来有なとに	-刈し、ダ	「個かり及り	貝な水を女	たしく供給 9	のころにてい	八思和	■の女正ペル	引上を図る) _o					
概																
要																
			を、何	を対象とし	ているのが	か)							うっている			
	漁	業関係者							平成29年度いる。また、							
事									V '30 X/C	旭収り日	壁は原来	加川社	1 (こかの)目り	1 日 4年70	.1150	v .<>>.
業																
の目	(2	2)意図(対	象をど	のようなり	犬態にしたい	いのか)			1							
的	安	定した氷の	供給に	より、魚価の)安定や向.	上を図り、漁業	美所得の向.	上を	1							
	図	[る。														
	/1	いい思ちの	±8 +bn / F	tが行る必	要がある事	薬業か) 計	3	点	<u> </u>							
	H						3	+ ***								
					れている事業			1点	〇 ⑥産業	を振興及びは	地域活性化	のために	重要な事業			1点
		1	環境の確保 べき事業		活に直結した	た事業で、当然の	の責務として	1点	※内部	『管理・運営	常の事業。	(点数対象	象外)			_
					維持・安定の	ために不可欠が	か事業。	1点	(説明) 閏	与の根拠に		容を具体的	的に記入しる	===== ≢₫.		
									漁協単独で							
,				-		、戦略的な事業		1点	が一つなく	、「みル・・スカー・ステート	三川	11114017	E CONO			
1			ドによる実 補完する		5が、サービス	スの確保が困難	なため、町	1点								
必要	(2	2)社会情勢			5化等	計	2	点	1							
性						よって、サービス			※ 注字	・	力宏や手法	笑が定め!	うれて、町の	創音工=	⊑が入ろ:	4
			れている。		96v7 X 161C-8		1 1/0 4/10/20	1点		い。(点数		410 1200	J4 0 C(1.1 *>.	11/E/ 11/	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	, –
		②対象者	f、利用者	が増加する	など、町民ニ・	ーズが高まって	いる。	1点	(説明)妥	当性に関し	/、内容を	具体的に記	記入します。	,		
					けるため、種々	々の改善を行い	、事業の効	1点	安定した氷	の供給に	より、魚価	の維持向]上に貢献]	している) _o	
	F			きている。	ala Ma - Wes	for Lat from the Lat. s. s.										
	_	3 ④限られ	た財源の	甲にあっても)、実施の緊急	急性、優先性は	:局い。	1点								
	(1															
2		1) 成果・協	働に対	する事業σ)有効性	計	1	点	1							
١.	È					計	1	点	/## m> +	∴	⇔ ≠1	3 <i>t</i> - thurs	231++			
有効	È				ク有効性 変事業の貢献/		1	1点					記入します。			
	È	つ ①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献			1点	(説明) 有 魚価の維持				記入します。			
性	È	① ①施策を②事業の	達成する	うえで、当該の、成果目標	事業の貢献	度は高い。図)の向上が期		1点					記入します。			
性	È	① ①施策を②事業の③類似し	達成する の継続によ た事業と	うえで、当該 り、成果目標 の統合や連打	変事業の貢献が 票(事業の意図	度は高い。 図)の向上が期		1点	魚価の維持				記入します。			
性 ——	(① ①施策を②事業の③類似し	達成する 分継続によ た事業と かよ自治	うえで、当該 り、成果目標 の統合や連打	逐事業の貢献が 票(事業の意図 携を図る余地	度は高い。 図)の向上が期	待できる。	1点 1点 1点	魚価の維持				記入します。			
性	(① ①施策を②事業の③類似し④町民参(1) 達成度の	·達成する ○継続によ た事業と ◇加と自治 測定	うえで、当該 り、成果目標 の統合や連打	変事業の貢献/ 票(事業の意図 携を図る余地 が図られてい	度は高い。 図)の向上が期 はない。 る。 計	待できる。	1点 1点 1点 1点	魚価の維持	持向上に貢	(献してい	3.			R6当	切計画
性	(① ①施策を②事業の③類似し④町民参	·達成する ○継続によ た事業と ◇加と自治 測定	うえで、当該り、成果目標の統合や連邦で の統合や連邦で 意識の向上	逐事業の貢献ル 票(事業の意図 携を図る余地 が図られてい 指標	度は高い。 図)の向上が期 はない。 いる。 計	待できる。	1点 1点 1点 1点	魚価の維持	持向上に貢		3.	記入します。 R6実績		R6当	卯計画
性 	(1	O ①施策を ②事業の ③類似し ④町民参 I)達成度の 区分	·達成する ○継続によ た事業と ◇加と自治 測定	うえで、当該 り、成果目標 の統合や連邦 意識の向上 指標①	変事業の貢献/ 票(事業の意図 携を図る余地 が図られてい	度は高い。 図)の向上が期 はない。 いる。 計	待できる。	1点 1点 1点 1点	魚価の維持	持向上に貢	で献している R5実績	3.	R6実績		R6当	刃計画 2,734
性 	(1) 活※	O ①施策を ②事業の ③類似し ④町民参 I)達成度の 区分	:達成する ②継続によ た事業と た事業と	うえで、当該 り、成果目標 の統合や連邦 意識の向上 指標① (算式)	逐事業の貢献ル 票(事業の意図 携を図る余地 が図られてい 指標	度は高い。 図)の向上が期 はない。 いる。 計	待できる。	1点 1点 1点 1点 单位	魚価の維持	持向上に貢	で献している R5実績	5.	R6実績	i interessionale de la constanta de la constan	R6当	
	(1) 活※	O ①施策を ②事業の ③類似し ④町民参 I)達成度の 区分	:達成する ②継続によ た事業と た事業と	うえで、当該 り、成果目標 の統合や連 意識の向上 指標① (算式) 指標②	逐事業の貢献ル 票(事業の意図 携を図る余地 が図られてい 指標	度は高い。 図)の向上が期 はない。 いる。 計	待できる。	1点 1点 1点 1点 单位	魚価の維持	持向上に貢	で献している R5実績	5.	R6実績	i interessionale de la constanta de la constan	R6当4	
3	(1) 活※	O ①施策を ②事業の ③類似し ④町民参 I)達成度の 区分	:達成する ②継続によ た事業と た事業と	うえで、当該 り、成果目標 の統合や連邦 意識の向上 指標① (算式) 指標② (算式)	事業の貢献/ 票(事業の意図 携を図る余地 が図られてい 指標 施設利用者	度は高い。 図)の向上が期 はない。 いる。 計 (算式)	待できる。	1点 1点 1点 1点 单位	魚価の維持	持向上に貢	で献している R5実績	5.	R6実績	i interessionale de la constanta de la constan	R6当者	
3 達	(1) 活※内	〇 ①施策を ②事業の ③類似し ④町民参 〇 区分 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	:達成する ②継続によ た事業と た事業と	が が、成果目標 が、成果目標 が、成果目標 で、当該 が、成果目標 で、当該 で、当該 で、当該 で、当該 で、当該 で、当該 で、当該 で、当該 で、は、 「算式) 指標② (算式) 指標① (算式) 指標①	逐事業の貢献ル 票(事業の意図 携を図る余地 が図られてい 指標	度は高い。 図)の向上が期 はない。 いる。 計 (算式)	待できる。	1点 1点 1点 1点 单位	魚価の維持 R4実績	持向上に貢	で献している R5実績	5.	R6実績	i interessionale de la constanta de la constan		
3 達成	(1) 活※内 成	O ①施策を ②事業の ③類似し ④町民を の 区分 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	達成する 継続によた事業と かかと自治 測定	うえで、当該 り、成果目標 の統合や連邦 意識の向上 指標① (算式) 指標② (算式)	事業の貢献/ 票(事業の意図 携を図る余地 が図られてい 指標 施設利用者	度は高い。 図)の向上が期 はない。 いる。 計 (算式)	待できる。	1点 1点 1点 点 单位	魚価の維持 R4実績	情 3,741	で献している R5実績	5. 4,995	R6実績	4, 762		2, 734
3 達成	(1) 活※内 成※	〇 ①施策を ②事業の ③類似し ④町民参 〇 区分 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	達成する 継続によた事業と かかと自治 測定	が が、成果目標 が、成果目標 が、成果目標 で、当該 が、成果目標 で、当該 で、当該 で、当該 で、当該 で、当該 で、当該 で、当該 で、当該 で、は、 「算式) 指標② (算式) 指標① (算式) 指標①	事業の貢献/ 票(事業の意図 携を図る余地 が図られてい 指標 施設利用者	度は高い。 図)の向上が期 はない。 いる。 計 (算式)	待できる。	1点 1点 1点 点 单位	魚価の維持 R4実績	情 3,741	で献している R5実績	5. 4,995	R6実績	4, 762		2, 734
3 達成	(1) 活※内 成※	O ①施策を ②事業の ③類似し ④町民参 D達成度の 区分 動指標の (具体的な活 は果指標で	達成する 継続によた事業と かかと自治 測定	うえで、当該 り、成果目標 の統合や連 意識の向上 指標① (算式) 指標② (算式)	事業の貢献/ 票(事業の意図 携を図る余地 が図られてい 指標 施設利用者	度は高い。 図)の向上が期 はない。 いる。 計 (算式)	待できる。	1点 1点 1点 点 单位	魚価の維持 R4実績	情 3,741	で献している R5実績	5. 4,995	R6実績	4, 762		2, 734
3 達成	(1) 活※内 成※現	〇 ①施策を ②事業の ③類以民参 〇 ③類以民参 〇 下動指体的な記 日 で 「	達成する 継続によ た事業と 測定 活動の	うえで、当該 り、成果目標 の統合や連 意識の向上 指標① (算式) 指標② (算式) 指標② (算式)	事業の貢献/ 票(事業の意図 携を図る余地 が図られてい 指標 施設利用者	度は高い。 図)の向上が期 ははない。 べる。 計 (算式)	待できる。	1点 1点 1点 点 单位	魚価の維持 R4実績 4	情 3,741 09,150	R5実 和	4, 995 8, 054	R6実績	4, 762 6, 780	;	2, 734
3 達成	(1) 活※内 成※現	〇 ①施策を ②事業の ③類似し ④町民を 区 分 動指標の 「容 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	達成する 継続によ た事業と	が が、成果目標 が、成果目標 が、成果目標 で、当該 が、成果目標 で、当該 で、当該 で、当該 で、当該 で、当該 で、当該 で、当該 で、当該 で、当該 で、当該 で、当該 で、当該 で、当該 で、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	事業の貢献/ 票(事業の意図 携を図る余地 が図られてい 指標 施設利用者	度は高い。 図)の向上が期 ははない。 べる。 計 (算式)	待できる。	1点 1点 1点 点 单位 人	魚価の維持 R4実績 (説明)成	時向上に責 責 3,741 09,150 果・効果ヤ による氷化	R5実 編 R5実編 44 9達成度に 東用量の海	5。 4,995 8,054 関し、内 な少が懸	R6実績 53	4,762 6,780 こ記入し	·ます。	2,734

	(1) 🛚	事業費の推移			計	0	点							
	[2	区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R6事業費のF	内訳及び金額	0	単位コスト		一般則	才源額
		事 業 費	千円	2, 970	2, 750	3	3, 366	(金額の上作	立2費用他)		達成度を下げ	げずに低	下させた	1点
	財	国・道費	千円					区 分	金 額	0	変わりない・. 確かつ具体的	_,,,		0点
4	源	地方債	千円					委託料	3, 366		上昇している		(0)	-1点
効	内訳	その他	千円								人件費及び	『電気料	の高騰に	こよる。
果		一般財源	千円	2, 970	2, 750	:	3, 366			説明				
性	(2) =	⊥ 手法の効率化			計	1	点	(説明)手法 <i>σ</i>)効率化に関し、	内容	」 を具体的に記	入します	†。	
	0	がないほどの水 ②現在の手法に の高い水準に	く準にた は効率 なってい 執行方	さっている。 的な事務執行と受え いる。 法の工夫により、対	して事業費を削減。 益者に対するサービ ・象範囲を変えずに	ごス満足度	1点 1点 1点	供給量が増加	する分、製氷に	(係る)	経費は増加	する。		
				在日则上》	51 主			低	心面	⊬⊥₃	두 첫 사는	-	-	
項目				項目別点数	改衣 頁目 点数	Ī		0	1 2 3	主十1 4	有効性 5 6	7 8 ~		高
別		項目別点数に				_							6 5	達
点数		よる評価結果	1	1 必	要性 5 6	;					A		4	成 度
10		Δ		2 有	効性 1						0		3 2	+
よる				3 達	成度 1				D		Б		1	効 果
評				4 効	果性 1				1		В		0	性
価				4 X/J	米住 「								-2	低
	A O	担当課評価 現状にて事 現状のままで 現状のままで 現状のままで 現状のままで 現状のままで 現状のままで 現状のままで 見いたのままで はいたのままで 見いたのままで まれたのままで まれたのまたで まれたのまたで まれたのまたで まれたのまたで まれたのまたで まれたのまたで まれたのまたで まれたのまたで まれたのまたで まれたのまたで まれたのまたで まれたのまたで まれたのまたで まれたのまたで		※評価は、	果を参考に、事業次のA~Dにより		して、		等を含め総合的	視点な	いら評価しま	ਰ .		
				***: 善により継続				尹未で仏	元して呼ばれ					
		事業の簡素化						劫行休期	の見直し(外部委	北(本)	による改美			
_		事業手法の見							等の推進による改		による以告			
次評		事業内容の一							果的・効率的手法		せによる改善			
価	С			の見直しの検討				C V / E X//	不可 <u>初</u> 平的于仏	♥ ン 1 天 日	ルーキの改品			
担	Ë	1		面的な見直しを検討	-			対象新田	の見直し、受益者	台 担(カ目直1・道 7	を給計		
当				事業規模、計画等の					類似事業への紡			(2.1天日)		
課評				業費平準化等を検討				その他	· 放区于木 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	2 LJ +2	ADC 215C PT			
価)		事業の抜本的			11			CANE						
		廃止	7元臣	統合	縮	ds		凍結		年た	な事業への転	b/6		
	**:		'能性'	 や廃止することに			可能		えば廃止検討可能		廃止に		そ (の他
					えつぶ音 マ		1 412		たは廃止使的 門 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		- ·	一大匹		~ IES
	説明	組合による指	定管理		は必要不可欠でせた管理が可能で				ため、大きな問題			は設備で	改修等が	発生する
				A 現状にて事	業を継続または拡	充 B	事業	の進め方の改善	・検討が必要	С	事業規模、	内容の見	直しが必	要
		庁内委員会			的見直しの検討		廃止	統合	縮小		凍結		事業への	
二次		厅内安县宏 評 価			の内容により事業					1	-			
評		_	1	説										
価		A		明										
				A 現状にて事	業を継続または拡	充 P	事業	の進め方の改善	・検討が必要	C	事業規模、	内容の目	直しが必	(要
■		E 45 == 1==			来で極続なたほか 的見直しの検討		廃止	統合	縮小		凍結		事業への	
最終		最終評価 		一次評価、	二次評価の内容				1 1	1	1 1			
評価		Λ		説										
Щ				明										

令和	0 7 年	7)	月 25 日	日 作成			担	当課			産業課	(商工観光	係)		
事	務事業名	労働諸	費			•		•							
	基本方向	01	産業を活	性化し、地域資	源を生た	かすまちつ	うくり		施策:	コード					
施策	項 目	05	就労・創	業支援の充実					法的	kı O	法 令	条	例	その	他
のの	財務名称		労働諸費						根拠等		法				
体系									実が	4 О	直営	委	託	その	他
系									方法		1				
事	雇用保険等	5の手続	■ きや職業経	7介·技能習得等(の労働支	で援を行っ	ている) _o		ı					
業															
概要															
	(1) 対象 (誰	を 何	を対象とし	しているのか)				(3)手段(ドのよ:	うな手法	手順で	行っている	(のか)		
	(1)町民		27727-2					(1)西部四				• •	,		
-												養会を通じ			
事業								(3)雇用份			中011年	度協議会負	担金	50,000円)	
の	(2)音図 (☆	争をど	のようだは	大態にしたいのが	6 \)										
目的	(1)町民の				J.)										
	(2)町民の														
	(1) 町関与の	根机 (8	Tが行う必要	要がある事業か)	計	3	点								
				れている事業。	μΙ		1点	⑥	振師及が	以批批法計	ルのためい	ご重要な事業			1点
	②生汗 1			活に直結した事業	で、当鉄の	の書数と		0	,						·
		うべき事		加に匝桁した事未	C. = 1000	ク貝切こし	1点	※内部	管理•運	営等の事業	き。(点数対	十象外)			-
	〇 ③社会的	的·経済的]弱者の生活	維持・安定のために	不可欠な	2事業。	1点	(説明) 関与	の根拠	に関し、ア	内容を具体	*的に記入し	ます。		
	④町の料	特性や魅力	力を生かした	取り組みなど、戦略	的な事業	0	1点	雇用保険等	の諸労	働手続きの	の支援を	してくうえで	は必要	不可欠な事	F 業
1				るが、サービスの確	保が困難	なため、町	1点	である。							
必	が先導・				- 1	_									
要性	(2)社会情勢				計	3	点	I NOVE A	hoho olto kili		ida Aribe 18 ada 1	l à la me merc	・如本マ		
'-		リ度の見口 られてい		!境の変化によって、	, サーヒス	、内谷の払	1点			型内谷や手 対象外)	去寺か正 🤇	られて、町の)割息土	大か人る余	_
	〇 ②対象者	首、利用者	音が増加する	など、町民ニーズが	高まって	いる。	1点	(説明) 妥当	当性に関	し、内容を	と具体的に	記入します			
				けるため、種々の改	善を行い	、事業の効	1点	雇用保険受			き及び就	労に向けて	の技術	習得等、必	要
			さている。	も、実施の緊急性、((単生)(十)(十)	声 い	1点	性が高い事	業である	5.					
		7 CH 105 V	771(-0)-7 (1	5、天旭の糸心は、1	変 儿 江(よ	□ V '0	1 AL								
	(1)成果・協	働に対	する事業の	D有効性	計	3	点								
2	O ①施策を	達成する	ろうえで、当該	事業の貢献度は高	が。		1点	(説明)有效	か性に関	し、内容を	と具体的に	記入します			
有	O ②事業の	継続に』	より、成果目標	票(事業の意図)の向	句上が期待	寺できる。	1点								術
効性	O ③類似L	た事業と	の統合や連	携を図る余地はない	١,		1点	習得による	死労の3	え援等、と	ても有効	な手段とな	つている	00	
	④町民参	シカル白光	台音識の向 ト	が図られている。			1点								
	(1)達成度の		一心臓ジョウエ	.v. 20 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	計	1	点								
	区分	/则化		指標(算式		'	単位	R4実績		R5実	结	R6実紀	ŧ	R6当初計	- 画
	四月		指標①	失業認定回数	•/		平位	八十天小	Į.	110	小兵	NO X n	R.	וווערבטו	
	活動指標		(算式)	八米恥是四級			П		6		6		6		8
	※具体的な	舌動の	指標②												
3	内容		(算式)												
			指標①	失業認定者実績数	4										
達成	成果指標		(算式)	ノント・中ロハニ ロ 大小貝女			人		101		90		91		100
	※どれだけの)成果	指標②												
	が現れたか		(算式)												
	○ ①期待し	たしかり		 た。 (達成度80%じ	1 F.)		1点	(説明)成身	且。孙田	わ達成曲!	- 胆 1	マカー はか	1/- === 1	l ‡ *	
	• 0,,,,,,					\	***	カエの出来							であ
				あった。(50%以上8			0点	る。	wu VL 'C 1	шшш" (;	/C/18 C C 1	シィニック、不りた	1.口 双 (~少ヾ*1八1/L	(0)
1	③成果が	ジ少なく今	後も向上する	る見込みがない。(5	0%未満))	-1点								

	(1) =	事業費の推移			計	0	点									
	[2	⊠ 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R6事業費の	rta ilian 1	15.75全類	0	単位:	コスト		一般則	才源額
			千円	52	52		63	(金額の上				達成月	ぎを下け	げずに低	下させた	1点
				02	02			- A		A #5					いる理由を	SHE SHE
	財	国・道費	千円					区 分 負担金・補助及び		金額	0			りに説明	できる	0点
4	源内	地方債	千円					交付金	,	63	3		ている			-1点
効	訳	その他	千円								説明	1-0-1-1-1				雇用促進支 なったこと
果性)	一般財源	千円	52	52		63				一 武 卯:				なってい	
1111	(2) =	⊥ 手法の効率化			計	1	点	(説明) 手法	の効率	を化に関し	、内容	を具体	的に記	入しま	す。	
	(-/			より、経済性を考慮	意して事業費を削減		1点	th Mean th 소 H								売きを町
		がないほどのオ			を益者に対するサー	-ビス港兄童		内で行うことで								
		の高い水準にな	なってい	いる。			1点									
	0	③外部委託や 削減する余地/			対象範囲を変えず	に事業費を	1点									
		111947 0311-01	<u>~</u>	, , ,			1									
項				項目別点	数表			低		必要	[性十2	有効性		膏	与	
目					項目 点数			0	1	2 3	4	5	6	7 8~	4	高
別		項目別点数に													5	達
点数		よる評価結果		1 业	S要性 6	9			_				A		4	成 度
に		Ι Λ		2	7効性 3	`		<u> </u>							3 2	+
よる				3 📑	成度 1			√							1	効 果
評			•	3 2		2							В		0 -1	性
価				4 交	力果性 1										-2	低
				•				<u> </u>			•					
		担当課評価														
			Ī I	※上記の約	詰果を参考に、事	業担当譚と	して	他施策との関係	系生 を	- 含め総合	的視占	から餌	価しま	₫.		
		Α					0 ((に肥木との内	W -17 C		או שכן כי א	ום כי מו	ш 0 6	. , .		
				次評価は、	次のA~Dによ	りまり。										
	Α	現状にて事業	業を継	総続または拡充				1								
	0	現状のままで事	事業を終	継続				事業を拉	充して	て継続						
	В	事業の進めた	ちの改	(善により継続												
		事業の簡素化	、効率	化による改善				執行体制	lの見i	直し(外部	委託等)	による	改善			
一次		事業手法の見	直しに	よる改善				住民参加	等の	推進による	改善					
評		事業内容の一	部見直	しによる改善				その他效]果的•	·効率的手	法の検	討による	5改善			
価	С	事業規模・プ	力空等	の見直しの検												
担				面的な見直しを検				対象統団	か目i	直し、受益	老 負扣	の目直	1 • 道 7	を給計		
当					-									. 21天日1		
課評				事業規模、計画等					E、類化	以事業への	/ 初1 '百" * 早	公揆で 位	央 計			
価		計画期間の延	伸、事	業費平準化等を検	討			その他								
)	D	事業の抜本的	勺見直	[しを検討												
		廃止		統合	縮	小		凍結			新た	な事業	への転打	與		
	*1	事業廃止の可	能性な	や廃止することに	こよる影響 ⇨	廃止	可能	条件が整	えば	廃止検討ロ	丁能		廃止は	困難	その	の他
		一次評価(担	当課評	評価) の内容や考	え方を具体的に言	己入します。		今後の改善策	等を具	体的に記	入しま	す。				
				接等は、町内家	党者に対して今	後も必要を	「可	渡島西部通年					携を図	り、技能	 ド習得に	係る労働
	説	欠な事業であ	かる。					支援の取組を	:充実	させる必	要があ	る。				
	明															
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,															
		<u> </u>		A 現状にて [≦]	■ 業を継続または	拡充 B	事業	L の進め方の改善	- 検	討が必要	С	事業:	現模、「	内容の見	直しが必	 必要
		ナナチ ロ ^			い見直しの検討		廃止	統合		縮小	+-	凍結		1	な事業への	
=		庁内委員会 評 価			の内容により事	-		בן טעוי		win . 1 .		-A-11		191 / - 10	·	- TMIA
次評		, m	1	説	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	JE JE V/C										
価		Δ		D)L												
				明												
				A 現状にて	事業を継続または	拡充 B	事業	の進め方の改善	検	討が必要	С	事業	現模、「	内容の見	直しが必	·····································
最		最終評価			的見直しの検討		廃止	統合		縮小		凍結		新たな	な事業への	の転換
終		20.12 11 1111	a		、二次評価の内	容により事	業推議	匿のこと。								
評価		Δ		説												
Щ				明												

令	 €⊓	7 年	7	月 25 日	3 作成			扫音	 当課			産業課	 (商工観光係)	
	-	<u>′ '</u> ፤業名	観光振		1 17/2			,	- IN			产 术脉	(12)	
-					Ы. Д. Д. 1. Д. 1.—№ 2/ж	7 T + 4 L		ž / 11		+- **	1\$			
施	_	本方向	01		性化し、地域資	『源を生か	いすまちつ) ()			ニード		T 1	T T
策	項	目	03	観光業の	振興					法	нJ	法 令	条例	その他
の	財	務名称		観光振興	費					根拠	等 観光	立国推進	基本法	
体系										実	施	直営	委託	その他
										方	法			
事業概	各種	重イベント	事業での	PRなど広	報活動を展開し	、観光振り	興による地	域活付	生化を図る	lo.	•			
要														
	(1):	対象(誰	を、何	を対象とし	ているのか)				(3) 手段	(どのよ	うな手法、	手順で行	テっているのか)	
	(1)	商工業者	を中心。	とした観光	関連事業者を対2	象としてい	る。		(1)物販~	イベントな	どでの町料	寿産品のP	R事業	
事業	(2)	観光客を	対象とし	ている。							議会を通じ しての補助		事業	
の目	(2)	意図(対	象をど	のようなり	*態にしたいの	か)								
的	(1)	観光客の	増加を	足進し、地域	或活性化を図る。									
	(2)	観光振興	により関	連事業者の	の拡充を図る。									
	(1)	中間を介	#8 #bn / P	けが行る心	要がある事業か	、) 計	3	点						
	H					·/ [1]	J	+	I . I					
	0				れている事業。			1点	〇 ⑥産	業振興及	び地域活性位	化のために	重要な事業	1点
			環境の確保 べき事業		活に直結した事業	で、当然の	責務として	1点	※内	部管理•運	営等の事業	。(点数対	象外)	_
				-	維持・安定のために	不可欠な	車 業	1点	(章英用) 艮	関与の規拗	に関し は	一次を目休	 的に記入します。	
		O ILA	J //EI/H P 3	199-E V2 111/	座的 女儿のため	-1.17/4	ナ木。		1,000 7 7 7 10				上で必要な事業で	ったス
	0	④町の特	性や魅力	りを生かした」	取り組みなど、戦略	的な事業。		1点	俄儿儿火火	・バーチの近	以任併 佰旨	EILŒ MA	工(必安な事業)	(W)'No
1			いまる実 補完する		らが、サービスの確	保が困難な	まため、町	1点						
必	(2):			_{ザボ。} ニーズの変	・ル生	計	3	点						
要性	(2)				境の変化によって				※注	 	な内容の手)	土体が守め	られて、町の創意工	土が12~
	0		れている		児の友正によって	, y - L //	つ谷が近元	1点		ない。(点		云寺が足め	りれて、町の利息工	人小人のボ _
	0	②対象者	台、利用者	が増加する7	など、町民ニーズカ	「高まってレ	い る。	1点	(説明)翌	妥当性に関	し、内容を	具体的に	記入します。	
					けるため、種々の改	善を行い、	事業の効	1点	観光振興	に対して	の意識高捷	易が図られ	る。	
		.,		きている。										
	0	④限られ	た財源の	中にあっても	、実施の緊急性、	優先性は高	事い。	1点						
	(1)	成里・協	働に対	 する事業の)有効性	計	2	点						
2	-													
_	0	①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献度は高	引い。		1点					記入します。	
有効	0	②事業の	継続によ	り、成果目標	栗(事業の意図)の[句上が期待	できる。	1点	交流人口 ができる。		より地場産	美か発展	し、地域経済の活	7年1化を図ること
性		③類似し	た事業と	の統合や連打	隽を図る余地はない	, J ⁰		1点]					
		④町民参	*加と自治	意識の向上	が図られている。			1点						
	(1)	達成度の	測定			計	1	点	<u>l</u>					
		区分			指標(算式	.t.)		単位	R4実	編	R5実	績	 R6実績	R6当初計画
				指標①	観光客数	-47				V-13-C				
	活動	力指標		(算式)	B/L/L-11 9/A			人		188,810		212,201	243,930	193,000
	Ж Д	体的な流	5動の											
3	内容	ř		指標②										
3				(算式)										
達出	_+ =	3 +LC +III		指標①	観光客一人当たり		興費	円		23		48	47	60
成度		具指標 ごれだけの)成果が	(算式)	(利用者数/決算	[額]								
		たか		指標②										
				(算式)										
	0	①期待し	たとおりの	の成果があっ	た。(達成度80%)	以上)		1点	(説明)原	成果・効果	や達成度に	関し、内	容を具体的に記入し	 します。
		②概ね其	月待した通	的の成果があ	あった。(50%以上8	80%未満)		0点	観光客増	加に向け	た事業展開	開に一定の	の効果があった。	
		(3)成果カ	ふかなく今	後も向 トする		50%未満)		-1点						

	(1) 耳	事業費の推移			計	0	点						
	D	⊠ 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R6事業費の内	引訳及び金額	0	単位コスト	一般財源	額
		事 業 費	千円	4, 318	10, 277	11	, 497	(金額の上位			達成度を下げずり	こ低下させた	1点
	(国・道費	千円					区分	金 額	0	変わりない・上昇し		0点
4	財源	地方債	千円					負担金・補助及び		Ľ	確かつ具体的に記 上昇している	兇明できる	-1点
	内							交付金	10, 967		観光協会補助会	全の増に トス	一一点
効果	訳	その他	千円					報償費	450	説明		区の店でから	
性		一般財源	千円	4,318	10,277	1	1,497	需用費	46				
	(2) =	手法の効率化	4) to correct the late of the second	計	1	点				を具体的に記入し		
	0	がないほどの水 ②現在の手法に の高い水準にた	準にた は効率 なってい 執行方	さっている。 的な事務執行と受: いる。 法の工夫により、**	して事業費を削減 益者に対するサート 対象範囲を変えずに	ビス満足度	1点 1点 1点	観光協会事務 <i>)</i> なった。	局の体制を見	直し、。	より効率的に成り	そをあげられる よ	うに
項目別点数による評価		項目別点数による評価結果		1 必 2 有 3 達	頁目 点数 要性 6 効性 2	3		低 0	必要 1 2 3	生 十 4	5 6 7	高 8~ 5 4 3 O 2 1 0 0 1 0	
価				4 幼	果性 1							-2 低	,
一次評価(担当課評価	O B C	○ 現状のままで事業を継続 事業の進め方の改善により継続 3 事業の簡素化、効率化による改善 執行体制の見直し(外部委託等)による改善 事業手法の見直しによる改善 住民参加等の推進による改善 事業内容の一部見直しによる改善 その他効果的・効率的手法の検討による改善											
(Ī	D	事業の抜本的	的見直	しを検討									
		廃止		統合	縮	小		凍結		新たれ	な事業への転換		
	*	事業廃止の可	能性な	や廃止することに	よる影響 🕏	廃止	可能	条件が整え	ば廃止検討可能	Ė	廃止は困難	É その他	
	説明	当町の観光コであり、交流。また、観光情	コンテン 人口の 報発信	/ツの目玉である 増加を図ることが	重の駅についても	航事業が如		の際の観光コン	・中心とした福.	島町 <i>0</i> 必要	観光を確立する	•	,•-
		1		A 現状にて事	業を継続または抗	広充 B	事業	L の進め方の改善・	検討が必要	С	事業規模、内容	の見直しが必要	
		庁内委員会		D 事業の抜本	的見直しの検討	⇒	廃止	統合	縮小		凍結 新	たな事業への転	.换
二次		評 価			の内容により事業					1	1 1 1 "		
グ評価		Α		朗									
				A 現状にて事	業を継続または拡	太充 B	事業	の進め方の改善・	検討が必要	С	事業規模、内容	の見直しが必要	
最		最終評価			的見直しの検討		廃止	統合	縮小		凍結 新	たな事業への転	換
終	ı		a	一次評価、 説	、二次評価の内容	らにより事業	耒推 進	じっこと。					
評価		A		明									

令和	1	7 年	7	月 25 日	日 作成			担	当課		産業	課(商工	観光係)		
事	務	事業名	岩部海	岸わくわく	(クルーズ	事業費									
	基	本方向	01	産業を活	 性化し、地	域資源を生た	かすまちつ	うくり		施策=	1— F				
施	項	目	03	観光業の	振興					法的	法	令 O	条 例	その他	
策の	財	務名称				ルーズ事業領				根拠等	. — —		ト管理条例		
体										実施	古		委託	○ その他	
系										実施方法	,				
事	当田	丁の観光コ	ンテンジ	ツの目玉でる	ある「岩部ク	ルーズ事業」	について管	理運	営する。						
業															
概要															
	(1)	対象(誰	を、何	を対象とし	ているのだ	<u>ن</u> رز)			(3) 手段(どのよう	な手法、手順	で行って	いるのか)		
	観光	佐客及び町	「民を対	象としてい	る。				(1)クルーズ		-				
事									(2)グラスボー		寺管理 [交流センター)の管理			
業									(O)/N/JII//			/ V B 4			
の目	(2)	意図(対	象をど	のようなり	*態にしたし	へのか)									
				の管理運営					1						
	(1)	町関与の	根拠(四	丁が行う必	要がある事	業か)計	3	点							
	0	①法令等	で実施力	が義務付けら	れている事業			1点	〇 ⑥産業	振興及び	———— 地域活性化の <i>f</i>	- めに重要 ⁷	な事業	1	点
	Ĕ					。 事業で、当然の	う責務として						0. 7 514		***
		町が行う	-			, ,		1点	※内部	官埋•運图	常等の事業。(点 	奴对象外)			-
		③社会的	」•経済的	弱者の生活	維持・安定の	ために不可欠な	事業。	1点	(説明) 関与	の根拠に	-関し、内容を	具体的に記	!入します。		
	0	④町の特	性や魅力	りを生かした』	取り組みなど、	戦略的な事業	0	1点	町の自然環	境を活か	した独自性が	高い事業	となっている。		
1					るが、サービス	の確保が困難	なため、町	1点	=						
必	(2)	が先導・神 オータ 情勢		_{尹未。} ニーズの変	トル生	計	2	点	<u>l</u>						
要性	(2)					って、サービス			※ 注会	笙で宝施!	内容や手法等が	定められて	町の創音工=	- が λ ス 全	
	0	が求めら					170 4200	1点		ハ。(点数)		7C47540C	(1147/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11	_	-
	0	②対象者	、利用者	が増加する	など、町民ニー	ーズが高まってい	いる。	1点	(説明) 妥当	4性に関し	/、内容を具体	的に記入し	ます。		
				固定化を避け	けるため、種々	の改善を行い	、事業の効	1点	当町の知名ズは高い。	度を全国	的に高めた事	業であるだ	ため、事業実	施の町民ニー	•
					、実施の緊急	急性、優先性は	高い。	1点	, its late						
									-						
	(4)	-b-B 1+	/#! 1 — ± 1	+ 7 + 111 0		=1	•	_							
	(1)	以果・協	惻に刃	する事業の)有郊性	計	2	点	1						
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献月	度は高い。		1点			ノ、内容を具体			er. (• (7. ~e.) = 1	
有効		②事業の	継続によ	り、成果目標	票(事業の意図])の向上が期待	寺できる。	1点			の目玉となって 効果をあげてレ		であり、他の勧	現光 施設との村	甘
性	0	③類似し	た事業と	の統合や連打	隽を図る余地	はない。		1点							
		④町民参	:加と自治	意識の向上	が図られてい	る。		1点							
	(1)	達成度の	測定			計	1	点	•						
		区分			指標	(算式)		単位	R4実績	i	R5実績	ı	R6実績	R6当初計画	
				指標①	出航日			В		75		74	80	-	70
		カ指標 ₹体的な活	一動の	(算式)				П		10		1.1	00	'	10
	内容		1到07	指標②											
3				(算式)											
達				指標①	乗船人数			人		1,904	2,0	125	2,031	1,68	30
		具指標 iれだけの	成用が	(算式)						1,504		120	2,031	1,08	JU
及		たか	水木が	指標②							-			-	
				(算式)											
	0	①期待し	たとおりの	の成果があっ	た。(達成度8	80%以上)		1点	(説明)成界	! 効果や	b達成度に関し	、内容を具	.体的に記入し	ます。	
		②概ね期	待した通	りの成果があ	あった。(50%	以上80%未満)		0点		名度が高	写くなっている か	とめ、道外:	からの観光客	も多く乗船し	て
		③成果が	少なく今	後も向上する	5見込みがなり	ハ。(50%未満)		-1点	いる。						

	(1) 🗐	事業費の	推移					ī	i l	0	点												
	[<u>x</u>	分	単位	R4	4決算額	R5%	央算額		R6決算	額	R6	事業費の「	为訳及	び金	額		単位:	コスト		0	一般	財源額
		事 業	費	千円		5, 034		7, 84	14	(5, 728		金額の上位					達成月	度を下	げずに	こ低下	させた	1点
	<u></u>	国・)	直費	千円								Z	分	金	·	額	0				っている	3理由を	^{を明} 0点
4	財源	地方	債	千円								委託料	,		6.	728			ノストル		元明で	5 W	-1点
効	内訳	その		千円											,					_	こより打	旨定管	理委託料
果	<u>.</u>	一般		千円		5.034		7,8	44		6,728						説明				いる。	(R5季	託料は
性	(2) =	│				0,001		-	:+	2	点	/ = ∺ F	月)手法 <i>σ</i>	かある	⊢ 1−E		内灾:	5,064 た目体			キオ		
	(2)				より、縚	経済性を考慮	意して事業				****												の積極的な
		がないは	どのカ	と準にか 家	よってい	ハる。 ■務執行と受	・ 大老にも	++24	ードフ	滞見度		取組	(第4便)	やその	他自	1社事	業と	の組み	合わ	せに	より、1	責極的	かつ効率
	0	の高いた	k準に 委託や	なってい 執行方	へる。 法のコ	こ夫により、					1点		事業展開	をして	いる	0.							
						- -	aler 						Irr			» -	4 I -	_ +1. 14.	_		_		
項						項目別点			Nr.				低 0	1	2	必要¶ 3	生十年 4	<u>す効性</u> 5	6	7	高 8~	1	高
目別		項目別	点数に	_			項目	点	数													-	達
点		よる評価				يُو 1	必要性	5	,					-6					A			5 4	成
数に		_	\			2 4	可効性	2	7											0		3	· 度 +
ょ		<i> </i> -	1			0 %	* 	1		_		/										1	効
る 評				-		3 1	達成度	1	3					D					В			0	·果 ·性
価						4 🕺	为果性	2														-1 -2	低
										•			<u> </u>	<u> </u>									
	※上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 ※評価は、次のA~Dによります。																						
	_					72161/476							車業をが:	左1 て糾	と								
						より継続							ず未で1仏/	ルレ CM	企 形汇								
	Ь	1											執行体制	の日本	1 (A	如禾:	er 88 \ 1	ナトフコ	14.4				
_		事業の能															-	にそのは	以苦				
次評		事業手		-									住民参加					153 ***	1 24				
一一一		事業内容											その他効果	果的•匆	力率日	り手法	の検討	すによる	改善				
<u></u>	С		-			直しの検																	-
担当		制度•事	業内容	学の全面	面的な	見直しを検	討						対象範囲							(を検	討		
課		必要性等	等を再	検証し	事業規	!模、計画等	の見直し	を検討					他の事業	、類似哥	事業~	への統	合•転	換を検	討				
評価		計画期間	間の延	伸、事	業費平	準化等を検	討						その他										
	D	事業の	抜本的	内見直	しを	検討																	
		廃止				統合			縮小				凍結				新たれ	よ事業・	への転	換			
	*	事業廃」	上の可	能性	や廃」	とすることに	こよる影響	響	⇒	廃止	可能		条件が整	えば廃	止検	討可能	â		廃止に	は困難	É	そ	の他
		一次評価	西(担	当課評	[価]	の内容や考	え方を具	体的に	記入	します。		今後(の改善策等	を具体	本的(こ記入	しまっ	す。				-	
	瓳	あり、さ 交流人 また、打	らに ^料 口の ^対 旨定管 連携さ	4数以 曽に大 理者の	上がえ きく の福島	いては乗船 首外からの 子与してい。 青町まちづ より、町特)	来町者。 る。 くり工房	となっ ^っ は、当	さいる: 該事業	ため、当	町の駅管		客に来町										た場合でも)造成が必
					Α	現状にて	事業を継	続また	は拡充	В	事業	の進め	方の改善	検討	が必	要	С	事業規	規模、	内容	の見直	[しが』	 必要
		庁内委	員 全		D	事業の抜る	本的見直	しの検	討□	>	廃止		統合		縮	小		凍結		新	たな	事業へ	の転換
二次		評	一個			一次評価	の内容に	こより	事業推	進のこ	٤.												
評		_		1	説																		
価			1		明																		
						TB.15	- 44. <i>-</i> - 10°	^+ <u>-</u> - '		. _	AP	0 Y · · ·	+ 0 = 1 **	17 = .	18 30	.	-	± 4114.1	LO 1#		0 E =	. , , , ,	V ==
						現状にて					事業	ル進め	方の改善 統合	・検討	が必縮・		С	事業持凍結	垷模、				必要 の転換
最終		最終	評価		D	事業の抜る 一次評価						のこと			桶	'1 '		保箱		利	にはき	#未へ	の転換
終評		_		1	説	~ \u1 IIII		. , 1		- , T	.,-,,,		_ 0										
価		∥ Æ	4		明																		
		l ,		1	71																		

小	ロ 7 年 7 月 25 日 作成 ・							扫音	当課		産業課	(商工観光係)	
				-	1 1 1 7 2 2			1=-			圧不い		
手										<u> 1</u>			
₩	基	本方向	01	産業を活り	性化し、地域資	資源を生た	かすまちつ	3 ()	施到	策コード			1
施策	項	目	03	観光業の	振興					нú	法 令	〇 条 例	その他
の	財	務名称		道の駅管理	理費				根抱	心等 福島	町特産品	トセンター条例	
体系									実	施	直営	〇 委 託	その他
N										法			
事	道の)駅「横綱	の里ふく	」 (しま」につい	いて管理運営す	⁻る。			<u> </u>				
業													
概													
要									T				
	_				しているのか)						手順で	行っているのか)	
	観为	佐客及び	叮民を対	象としてい	る。				(1)施設の維持管 (2)施設内トイレの				
事									(2)///////// 11 12 02	11111174377			
業													
の目	(2)	意図(対	象をど	のようなり	 態にしたいの	か)			1				
的	(1)非	寺産品販	売をする	観光拠点別	を設の維持管理								
	(2)∄	丁内イベン	小等の作	青報発信									
	/41	TH-88 F A	+D +hn / m	H-184= 5 N	亜 バナ フ 古 巻 4	=1	0	1 -					
	(1)	可関子の	恨拠(□	リか行う必	要がある事業だ	い) 計	2	点					
	0	①法令等	節で実施だ	ぶ義務付けら	れている事業。			1点	⑥産業振興及	なび地域活性化	2のために	重要な事業	1点
			環境の確保 べき事業		活に直結した事業	€で、当然の	う責務として	1点	※内部管理・	運営等の事業。	。(点数対	象外)	_
				-	6644 ### ### ## ##	1= T = 1	. 	1.5	(=¥m) == + + +	+hn (= 88 l	南土日仕	<i>₩</i> =3.1.++	
	0	③任芸印	小*栓곍的	物有の生活	維持・安定のため	に不可欠な	· 争 来。	1点					1 2
		④町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。⑤民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため							特産品の販売や	温島町のPR	など、町グ	外へ向けた発信元	となっている。
1					るが、サービスの確	住保が困難7	なため、町	1点					
必	(0)		補完する		_ ,,	1							
要性	(2)			ニーズの変		計	2	点					
III.	0)度の見正 れている		境の変化によって	こ、サービス	内容の拡充	1点	※法令等で第		等が定め	られて、町の創意工	夫が入る余 -
					など、町民ニーズ	が高まってい	いる。	1点			具体的に	記入します。	
	_				するため、種々のご				町の観光情報発				
	0			きている。				1点	. 19872113 1972		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	. 20	
		④限られ	た財源の	中にあっても	、実施の緊急性、	優先性は高	高い。	1点					
		h == 14				1		1.					
	(1)	成果・協	働に対	する事業 <i>の</i>)有効性	計	2	点					
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献度は	高い。		1点	(説明)有効性に	関し、内容を	具体的に	記入します。	
有		②事業の	継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の	向上が期待	手できる。	1点				り扱うことにより、利	J用客に満足し
効性	0	(3)類化口	た事業レ	の統合や演り	集を図る余地はな	٠ ١١.		1点	ていもらえるサー	ヒスを提供で	さている	0	
[±]	dash	0 // 112 / 1				. 0			1				
		0		意識の同上	が図られている。			1点					
	(1):	達成度の	測定	1		計	1	点		1	ı		
		区分			指標(算	式)		単位	R4実績	R5実紀	績	R6実績	R6当初計画
				指標①	営業日			日	336		334	341	341
		指標	r=1 ~	(算式)					536)	334	541	341
	※具体的な活 内容	「動の	指標②										
3	'	시참		(算式)									
\±				指標①	利用者数								
達成	成具			(算式)	, 1/14 E 2A			人	146,311		167,375	201,091	167,000
		战果指標 ≪どれだけの成∶)成果が										
	現れたか		指標②				-						
				(算式)									
	0	①期待し	たとおりの	の成果があっ	た。(達成度80%	以上)		1点	(説明)成果・効	果や達成度に	関し、内	容を具体的に記入し)ます。
		②概ね其	月待した 通	的の成果があ	あった。(50%以上	:80%未満)		0点	道の駅をリニュー	アルしたこと	こより、利	用者数の大幅増と	なった。
		③成果か	ジ少なく今	後も向上する	 3見込みがない。((50%未満)		-1点					

	(1) =	事業費の推移			計	0	点											
	[区 分	単位	R4決算額	R5決算額	R63	決算額	R6∄	事業費の内	引訳及び金	額	0	単位:	コスト			一般財	源額
		事業費	千円				14, 657			22費用他			達成月	度を下げ	ずずに(ち不起	せた	1点
	(;	国・道費	千円					区	分	金	額				上昇して			明 0点
4	財源	地方債	千円					委託料		12.	057			ノ兵体に	的に説明	りでさ	<u>ව</u>	-1点
ᄼᅺ	内訳	その他	千円				181	需用費	,		517					R6	いら福	島町まち
効果)	一般財源	千円				14,476	負担金	補助及び	1	70	説明	づくり	工房~	〜委託	してい	いる。	
性	(2) =	│			計	2	点	交付金	1) 手法の	効率化に	題1.	内容 2	を具体	的仁記	1	a		
	0	①業務等の見 がないほどのか ②現在の手法 の高い水準に	(準にたいない)は効率なっていい執行方	さっている。 的な事務執行と受 いる。 法の工夫により、う	にて事業費を削減 益者に対するサート 対象範囲を変えずに	できる余	地 1点	道の駒	尺リニュー	アル及びの、民間事	施設の	の管理	里業務	を、福	島町	まちつ		
				-T = 0/ 5	ster -				Int		N == 1		_ 41 44			_		
項				項目別点		\neg			低 0	1 2	<u>必要性</u> 3	生十年 4	<u> </u>	6		高~		高
目別		項目別点数に	:		項目 点数	_											5	達
点数		よる評価結果	Į	1 业	多要性 4 (- ¢				A			4	成
数に				2 有	ī 効性 2	'								0			3	度 十
よる		A		3	正成度 1	_		/									1	効 果
評					3	3				P				В			0	性
価				4	力果性 2												-2	低
一次評価(担当課評価)	B C	現状のままです事業の進めが事業の簡素化事業の簡素化事業共容の一計事業内容を表現である。 事業規模・「中華・事業規模・「中華・事業の技本的のでは、「中華・事業のでは、「中華・東、東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東	事業を約改 直 1 年 2 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3	善により継続 とによる改善 この改善 このという。 このを検討 にはるのものなり、 このは、 このを検討 には、 このは、 には、 このは、 には、 このは、 には、 このは、 には、 このは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	小	廃止可能 す。 工房への き まを高め る。	今後のできた。今後のできた。	事業を拡充 執行体制の等とのは、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	でして継続 の見直し(外 等の推進に という。 対のでは の見直し、受 類似事業・ とは廃止検 を具体的に のの対応。	部委を改せる。おきまでは、おきまでは、おきまでは、おきまでは、おきまでは、おきまでは、おきまでは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	托等)/ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	こよるd けによる り見直 し 換を検 す す。 用 ア ズ 手 系 り 用 ア ズ チ ト の ズ チ ト の イ ス チ ト の ス チ ト の ス チ ト の ス チ ト の ス チ ト の ス チ ト の ス チ た の た の た の た の た の た の た の た の た の た	女善・導入 ・ の転い へ	を検討 を検討 がいたが ないだを ないだった。 ないに ない ない ない ない ない ない ない ない な	おさがか応する	⊦るた≀ ある。	設の改め、指定	
					事業を継続または扱			の進めた						現模、I				
=		庁内委員会 誣 価			の見直しの検討		廃止		統合	縮	小		凍結		新た	な事	業への)転換
次		評 価	a		の内容により事業	∈推進0	リ こと。											
価		Α		明														
					事業を継続または抗 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			の進め		・検討が必				現模、「	内容の			
最		最終評価			▼的見直しの検討 - ケ証価の内容		廃止	- Λ = L	統合	縮	小		凍結		新た	:な事	業への)転換
終評価		Α		説明	、二次評価の内容	さに より	/ 争未推進	<u>=</u> ∪,	o									

令和		7 年 7 月 25 日 作成 務事業名 横綱記念館管理運営費						扫音	当課			産業課	(商工観光係)		
					. ,,,,,,			,				江 木脉	(10)		
-		本方向	01		= ロ 및 性化し、地域資	酒た仕も	いオキたっ	3 / LI		佐笙	コード				
施	項	目	03	観光業の		源で工ん	1.9 40 -	<i>,</i> , ,	_			法令	〇 条 例	その	\AH
策の		 務名称	00		^{派央} 館管理運営費					法根拠	tete-	ム マ 記念館条		(0)	/ IE
体	R/1 /	伤位你		(関利) 記 心	路官理理呂貝						1英柳町	直 営	〇 委 託	その	Ш
系										実力	施 <u> </u>		0 安 癿	(0)	/ IE
事	二人	の横綱が	ぶ数々の	苦難を乗り	越えて横綱へと	駆け上が	っていく様	子と輝	重かしい功績?	を紹介し	している記念	念館の運	営を行っている。	また、毎年8	月に
· 業					つれ町の観光拠				,						
概要															
X	(1) \$	対象 (詳	ま 何	を対象とし	しているのか)				(3) 手段 (人	ニ の ト・	うか毛は	壬順で:	行っているのか)	
	_			象としてい									出身地として「横		中心と
-													ボル施設として平原 託して管理運営を		
事業									店在カーノン	/ U, B	、仅、民间未	(日に女)	れしく日生産者で	11,2 (1,2))
の目	(2) 貢	か) 図意	象をど	のような粉	大態にしたいのフ	<u>ن</u> ار)			1						
的					る町のシンボルガ				1						
	(2)	観光の拠	点施設												
	(1)田	丁関与の	根拠(田	けが行う必	要がある事業か) 計	3	点	<u> </u>						
	0	①法令等	等で実施か	ぶ義務付けら	れている事業。			1点	⑥産業	振興及で	び地域活性化	つために	重要な事業		1点
	Ĕ				活に直結した事業	で、当然の	う 責務として								7.11
		町が行う	べき事業	0				1点			営等の事業				
		③社会的	的·経済的	弱者の生活	維持・安定のために	不可欠な	事業。	1点					的に記入します。		
	0	④町の特	特性や魅力	りを生かした	取り組みなど、戦略	的な事業。		1点	町が事業主る。管理運営)、平成9年4月よ	りオープンし	てい
1	0				るが、サービスの確	保が困難な	なため、町	1点		1102011	17.10	1000	.∞0		
必	(2) ‡	が先導・補完する事業。						点							
要性					境の変化によって、		力		※ 注合:	笙で宝ね	6内突や毛油	- 笙が完み	られて、町の創意コ	キがえる全	
	0		れている。			. ,,	170 471/2/0	1点			数対象外)	4477 700	- 24 c C (. 1 c > 12 r) 2 c		_
		②対象者	首、利用者	が増加する	など、町民ニーズが	高まってレ	いる。	1点	(説明)妥当	性に関	し、内容を	具体的に	記入します。		
				固定化を避り	けるため、種々の改	善を行い、	事業の効	1点	町内の観光	拠点と	しての役割	を担って	いる。		
					、実施の緊急性、	優先性は高	高い。	1点							
	(1) F	成果・協	働に対	する事業の)有効性 ——————	計	1	点	•						
2	0	①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献度は高	iv v		1点					記入します。		
有効		②事業0	継続によ	り、成果目標	票(事業の意図)の向	可上が期待	すできる。	1点	平成17年度 に楽しんでい				函トンネル記念館 である。	とともに、観り	光客
性		③類似し	た事業と	の統合や連打	携を図る余地はない	, ,		1点				//*	=		
		④町民参	診加と自治	意識の向上	が図られている。			1点							
	(1) j	達成度の	測定			計	1	点	•						
		区分			指標(算式	t)		単位	R4実績		R5実	績	R6実績	R6当初記	十画
				指標①	開館日数			В		259		250	950		250
		指標 体的な流	チ 動 の	(算式)						259		258	259	, 	259
	内容		古到の	指標②											
3				(算式)											
達				指標①	入館者数			人		8,729		10,069	11,86		9,062
成度		:指標 カだけの)成里が	(算式)				7		0,123		10,003	11,00		3,002
<u> </u>	びれだけ 現れたか		// X	指標②											
				(算式)											
	0	①期待し	たとおりの	の成果があっ	た。(達成度80%)	(上)		1点					容を具体的に記入		
		②概ね其	押待した通	的の成果があ	あった。(50%以上8	80%未満)		0点	九重部屋夏	合宿の	開催等によ	り入館者	育の増につながっ	た。	
		③成果が	5少なく今	後も向上する	 5見込みがない。(5	0%未満)		-1点	1						

	(1) 4	事業費の推	移				計	0		点												
	[区 分	単	位 F	R4決算額	R5決	算額	R6岁	中算額	į	R6:	事業費の[力訳及	が金	額		単位:	コスト	,	0	一般則	才源額
		事業	費千	円	13, 759		17, 673		21, (062		金額の上位					達成月	度を下	げずに	低下さ	させた	1点
	^	国・道費	计	円 円							区	分	4		額						理由を	:明 0点
4	財源	地方債	i f	ш							委託米	1		11	, 621	_		フ兵体		説明でき	きつ	-1点
	内	その他			3, 098		3, 995		4, 5	5.4.1	需用費				, 522					活性など	でおり	、修繕費
効果	訳											-		0			が増			~	.,,,,	(12/11)
性	(0)	一般財源		H	10, 661		13, 678		16, 8		役務費				252			45				
		手法の効率	-	1. r ⊦ h . s	経済性を考慮	1 で東紫貞	計事を削減。	できる会!	H1	点		月) 手法の 9年度オー									7. 6台:	女/ァナ1
	0	がないほどの ②現在の手 の高い水準	の水準 法は効 になっ や執行	になって 率的な! ている。 方法の		益者に対っ	するサーロ	ごス満足	度	_ I	て管理		の比	率が	高くな	るため	5、平)	成15	年度。	5912	月~3	月までの
					·香口 · · · · · ·	*+- -						低			心面小	# ı *	ᆉ			ᇂ		
項目					項目別点	<u> </u>	——— 点数	\neg				0	1	2	<u>必要性</u> 3	± † 1 4	5 5	6	7	高 8~	ĺ	高
別		項目別点数	対に			貝日	点 数	_													5	達
点		よる評価網	吉果		1 必	要性	4	-					<u></u> ¢					A			4	成
数に		Λ			2 有	効性	1 ;	5	_								_				3	度 十
ょ		A			0 >=		-	┪		-	\nearrow						0				2	効
る評		L			3 達	成度	1 2	2					D)				В			0	果 性
価					4 効	果性	1														-1 -2	低
																			I			13
一次評価(担当課	事業内容の一部見直しによる改善 その他効果的・効率的手法の検討による改善 C 事業規模・内容等の見直しの検討 対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																					
評		計画期間の	延伸、	事業費平	 	討						その他										
価	D	事業の抜る	本的見	.直しを	· ·検討						ı											
		廃止			統合		縮	小				凍結				新たた	ì事業·	への転	換			
	*	<u> </u>)可能	性や盛	止することに	よる影響		,	企业可	能		条件が整	えば磨	让 給	اـــــا				は困難		マ(の他
		1			の内容や考え					.,	今後1)改善策等					.	احلديرر				
	캢	当該施設はが必要であ	は横綱 ある。 なは老村	間の里の 钙化が着	シンボルで	あり、今後	後も継続	的な管	理運'		施設(ため、	施設	の大規	模改	修が必要
		1		Α	現状にて事	業を継続	または扱	太充	В	事業の	の進め	方の改善	・検討	寸が必	要	С	事業規	規模、	内容の	の見直	しが必	要
		庁内委員 ⁵	슾	D	事業の抜本	的見直し	の検討	⇒	J.	廃止		統合		縮	小		凍結		新	たな事	業への	の転換
二次			伍		一次評価の	の内容に	より事業	έ推進σ				-1					<u> </u>					
評		<u> </u>	1	説																		
価		A		明																		
				Α	現状にて事	業を継続	または扱	太充	В ∄	事業の	の進め	方の改善	・検討	寸が必	要	С	事業規	現模、	内容の	の見直	しが必	要
最		是级≒□□□	FF.	D	事業の抜本					廃止		統合		縮	小		凍結		新	たな事	業への	の転換
終		最終評価	ш	511	一次評価、	、二次評値	価の内容	字により	事業	推進	のこと	-0		•								
評価		Λ		説																		
Щ				明																		

上	. — П	7 年	1 7 J	月 25 €	3 作成			扫:	当課		産業課	(商工観光係)	
				•	1 157% 食館管理運営費			1=.					
#		事業名 · · · ·											
±/c	基	本方向	01	産業を活	性化し、地域資	資源を生た	いすまちつ	がくり	施	策コード			
施策	項	目	03	観光業の	振興					的	法 令	〇 条 例	その他
の	財	務名称		青函トン	ネル記念館管理	聖堂費			根	拠等 ॄ	函トンネノ	レ記念館条例	
体系									実	施	直営	〇 委 託	その他
<i>></i> /<										2+	島町商工会	<u> </u>	
事	青函	トンネル	工事のは	上海道側の	基地を担い、工	事記録や	技術情報、	設備	重機等のトンネル	文化を後	世に伝える	ミュージアムとなって	ており、横綱記念
業	館と	並び、町	の観光排	処点となって	こいる。								
概													
要									T				
	_				ているのか)							行っているのか)	
	観光	と客及び!	叮民を対	象としてい	5.							て、商工会に業務を 売業務も併せて行っ	
事									産者を11つくい	J. 4/L. 1	丁生ロマノバスン	LAMONE CIT	J (V "J")
業													
の目	(2)	意図(対	象をど	のようなり	態にしたいの	か)			1				
的	(1)	トンネル	文化を町	内外に紹介	する施設				1				
	(2)	観光の拠	点施設										
								1					
	(1)	町関与の	根拠(四	けが行う必	要がある事業か	\) 計	3	点	•				1
	0	①法令等	等で実施か	ぶ義務付けら	れている事業。			1点	⑥産業振興	及び地域活	性化のために	工重要な事業	1点
					活に直結した事業	で、当然の	責務として	1点	※内部管理	運営等の	事業。(点数対		_
		町が行う	べき事業	0						是自 4·2·	F X6 (////X//)	1 3 7 1 7	
		③社会的	的·経済的	弱者の生活	維持・安定のため	こ不可欠な	事業。	1点	(説明)関与の相	関拠に関し.	内容を具体	めに記入します。	
	0	④町の特	5性や魅力	りを生かした]	取り組みなど、戦略	外のな事業。)	1点		して整備し	たものであり	0、平成17年度より	オープンしてい
1	_	⑤民間等	辛による実	施が望まれる	が、サービスの確	保が困難な	なため、町		」る。 管理運営は福島	町商工会	に委託して	いる。	
必	0		補完する				,	1点	19年2月18日日	7 121 224	(-2,100 (. 20	
要	(2)	社会情勢	や町民	ニーズの変	化等	計	2	点					
性	0				境の変化によって	、サービス	内容の拡充	1点				かられて、町の創意工	夫が入る余 _
			れている。						地はない。(
		②対象	音、利用者	が増加する	など、町民ニーズカ	ぶ高まってい	る。	1点	(説明)妥当性に	関し、内	容を具体的に	記入します。	
				固定化を避け	けるため、種々の改	女善を行い、	事業の効	1点	町内の観光拠点	として役害	を担ってい	る。	
	0	.,			、実施の緊急性、	優失批ける	生い	1点	1				
			71 CK1 105.V2)、犬虺叼飛心压、	後/上 工 4	=1 v .º	'	_				
	(1)	成果・協	働に対	する事業 <i>σ</i>)有効性	計	2	点	•				
2		11+1-14x+	・キナーフ	Sans Was	東米の子科座 は	÷1 、		1 =	(部四) 专为州(-	- 88 1 - #5	하 # 된 사 사 ! -	-=	
	0	0			事業の貢献度は高			1点					*1 みて歩きれい
有効	0	②事業の)継続によ	り、成果目標	栗(事業の意図)の	向上が期待	Fできる。	1点	町のシンホル施 て有効である。	又 ぐめる傾	₹NM 60/2013目と	ともに、観光客が導	トレめる肥政とし
性		③類似し	た事業と	の統合や連打	携を図る余地はな!	/ ¹ 0		1点					
		④町民参	≽加と自治	意識の向上	 が図られている。			1点	1				
	(1):		測定			計	1	点	<u> </u>				
	(1).	区分			 指標(算:		'	単位	R4実績	D	5実績	R6実績	R6当初計画
		巨刀		15 IT ()		E()		单位	N4天根	K	2天根	NU天根	10日初計画
	エモ	L+15-144		指標①	開館日数			日	25	Э	258	259	259
		カ指標 。体的なシ	手動の	(算式)									
	内容		1200	指標②									
3		 成果指標		(算式)									
達				指標①	入館者数								
成				(算式)				人	9, 51	7	9, 051	10, 405	8, 146
度	成果相様 ※どれだけ 現れたか)成果が											
	現れ しんりょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	いこが						1					
	<u> </u>	0		(算式)	. (4.5.						÷		<u> </u>
	0	①期待L	たとおりの	り成果があっ	た。(達成度80%)	以上)		1点			度に関し、内	容を具体的に記入	します。
		②概ね類	胡待した通	的の成果があ	らった。(50%以上	80%未満)		0点	団体客の増によ	る 。			
		③成果/	ぶ少なく今	後も向上する	5見込みがない。(50%未満)		-1点	1				

	(1) 🖣	事業費の推移			計	1	点								
	[2	☑ 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R6事業	費の内	訳及び金額		単位コスト	0	一般財源額	Ą
		事 業 費	千円	13, 621	13, 125	13	, 347			2費用他)	0	達成度を下げず	に低下	させた	1点
	_	国・道費	千円					区	分	金 額		変わりない・上昇			0点
4	財源	地方債	千円					委託料		8, 507		確かつ具体的に 上昇している	説明で	きる	-1点
	内			4 000	9, 900		0.40					入館料収入の	一単変形に	・トル一般財	
効果	訳	その他	千円	4, 000	3, 390		, 043	需用費		4, 606	説明	圧縮を図ること			101.00
性		一般財源	千円	9, 621	9, 735		, 304	役務費		114					
	(2) =	手法の効率化		FN 经次件产本南	計 して事業費を削減	1 ~**> A.J.h.	点	カエ明の				を具体的に記入し			- h-
	0	がないほどの水 ②現在の手法に の高い水準に	く準にた は効率 なってい 執行方	さっている。 的な事務執行と受 いる。 法の工夫により、タネ	こて事業員を削減 益者に対するサード 対象範囲を変えずに	ビス満足度	1点 1点 1点	度より12 ずらしてい	月から			苦費の比率が高 だとしている。 現在			
項目別点数による評価		項目別点数による評価結果		1 必 2 有 3 達	頁目 点数 要性 5 効性 2 成度 1	7		>	低 0	必要1 2 3	生十才	与効性 5 6 7 A	高 8~	高	
		担当課評価			果を参考に、事業次のA~Dにより		して、	他施策との)関係等	手を含め総合的?	視点か	いら評価します。			
	Α	現状にて事業	美を継	続または拡充											
	0														
	В	事業の進めた	ちの改	善により継続											
		事業の簡素化	、効率の	とによる改善				執行	体制の	見直し(外部委	託等)	による改善			
少		事業手法の見	直しに。	よる改善				住民	是参加等	の推進による改	善				
評		事業内容の一	部見直	しによる改善				その	他効果	的·効率的手法	の検討	付による改善			
価	С	事業規模・内	內容等	の見直しの検討											
担		制度·事業内容	アの全面	i的な見直しを検討	†			対象	範囲の	見直し、受益者	負担0	り見直し・導入を検	討		
当課		必要性等を再	険証し!	事業規模、計画等の	の見直しを検討			他の	事業、	類似事業への統	合•転	換を検討			
評		計画期間の延	伸、事	業費平準化等を検	討			その	他						
価	D	 事業の抜本的	勺見直	しを検討											
		廃止		統合	縮	小		凍結	i		新たれ	な事業への転換			
	*	 事業廃止の可	能性な	や廃止することに	」 よる影響 →	廃止	可能	条件	が整え	ば廃止検討可能	L È	廃止は困	锥	その他	
					え方を具体的に記			1		を具体的に記入				,2	
	説明	営が必要であ	らるが、	建設後20年以	であり、今後も継 上が経過している)点検が必要とな	ることから、た	施設			上が経過していな修繕が必要		め、展示備品の	不具合	合が見受け;	กก
		<u> </u>		A 現状にて事	業を継続または扱	広充 B	事業	<u>I</u> の進め方の	改善・	検討が必要	С	事業規模、内容	の見直	[しが必要	
		庁内委員会			的見直しの検討	_	廃止		充合	縮小				事業への転担	
二次		厅内安良宏 評 価			の内容により事業					1 1		<u> </u>			
(評価		Α		朗											
				A 現状にて事	業を継続または抗	広充 R	事業	の進め方の	改善・	検討が必要	C	事業規模、内容	の見直	「しが必要	
		= /s== :-			・未を極続るたば) :的見直しの検討		廃止		充合	縮小		1		事業への転換	——— 奂
最終		最終評価	_	一次評価、	二次評価の内容					1 1	1	1 1	-		
評				説											
価]	明											

令和		7 年 7 月 15 日 作成 事業名 街灯料助成事業						担	当課			3	建設課			
事	務	事業名	街灯料	助成事業					I							
	基	本方向	04	生活基盤	が安定し、安全	安心に新	暮らせるま	きちづ	くり	施策:	コード					
施	IJ	〔	06	生活安全	 の確保					法的	ξ1	法令	条	例	○ その	他
策の	貝	才務名称		道路橋梁	—————— 総務費					根拠等	/-	町街路灯	 補助交付規	則		
体系										実が	包	直営	委	託	その	他
系										方法						
事	各時	町内会への	り街路灯	の設置、及	び街路灯の助成											
業概要	01	封灯料助 周	找事業	前期 28町	「内会 助成金 7	51,000F	円 後期	28町	内会 助成金	755,0	000円					
	(1)	対象(誰	を、何	を対象とし	しているのか)				(3)手段(ど	のよう	 うな手法、	手順で行	うっている(のか)		
	28	町内会を	付象とし	ている。					福島町街路灯	丁補助	交付規則	に基づき即	カ成金を支糸	合。		
事									助成率につい 5%以内とする		街灯設置	と事業が50	0%以内、往	打料即	カ成事業が	\$7
業									申請時期は、	街灯米			は9月末と	3月末の	つ2回、街灯	丁設
の目	(2)	意図(対	象をど	のようなも	犬態にしたいの が	N)			置事業につい	いてはる	その都度を	を付する。				
的					灯設置の負担を轉	-	0									
	(1)	町関与の	根拠(田	けが行う必	要がある事業か) 計	3	点								
	C	①注合每	で宝梅み	ぶ差数付けら	れている事業。			1点	6 産業塩	調及が	(抽情)汗烘.	レのために	重要な事業			1点
	Ĭ	②生迁程			活に直結した事業	で 当鉄の	1書終り て		1							١,,,,,
	0		べき事業		旧に匠州ひた尹未	C \ = 3///V	ク質物として	1点	※内部管	で理・運	営等の事業	。(点数対象	象外)			_
		③社会的	的•経済的	弱者の生活	維持・安定のために	不可欠な	事業。	1点	(説明) 関与(の根拠	に関し、内	容を具体的	的に記入しま	きす。		
		④町の特	f性や魅力	力を生かした	取り組みなど、戦略	的な事業	0	1点	福島町街路灯	丁補助	交付規則	に定められ	にいる。			
1	0	⑤民間等	まによる実	施が望まれる	るが、サービスの確信	呆が困難	なため、町	1点								
必	Ĕ	が先導・	補完する													
要性	(2)			ニーズの茤		計	2	点								
11			l度の見置 れている。		境の変化によって、	サービス	内容の拡充	1点	※法令等地はない			去等が定め	られて、町の倉	創意工芸	トが入る余	_
	0	②対象者	f、利用者	が増加する	など、町民ニーズが	高まってい	いる。	1点	(説明) 妥当	性に関	し、内容を	具体的に	記入します。			
		③事業の	硬直化•	固定化を避り	けるため、種々の改	善を行い	、事業の効	1点	町内会負担が	ぶ増加り	しており、1	負担軽減ス	が求められて	ている。		
	_			きている。	and the second second second											
	0	(4)限られ	た財源の	中にあっても	。、実施の緊急性、値	曼先性は	島い。	1点	<u> </u>							
						_	_									
	(1)	成果・協	働に対	する事業の)有効性	計	2	点								
2		①施策を	達成する	うえで、当該	事業の貢献度は高	い。		1点	(説明) 有効	性に関	し、内容を	具体的に	記入します。			
有	0				票(事業の意図)の向		生できる	1点	ナマウヘゥ							
効	\vdash	0 1 //-					1 (6.20									
性	Ļ				携を図る余地はなV	' o		1点	4							
	0			意識の向上	が図られている。	1		1点								
	(1)	達成度の				計	1	点								
		区分			指標(算式	:)		単位	R4実績		R5実	績	R6実績		R6当初計	一画
	\ =	EI JF 1==		指標①	街灯設置補助			件		1		0		0		5
		動指標 具体的な消	舌動の	(算式)												
	内	容		指標②	街灯料助成事業			件		28		28		28		28
3				(算式)												
達	، عبر	∃ +ヒ+≖		指標①	街灯設置補助金			千円		27		0		0		231
		果指標 ビれだけの)成果が	(算式)												
		れたか		指標②	街灯料助成金			千円	1,	, 432		1, 333	1	1,506	1	, 500
				(算式)												
	0	①期待し	たとおりの	り成果があっ	た。(達成度80%以	.上)		1点	(説明)成果	・効果・	や達成度に	関し、内容	容を具体的に	記入し	ます。	
		②概ね其	月待した通	りの成果がる	あった。(50%以上8	0%未満)		0点								
		③成果か	が少なく今	後も向上する	5見込みがない。(5	0%未満)		-1点								

	(1) 🛚	事業費の推移			計	0	点		<u> </u>				
	[⊠ 分	単位	R4決算額	R5決算額	R6決算	額	R6事業費の内	内訳及び金額	0	単位コスト	一般財源額	額
		事 業 費	千円	1, 459	1, 333	1	, 506	(金額の上位			達成度を下げずり	低下させた	1点
		国・道費	千円					区分	金額	0	変わりない・上昇し		0点
4	財源	地方债	千円					負担金・補助及び	111	É	確かつ具体的に記 上昇している	元州 じざる	-1点
÷.	内	その他	千円					交付金	1,000			めにより、交付金	
効果	訳			1 450	1 000	,	FOC			説明	変動する。	31-01) ()C 1 <u>II</u>	11/14
性	(0) -	一般財源	千円	1, 459	1, 333		, 506	(=×100) T.t.o.	1 7 / 1 - 111 1		+ B # # != = 2 2 1		
		手法の効率化		トn 経済性を老庸	計 して事業費を削減	できろ全地	点	(説明)手法の	効率化に関し、	内容	を具体的に記入し	ます。	
	0	がないほどのオ	と準にた	こっている。	益者に対するサー		1点						
		の高い水準に	なってレ	る。			1点						
		③外部委託や 削減する余地/			付象範囲を変えずに	1事業費を	1点						
項目別点数による		項目別点数による評価結果		1 必	頁目 点数 要性 5 効性 2 成度 1	7		低 0	必要 1 2 3	生十4	有効性 5 6 7 A O	高 8~ 5 4 3 2 1	
評価				4 効	果性 1	2						-1 性	
												-2 低	
		担当課評価			果を参考に、事業 次のA~Dにより		ンて、	他施策との関係領	等を含め総合的	視点が	から評価します。		
	Α	現状にて事業	業を継	続または拡充									
	0	現状のままで事	事業を維					事業を拡充	でして継続				
	В	事業の進めた	ちの改	善により継続									
		事業の簡素化	、効率(とによる改善				執行体制の	の見直し(外部委	託等)	による改善		
少		事業手法の見	直しに。	よる改善				住民参加等	等の推進による改	善			
評		事業内容の一	部見直	しによる改善				その他効果	果的・効率的手法	の検討	対による改善		
価(С	事業規模・内	内容等	の見直しの検討	†								
担当		制度·事業内容	ずの全面	面的な見直しを検討	†			対象範囲0	の見直し、受益者	負担の	の見直し・導入を検	討	
課		必要性等を再	検証し	事業規模、計画等の	の見直しを検討			他の事業、	類似事業への紛	☑合•転	伝換を検討		
評価		計画期間の延	伸、事業	業費平準化等を検	討			その他					
<u>=</u>)	D	事業の抜本的	勺見直	しを検討				1					
		廃止		統合	縮	小		凍結		新た	な事業への転換		
	*	事業廃止の可	能性や	や廃止することに	よる影響 🗅	廃止	可能	条件が整え	えば廃止検討可能	岜	廃止は困難	その他	
		一次評価(担	当課評	価)の内容や考え	え方を具体的に記	入します。		今後の改善策等	を具体的に記入	しま	す。		
	説明	各町内会の 金の負担軽測			ネ化が図られ、町	内会の電気	気料	道路の安全研い。	雀保及び防犯を	2目的	Jにしているため、	事業の継続が旨	置まし
				A 現状にて事	業を継続または拡	t充 B	事業	の進め方の改善・	・検討が必要	С	事業規模、内容	の見直しが必要	
_		庁内委員会		D 事業の抜本	的見直しの検討	⇒	廃止	統合	縮小		凍結 新	たな事業への転	換
次		評 価	_	一次評価の	の内容により事業	美推進のこ	೬。	· · ·			-		
評価		^		説									
Щ]	明									
	L												
					業を継続または拡		T .	の進め方の改善・		С	事業規模、内容		
最		最終評価			的見直しの検討		廃止	統合	縮小		凍結	たな事業への転	換
終評			7	一次評価、 説	. 二次評価の内容	まにより手き	未推進	らいこと。					
価		ΙA											
				明									
												· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	